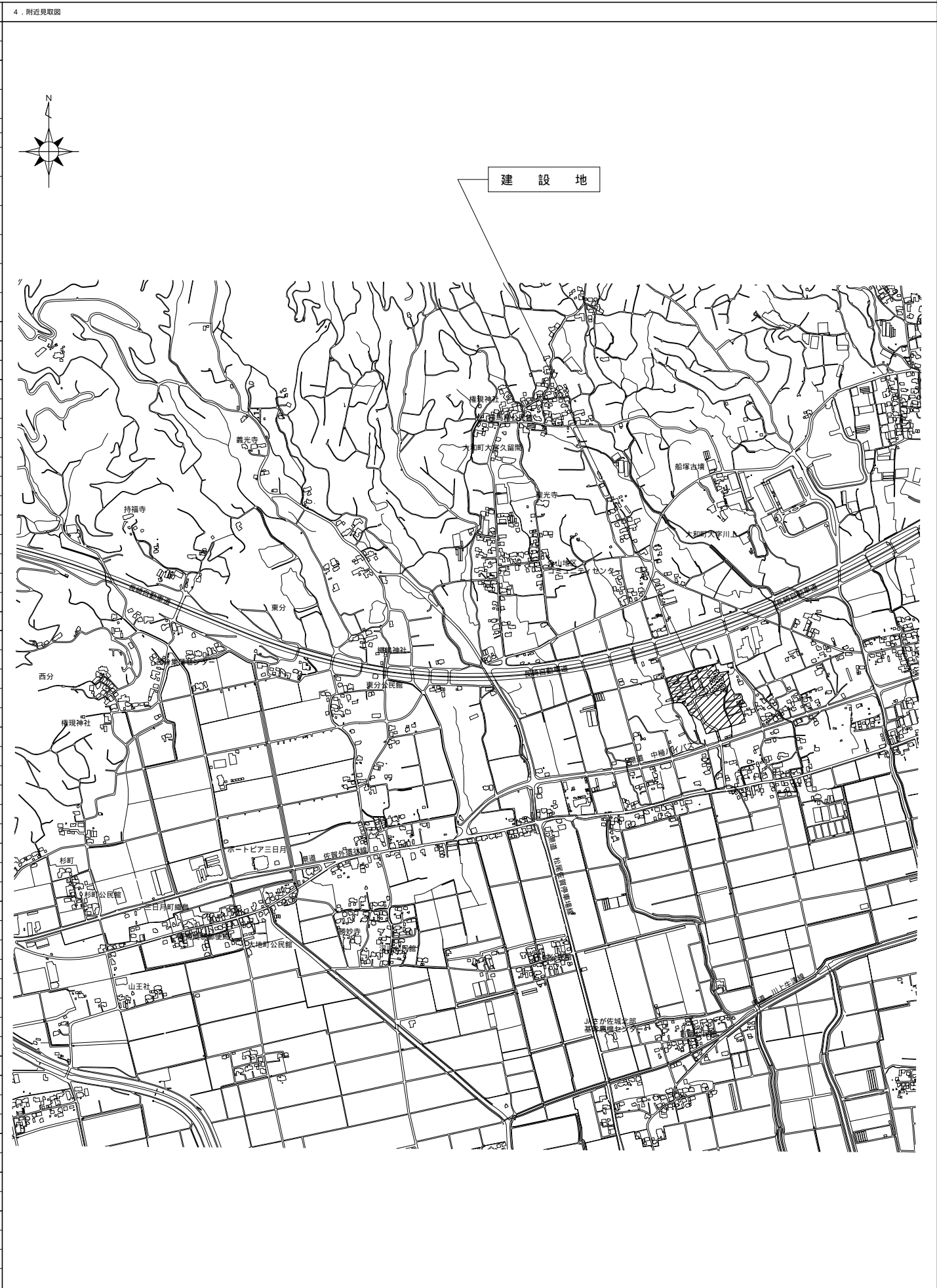
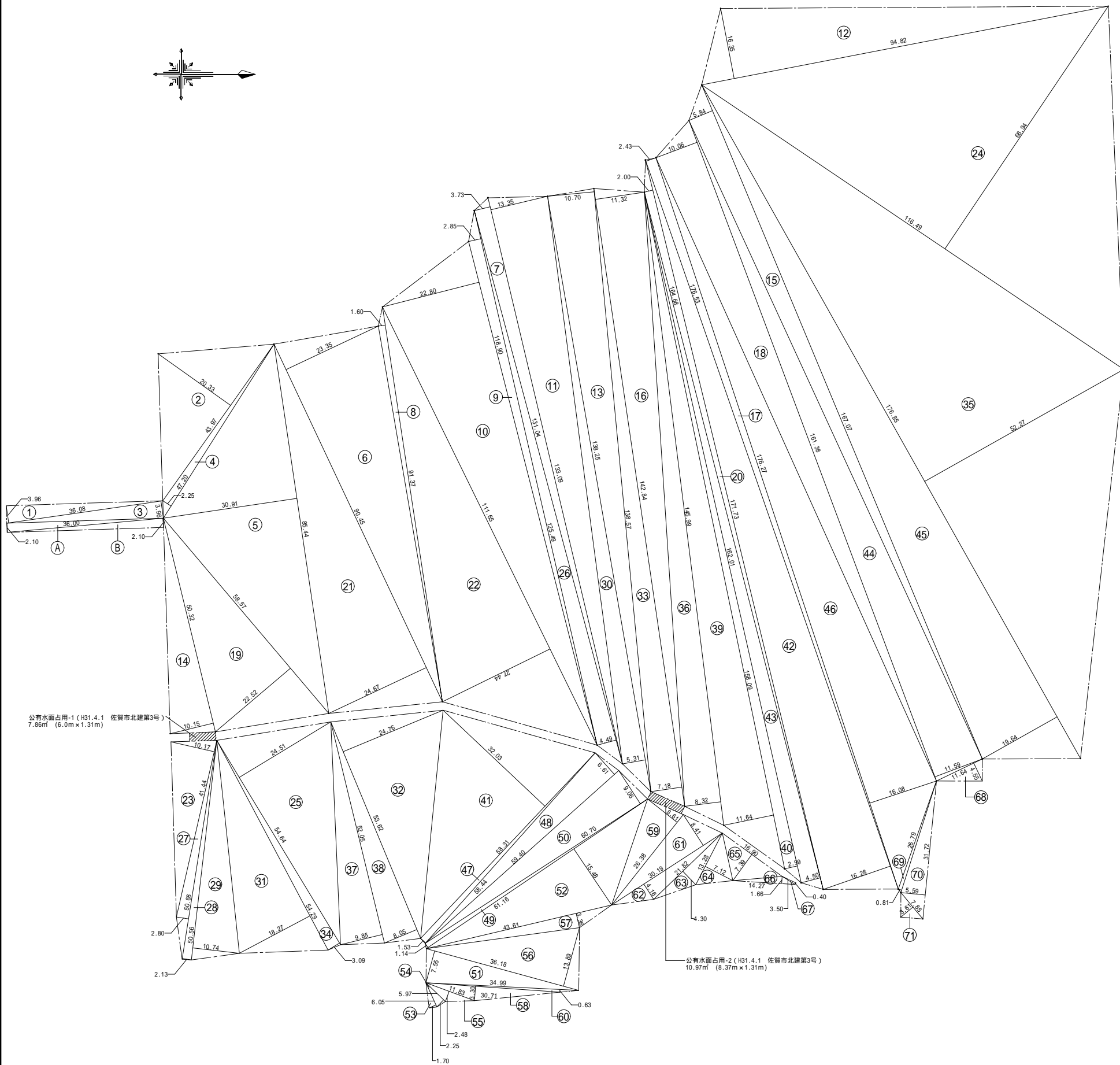
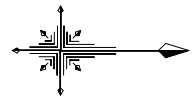


設計概要

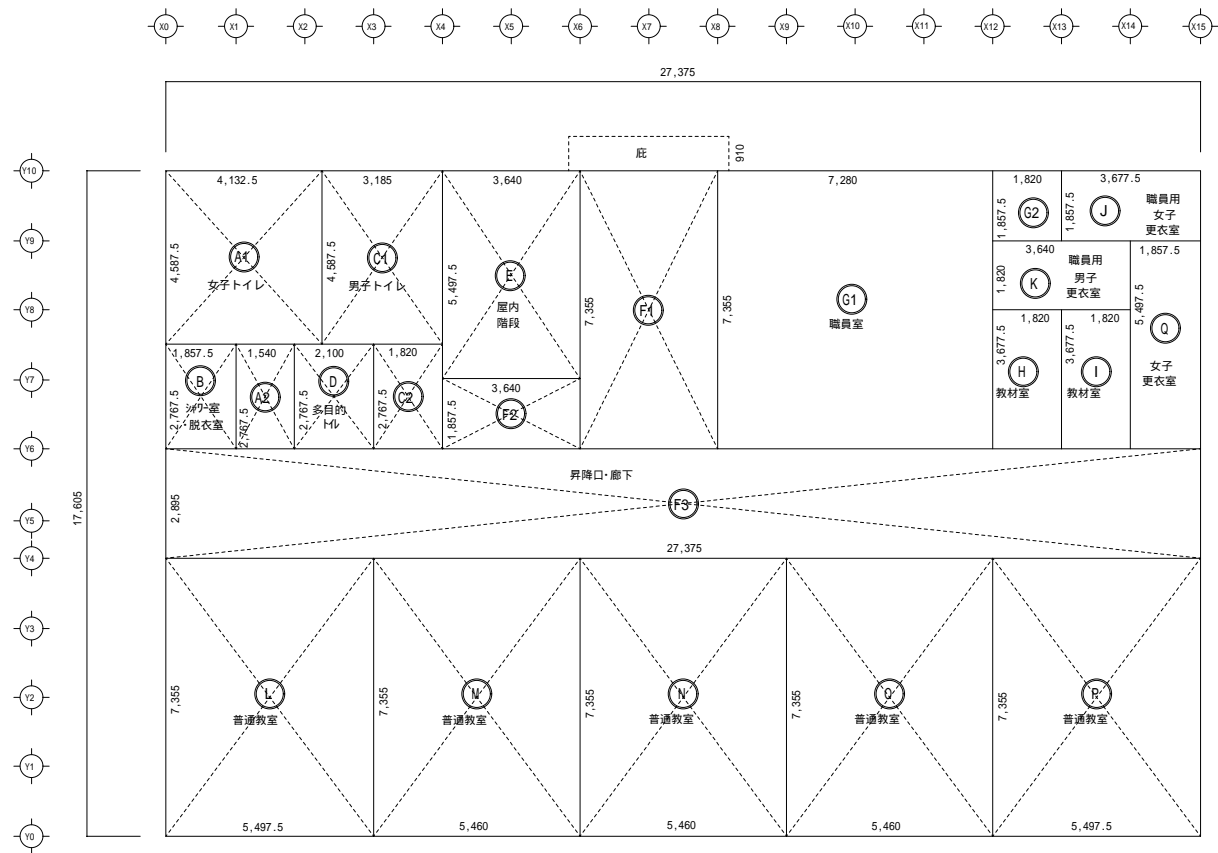
1. 一般事項		4. 附近見取図	
工事名称	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	工事種別	・新築 ・増築 ○別棟増築 ・増改築 ・改築 ・移転 ・用途変更 ・大規模の修繕 ・大規模の模様替え
地名・地番	佐賀県佐賀市大和町大字久留間字八幡三角3353 他	主要用途	特別支援学校(仮校舎)
住居表示	佐賀県佐賀市大和町大字久留間3353	駐車場等	申請部分 申請以外の部分
都市計画区域	・市街化区域 ○市街化調整区域 ・区域外	建築物	2棟
用途地域	・第一種低層住専 ・第二種低層住専 ・第一種中高層住専 ・第二種中高層住専 ・第一種住居 ・第二種住居 ・準住居 ・近隣商業 ・商業 ・準工業 ・工業 ・工業専用 ○指定なし	工作物	フェンス、門扉等
防火地域	・防火 ・準防火 ・法22条の地域 ○指定なし ・2つの地域にわたる場合 (防火 m ² 準防火 m ²)	外構	
法定建ぺい率	60% ()	造園	
法定容積率	100% ()	解体	
その他の指定(都市計画)	・美観地区 ・土地区画整理事業地区 ・地区計画区域	工期予定	
高さ規制	道路斜線制限(法別表第3) 隣地斜線制限(法第56条第1項第2号)	高度地区	内容:高さ規制
日影制限(法別表第4)	・規制対象区域 < 5m 10m (4時間) < 10m (2.5時間) ○規制対象外区域	高度利用地区	内容:容積率規制 以上
既存建築物の数	29棟	斜線制限	○道路斜線 ○隣地境界斜線 ・北側斜線
道路	道路巾員 法42条(1)項(1)号道路 県道(南側) 14.000m 接道長さ 6.600m 壁面線後退 ・規制対象区域 (・1.5m ・1.0m) ○規制対象外区域		
面積	敷地面積 36,905.25 m ² (坪) 2つの地域にわたる場合 (m ²) 申請部分 申請以外の部分 合計 建築面積 564.35 m ² 7,681.03 m ² 8,245.38 m ² 延べ面積 963.86 m ² 10,752.57 m ² 11,716.43 m ² 建ぺい率 8,245.38 / 36905.25 × 100 = 22.34 % 許容 60 % 容積率(容積算定延床面積) 11,716.43 / 36905.25 × 100 = 31.74 % 許容 100 % 容積率(基準法延床面積) 11,716.43 / 36905.25 × 100 = 31.74 % 許容 100 % 諸制度の活用による緩和 ・あり ・総合設計制度 () 緩和の概要 ()		



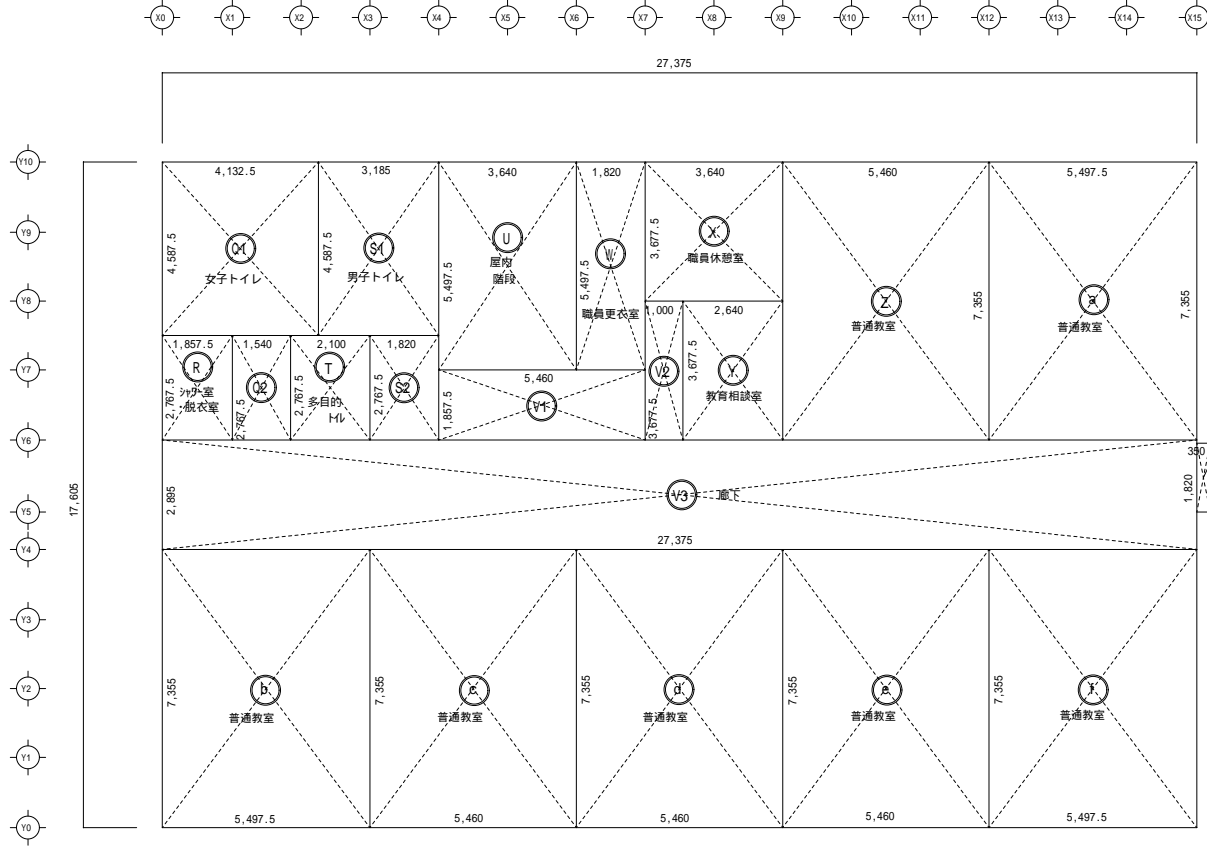
2. 建築物概要(棟別)	
棟名	仮校舎
建物用途	特別支援学校(仮校舎)
工事種別	新築
構造・規模	軽量鉄骨造(ブレース構造) 2階建て
基礎・杭	H鋼基礎
耐火種別	・耐火建築物 ・準耐火建築物 ○その他
防火対象物	消防法施行令第1条第1項(6)項二
外部仕様概要	屋根 ガルバリウム鋼板 t=0.8 H=88 外壁 外壁パネルt=43 軒裏 H=75 表裏
居室の床の高さ	597m
棟別面積表	建築面積 498.26 m ² 66.09 m ² 延べ面積 963.86 m ² - m ² 階別面積 m ² (坪) 階高 m m ² (坪) 階高 m 2階 481.93 m ² 坪 3.660 m 1階 481.93 m ² 坪 3.572 m 合計 963.86 m ² 坪
高さ	最高の高さ 8.109 m 4.472 m 最高の軒の高さ 7.844 m 4.560 m 前面道路の中心高と基準G.Lとの関係 前面道路中心高さ、設計G.L = K B M ± 0
建築設備の種類	○給水 ○排水 ○電気 ○ガス ○換気 ○空調 ・避雷針 ・昇降機 ○非常用照明 ・非常用エレベーター ・機械排煙 ・浄化槽
消防設備の種類	○消火器 ○屋内消火栓 ○火災報知設備 ・漏電警報 ○避難器具 ○誘導灯 ・連絡送水管 ・消防用水利 ・屋外消火栓 ・非常灯付
3. その他(増・改築経歴等)	配置図に記載



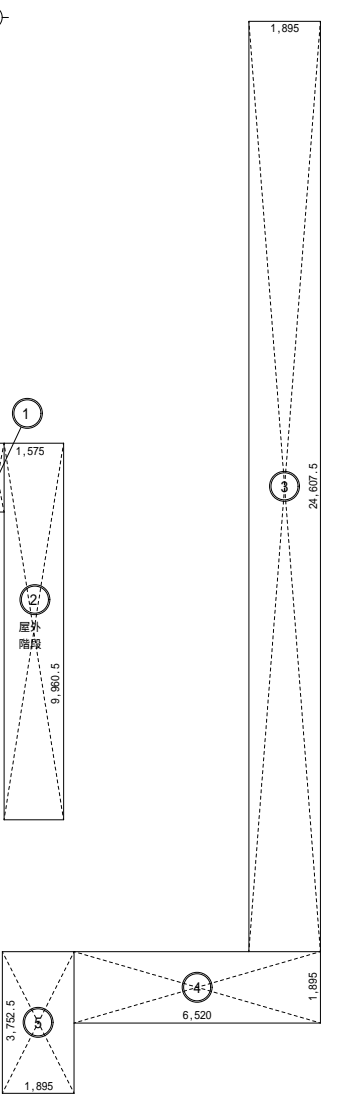
敷地面積表					
1	36.08 × 3.96 × 1/2 =	71.43840	41	58.31 × 32.03 × 1/2 =	933.83465
2	43.97 × 20.33 × 1/2 =	446.95505	42	176.53 × 16.28 × 1/2 =	1,436.95420
3	36.08 × 3.96 × 1/2 =	71.43840	43	164.68 × 4.50 × 1/2 =	370.53000
4	47.20 × 2.25 × 1/2 =	53.10000	44	161.38 × 11.59 × 1/2 =	935.19710
5	85.44 × 30.91 × 1/2 =	1,320.47520	45	176.85 × 19.64 × 1/2 =	1,736.66700
6	90.45 × 23.35 × 1/2 =	1,056.00375	46	176.27 × 16.08 × 1/2 =	1,417.21080
7	133.09 × 3.73 × 1/2 =	248.21285	47	58.44 × 1.53 × 1/2 =	44.70660
8	91.37 × 1.60 × 1/2 =	73.09600	48	59.40 × 6.61 × 1/2 =	196.31700
9	125.49 × 2.85 × 1/2 =	178.82325	49	61.16 × 1.14 × 1/2 =	34.86120
10	118.90 × 22.80 × 1/2 =	1,355.46000	50	60.70 × 9.06 × 1/2 =	274.97100
11	133.09 × 13.35 × 1/2 =	888.37575	51	36.18 × 7.55 × 1/2 =	136.57950
12	94.82 × 16.35 × 1/2 =	775.15350	52	61.16 × 15.48 × 1/2 =	473.37840
13	138.57 × 10.70 × 1/2 =	741.34950	53	6.05 × 1.70 × 1/2 =	5.14250
14	50.32 × 10.15 × 1/2 =	255.37400	54	5.97 × 2.25 × 1/2 =	6.71625
15	167.07 × 5.84 × 1/2 =	487.84440	55	11.83 × 2.48 × 1/2 =	14.66920
16	142.84 × 11.32 × 1/2 =	808.47440	56	36.18 × 13.89 × 1/2 =	251.27010
17	176.53 × 2.43 × 1/2 =	214.48395	57	43.61 × 3.36 × 1/2 =	73.26480
18	161.38 × 10.06 × 1/2 =	811.74140	58	30.71 × 3.30 × 1/2 =	50.67150
19	58.57 × 22.52 × 1/2 =	659.49820	59	26.38 × 8.61 × 1/2 =	113.56590
20	171.73 × 2.00 × 1/2 =	171.73000	60	34.99 × 0.63 × 1/2 =	11.02185
21	90.45 × 24.67 × 1/2 =	1,115.70075	61	30.19 × 8.41 × 1/2 =	126.94895
22	111.65 × 27.44 × 1/2 =	1,531.83800	62	30.19 × 4.16 × 1/2 =	62.79520
23	41.44 × 10.17 × 1/2 =	210.72240	63	21.82 × 4.30 × 1/2 =	46.91300
24	116.49 × 66.94 × 1/2 =	3,898.92030	64	13.28 × 7.12 × 1/2 =	47.27680
25	54.64 × 24.51 × 1/2 =	669.61320	65	16.90 × 7.39 × 1/2 =	62.44550
26	131.04 × 4.49 × 1/2 =	294.18480	66	14.27 × 1.66 × 1/2 =	11.84410
27	50.68 × 2.80 × 1/2 =	70.95200	67	3.50 × 0.40 × 1/2 =	0.70000
28	50.68 × 2.13 × 1/2 =	53.97420	68	11.64 × 4.55 × 1/2 =	26.48100
29	50.56 × 10.74 × 1/2 =	271.50720	69	26.79 × 0.81 × 1/2 =	10.84995
30	138.25 × 5.31 × 1/2 =	367.05375	70	31.72 × 5.59 × 1/2 =	88.65740
31	54.29 × 18.27 × 1/2 =	495.93915	71	7.85 × 3.61 × 1/2 =	14.16925
32	53.62 × 24.76 × 1/2 =	663.81560	A	36.00 × 2.10 × 1/2 =	37.80000
33	142.84 × 7.18 × 1/2 =	512.79560	B	36.00 × 2.10 × 1/2 =	37.80000
34	54.64 × 3.09 × 1/2 =	84.41880			
35	176.85 × 52.27 × 1/2 =	4,621.97475		公有水面占用-1	7.86
36	145.99 × 8.32 × 1/2 =	607.31840		公有水面占用-2	10.97
37	52.05 × 9.85 × 1/2 =	256.34625			
38	53.62 × 8.05 × 1/2 =	215.82050			
39	158.09 × 11.64 × 1/2 =	920.08380			
40	162.01 × 2.99 × 1/2 =	242.20495			
	合計			36,905.25310	
	敷地面積			36,905.25 m ²	



1階求積図 A3:S=1:200



2階求積図 A3:S=1:200



渡り廊下求積図 A3:S=1:200

階	記号	縦(m)	横(m)	面積(m ²)	室名	面積合計(m ²)
1階	A1	4.5875	4.1325	18.95784375	女子トイレ	23.21979375
	A2	2.7675	1.5400	4.26195		
	B	2.7675	1.8575	5.14063125	シャワー・脱衣室	
	C1	4.5875	3.1850	14.6111875	男子トイレ	
	C2	2.7675	1.8200	5.03685		
	D	2.7675	2.1000	5.81175	多目的トイレ	
1階	E	5.4975	3.6400	20.0109	屋内階段	20.0109
	F1	7.3550	3.6400	26.7722	昇降口・廊下	112.784125
	F2	1.8575	3.6400	6.7613		
	F3	2.8950	27.3750	79.250625		
	G1	7.355	7.280	53.5444	職員室	56.92505
	G2	1.8575	1.820	3.38065		
	H	3.6775	1.820	6.69305	教材室	6.69305
		3.6775	1.820	6.69305	教材室	6.69305
	J	1.8575	3.6775	6.83095625	職員用女子更衣室	6.83095625
	K	1.820	3.640	6.6248	職員用男子更衣室	6.6248
	L	7.3550	5.4975	40.4341125	普通教室	40.4341125
	M	7.3550	5.4600	40.1583	普通教室	40.1583
	N	7.3550	5.4600	40.1583	普通教室	40.1583
O	7.3550	5.4600	40.1583	普通教室	40.1583	
P	7.3550	5.4975	40.4341125	普通教室	40.4341125	
Q	5.4975	1.8575	10.21160625	女子更衣室	10.21160625	

階	記号	縦(m)	横(m)	面積(m ²)	室名	面積合計(m ²)
2階	Q1	4.5875	4.1325	18.95784375	女子トイレ	23.21979375
	Q2	2.7675	1.5400	4.26195		
	R	2.7675	1.8575	5.14063125	シャワー・脱衣室	
	S1	4.5875	3.1850	14.6111875	男子トイレ	
	S2	2.7675	1.8200	5.03685		
T	2.7675	2.1000	5.81175	多目的トイレ	5.81175	
2階	U	5.4975	3.6400	20.0109	屋内階段	20.0109
	V1	1.8575	5.4600	10.14195	廊下	93.070075
	V2	3.6775	1.0000	3.6775		
	V3	2.8950	27.3750	79.250625		
	W	5.4975	1.8200	10.00545	職員更衣室	10.00545
	X	3.6775	3.6400	13.3861	職員休憩室	13.3861
	Y	3.6775	2.6400	9.7086	教育相談室	9.7086
	Z	7.3550	5.4600	40.1583	普通教室	40.1583
	a	7.3550	5.4975	40.4341125	普通教室	40.4341125
	b	7.3550	5.4975	40.4341125	普通教室	40.4341125
	c	7.3550	5.4600	40.1583	普通教室	40.1583
	d	7.3550	5.4600	40.1583	普通教室	40.1583
	e	7.3550	5.4600	40.1583	普通教室	40.1583
f	7.3550	5.4975	40.4341125	普通教室	40.4341125	
1	1.8200	0.3500	0.6370	屋外階段	16.3247875	
2	9.9605	1.5750	15.6877875			

階	記号	縦(m)	横(m)	面積(m ²)	室名	面積合計(m ²)
1階	3	24.6075	1.8950	46.6312125	渡り廊下 (開放型)	66.0976000
	4	1.8950	6.5200	12.3554		
	5	3.7525	1.8950	7.1109875		

軒・ケラバの出は全て1.0m以内とする。

項目	計算式	面積(m ²)
建築面積	(17.605 x 27.375) + (1.820 x 0.350) + (9.9605 x 1.575) + (24.6075 x 1.895) + (1.895 x 6.520) + (3.7525 x 1.895)	564.35(m ²)
床面積	仮校舎1階床面積	17.605 x 27.375 = 481.936875
	仮校舎2階床面積	17.605 x 27.375 = 481.936875
	渡り廊下1階床面積	—
	延べ床面積	481.93 + 481.93 = 963.86

渡り廊下はS61住指発115による「吹きさらしの廊下」にあたる為、床面積の不算入とする。

設計概要				外部仕上表			
工事名称	大和特別支援学校仮設校舎賃貸借			構造	軽量鉄骨造(ブレース構造) 2階建		
工事場所	佐賀市大和町大字久留間3353			基礎	H鋼基礎		
用途地域	市街化調整区域			軒裏・鼻隠し	軒裏: 珪藻土表し(断熱材無し)(標準) 鼻隠し: 無し(標準)		
防火地域	防火地域	準防火地域	指定無し(22条区域)	外壁	外壁パネルt=43(標準) 表面材: 珪藻土表し(標準) 内部: 硬質珪藻土フォーム t=41		
その他	1 F 床			床パネルt=117(標準)	ウレタン敷込		
				大引: H-150*150*7*10 @1,820			
				床下防湿ポリシート t=0.15			
建ぺい率	2 F 床			床パネルt=117(標準)	一般部: 珪藻土引違戸(標準) 珪藻土引違窓(標準)		
				硝子: 強化透明t=4(上部) 透明t=3(上部) 強化型板 t=4(上部) 珪藻土引違t=3(下部)			
				強化透明t=4 透明t=3 型板t=4 強化型板 t=4 外FL3+A5+内強化4			
容積率				外腰	コンクリート打放仕上(補修程度) モルタル刷毛引仕上 無し H鋼基礎あらわし		
敷地面積				桶	軒桶:	珪藻土製角型(前高120) 珪藻土製半丸型 無し	
					縦桶:	珪藻土製カ-SU75 無し	
	面積			仮設教室棟	渡り廊下棟		
	建築面積			498.26 m2	66.09 m2		
	延べ面積			963.86 m2	- m2		
	1階床面積			481.93 m2	- m2	防球ネット 37.5目 珪藻土無結節(ケラカド側)	
	2階床面積			481.93 m2	- m2	落下防止ネット 37.5目 珪藻土無結節(屋外階段)	

内部仕上表

凡例: 印のついたものを適用する。 特記なき室は火気使用無しとする

棟階	室名	床	巾木	外周内壁	間仕切壁	天井	廻縁	天井高さ	備考
仮設校舎	昇降口	長尺塩ビシート t=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	珪藻土 t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ボード t=12.5	化粧石膏ボード(ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	床見切り
	廊下	長尺塩ビシート t=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	珪藻土 t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ボード t=12.5	LGS下地、石膏ボード t=15 (両面)+ビニルクロス張り (防火上主要な間仕切り壁)	化粧石膏ボード(ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000 手洗い、鏡
	普通教室1-5	長尺塩ビシート t=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	珪藻土 t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ボード t=12.5	LGS下地、石膏ボード t=15 (両面)+ビニルクロス張り (防火上主要な間仕切り壁)	化粧石膏ボード(ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000 カーテン
	職員室	長尺塩ビシート t=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	珪藻土 t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ボード t=12.5	LGS下地、石膏ボード t=15 (両面)+ビニルクロス張り (防火上主要な間仕切り壁)	化粧石膏ボード(ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000 受付カウンターH900 カーテン
	教材室1-2	長尺塩ビシート t=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	珪藻土 t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ボード t=12.5	化粧石膏ボード(ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	
	職員用男子更衣室	長尺塩ビシート t=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	珪藻土 t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ボード t=12.5	化粧石膏ボード(ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	
	職員用女子更衣室	長尺塩ビシート t=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	珪藻土 t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ボード t=12.5	化粧石膏ボード(ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	カーテン
	女子更衣室	長尺塩ビシート t=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	珪藻土 t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ボード t=12.5	化粧石膏ボード(ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	カーテン
	男子トイレ	長尺塩ビシート t=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	珪藻土 t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ボード t=12.5	化粧石膏ボード(ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	トイレブース 手洗い、鏡
	女子トイレ	長尺塩ビシート t=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	珪藻土 t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ボード t=12.5	化粧石膏ボード(ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	トイレブース 手洗い、鏡
	多目的トイレ	長尺塩ビシート t=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	珪藻土 t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ボード t=12.5	化粧石膏ボード(ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	
	脱衣室	長尺塩ビシート t=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	珪藻土 t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ボード t=12.5	化粧石膏ボード(ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	シャワーユニット
	洗濯コーナー	長尺塩ビシート t=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	珪藻土 t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ボード t=12.5	化粧石膏ボード(ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	洗濯パン
	階段	長尺塩ビシート t=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	珪藻土 t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ボード t=12.5	化粧石膏ボード(ジブトーン) t=9.5	樹脂製		

注記	共通事項	防火認定番号	GB-R: 石膏ボード t=9.5 ⇒ QM-9828 GB-R: 石膏ボード t=12.5 ⇒ NM-8619 GB-D: 化粧石膏ボード t=9.5 ⇒ QM-9824 GB-D: 化粧石膏ボード t=9.5 ⇒ QM-0524 GB-F: 強化石膏ボード t=12.5 ⇒ NM-8615 GB-F: 強化石膏ボード t=15 ⇒ NM-1498 GB-R: 石膏ボード t=15 ⇒ NM-8619	GB-S: 耐水石膏ボード t=9.5・12.5 ⇒ QM-9826 珪酸カルシウム板 t=6 ⇒ NM-8576 ビニルクロス(防火2級品) ⇒ QM-9393~9439 GB-P: 吸音用あなあき石膏ボード t=9.5 ⇒ QM-9827	断熱材: 2F天井裏グラスウール t=100 24kg品 防火上主要間仕切り壁: 建築基準法施行令第114条第2項に適合する仕様とすること(準耐火構造とし小屋裏・天井裏に達すること)	合板・接着剤のホルムアルデヒド等の放散量等級は、F とする。 クロルピリホスは使用禁止。
----	------	--------	---	--	--	---

凡例	設計変更年月日	工事名	縮尺	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図番
	1回 年 月 日	大和特別支援学校仮設校舎賃貸借		1級建築士登録 第 号	A
	2回 年 月 日	仕上表	設計 年 月 日		
	3回 年 月 日				05

内部仕上表

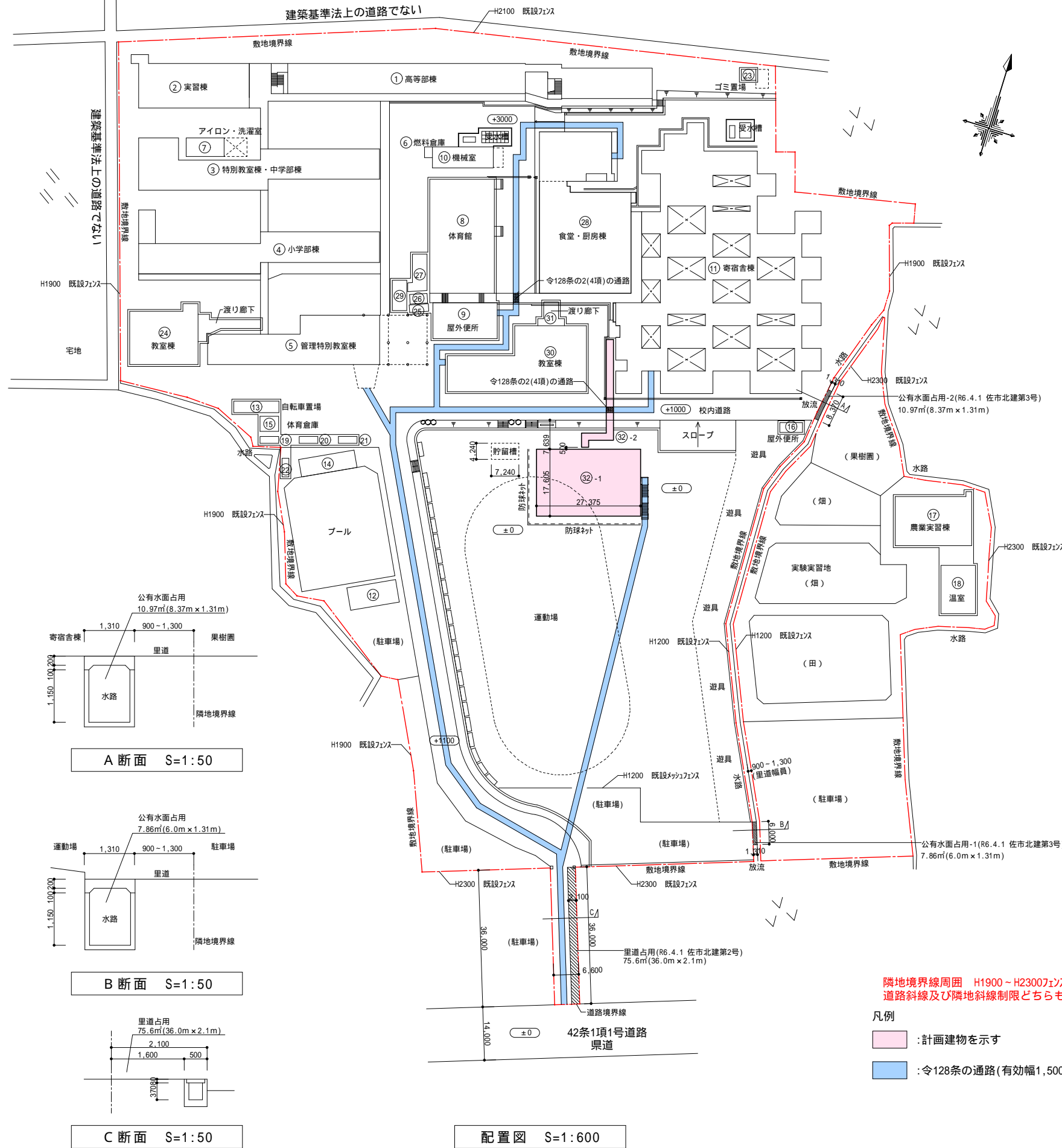
凡例： 印のついたものを適用する。 特記なき室は火気使用無しとする

棟	階	室名	床	巾木	外周内壁	間仕切壁	天井	廻縁	天井高さ	備考	
板 設 校 舎	2 階	廊下	長尺塩ビシートt=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	ｶﾞ-鉄板t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ｶﾞ-ﾄﾞ t=12.5	LGS下地、石膏ｶﾞ-ﾄﾞ t=15 (両面)+ビニルクロス張り (防火上主要な間仕切り壁)	化粧石膏ボード (ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	
		普通教室6~12	長尺塩ビシートt=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	ｸﾞﾗｽｸﾞ-ｶﾞt=50 24kg品 石膏ｶﾞ-ﾄﾞ t=12.5	LGS下地、石膏ｶﾞ-ﾄﾞ t=15 (両面)+ビニルクロス張り (防火上主要な間仕切り壁)	化粧石膏ボード (ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	カーテン	
	職員休憩室	長尺塩ビシートt=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	ｸﾞﾗｽｸﾞ-ｶﾞt=50 24kg品 石膏ｶﾞ-ﾄﾞ t=12.5	LGS下地、石膏ｶﾞ-ﾄﾞ t=15 (両面)+ビニルクロス張り (防火上主要な間仕切り壁)	化粧石膏ボード (ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	カーテン		
	教育相談室	長尺塩ビシートt=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製		ビニルクロス貼 (不燃) 石膏ｶﾞ-ﾄﾞ t=12.5 LGS下地	LGS下地、石膏ｶﾞ-ﾄﾞ t=15 (両面)+ビニルクロス張り (不燃) (防火上主要な間仕切り壁)	(不燃)化粧石膏ボード (ジブトーン) t=9.5 LGS下地	樹脂製	3,000		
	職員更衣室	長尺塩ビシートt=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	ｶﾞ-鉄板t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ｶﾞ-ﾄﾞ t=12.5	化粧石膏ボード (ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	カーテン		
	男子トイレ	長尺塩ビシートt=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	ｶﾞ-鉄板t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ｶﾞ-ﾄﾞ t=12.5	化粧石膏ボード (ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	トイレブース 手洗い、鏡		
	女子トイレ	長尺塩ビシートt=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	ｶﾞ-鉄板t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ｶﾞ-ﾄﾞ t=12.5	化粧石膏ボード (ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	トイレブース 手洗い、鏡		
	多目的トイレ	長尺塩ビシートt=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製		ビニルクロス貼 石膏ｶﾞ-ﾄﾞ t=12.5	化粧石膏ボード (ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000			
	脱衣室	長尺塩ビシートt=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製	ｶﾞ-鉄板t=0.35 (外壁パネル表し)	ビニルクロス貼 石膏ｶﾞ-ﾄﾞ t=12.5	化粧石膏ボード (ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	シャワーユニット		
	洗濯ｺｰﾅｰ	長尺塩ビシートt=2.0 捨貼合板 t=4.0	木製		ビニルクロス貼 石膏ｶﾞ-ﾄﾞ t=12.5	化粧石膏ボード (ジブトーン) t=9.5	樹脂製	3,000	洗濯ﾊﾞﾝ		

注 記	共通事項	防火認定番号	GB-R : 石膏ボードt=9.5 ⇒ QM-9828 GB-R : 石膏ボードt=12.5 ⇒ NM-8619 GB-D : 化粧石膏ボードt=9.5 ⇒ QM-9824 GB-D : 化粧石膏ボードt=9.5 ⇒ QM-0524 GB-F : 強化石膏ボードt=12.5 ⇒ NM-8615 GB-F : 強化石膏ボードt=15 ⇒ NM-1498 GB-R : 石膏ボードt=15 ⇒ NM-8619	GB-S : 耐水石膏ボードt=9.5・12.5 ⇒ QM-9826 珪酸カルシウム板t=6 ⇒ NM-8576 ビニルクロス (防火2級品) ⇒ QM-9393~9439 GB-P : 吸音用あなき石膏ボードt=9.5 ⇒ QM-9827	合板・接着剤のホルムアルデヒド等の放散量等級は、F とする。 クロルピリホスは使用禁止。
	断熱材：2F天井裏グラスウール t=100 24kg品 防火上主要間仕切り壁：建築基準法施行令第114条第2項に適合する仕様とすること (準耐火構造とし小屋裏・天井裏に達すること)				

備品リスト

階数	部屋名	ｸﾞﾗｽｸﾞ-ｶﾞ W1800xH900 R-36AW	掲示板 W3600xH1200 R-C1236	掲示板 W1800xH1200 R-C1218	掲示板 W1200xH900 R-C912	行事白板 W1800xH900 R-36BW	掃除具入 J-30	引違い書庫 WS-3SH	ｲｲｶﾝｸﾞ- WS-2S	流し台 PS-60	調理 PC-45	下足入 J-24	下足入 J-24-12	ｯｯｶ-(2人用) K-2	ｯｯｶ-(15人用) J-15
1F	昇降口		1	1								5	1		
1F	普通教室	2	1	1	3		1	2							2
1F	普通教室	2	1	1	3		1	2							2
1F	普通教室	2	1	1	3		1	2							2
1F	普通教室	2	1	1	3		1	2							2
1F	普通教室	2	1	1	3		1	2							2
1F	職員室					1			3	1	1				
1F	職員用男子更衣室													5	
1F	職員用女子更衣室													5	
1F	女子更衣室														3
2F	普通教室	2	1	1	3		1	2							2
2F	普通教室	2	1	1	3		1	2							2
2F	普通教室	2	1	1	3		1	2							2
2F	普通教室	2	1	1	3		1	2							2
2F	普通教室	2	1	1	3		1	2							2
2F	普通教室	2	1	1	3		1	2							2
2F	普通教室	2	1	1	3		1	2							2
2F	職員更衣室														3
小計		24	13	13	36	1	12	24	3	1	1	5	1	10	30

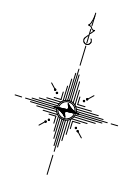


記号	建物名称	建築年	構造	建築面積	延べ面積	最高高さ	耐火	備考
①	高等部棟	昭和52年3月	RC2F	685.50㎡	1,402.51㎡	9.5m	耐火	
②	実習棟	昭和48年3月	RC1F	238.50㎡	238.50㎡	4.3m	耐火	
③	特別教室棟・中学部棟・渡り廊下	昭和49年6月	RC2F	595.93㎡	1,178.50㎡	8.6m	耐火	1棟である
④	小学部棟・渡り廊下	昭和48年3月	RC2F	552.08㎡	1,062.03㎡	8.6m	耐火	建築面積 1,606.59㎡ 延べ面積 3,336.08㎡
⑤	管理特別教室棟	昭和48年3月	RC2F	458.58㎡	1,095.55㎡	9.5m	耐火	
⑥	燃料倉庫	昭和50年3月	CB1F	5.60㎡	5.60㎡	2.5m	耐火	
⑦	アイロン・洗濯室	昭和55年3月	CB1F	50.00㎡	50.00㎡	3.3m	耐火	
⑧	体育館	昭和50年2月	S1F	569.00㎡	557.60㎡	9.7m	その他	
⑨	屋外便所	平成27年3月	W1F	158.91㎡	117.09㎡	5.0m	その他	
⑩	機械室	昭和48年3月	RC1F	88.00㎡	88.00㎡	11.5m	耐火	
⑪	寄宿舎棟	昭和48年4月	RC1F	1,952.35㎡	1,949.35㎡	4.6m	耐火	
⑫	合併処理施設	平成11年3月	RC1F	78.00㎡	78.00㎡	4.5m	耐火	
⑬	自転車置場		S1F	18.00㎡	18.00㎡	1.9m	その他	
⑭	プール付附属棟	昭和60年3月	CB1F	65.25㎡	65.25㎡	3.7m	耐火	
⑮	体育倉庫	平成4年3月	W1F	16.20㎡	16.20㎡	3.4m	その他	
⑯	屋外便所	平成4年3月	W1F	25.60㎡	25.60㎡	3.4m	その他	
⑰	農業実習棟	平成5年4月	S2F	183.60㎡	235.60㎡	6.6m	その他	
⑱	温室	平成5年4月	S1F	60.00㎡	60.00㎡	3.9m	その他	
⑲	屋外倉庫		S1F	8.81㎡	8.81㎡	2.7m	その他	
⑳	屋外倉庫		S1F	8.81㎡	8.81㎡	2.7m	その他	
㉑	屋外倉庫		S1F	8.81㎡	8.81㎡	2.7m	その他	
㉒	屋外倉庫		S1F	8.81㎡	8.81㎡	2.7m	その他	
㉓	ゴミ置場		S1F	13.01㎡	13.01㎡	2.4m	その他	
㉔	教室棟・渡り廊下	平成29年3月	S2F	309.21㎡	565.04㎡	9.215m	その他	
㉕	渡り廊下1		S1F	10.10㎡	10.10㎡	4.24m	その他	開放廊下であるが、開放性がないため床面積に算入。
㉖	渡り廊下2		S1F	11.52㎡	11.52㎡	3.68m	その他	
㉗	渡り廊下3		S1F	41.08㎡	40.12㎡	3.30m	その他	
㉘	食堂・厨房棟	令和2年 月	RC1F (一部S)	943.58㎡	912.10㎡	6.11m	耐火	
㉙	渡り廊下4	令和2年 月	S1F	30.40㎡	30.40㎡	4.85m	その他	開放廊下であるが、開放性がないため床面積に算入。
㉚	教室棟	令和3年 月	RC2F	474.17㎡	891.66㎡	10.543m	その他	
㉛	渡り廊下	令和3年 月	S1F	11.62㎡	-	3.388m	その他	
既存建物合計				① ~ ㉛	7,681.03㎡	10,752.57㎡		
今回申請建物								
㉜-1	仮校舎	令和6年9月	S2F	498.26㎡	963.86㎡	8.109m	その他	
㉜-2	渡り廊下	令和6年9月	S1F	66.09㎡	-	4.297m	その他	開放廊下であるため床面積に算入。
申請建物合計				㉜-1 + ㉜-2	564.35㎡	963.86㎡		
合計					8,245.38㎡	11,716.43㎡		

隣地境界線周囲 H1900~H2300フェンスあり
道路斜線及び隣地斜線制限どちらも適合

- 凡例
- :計画建物を示す
 - :令128条の通路(有効幅1,500以上)を示す

渡り廊下について
主要構造部が不燃材料の開放型の渡り廊下であり、法2条第6号ただし書きの「その他これらに類するもの」として取り扱う。



教室棟(既存)
RC造2階建<その他>
延床面積 891.66㎡

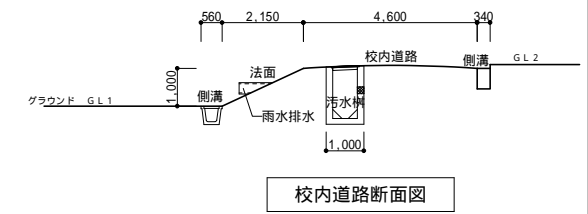
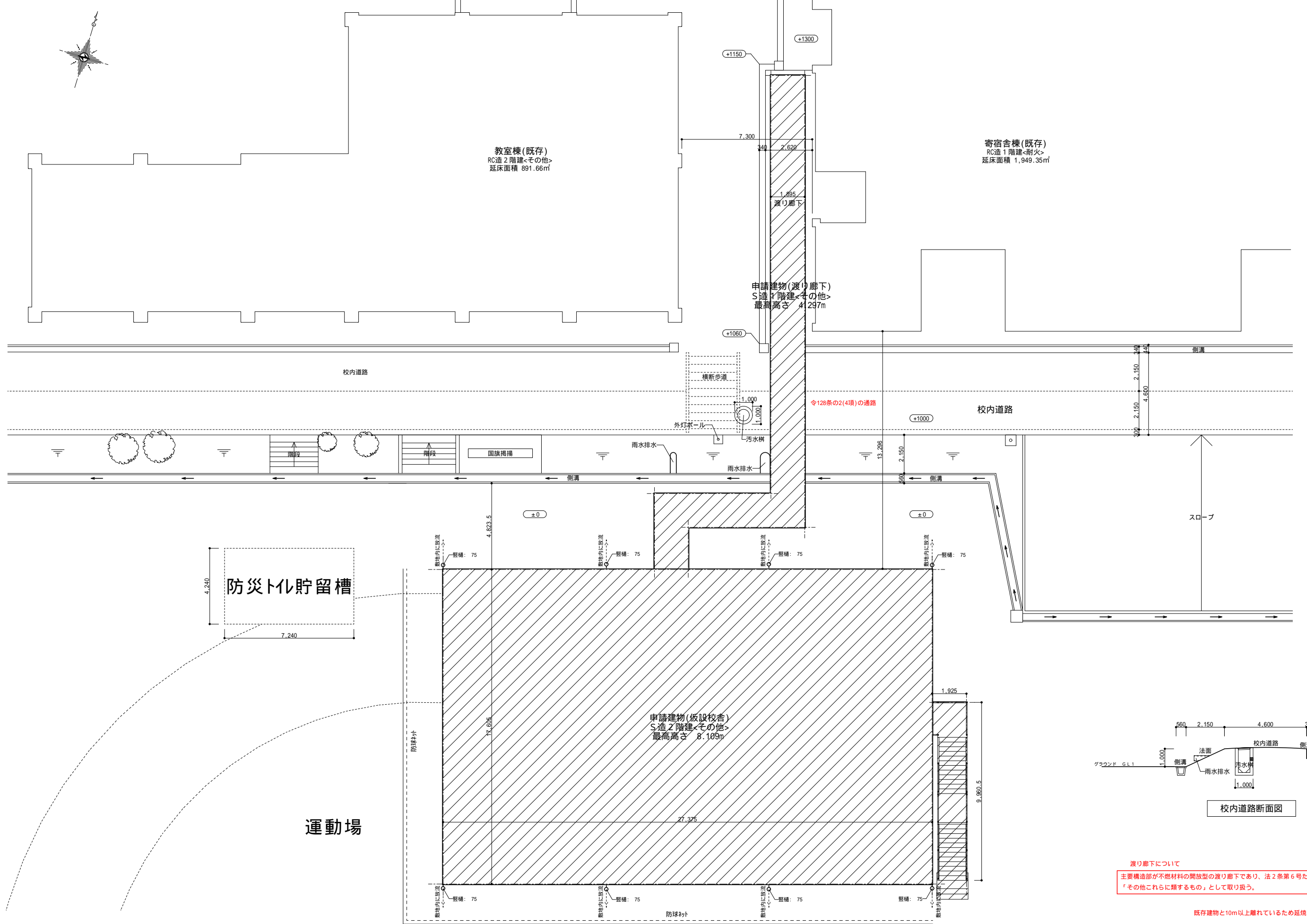
寄宿舍棟(既存)
RC造1階建<耐火>
延床面積 1,949.35㎡

申請建物(渡り廊下)
S造1階建<その他>
最高高さ 4.297m

申請建物(仮設校舎)
S造2階建<その他>
最高高さ 8.109m

防災トイレ貯留槽

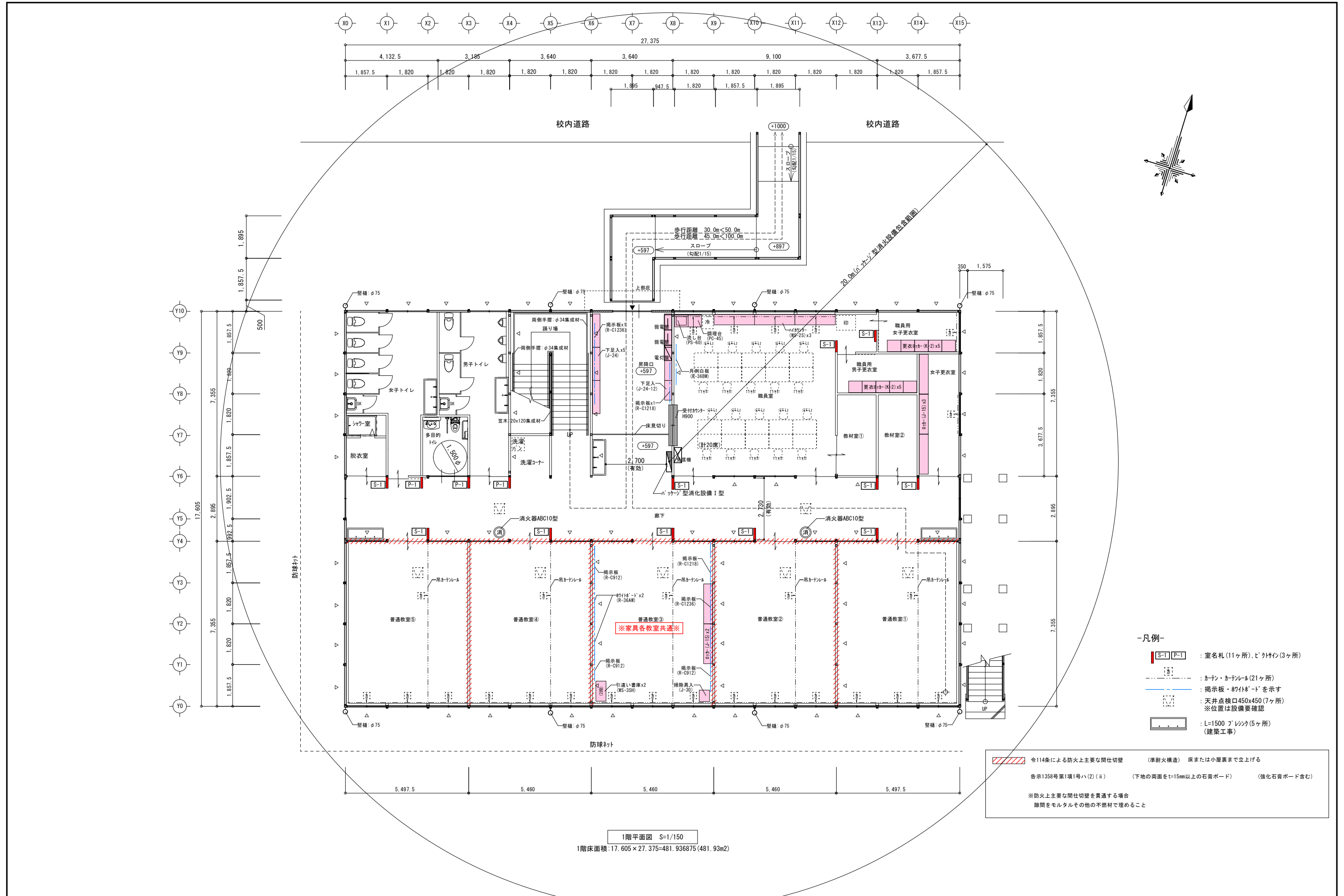
運動場



渡り廊下について
主要構造部が不燃材料の開放型の渡り廊下であり、法2条第6号ただし書きの「その他これらに類するもの」として取り扱う。

既存建物と10m以上離れているため延焼ライン省略。

凡例	設計変更年月日	工事 名称 大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺 A1 1:100 A3 1:200	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課 1級建築士登録 第 号	図 号 A 08		
	1回 年 月 日					部分配置図	設計 年 月 日
	2回 年 月 日						
3回 年 月 日							

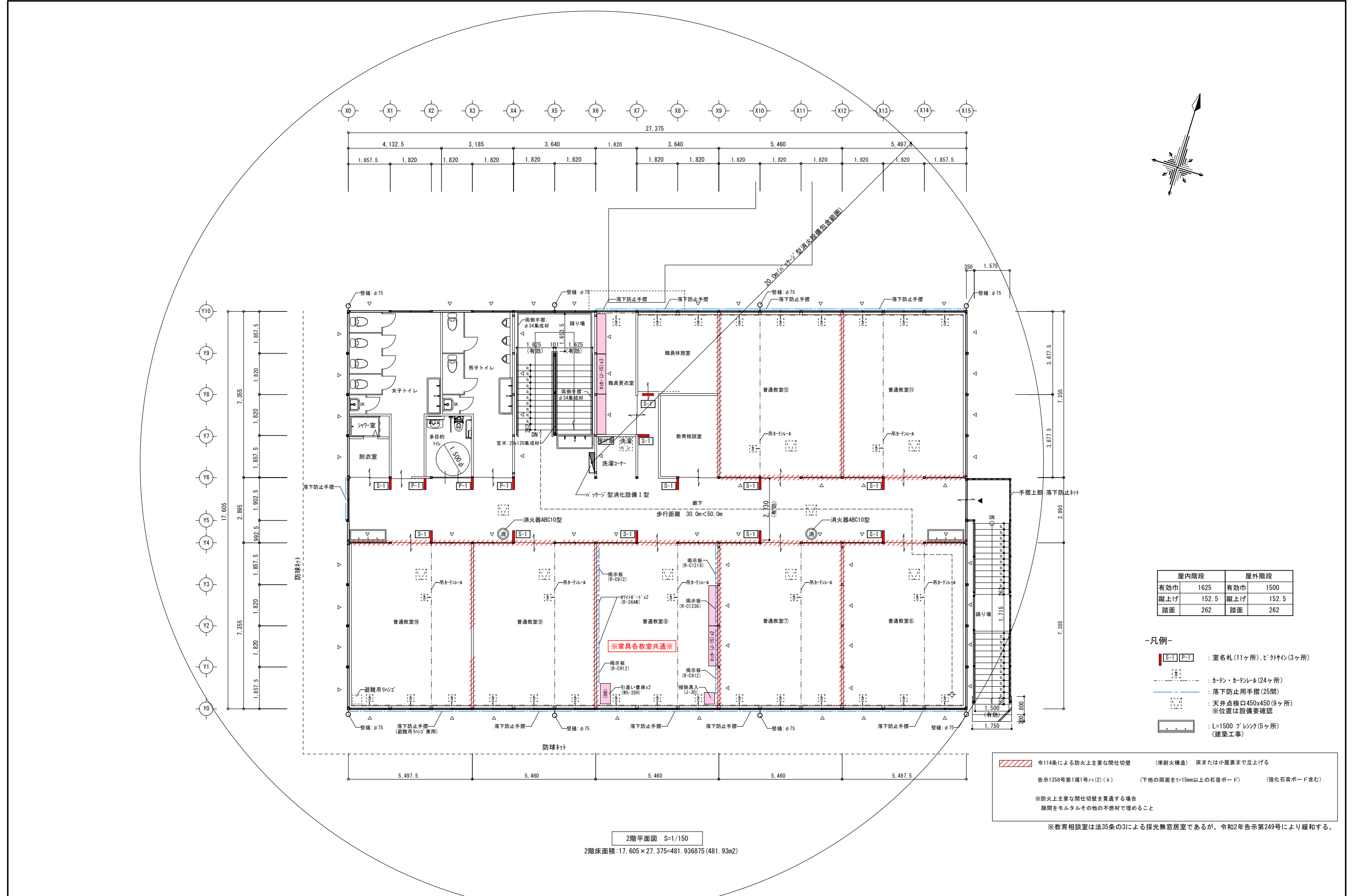


1階平面図 S=1/150
1階床面積: 17,605 × 27,375 = 481,936.875 (481.93m²)

- 凡例-
- S-1 P-1 : 室名札(11ヶ所), ビックサイン(3ヶ所)
 - : カチン・カチンレール(21ヶ所)
 - : 掲示板・初任ボードを示す
 - : 天井点検口450×450(7ヶ所)
※位置は設備要確認
 - L : L=1500 フレック(5ヶ所)
(建築工事)

 令114条による防火上主要な間仕切壁 (準耐火構造) 床または小屋裏まで立て上げる
告示1358号第1項1号ハ(2)(ii) (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード) (強化石膏ボード含む)
※防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

<p>凡例</p>	<p>設計変更年月日</p> <p>1回 年 月 日</p> <p>2回 年 月 日</p> <p>3回 年 月 日</p>	<p>工事名</p> <p>大和特別支援学校仮校舎賃貸借</p>	<p>縮尺</p> <p>-</p>	<p>佐賀県教育委員会事務局 教育総務課</p>	<p>図書号</p> <p>A</p>
		<p>図面名</p> <p>1階平面図</p>	<p>設計年月日</p>	<p>1級建築士登録 第 号</p>	<p>09</p>



屋内階段		屋外階段	
有効巾	1625	有効巾	1500
蹴上げ	152.5	蹴上げ	152.5
踏面	262	踏面	262

- 凡例-
- S-1 P-1 : 室名札(11ヶ所), E'サイン(3ヶ所)
 - : カテン・カテンレール(24ヶ所)
 - : 落下防止用手摺(25間)
 - 天 : 天井点検口450x450(9ヶ所)
※位置は設備要確認
 - L : L=1500 ブレック(5ヶ所)
(建築工事)

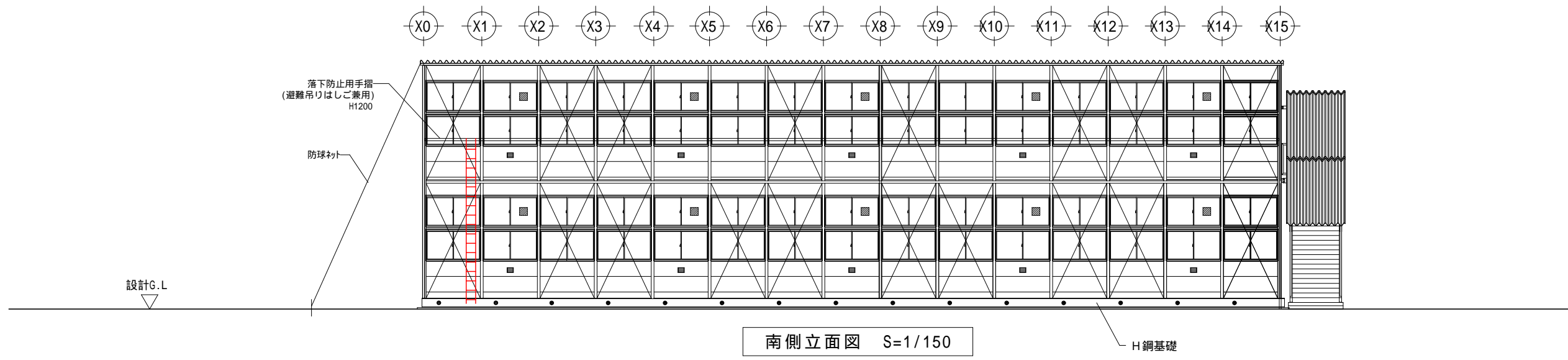
令114条による防火上主要な間仕切壁 (準耐火構造) 床または小屋裏まで立て上げる
告示1358号第1項1号ハ(2)(ii) (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード) (強化石膏ボード含む)

※防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

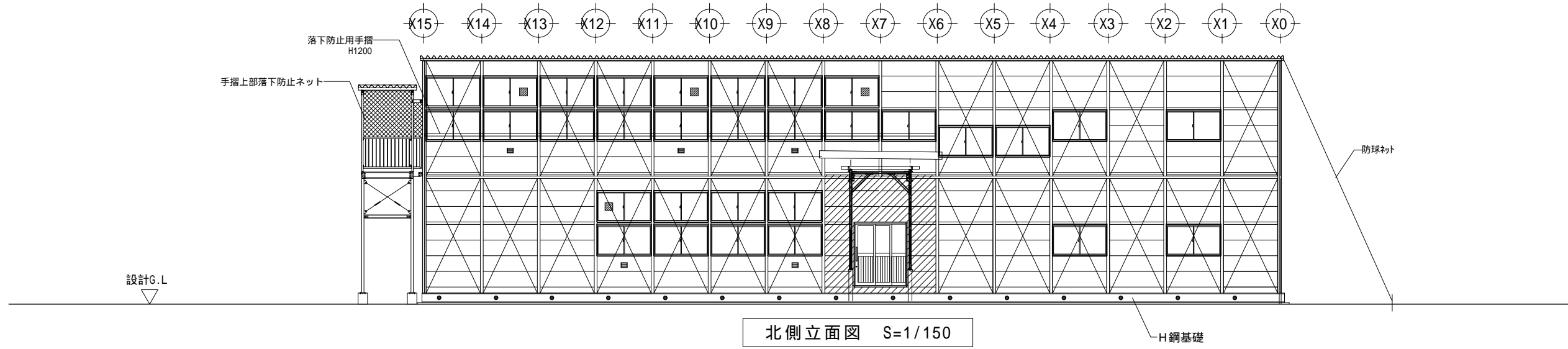
※教育相談室は法35条の3による採光無窓居室であるが、令和2年告示第249号により緩和する。

2階平面図 S=1/150
2階床面積: 17.605 × 27.375 = 481.936875 (481.93m²)

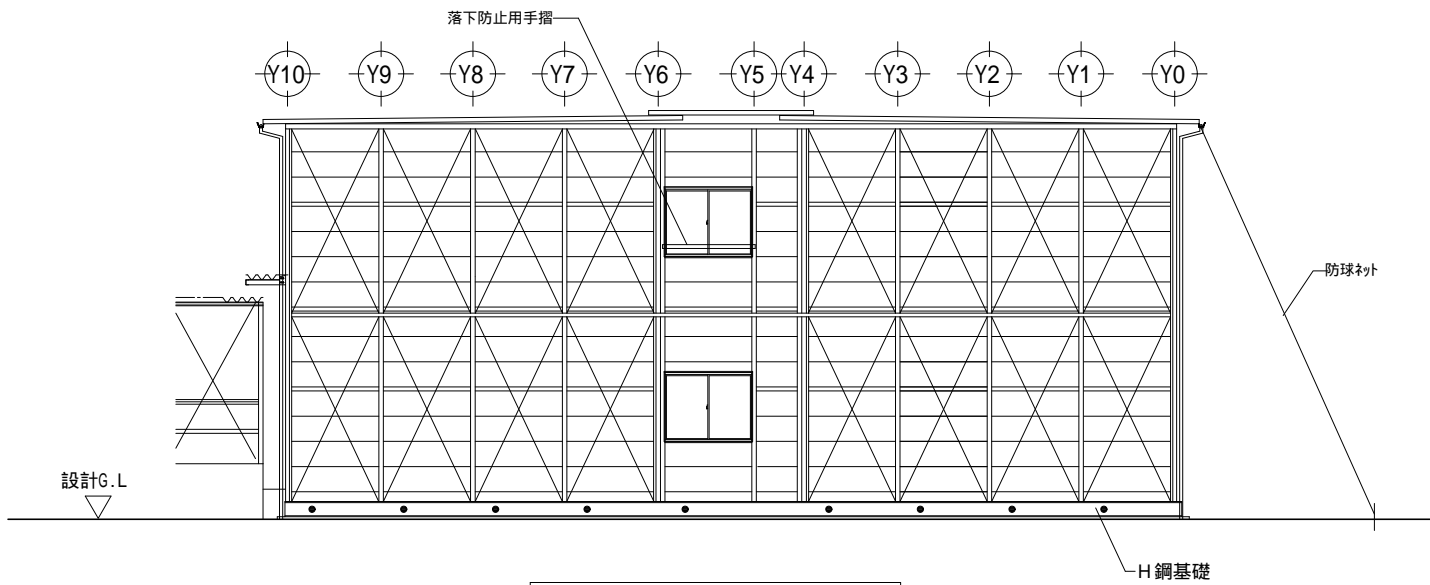
凡例		設計変更年月日 1回 年 月 日 2回 年 月 日 3回 年 月 日	工事名 大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺 -	図番 A	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課 1級建築士登録 第 号	10
			図名 2階平面図	設計年月日			



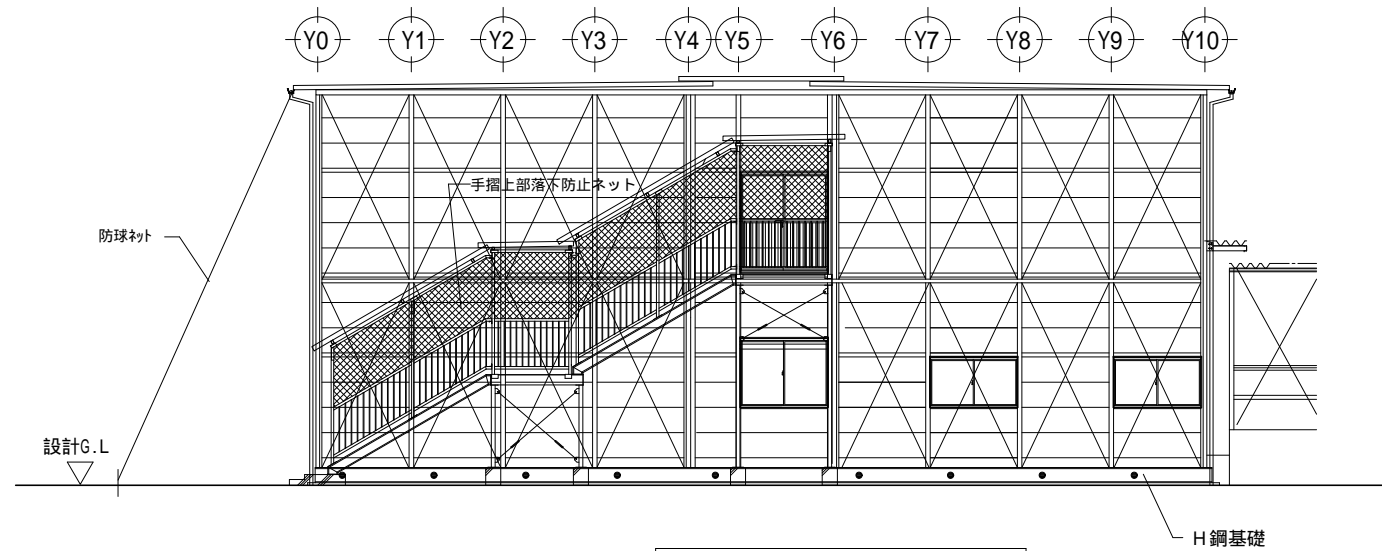
南側立面図 S=1/150



北側立面図 S=1/150



西側立面図 S=1/150

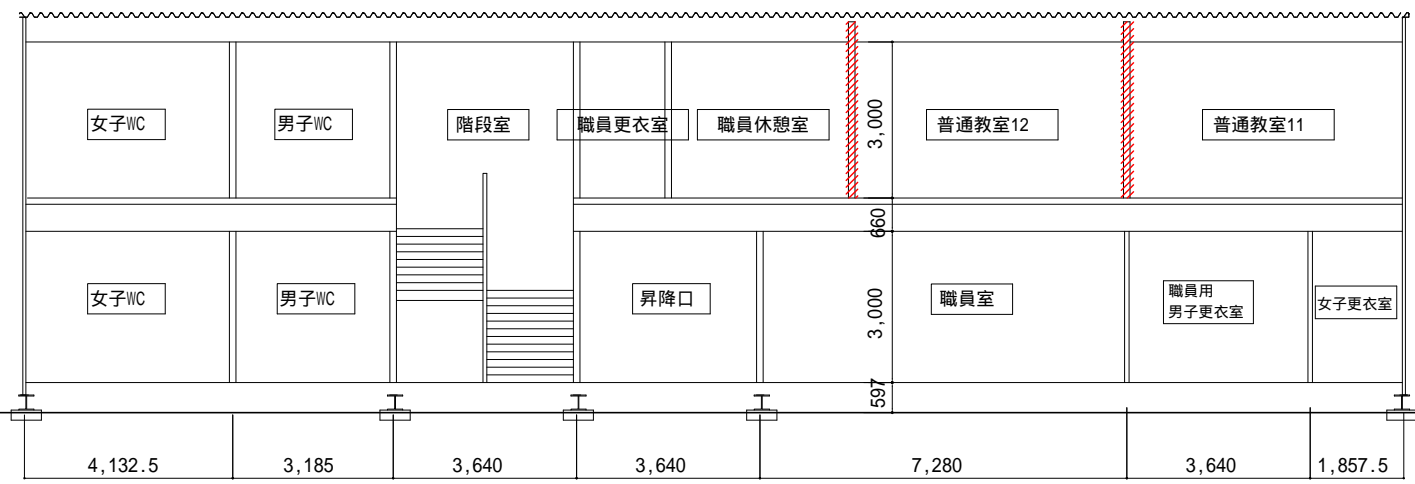
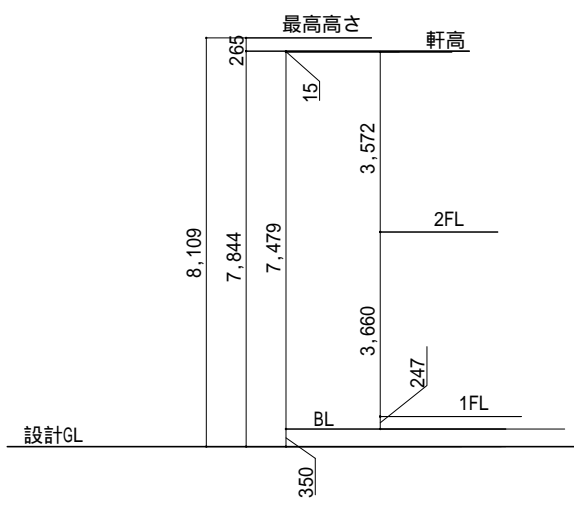


東側立面図 S=1/150

凡例	設計変更年月日	工事名 大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺 A1 1:75 A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図書 A	
	1回 年 月 日					設計 年 月 日
	2回 年 月 日					
3回 年 月 日	1級建築士登録 第 号	11				

X0 X1 X2 X3 X4 X5 X6 X7 X8 X9 X10 X11 X12 X13 X14 X15

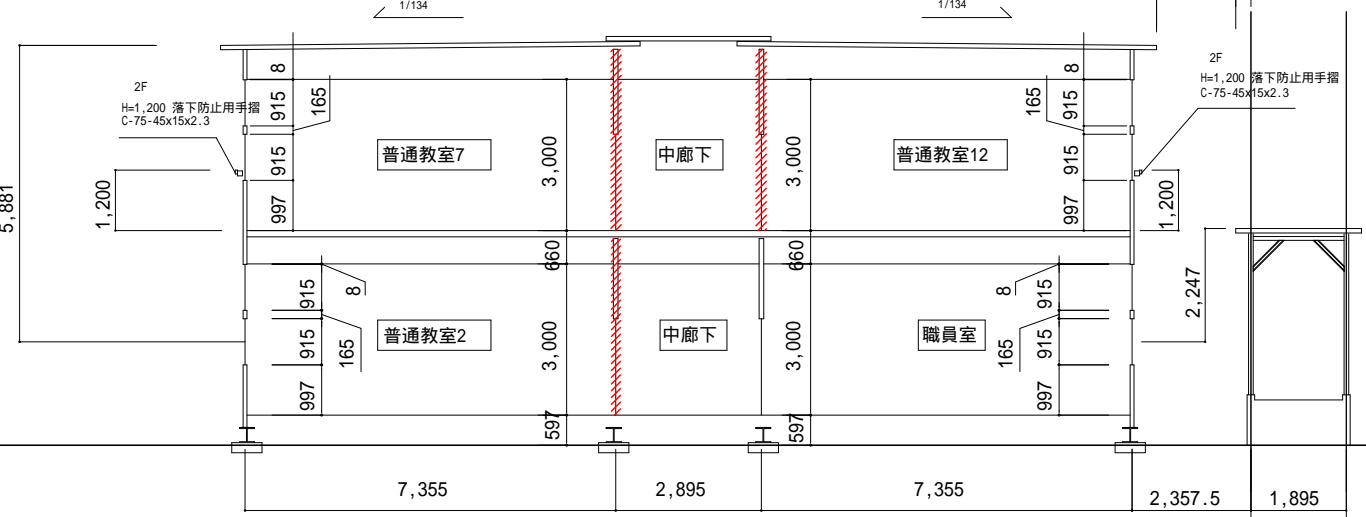
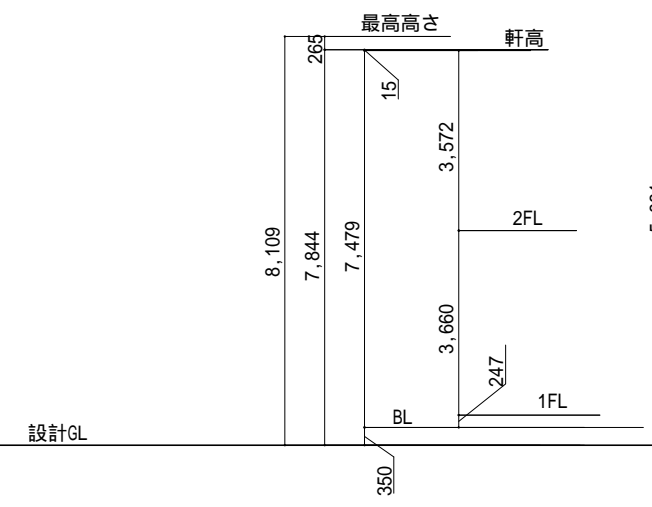
27,375														
4,132.5	3,185	3,640	1,820	3,640	5,460	5,497.5								
1,857.5	1,820	1,820	1,820	1,820	1,820	1,820	1,820	1,820	1,820	1,820	1,820	1,820	1,820	1,857.5



X方向 断面図 S=1/150

Y0 Y1 Y2 Y3 Y4 Y5 Y6 Y7 Y8 Y9 Y10

485	7,355				2,895	7,355				485
1,857.5	1,820	1,820	1,857.5	1,857.5	1,820	1,820	1,857.5	1,857.5		



Y方向 断面図 S=1/150

採光補正係数が3になる条件
 (Y0)通り1階 1/AW(172099)
 用途地域: 無指定
 採光補正係数 = d/h x -
 用途地域住居系、 =10 =1.0
 $d/5,881 \times 10 - 1 = 3$ より $d = 2,353$
 軒の出485より $485 + 2353 = 2838$
 柱芯より2838mm

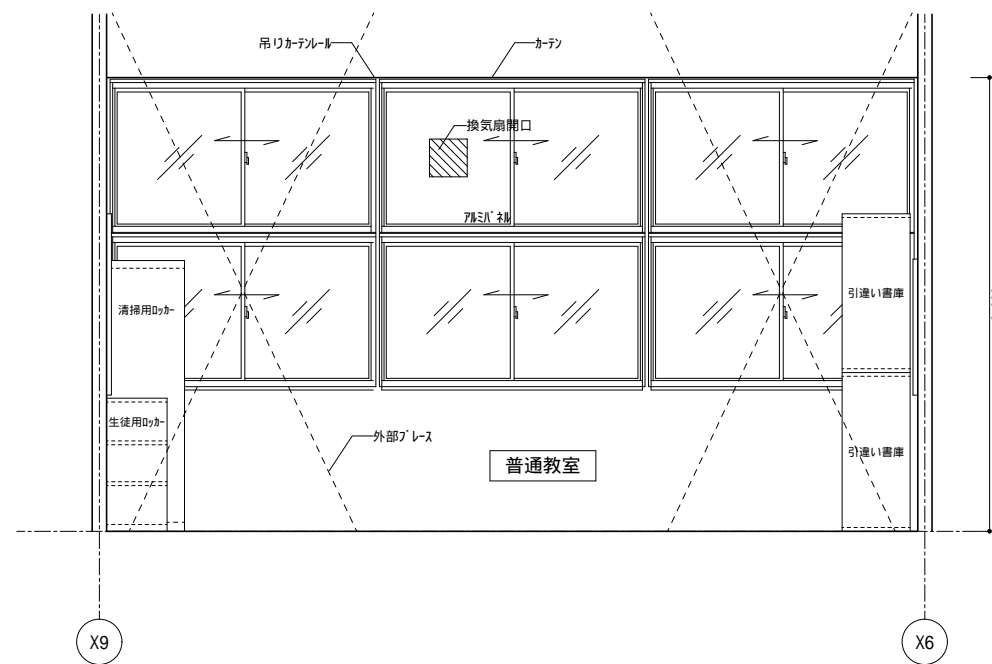
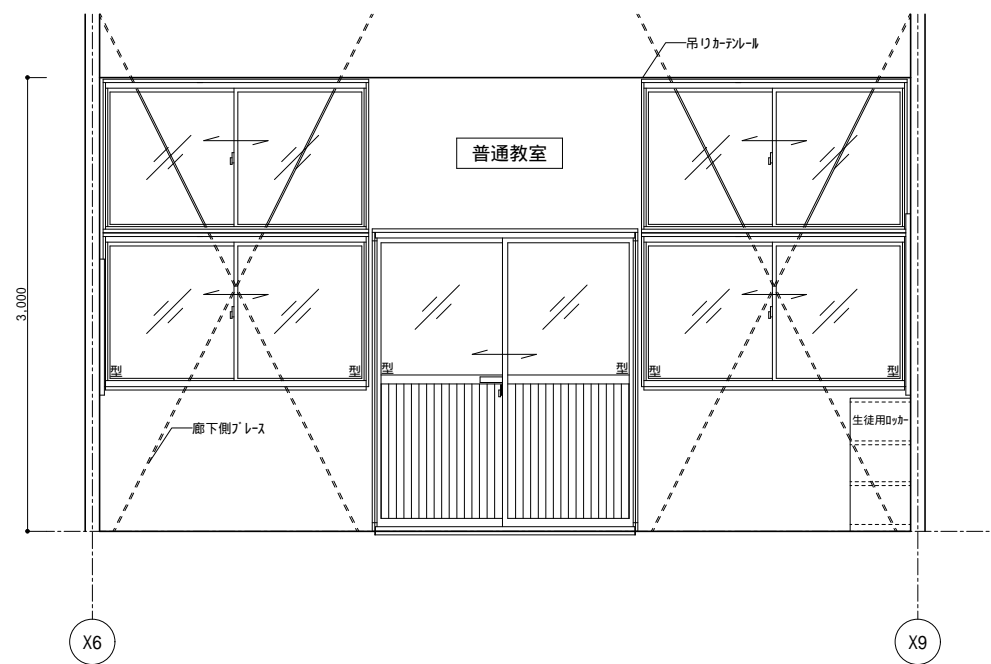
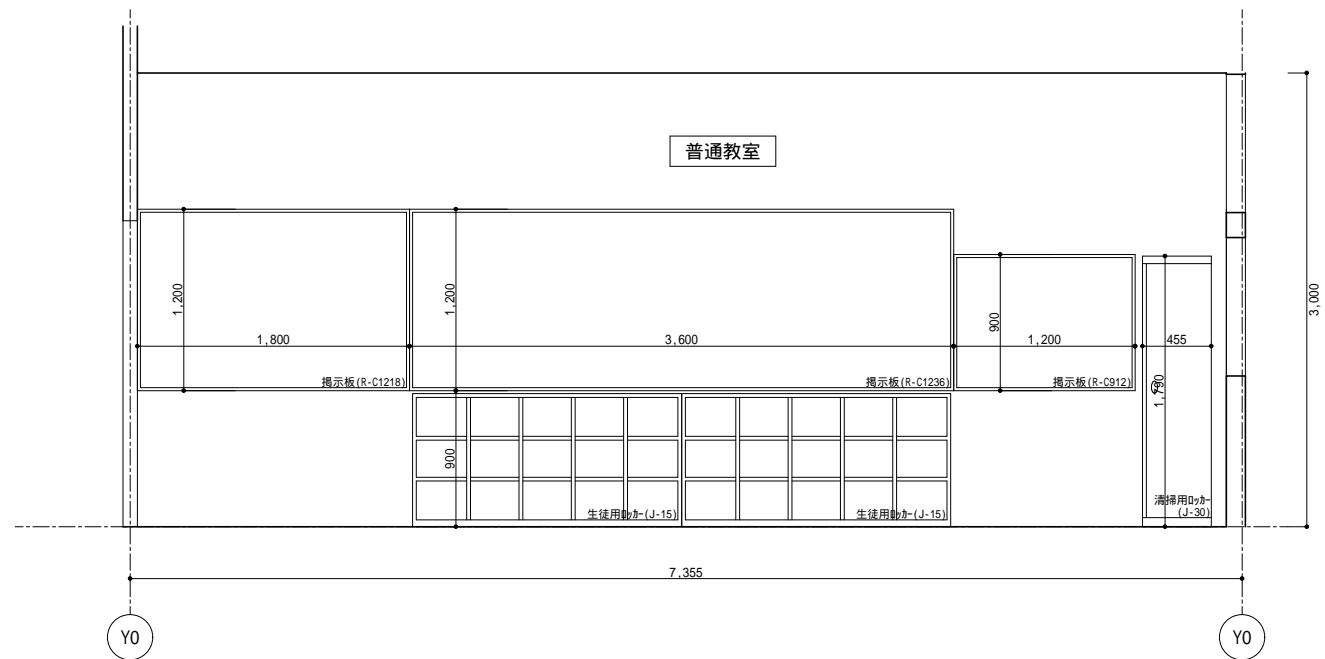
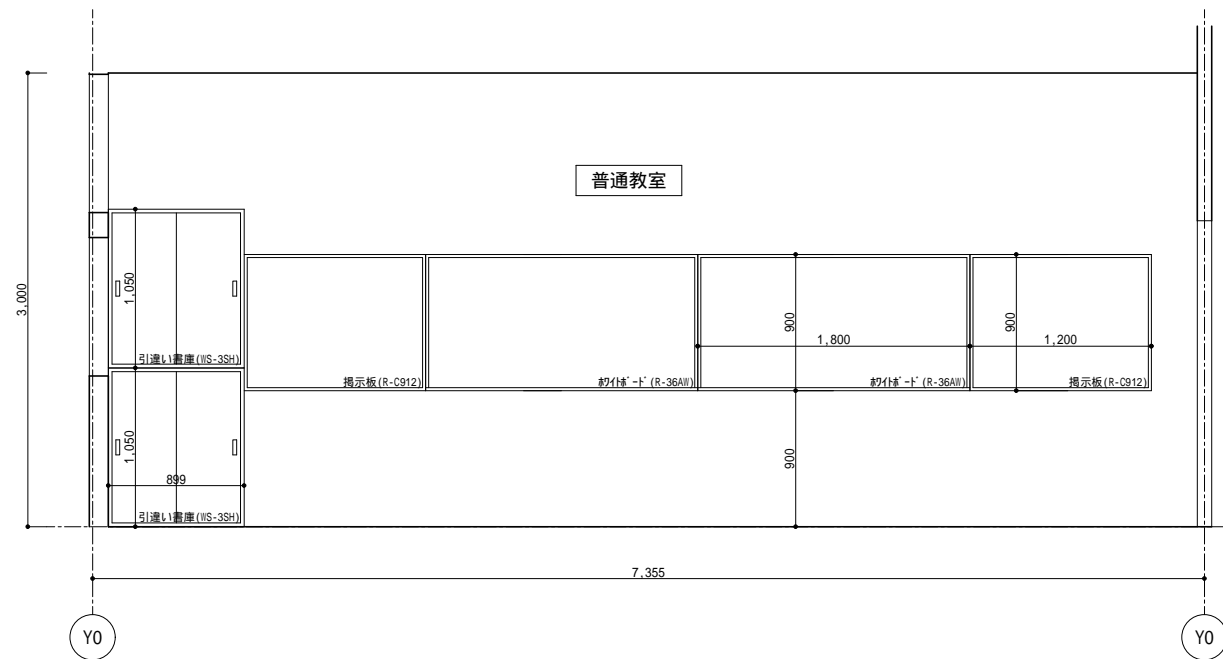
採光補正係数
 (Y10)通り1階 1/AW(172099)
 用途地域: 無指定
 採光補正係数 = d/h x -
 用途地域住居系、 =10 =1.0
 $1,572.5/2,247 \times 10 - 1 = 5.99$ より $d = 3.0$

凡例
 // : 令114条による間仕切壁を示す。
 // : 主要な出入口を示す。
 // : プレースを示す。

凡例	設計変更年月日
	1回 年 月 日
	2回 年 月 日
	3回 年 月 日

工事名	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺	A1 1:75 A3 1:150
図面名	断面図	設計年月日	

佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図番	A
1級建築士登録 第 号		
		12



参考

凡例		設計変更年月日	工事名	縮尺	図面名	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図書号
		1回 年 月 日	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	A1 1:25	普通教室廻り展開図【参考】	1級建築士登録 第 号	A
		2回 年 月 日		A3 1:50			
		3回 年 月 日		設計 年 月 日			
							13

法規チェック 数値は必要面積のみ小数点第3位を四捨五入とし、その他は全て小数点第3位を切り捨てとした

外部窓(AW/1)172099 (1F/CH=3000)	外部窓(AW/2)172099換気扇 (1F/CH=3000)	外部窓(AW/3)172129 (1F/CH=3000)	外部建具(AD/2)3本引戸 (1F/CH=3000)	外部建具(AD/1)172197 (2F/CH=3000)
<p>L: 1.696*0.915*2段=3.10 V: 0.82*0.915*2段=1.50 S: 0.82*0.792=0.64 消防: 0.82*0.915*1段=0.75</p>	<p>L: 1.696*0.915+ 0.82*0.915=2.30 V: 0.82*0.915*1段=0.75 消防: 0.82*0.915*1段=0.75</p>	<p>消防: 0.82*1.290=1.05</p>	<p>消防: 0.905*1.900=1.71</p>	<p>消防: 0.82*1.912=1.56</p>

外部窓(AW/1)172099 (2F/CH=3000)	外部窓(AW/2)172099換気扇 (2F/CH=3000)	外部窓(AW/3)172129 (2F/CH=3000)	AW/1・2・4 プレース重なり 1F・2F	AW/1 プレース重なり 2F
<p>L: 1.696*0.915*2段=3.10 V: 0.82*0.915*2段=1.50 S: 0.82*0.792=0.64 消防: 0.82*0.712*1段=0.58</p>	<p>L: 1.696*0.915+ 0.82*0.915=2.30 V: 0.82*0.915*1段=0.75 消防: 0.82*0.712*1段=0.58</p>	<p>消防: 0.82*1.20 = 0.98</p>	<p>消防: 0.50*0.91=0.45</p>	<p>消防: 0.50*0.70=0.35</p>

	検討部分	必要開口面積	計画開口面積	判定	検討部分	必要開口面積	計画開口面積	判定
消防法による無窓階の検討	(1F)	481.93 x 1/30 = 16.06	強化ガラス5mm以下 AD/2x1 + AW/2(両面)x10 + AW/3(両面)x4 + AW/1・2・4(ブレース重なり)x10 = 1.71x1 + 0.75x(2)x10 + 1.05x(2)x2 + 0.45x10 = 17.91	OK 有窓階	(2F)	481.93 x 1/30 = 16.06	強化ガラス5mm以下 AD/1x1 + AW/1・2x16 + AW/3(両面)x1 = + AW/1・2・4(ブレース重なり)x14 = 1.56x1 + 0.58x16 + 0.98x(2)x2 + 0.35x14 = 18.56	OK 有窓階

法規チェック 数値は必要面積のみ小数点第3位を四捨五入とし、その他は全て小数点第3位を切り捨てとした

階数	室名	床面積	採光面積 (特別支援学校教室 A/5 その他A/20) 採光係数は(1)で計算			換気面積 (A/20)			排煙面積 (A/50) 令126条の2 1項二号より免除		
			必要面積	計画面積 (内は補正係数)	判定	必要面積	計画面積	判定	必要面積	計画面積	判定
1階	職員室	56.92 m2	56.92 * 1/20 = 2.85	AW/1*(1) * 3 + AW/2*(1) * 1 = 3.10*(1) * 3 + 2.30*(1) * 1 = 11.60	OK	56.92 * 1/20 = 2.85	AW/1 * 3 + AW/2 * 1 = 1.50 * 3 + 0.75 * 1 = 5.25	OK	56.92 * 1/50 = 1.14	令128条の3の2 50m2超無窓居室の検討 AW/1 * 3 = 0.64 * 3 = 1.92	OK 内装制限 のない建物
	普通教室	40.43 m2	40.43 * 1/5 = 8.09	AW/1*(1) * 2 + AW/2*(1) * 1 = 3.10*(1) * 2 + 2.30*(1) * 1 = 8.50	OK	40.43 * 1/20 = 2.02	AW/1 * 2 + AW/2 * 1 = 1.50 * 2 + 0.75 * 1 = 3.75	OK			
	普通教室	40.15 m2	40.15 * 1/5 = 8.03	AW/1*(1) * 2 + AW/2*(1) * 1 = 3.10*(1) * 2 + 2.30*(1) * 1 = 8.50	OK	40.15 * 1/20 = 2.01	AW/1 * 2 + AW/2 * 1 = 1.50 * 2 + 0.75 * 1 = 3.75	OK			
	普通教室	40.15 m2	40.15 * 1/5 = 8.03	AW/1*(1) * 2 + AW/2*(1) * 1 = 3.10*(1) * 2 + 2.30*(1) * 1 = 8.50	OK	40.15 * 1/20 = 2.01	AW/1 * 2 + AW/2 * 1 = 1.50 * 2 + 0.75 * 1 = 3.75	OK			
	普通教室	40.15 m2	40.15 * 1/5 = 8.03	AW/1*(1) * 2 + AW/2*(1) * 1 = 3.10*(1) * 2 + 2.30*(1) * 1 = 8.50	OK	40.15 * 1/20 = 2.01	AW/1 * 2 + AW/2 * 1 = 1.50 * 2 + 0.75 * 1 = 3.75	OK			
	普通教室	40.43 m2	40.43 * 1/5 = 8.09	AW/1*(1) * 2 + AW/2*(1) * 1 = 3.10*(1) * 2 + 2.30*(1) * 1 = 8.50	OK	40.43 * 1/20 = 2.02	AW/1 * 2 + AW/2 * 1 = 1.50 * 2 + 0.75 * 1 = 3.75	OK			
2階	職員休憩室	13.38 m2	13.38 * 1/20 = 0.67	AW/1*(1) * 1 + AW/2*(1) * 1 = 3.10*(1) * 1 + 2.30*(1) * 1 = 5.40	OK	13.38 * 1/20 = 0.67	AW/1 * 1 + AW/2 * 1 = 1.50 * 1 + 0.75 * 1 = 2.25	OK			
	教育相談室	9.70 m2	9.70 * 1/20 = 0.49	該当建具なし 非常用照明設置	NG	9.70 * 1/20 = 0.49	該当建具なし 機械換気設備設置	NG			
	普通教室	40.43 m2	40.43 * 1/5 = 8.09	AW/1*(1) * 2 + AW/2*(1) * 1 = 3.10*(1) * 2 + 2.30*(1) * 1 = 8.50	OK	40.43 * 1/20 = 2.02	AW/1 * 2 + AW/2 * 1 = 1.50 * 2 + 0.75 * 1 = 3.75	OK			
	普通教室	40.15 m2	40.15 * 1/5 = 8.03	AW/1*(1) * 2 + AW/2*(1) * 1 = 3.10*(1) * 2 + 2.30*(1) * 1 = 8.50	OK	40.15 * 1/20 = 2.01	AW/1 * 2 + AW/2 * 1 = 1.50 * 2 + 0.75 * 1 = 3.75	OK			
	普通教室	40.15 m2	40.15 * 1/5 = 8.03	AW/1*(1) * 2 + AW/2*(1) * 1 = 3.10*(1) * 2 + 2.30*(1) * 1 = 8.50	OK	40.15 * 1/20 = 2.01	AW/1 * 2 + AW/2 * 1 = 1.50 * 2 + 0.75 * 1 = 3.75	OK			
	普通教室	40.15 m2	40.15 * 1/5 = 8.03	AW/1*(1) * 2 + AW/2*(1) * 1 = 3.10*(1) * 2 + 2.30*(1) * 1 = 8.50	OK	40.15 * 1/20 = 2.01	AW/1 * 2 + AW/2 * 1 = 1.50 * 2 + 0.75 * 1 = 3.75	OK			
	普通教室	40.43 m2	40.43 * 1/5 = 8.09	AW/1*(1) * 2 + AW/2*(1) * 1 = 3.10*(1) * 2 + 2.30*(1) * 1 = 8.50	OK	40.43 * 1/20 = 2.02	AW/1 * 2 + AW/2 * 1 = 1.50 * 2 + 0.75 * 1 = 3.75	OK			
	普通教室	40.43 m2	40.43 * 1/5 = 8.09	AW/1*(1) * 2 + AW/2*(1) * 1 = 3.10*(1) * 2 + 2.30*(1) * 1 = 8.50	OK	40.43 * 1/20 = 2.02	AW/1 * 2 + AW/2 * 1 = 1.50 * 2 + 0.75 * 1 = 3.75	OK			
	普通教室	40.15 m2	40.15 * 1/5 = 8.03	AW/1*(1) * 2 + AW/2*(1) * 1 = 3.10*(1) * 2 + 2.30*(1) * 1 = 8.50	OK	40.15 * 1/20 = 2.01	AW/1 * 2 + AW/2 * 1 = 1.50 * 2 + 0.75 * 1 = 3.75	OK			

凡例

設計変更年月日

1回	年	月	日
2回	年	月	日
3回	年	月	日

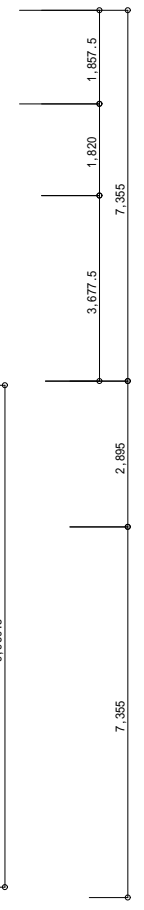
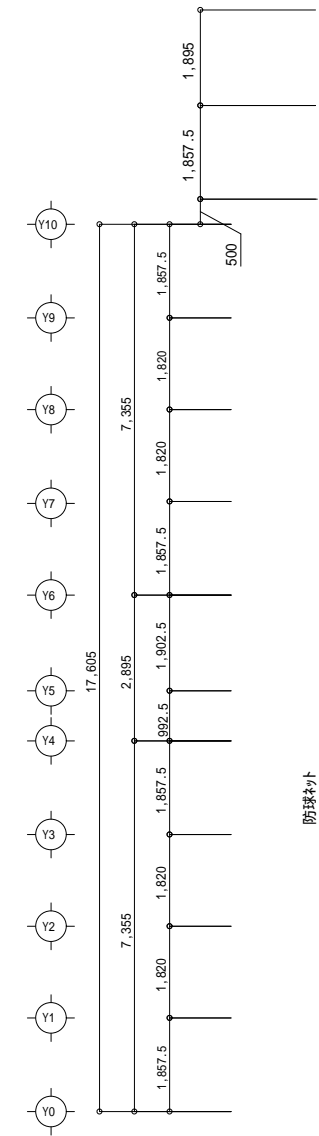
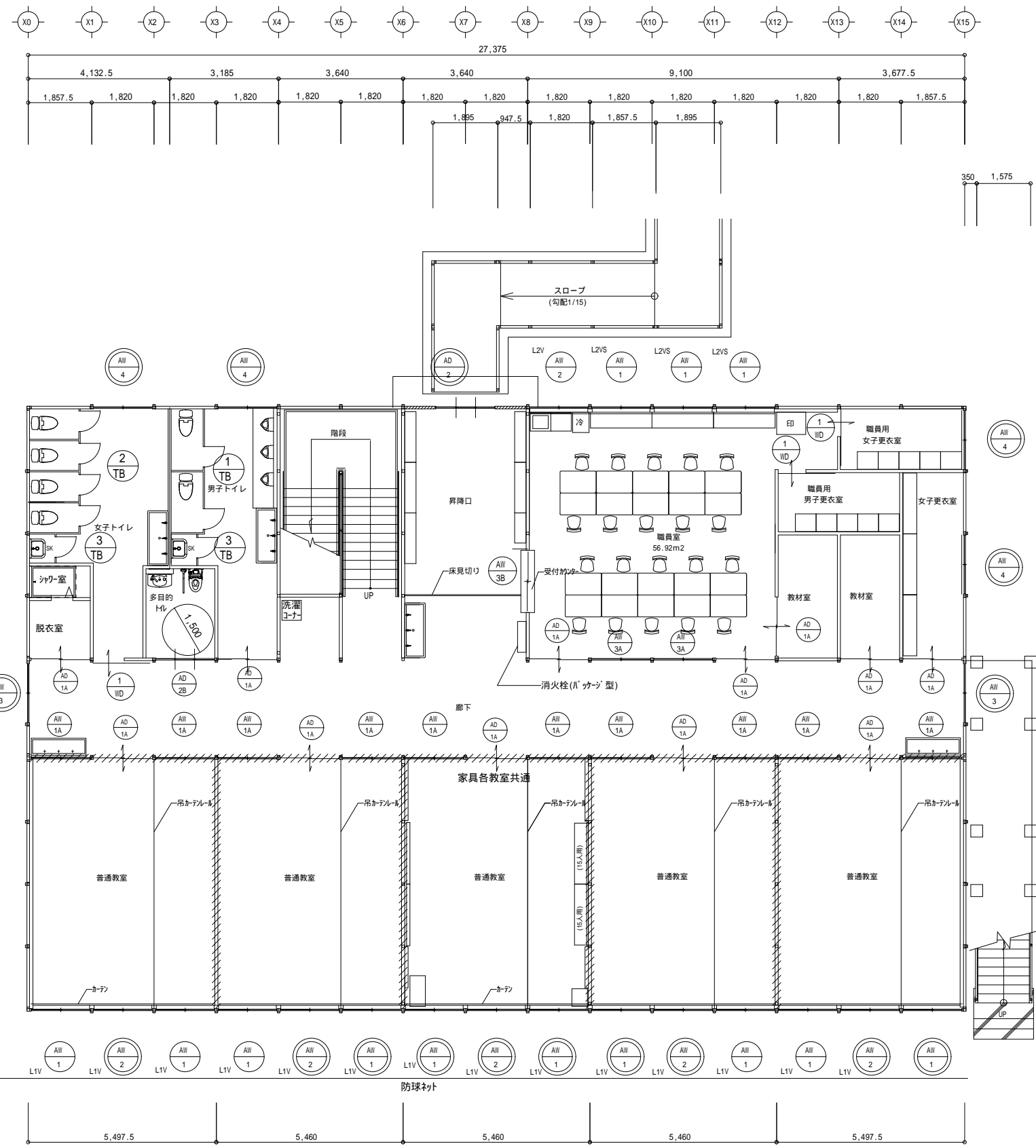
工事名
図面名

大和特別支援学校仮校舎賃貸借
法チェック図2

縮尺 A1 1:50
A3 1:100
設計年月日

佐賀県教育委員会事務局
教育総務課
1級建築士登録 第 号

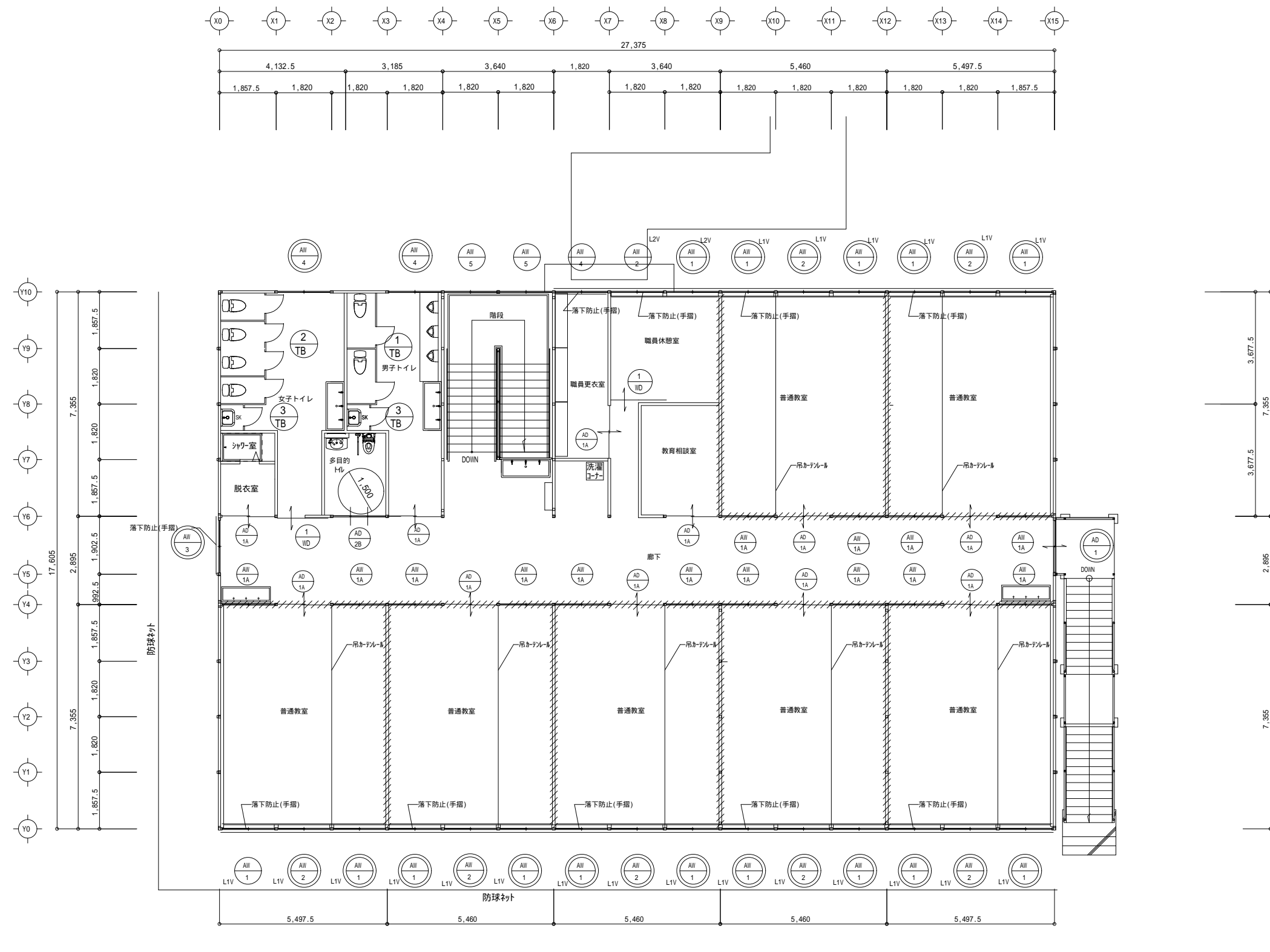
図番 A
15



- 凡例 -
- : 消防開口を示す
 - L1 : 法28条1項による開口部
 - L2 : 令116条の2第1項一号による開口部
 - V : 法28条2項による開口部
 - S : 令128条の3の2による開口部 (内装制限の確認)
- 7A引違窓 2段 (通常タイプ)
w1,696*h915*2
外FL3+A5+内強化4:総厚12
 - 7A引違窓 2段 (換気扇取付タイプ)
w1,696*h915*2
外FL3+A5+内強化4:総厚12 (一方7A引違)
 - 7A引違窓
w1,696*h1290
透明学校用強化ガラスt=4
 - 7A引違窓
w1,696*h915
型板学校用強化ガラスt=4
 - 7A引違戸
w1,696*h1,912
上部:透明学校用強化ガラスt=4 下部:7A引違
 - 7A引違引込み戸
w1,727*h2,080
上部:透明ガラス t=3 下部:アルミパネル

1階平面図 S=1/150
1階床面積: 17.605 x 27.375=481.936875 (481.93m²)

凡例	設計変更年月日	工事名 大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺 A1 1:75 A3 1:150	図番 A
	1回 年 月 日			
	2回 年 月 日			
	3回 年 月 日	図面名 1階建具配置図	設計年月日	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課 1級建築士登録 第 号



2階平面図 S=1/150
 2階床面積：17.605 × 27.375 = 481.936875 (481.93m²)

- 凡例 -
- : 消防開口を示す
 - L1 : 法28条1項による開口部
 - L2 : 令116条の2第1項一号による開口部
 - V : 法28条2項による開口部
 - S : 令128条の3の2による開口部(内装制限の確認)
- : 7号引違窓 2段 (通常947)
 w1,696×h915×2
 外FL3+A5+内強化4:総厚12
 - : 7号引違窓 2段 (換気扇取付947)
 w1,696×h915×2
 外FL3+A5+内強化4:総厚12(一方7号引違)
 - : 7号引違窓
 w1,696×h1290
 透明学校用強化ガラスt=4
 - : 7号引違窓
 w1,696×h915
 型板学校用強化ガラスt=4
 - : 7号引違窓
 w1,696×h915
 透明学校用強化ガラスt=4
 - : 7号引違戸
 w1,696×h1,912
 上部:透明学校用強化ガラスt=4 下部:7号引違

凡例	設計変更年月日	工事名 大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺 A1 1:75 A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図書号 A			
	1回 年 月 日					図面名 2階建具配置図	設計年月日	1級建築士登録 第 号
	2回 年 月 日							
	3回 年 月 日							

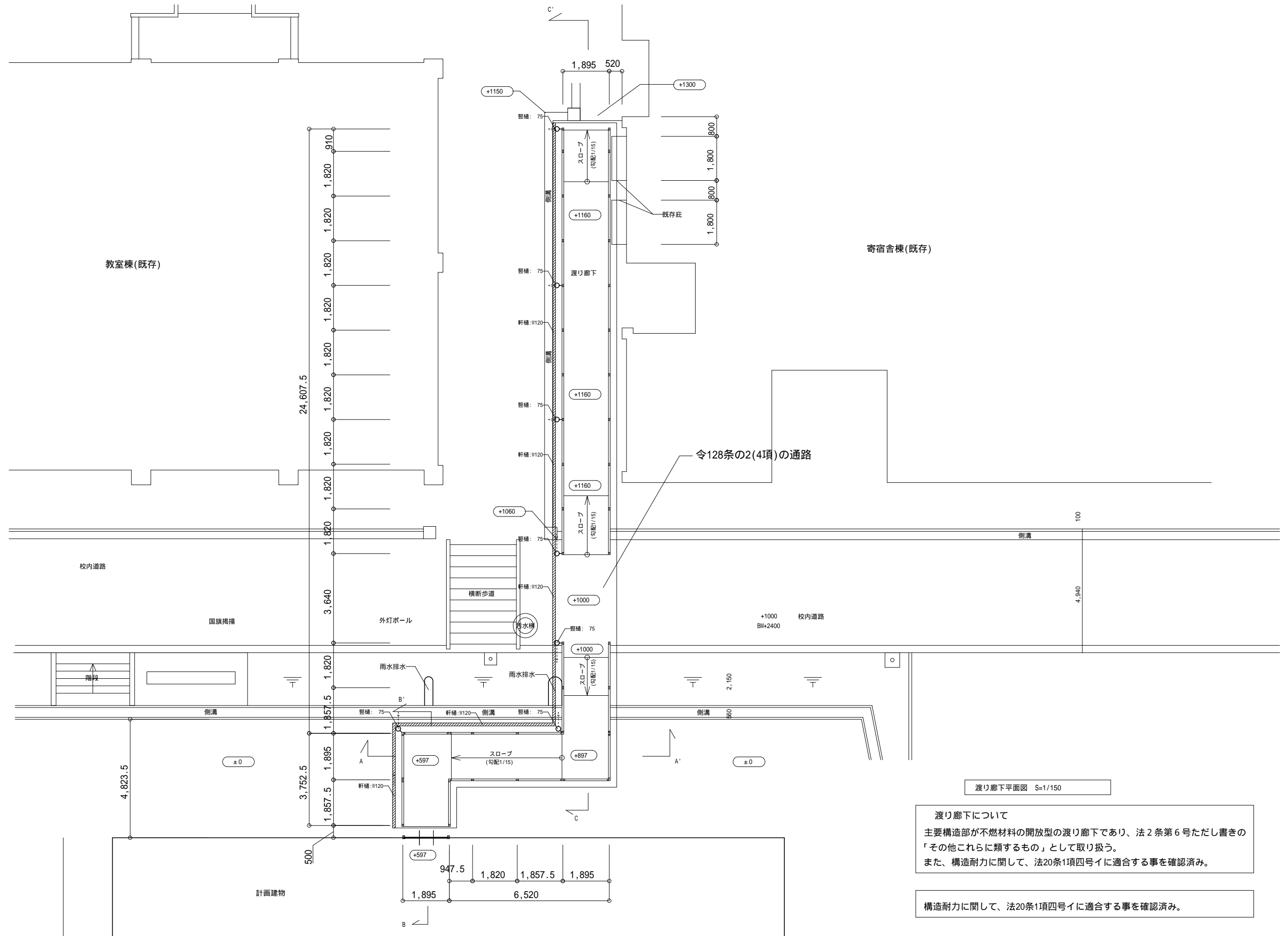
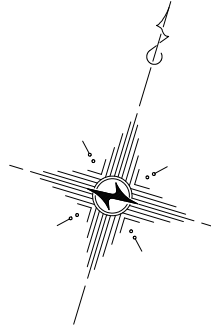
外部建具表

AW 1		AW 2		AW 3		AW 4		AW 5	
アルミ引違窓		アルミ引違窓		アルミ引違窓		アルミ引違窓		アルミ引違窓	
メーカー		メーカー		メーカー		メーカー		メーカー	
サッシ寸法	w1,696*h915 (W1,724*H990)	サッシ寸法	w1,696*h915 (W1,724*H990)	サッシ寸法	w1,696*h915 (W1,724*H990)	サッシ寸法	w1,695*h915 (W1,724*H990)	サッシ寸法	w1,695*h915 (W1,724*H990)
呼称	アルミ引違窓 (ペアガラス)	呼称	アルミ引違窓 (換気扇取付タイプ) (ペアガラス)	呼称	アルミ引違窓 (通常タイプ)	呼称	アルミ引違窓 (通常タイプ)	呼称	アルミ引違窓 (通常タイプ)
ガラス	外FL3 + A5 + 内強化4 : 総厚12	ガラス	(一方アルミ補) 外FL3 + A5 + 内強化4 : 総厚12	ガラス	透明学校用強化ガラスt=4	ガラス	型板学校用強化ガラスt=4	ガラス	透明学校用強化ガラスt=4
金物	外セロ付	金物	外セロ付	金物	外セロ付	金物	外セロ付	金物	外セロ付
その他	網戸:無し	その他	網戸:無し	その他	網戸:無し	その他	網戸:無し	その他	網戸:無し
AD 1		AD 2							
アルミ引違戸 (通常タイプ)		アルミ2枚引込み戸							
メーカー		メーカー		メーカー		メーカー		メーカー	
サッシ寸法	w1,696*h1,912 (W1,724*H1,977)	サッシ寸法		サッシ寸法		サッシ寸法		サッシ寸法	
呼称	アルミ引違戸 172197 通常タイプ	呼称	アルミ2枚引込み戸	呼称		呼称		呼称	
ガラス	上部:透明学校用強化ガラスt=4 下部:アルミ補	ガラス	上部:透明学校用強化ガラスt=4 下部:アルミ補	ガラス		ガラス		ガラス	
金物	すべり出し錠 クレセント	金物	付属金物一式 サムターン	金物		金物		金物	
その他		その他		その他		その他		その他	
凡例		設計変更年月日		工事名		縮尺		佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	
		1回 年 月 日		大和特別支援学校仮校舎賃貸借		A1 1:25		1級建築士登録 第 号	
		2回 年 月 日		外部建具表		A3 1:50			
		3回 年 月 日				設計年月日			
				図面名		図番		A	
								18	

内部建具表

AW 1A		アルミ引違窓	AW 3A		アルミ引違窓	AW 3B		アルミ引違窓
メーカー		メーカー		メーカー		メーカー		メーカー
サッシ寸法	w1,696*h915 (W1,724*H990)	サッシ寸法		サッシ寸法	w1,695*h915 (W1,724*H990)	サッシ寸法		サッシ寸法
呼称	アルミ引違窓(通常タイプ)	呼称		呼称	アルミ引違窓(通常タイプ)	呼称		呼称
ガラス	透明学校用強化ガラスt=4 型板学校用強化ガラスt=4	ガラス		ガラス	型板学校用強化ガラスt=4	ガラス		ガラス
金物	外セット付	金物		金物	外セット付	金物		金物
その他	網戸:無し	その他		その他	網戸:無し	その他		その他
AD 1A		アルミ引違戸 (通常タイプ) 中廊下タイプ	AD 2B		アルミ2枚引込み戸			
メーカー		メーカー		メーカー		メーカー		メーカー
サッシ寸法	w1,696*h1,912 (W1,724*H1,977)	サッシ寸法		サッシ寸法		サッシ寸法		サッシ寸法
呼称	アルミ引違戸 172197 通常タイプ	呼称		呼称		呼称		アルミ2枚引込み戸
ガラス	上部:型板学校用強化ガラスt=4 下部:アルミ複	ガラス		ガラス		ガラス		仕上
金物	すべり出し錠	金物		金物		金物		付属金物一式
その他	網戸:有り・無し	その他		その他		その他		その他

記号	名称	① TB トイレブース		② TB トイレブース										
場所	個数	1階 男子トイレ / 2階 男子トイレ		1階 女子トイレ / 2階 女子トイレ										
形状														
建具金物	表示錠, グレピティヒンジ, 帽子掛, 戸当り		表示錠, グレピティヒンジ, 帽子掛, 戸当り											
仕上	硝子	パネル表面材: ポリエステル化粧板 見込 40		パネル表面材: ポリエステル化粧板 見込 40										
		パネル芯材: ペーパーコア		パネル芯材: ペーパーコア										
備考	巾木: ステンレス製, 笠木: アルミ製		巾木: ステンレス製, 笠木: アルミ製											
記号	名称	③ TB トイレブース(SKブース)		① WD 木製片引き戸										
場所	個数	1階 女子トイレ / 2階 女子トイレ		1階 女子トイレ / 2階 女子トイレ / 2F 教育相談室										
形状														
建具金物	グレピティヒンジ, 戸当り		取手, 戸車											
仕上	硝子	パネル表面材: ポリエステル化粧板 見込 40		ポリ合板										
		パネル芯材: ペーパーコア		型板ガラスt=4.0										
備考	巾木: ステンレス製, 笠木: アルミ製													
凡例	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">設計変更年月日</th> </tr> <tr> <td>1回</td> <td>年 月 日</td> </tr> <tr> <td>2回</td> <td>年 月 日</td> </tr> <tr> <td>3回</td> <td>年 月 日</td> </tr> </table>			設計変更年月日		1回	年 月 日	2回	年 月 日	3回	年 月 日	工事名	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	
設計変更年月日														
1回	年 月 日													
2回	年 月 日													
3回	年 月 日													
			縮尺	A1 1:25 A3 1:50										
			図面名	内部 建具表 2										
			設計年月日											
			佐賀県教育委員会事務局 教育総務課		図書号 A									
			1級建築士登録 第 号		20									

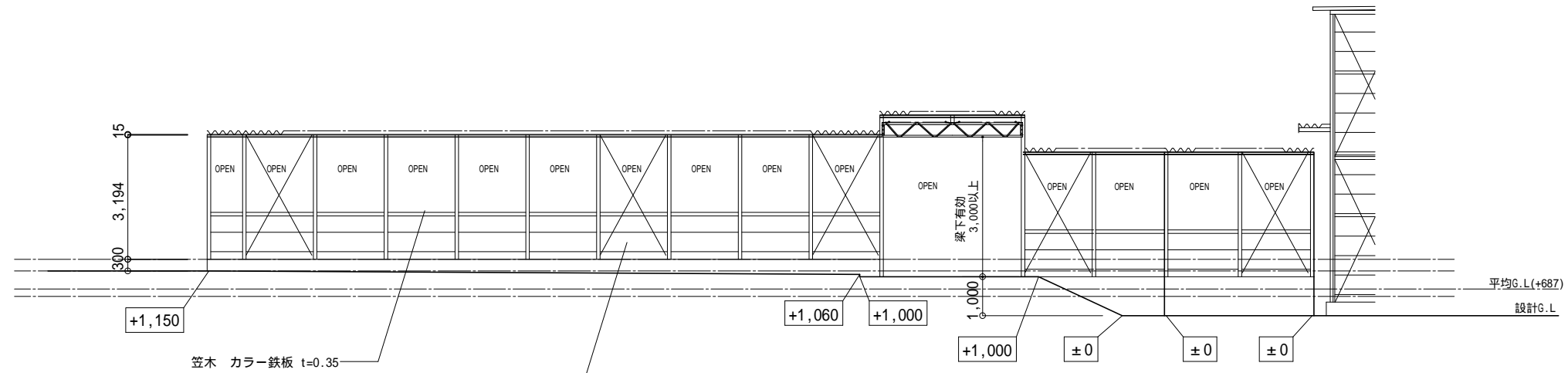


渡り廊下平面図 S=1/150

渡り廊下について
 主要構造部が不燃材料の開放型の渡り廊下であり、法2条第6号ただし書きの「その他これらに類するもの」として取り扱う。
 また、構造耐力に関して、法20条1項四号イに適合する事を確認済み。

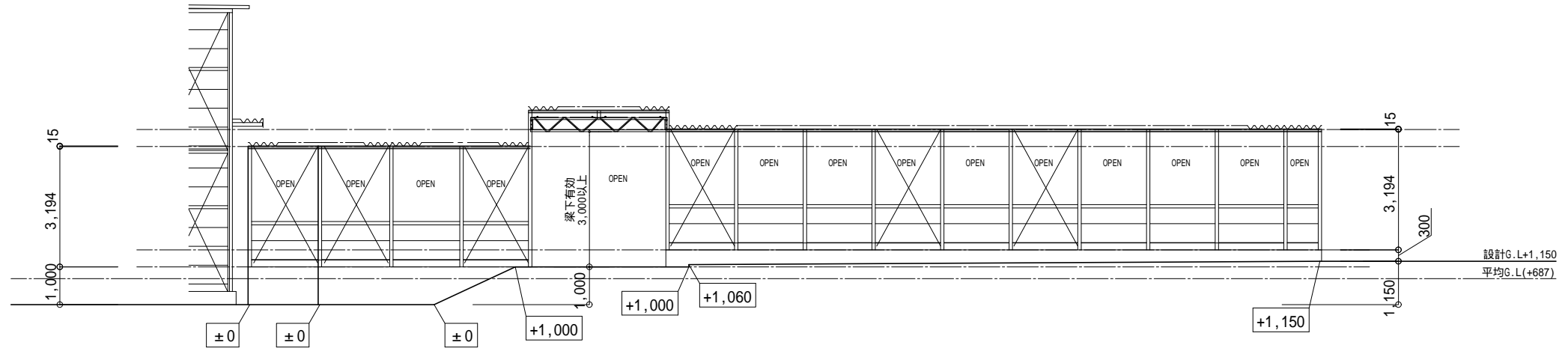
構造耐力に関して、法20条1項四号イに適合する事を確認済み。

凡例	設計変更年月日	工事名 大和特別支援学校仮校舎貸借	縮尺 A1 1:75 A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図番 A		
	1回 年 月 日					設計年月日	1級建築士登録 第 号
	2回 年 月 日						
3回 年 月 日	21						

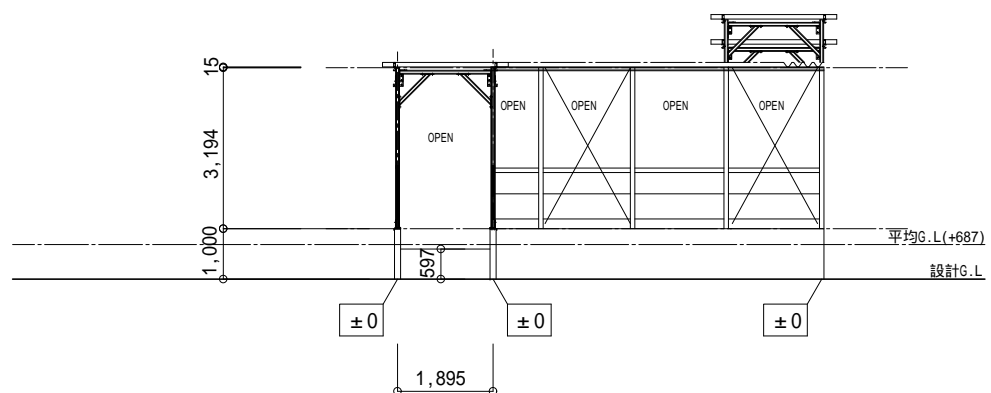


外壁パネルt=43
 表面材：加鉄板t=0.35（サドイッチル）
 内部：硬質ポリウレタンフォーム t=41

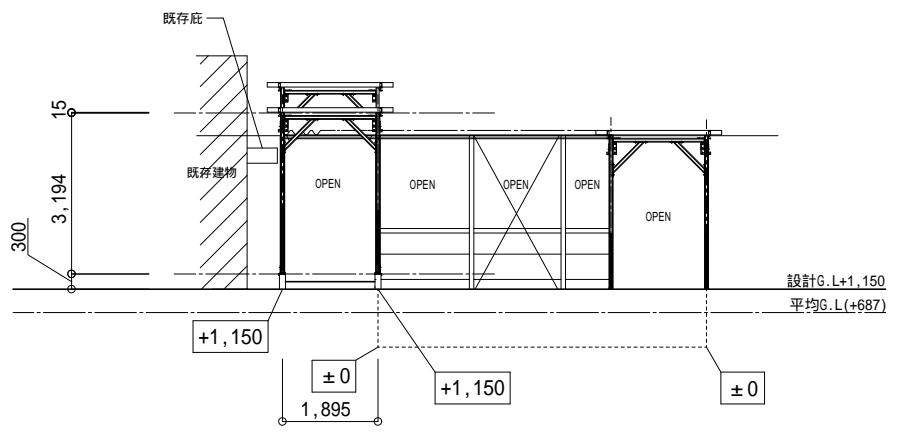
渡り廊下西側立面図 S=1/150



渡り廊下東側立面図 S=1/150



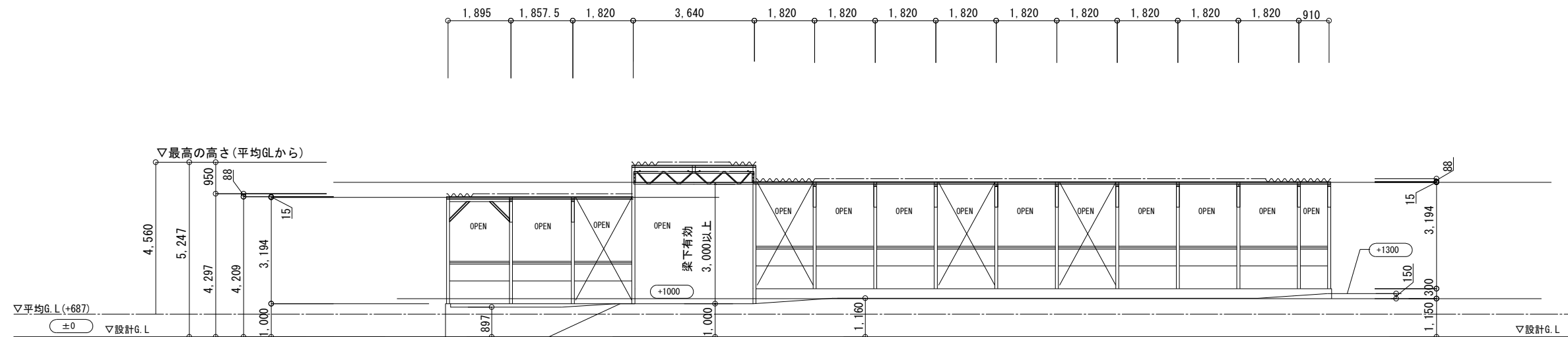
渡り廊下南側立面図 S=1/150



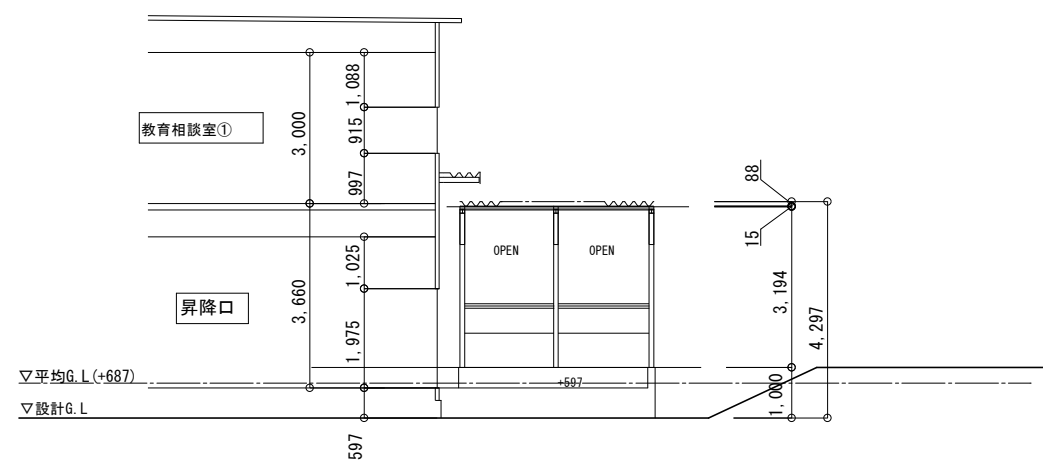
渡り廊下北側立面図 S=1/150

凡例： レベル は基礎に面する地盤レベル

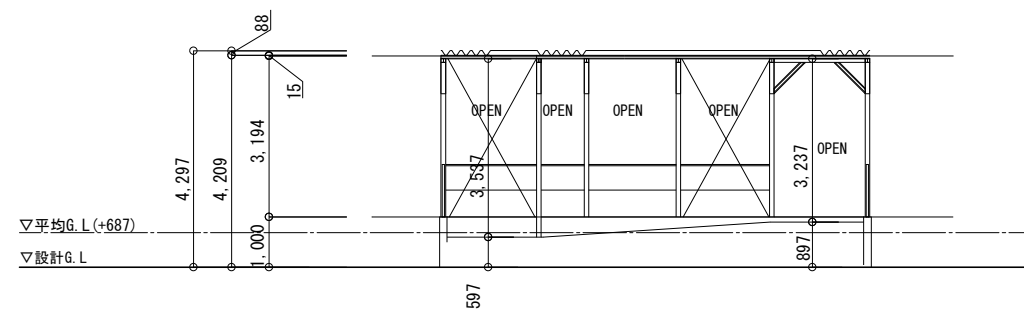
凡例	設計変更年月日	工事名 大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺 A1 1:75 A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図番 A			
	1回 年 月 日					図面名 渡り廊下 立面図	設計年月日	1級建築士登録 第 号
	2回 年 月 日							
	3回 年 月 日							



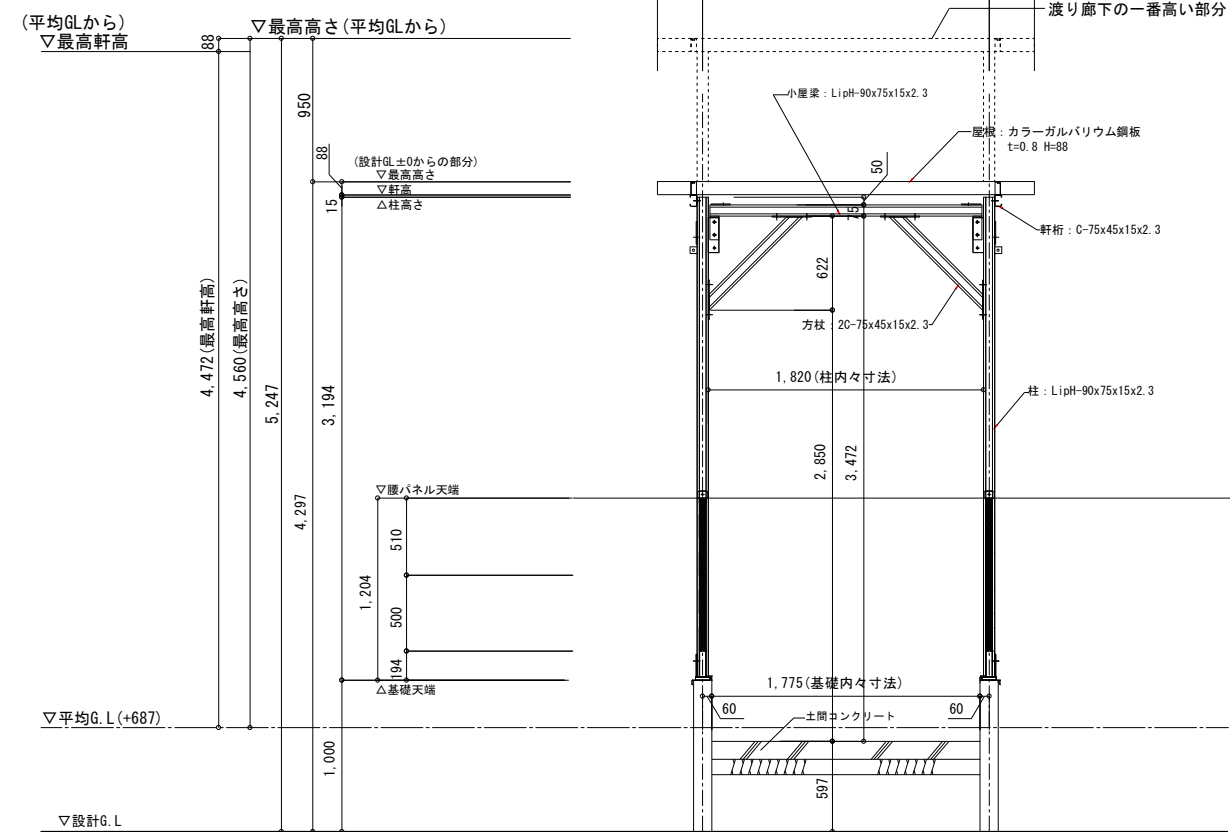
渡り廊下断面図 C-C' S=1/150



渡り廊下断面図 B-B' S=1/150

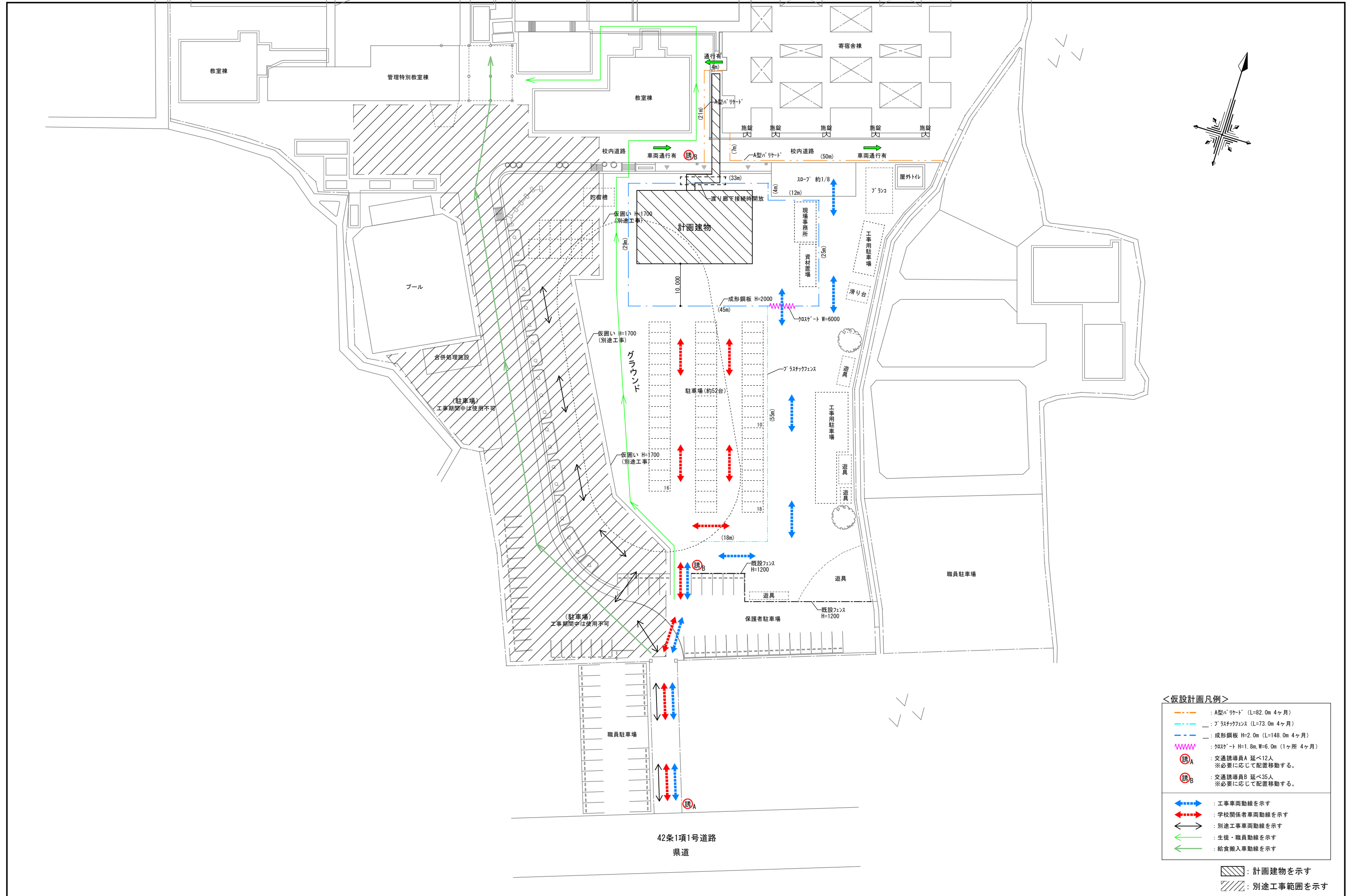


渡り廊下断面図 A-A' S=1/150



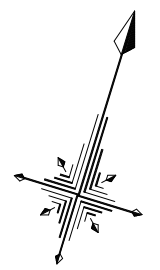
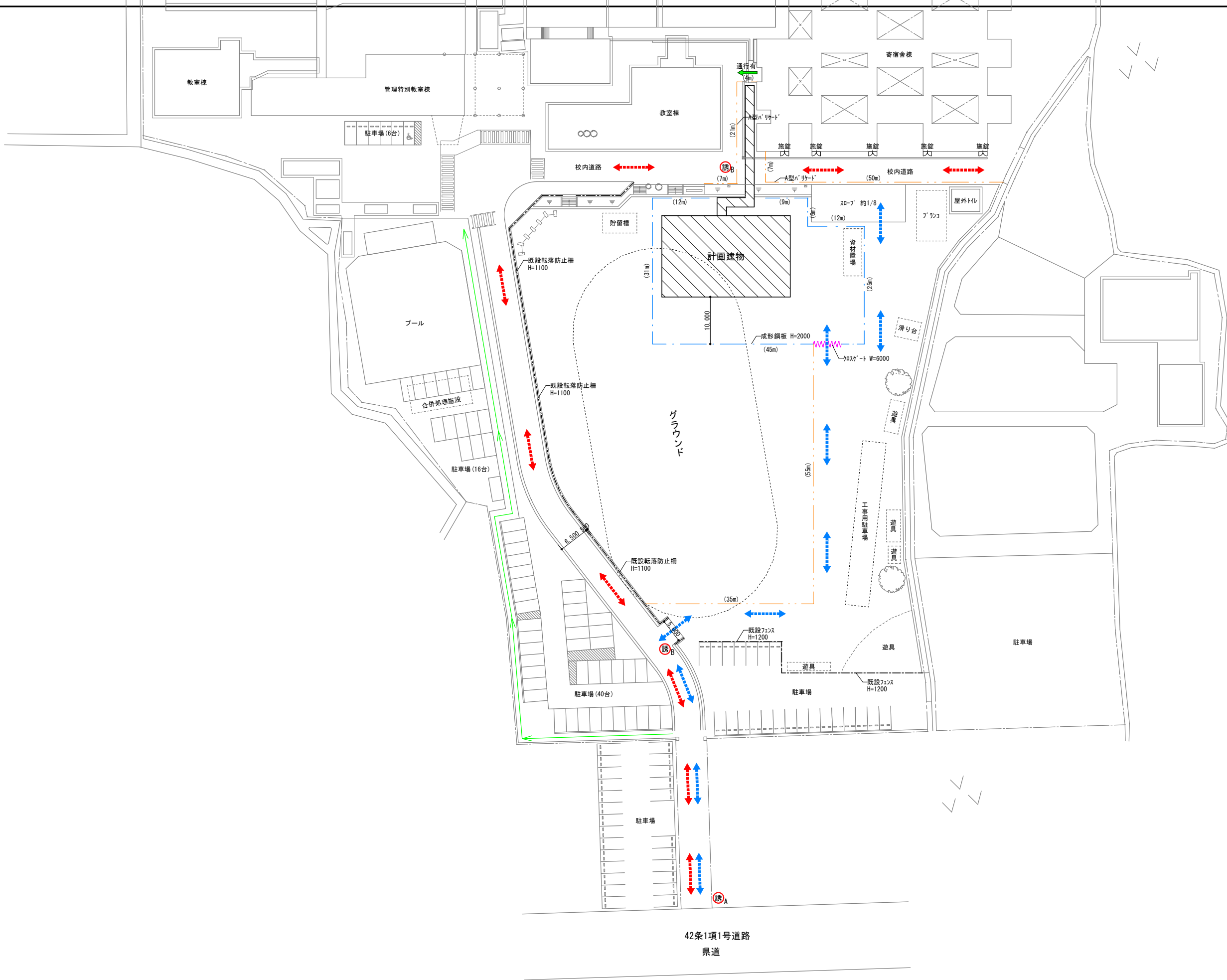
渡り廊下 短辺方向断面図 S=1/50

凡例	設計変更年月日	工事名 大和特別支援学校仮校舎賞貸借	縮尺 A1 1:75 A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図書 A		
	1回 年 月 日					設計年月日	1級建築士登録 第 号
	2回 年 月 日						
	3回 年 月 日	渡り廊下 断面図					



- <仮設計画凡例>**
- : A型バ'リ'ド (L=82.0m 4ヶ月)
 - : プラスチックフェンス (L=73.0m 4ヶ月)
 - : 成形鋼板 H=2.0m (L=148.0m 4ヶ月)
 - ~~~~~ : カラゲート H=1.8m, W=6.0m (1ヶ所 4ヶ月)
 - ⓪A : 交通誘導員A 延べ12人
※必要に応じて配置移動する。
 - ⓪B : 交通誘導員B 延べ35人
※必要に応じて配置移動する。
 - ⇄ : 工事車両動線を示す
 - ⇄ : 学校関係者車両動線を示す
 - ⇄ : 別途工事車両動線を示す
 - ← : 生徒・職員動線を示す
 - ← : 給食搬入車動線を示す
 - ▨ : 計画建物を示す
 - ▨ : 別途工事範囲を示す

凡例	設計変更年月日	工事名 大和特別支援学校仮校舎賃借	縮尺 A1 1:400 A3 1:800	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図書 A			
	1回 年 月 日					図面名 仮設計画図 (建設時)	設計年月日	1級建築士登録 第 号
	2回 年 月 日							
	3回 年 月 日							

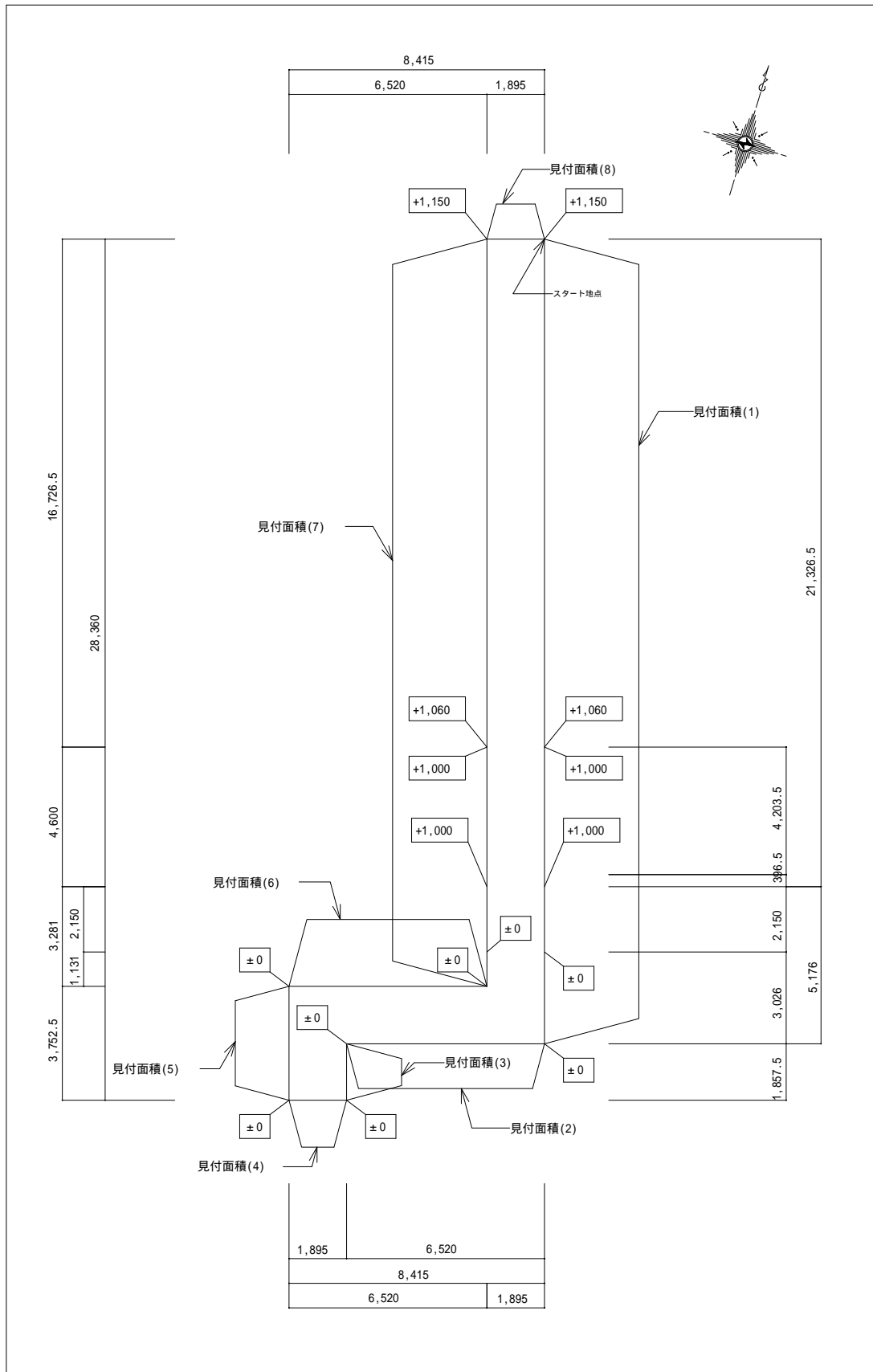


- <仮設計画凡例>**
- : A型「リフト」 (L=172.0m 1.5ヶ月)
 - : 成形鋼板 H=2.0m (L=140.0m 1.5ヶ月)
 - ~~~~~ : カラゲート H=1.8m, W=6.0m (1ヶ所 1.5ヶ月)
 - 誘A : 交通誘導員A 延べ12人
※必要に応じて配置移動する。
 - 誘B : 交通誘導員B 延べ15人
※必要に応じて配置移動する。
 - ⇄ : 工事車両動線を示す
 - ⇄ : 学校関係者車両動線を示す
 - ⇄ : 生徒・職員動線を示す

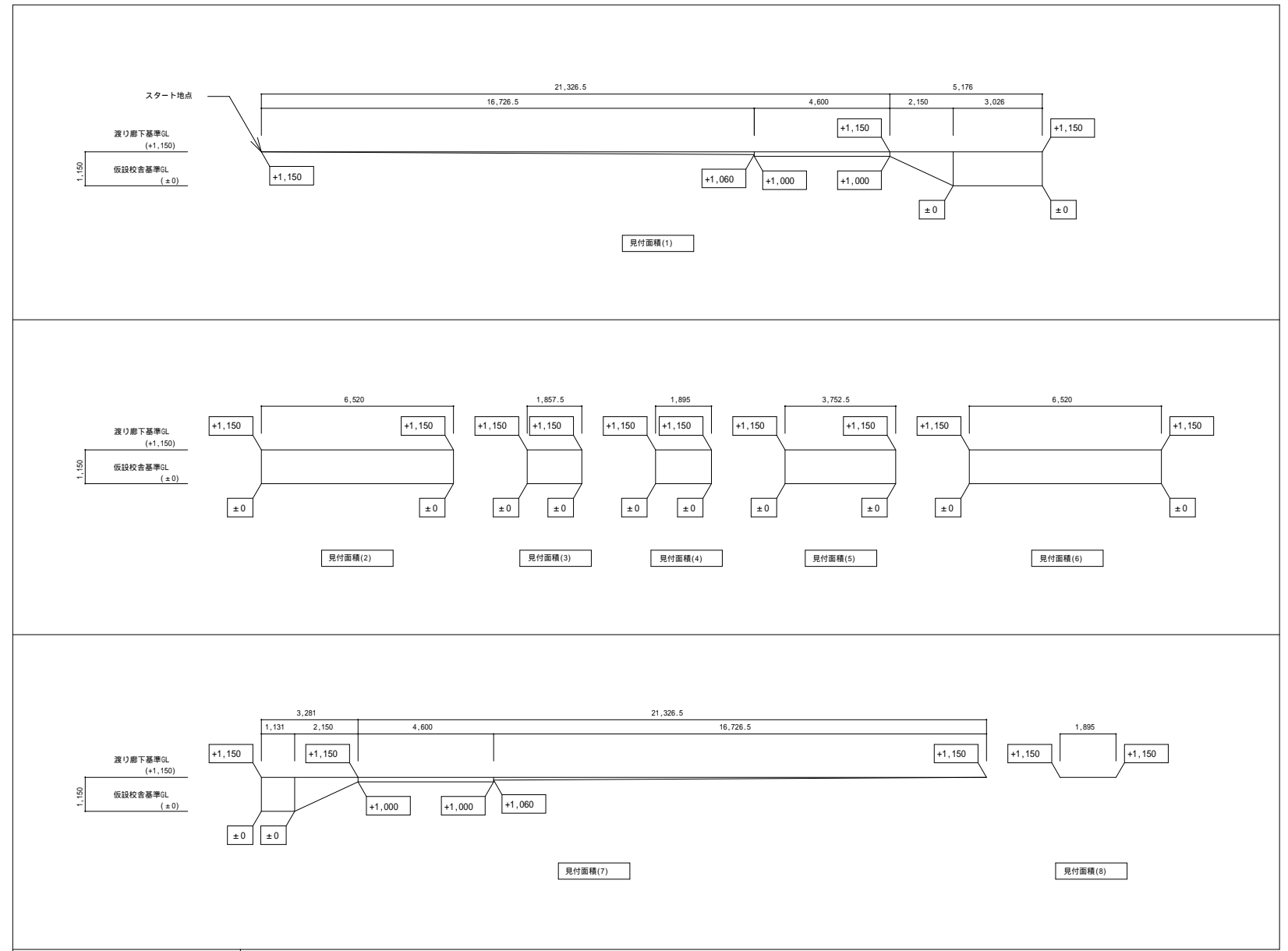
※解体地は処分清掃を行い、原形復旧とする。

: 計画建物を示す

凡例		設計変更年月日		工事名	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺	A1 1:400 A3 1:800	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図番 A
		1回 年 月 日		仮設計画図 (解体時)	設計年月日	1級建築士登録 第 号			
		2回 年 月 日				25			
	3回 年 月 日								



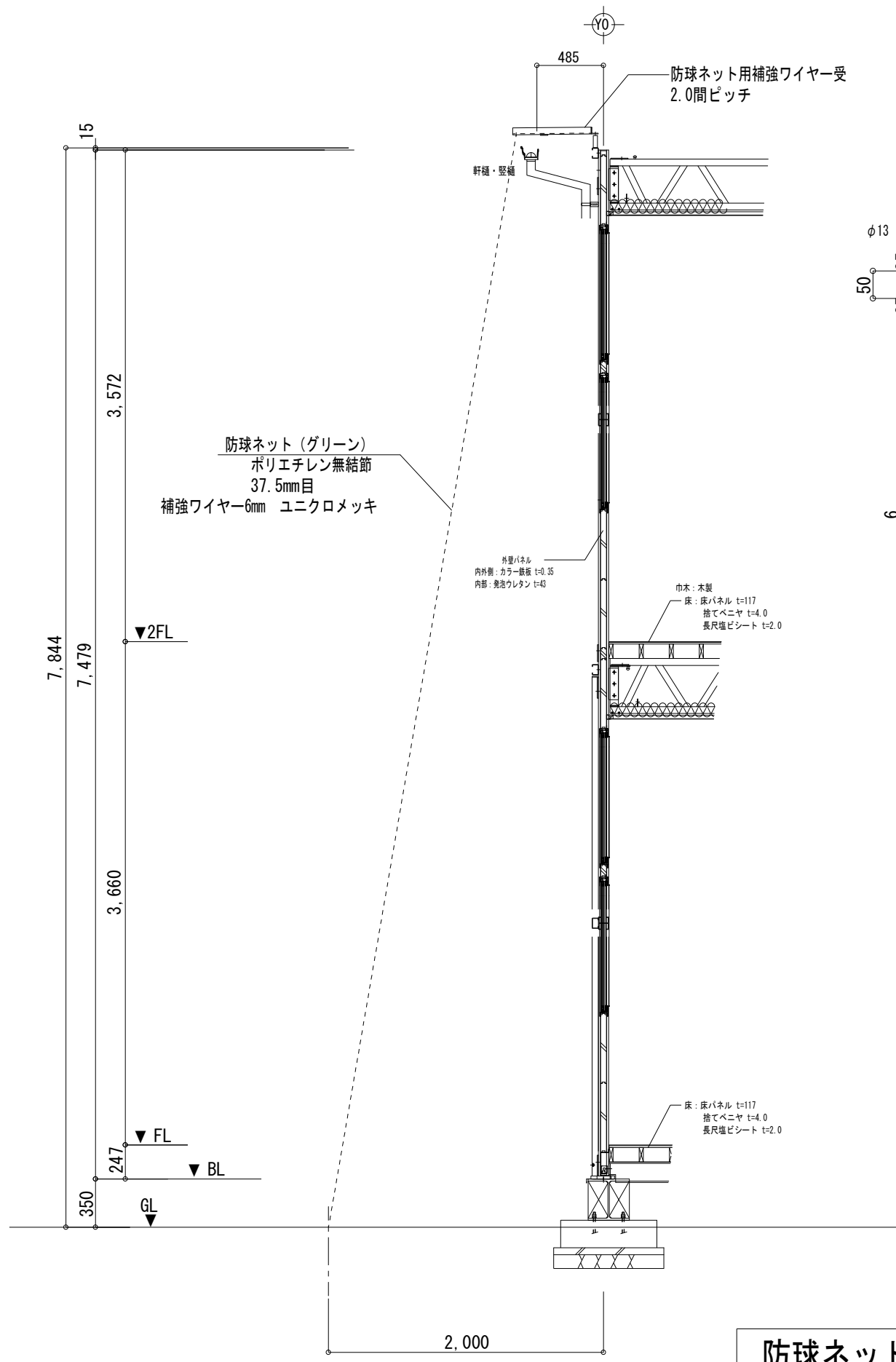
見付面積配置図 平均GL用



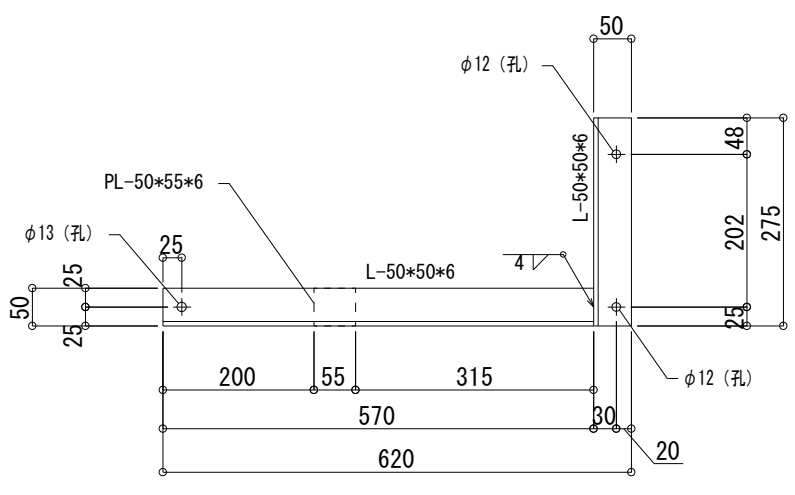
見付面積求積図 平均GL用

算定式		見付面積 合計	合計 : (1)+(2)+(3)+(4)+(5) +(6)+(7)+(8) = 34.087685
見付面積	(1) : $(3.026 \times 1.150) + [(0.150 + 1.150) \times 2.150 \times 1/2] + (4.600 \times 0.150) + (16.7265 \times 0.09 \times 1/2) = 6.3200925$ (2) : $6.520 \times 1.150 = 7.498$ (3) : $1.8575 \times 1.150 = 2.136125$ (4) : $1.895 \times 1.150 = 2.17925$ (5) : $3.7525 \times 1.150 = 4.315375$ (6) : $6.520 \times 1.150 = 7.498$ (7) : $(1.131 \times 1.150) + [(0.150 + 1.150) \times 2.150 \times 1/2] + (4.600 \times 0.150) + (16.7265 \times 0.09 \times 1/2) = 4.1408425$ (8) : $0 \times 0 = 0$		
周長	$2(8.415 + 28.360) = 73.55$	面積/周長	$34.087685 / 73.55 = 0.46346274643(0.463m)$
平均GL	既存校舎側GL(+1,150)より463mm下がり(平均GL=+687)		
備考	既存校舎側のGL(+1,150)を基準として見付面積を計算した。 平均GLは、見付面積を周長で割った値分、基準GL(+1,150)から下がる為、安全側で(見付面積/周長)の小数点第4位を切捨てとした。		

平均GL算定表

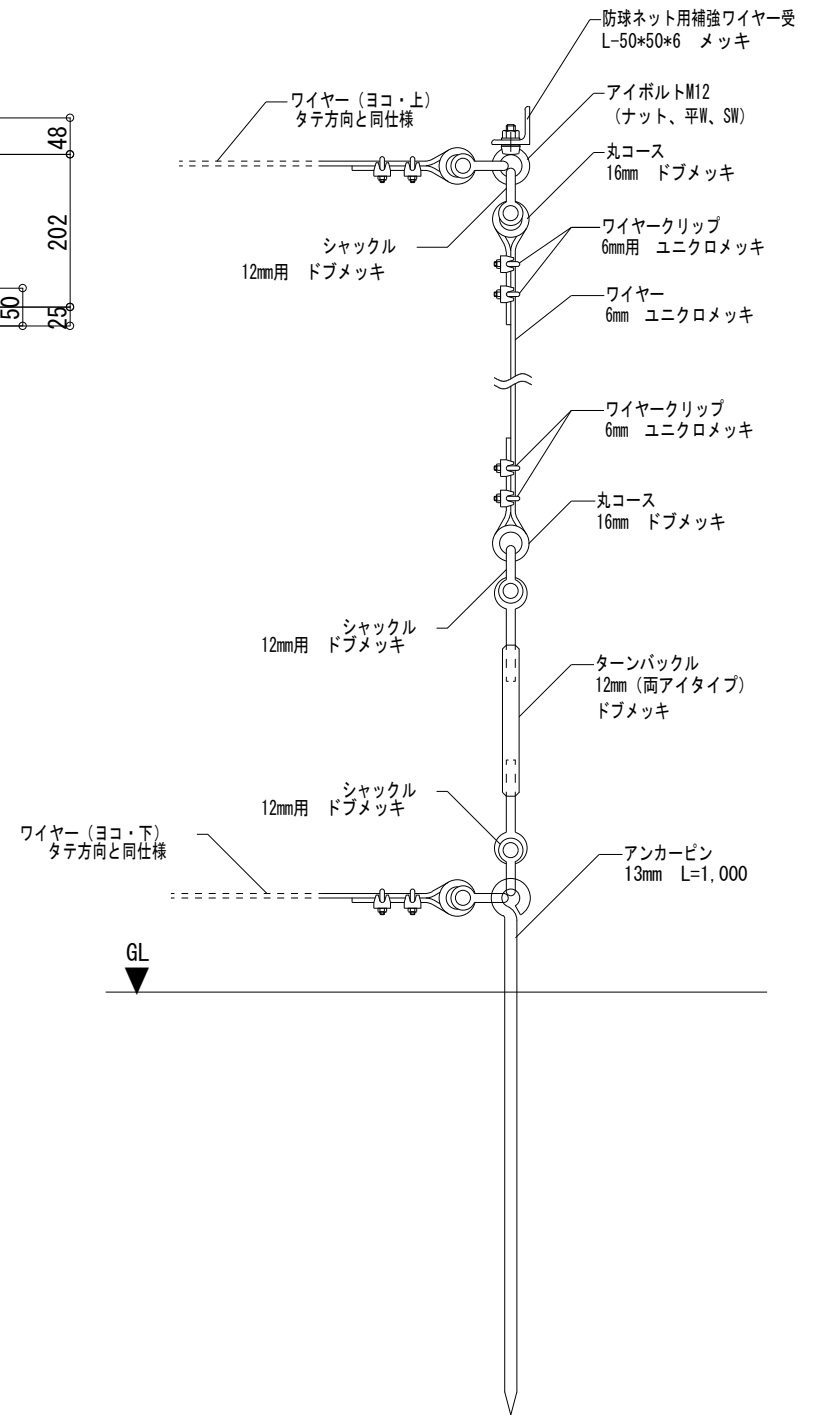
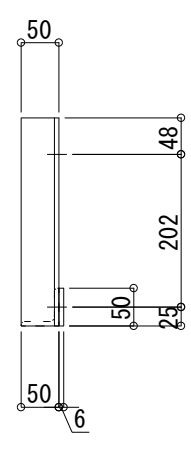
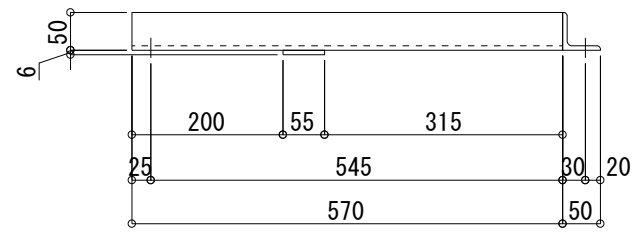


防球ネット S=1/40



防球ネット用補強ワイヤー受 S=1/10

電気メッキ、2.0間ピッチに必要



防球ネット用補強ワイヤー詳細 S=1/10

ワイヤーはタテ2.0間ピッチ、ヨコ上下2本です

凡例	設計変更年月日	工事名 大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺 A1 1:20 A3 1:40	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図書 A
	1回 年 月 日				
	2回 年 月 日				
	3回 年 月 日	防球ネット	設計 年 月 日	1級建築士登録 第 号	27

1. 建築物の構造内容

- (1) 工事名称 5大特委第3号 大和特別支援学校仮校舎建設工事
建築場所 佐賀市大和町大字久留間3353
(2) 工事種別 新築
(3) 構造種別 鉄骨造(S)
(4) 階数 仮設校舎様 地上2階
(5) 主要用途 特別支援学校
(6) 屋上付属物
(7) 特別な荷重
(8) 付帯工事
(9) 増築計画
(10) 構造計算ルート
(11) 鉄骨工事は指示のない限り下記による

2. 使用構造材料一覧表

Table with columns: 適用箇所, 種類, 設計基準強度, 検査仕様, スランプ, 水セメント比, 空気量, 単位体積重量. Includes rows for concrete, aggregate, and mortar.

Table for cement types: セメントの種類, m日, n日, 空気量, 単位体積重量.

Table for reinforcement: 種類, 径, 使用箇所, 施工方法. Includes rows for steel bars and mesh.

Table for ironwork: 種類, 使用箇所, 現場溶接, 備考. Lists various ironwork items like SS400, STKR400, etc.

- (4) ボルト 使用箇所の詳細については別途図示とする。
高力ボルト (ボルト孔径はボルト軸径+2.0mmとする)
高力ボルトすべり係数試験
高力ボルト導入張力確認試験
普通ボルト <強度区分は別図による>
アンカーボルト (ボルト孔径はボルト軸径+5.0mmとする)

- (5) 屋根、床
ALC板 厚
折版 H=88 厚 0.6 0.8
デッキプレート 型式 V50 厚 1.2 1.6 仕上げ 素地 亜鉛めっき
床パネル H117 H90

3. 地盤

Table for ground investigation: 調査項目, 資料有り, 調査計画. Lists items like boring, soil tests, etc.

Large table for ground investigation results: 深度, 土質, N値, 標準貫入試験 (1.0 to 6.0), 調査地盤, 位置図, 別紙資料による.

注) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4. 地業工事

- (1) 直接基礎
ベタ基礎 布基礎 独立基礎 試験堀
深さ GL-0.15 m 支持層
長期許容支持力度 50 kN/m2 載荷試験
(2) 杭基礎 支持層

Table for pile foundation: 杭種, 材料, 施工法, 備考. Lists RC, PHC, steel pipe piles, etc.

杭仕様 施工計画書承認 杭施工結果報告書
試験杭 (有り 無し) (打ち込み 載荷 孔壁測定) 本

Table for pile foundation: 杭径 (mm), 設計支持力 (kN), 杭の先端の深さ (m), 本数, 特記事項.

- (3) 地盤改良
柱状地盤改良杭 φ L = m (基礎下)
設計基準強度 Fc = kN/m2
固化材添加量 kg/m3 (六価クロム低減型)
土間コンクリート下地盤改良 厚さ
固化材添加量 kg/m3

5. 鉄筋コンクリート工事 (施工方法等計画書)

本構造設計特記仕様書はコンクリートの設計基準強度 (F_c) が 36 N/mm² 以下に適用する。

- (1) コンクリート
コンクリートはJIS認定工場の製品とし、施工に関しては、標準図に記載されている事項を除きJASS5 (2018年度版) による。
耐久設計基準強度 短期 標準 長期 超長期
セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
調査計画は、工事開始前に工事監督者の承認を得ること。
寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監督者の承認を得ること。
フレッシュコンクリートの塩化物含量は、原則として工事現場で(財)国土開発技術センターの技術評価をうけた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を一回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。
測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法は、JASS5-603によることとし、供試体は標準養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。
標準養生供試体の代わりに現場水中養生供試体に、コア供試体の代わりに現場封かん養生供試体によることができる。
また、打ち込み量が150?をこえる場合は、150?ごまたは、その端数ごとに1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の選搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4適用に3本を用いる。
ポンプ打ちコンクリートは、打ち込む位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。
ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技士または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打撃時間間隔の限度は、外気温が25℃未満の場合は150分、25℃以上の場合は120分以内とする。

- (2) 鉄筋
鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。施工は標準図に記載されている事項を除き、JASS5 (2018年度版) による。
鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図」による。
D19未満は、すべて重ね継手とする。継手 (D19以上) をガス圧接とする場合は、(社)日本鉄筋継手協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと (200箇所程度) に1回行い、1回の試験は5本以上とする。
外観検査 有り 無し、引張試験 有り 無し、超音波探傷試験 有り 無し
検査方法
・外観検査
検査対象は、全圧接部とする。
・引張試験
試験片の採取数は1ロットに対して3本とする。
試験片を採取した箇所は、同種の鉄筋を圧接して継ぎ足す。ただし、D25以下の場合は工事監督者の承諾を受けて、重ね継手とすることができる。
・超音波探傷試験
試験の箇所数は1ロットに対し30箇所とし、ロットから無造作に抜き取る。
柱の帯筋 (H O O P) の加工方法は、H型 (タガ型) W型 (溶接型)
S型 (スパイラル型) とする。
コンクリート及び鉄筋の試験は第三者試験機関で行うこと。
試験機関名 工事監督者の指示による。
代行業者名 工事監督者の指示による。
代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

- (3) 型枠
材料 合板厚 12mmを標準とする。
施工 JASS5による。
型枠存置期間

Table for formwork: 型枠の厚さ, セメントの量, コンクリートの圧縮強度. Includes a diagram of a formwork cross-section.

注) 上表以外のセメントを使用する場合は工事監督者の指示による。

6. 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

- (1) 工事監督者の承認を必要とするもの
製作工場 製作要領書 工作図 施工計画書
認定または登録工場 (大臣認定 Rグレード) 都登録
材料規格証明書または試験成績書
鋼材 高力ボルト
社内検査表
(2) 工事監督者が行う検査項目
(印以外の項目の検査結果については、工事監督者に報告すること)
製品検査
建方検査
(3) 接合部の溶接は下記によること
日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」
日本建築学会「溶接工作基準、同解説 I、II、III、IV、V、VI、VII、IX、」
東京都アーク溶接工事管理基準 (建築構造設計指針第12章)
鉄骨造等の建築物の工事に関する東京都取扱要綱 (建築構造設計指針第12章)

Table for joint inspection: 検査箇所, 検査方法, 検査率又は検査数 (社内, 第三者, 工事監督者), 備考. Includes rows for butt joints and field joints.

第三者検査機関名とは、建築主、工事監督者または工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

- 注1) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと
注2) 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対処策を建築主事等に報告すること
硬さ試験 示温塗料塗布
高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。

- (5) 防錆塗装
工場における躯体鉄骨塗装は、浸漬塗装又は粉体塗装とする。
上記以外の防錆塗装処理に使用する錆止めペイントはJIS K5674(2回塗り)を標準とする。

7. 設備関係

- 特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
設備機器の架台及び基礎については工事監督者の承認を得ること。
床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。
建築設備 (昇降機を除く。)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。
屋上から突出する水櫃、煙突、冷却塔その他これに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
煙突の屋上突出の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。
煙突で屋内にある部分は、鉄筋に付するコンクリートかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
建築物の部分を貫通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を講ずること。
管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可とう継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を講ずること。
管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を講ずること。
給湯設備にあっては、平成12年建設省告示第1388号第5により、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水櫃、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。
構造耐力上主要な部分となる部材に設ける開口部の大きさ及び形状並びに手すり等は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

8. その他

- 諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監督者に報告すること。
必要に応じて記録写真を撮り保管すること。

スクールタイプ

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

1. 一般事項





(1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。

(2) 記号

d...異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D...部材の径 R...直径
 ◎...間隔 r...半径 Q...中心線 ?...部材間の内法距離 h...部材間の内法高さ
 ST...あばら筋 HOOP...帯筋 S.HOOP...補強帯筋 φ...直径

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折曲げ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形梁のキャップタイにのみ用いる。 ※片持スラブ上端筋の先端
				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(≧4d以上)	8d以上(≧4d以上)	
折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上				

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折曲げ内のり寸法(R)
	帯あばら筋 スパイラル筋	SR235、SD295 SD295B、SD345	16φ D16以下 19φ D19以上	3d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295 SD295B、SD345	16φ D16以下 19φ~25φ D19~D25 28φ~32φ D29~D38	4d以上 6d以上 8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

コンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²)	直線定着の長さL ₂		フック付き定着の長さL ₂ h	
	SD295 SD295B	SD345	SD295 SD295B	SD345
18	40d	40d	30d	30d
21	35d	35d	25d	25d
24~27	30d	35d	20d	25d

下端筋の定着の長さ

コンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²)	直線定着の長さL ₃		フック付き定着の長さL ₃ h	
	鉄筋の種類	下端筋	鉄筋の種類	下端筋
18~60	SD295 SD295B SD345	小梁	20d	10d
		スラブ	10dかつ150mm以上	-

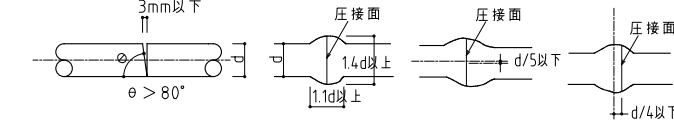
異形鉄筋の重ね継手の長さ

コンクリートの設計基準強度 F _c (N/mm ²)	直線定着の長さL ₁		フック付き定着の長さL ₁ h	
	SD295 SD295B	SD345	SD295 SD295B	SD345
18	45d	50d	35d	35d
21	40d	45d	30d	30d
24~27	35d	40d	25d	30d

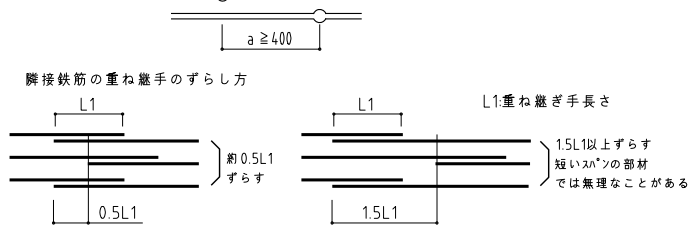
継手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の重ね継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状

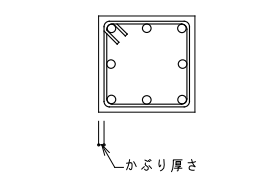


圧接継手



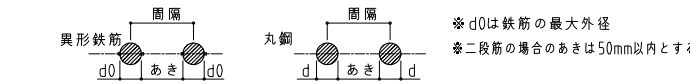
(4) かぶり厚さ(単位: mm)

部位	設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)	
土に接しない部分	屋根スラブ	30	20
	床スラブ 非耐力壁	40 ⁽¹⁾	30(20)
	柱	40	30
	はり	50 ⁽²⁾	40 ⁽¹⁾⁽³⁾
土に接する部分	基礎・擁壁 (立上り部は除く)	50 ⁽³⁾	40 ⁽⁴⁾
	柱・はり・床スラブ・耐力壁	50	40 ⁽⁴⁾



(5) 鉄筋のあき

丸鋼では径、異形鉄筋では呼び名に用いた数値1.5d以上
 粗骨材の最大寸法の1.25倍以上かつ25以上

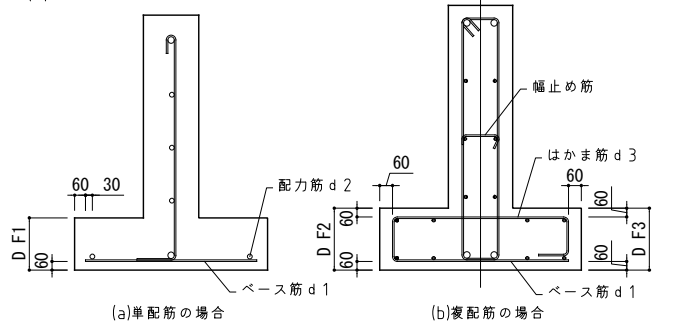


(6) 鉄筋のフック(a~fに示す鉄筋の末端部にはフックをつける)

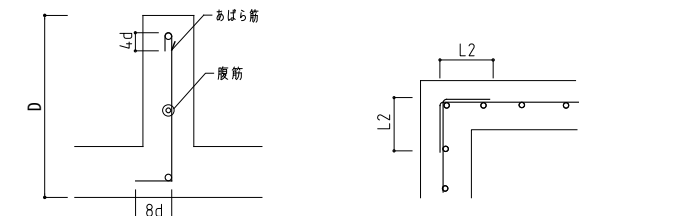
- 丸鋼
- あばら筋、帯筋
- 煙突の鉄筋
- 柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分の鉄筋
- 単純梁の下端筋
- その他、本配筋標準図に記載する箇所

3. 基礎

(1) 布基礎の形状及び配筋



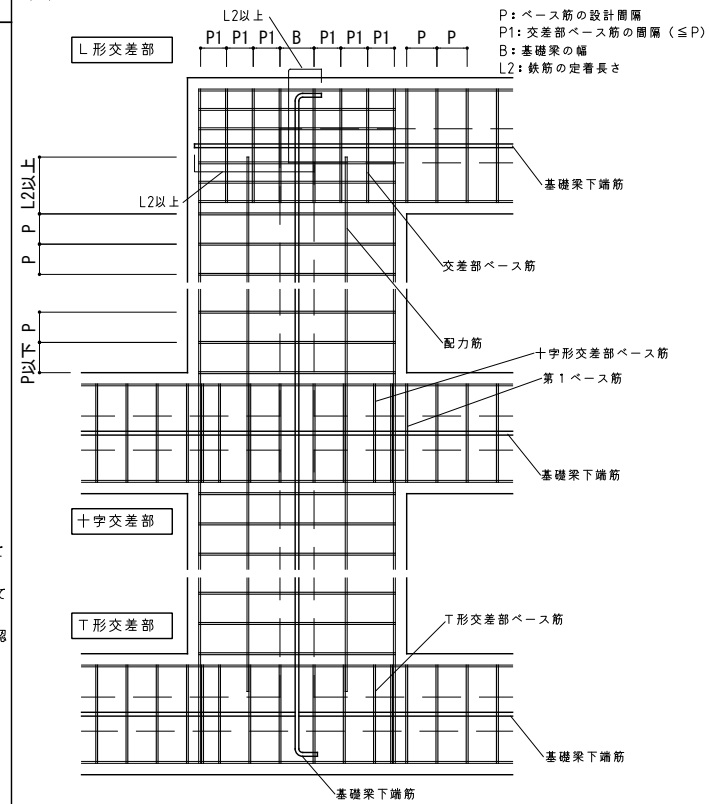
(2) あばら筋の型



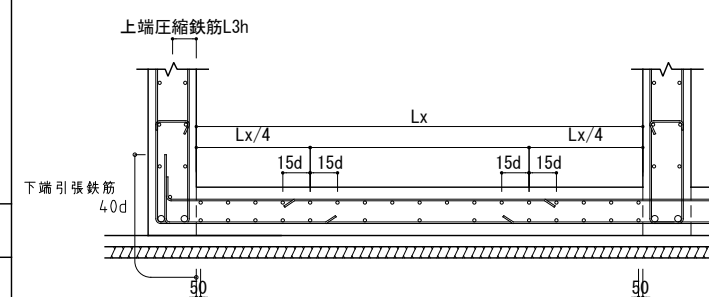
(4) 腹筋の本数

腹筋	D<600	600≦D<900	900≦D<1200	1200≦D
必要	不要	1-D10 1段	2-D10 2段	D10を@300以内

(5) 布基礎交差部の配筋(平面)



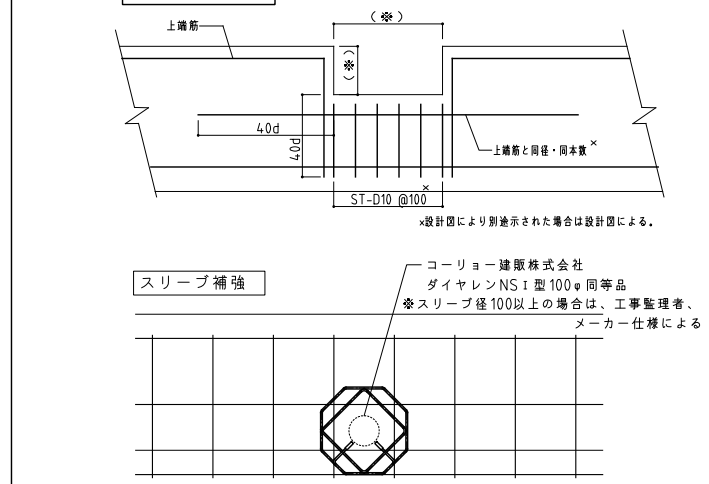
(6) ベタ基礎



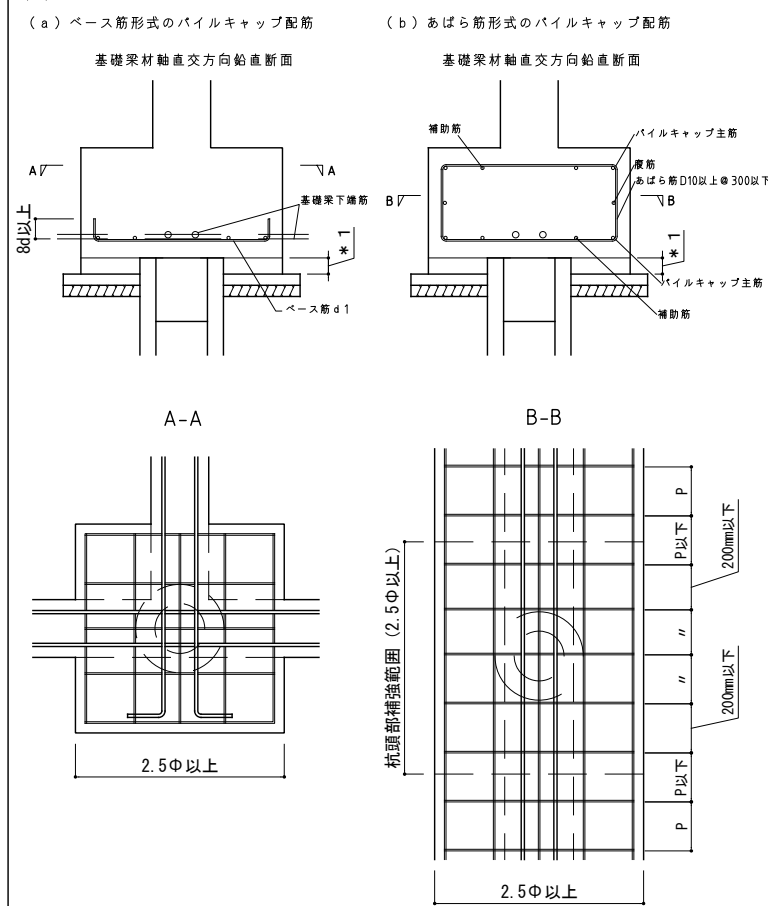
基礎補強方法



スリーブ補強



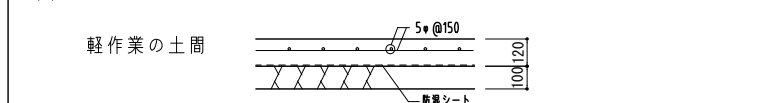
(7) バイルキャップの配筋



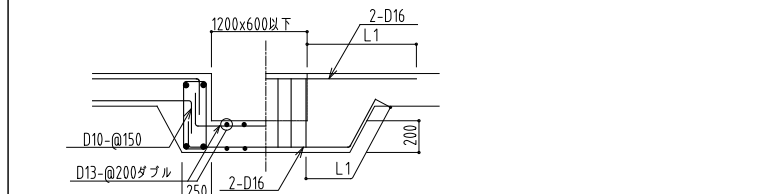
* 1 △杭のみ延長は設計図書による
 p: あばら筋の設計間隔(300mm以下)
 φ: 杭直径

5. 床板

(1) 土間コンクリート



(2) 釜場



凡例	設計変更年月日
	1回 年 月 日
	2回 年 月 日
	3回 年 月 日

工事名	設計年月日
大和特別支援学校仮校舎賃貸借	
鉄筋コンクリート構造配筋標準図	

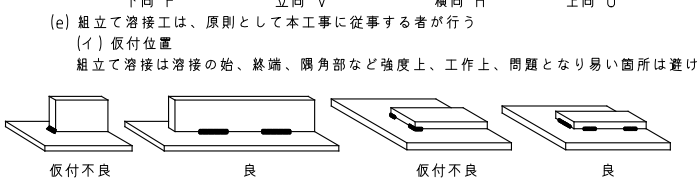
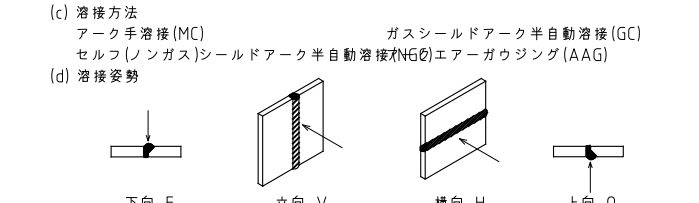
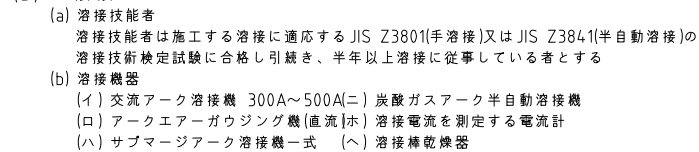
佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図番
1級建築士登録 第 号	S-02

スクールタイプ

鉄骨構造標準図

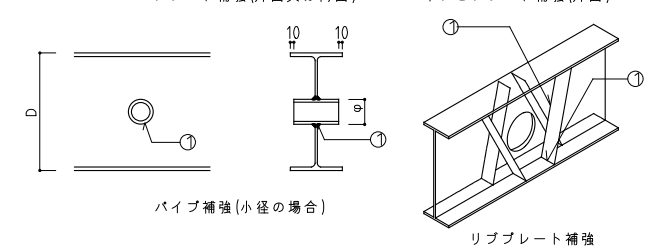
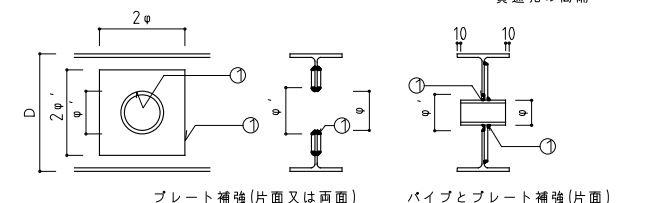
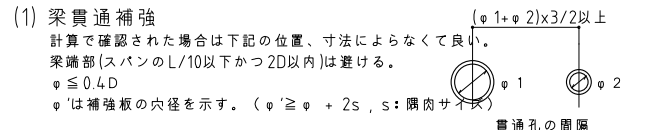
1. 一般事項

- 材料及び検査
 - 構造設計仕様による
 - 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
 - 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する
- 工作一般
 - 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
 - 鋼管部材の分岐継ぎ手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
 - 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする
- 溶接接合
 - 溶接技能者
溶接技能者は施工する溶接に適用する JIS Z 3801(手溶接)又は JIS Z 3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引継ぎ、半年以上溶接に従事している者とする
 - 溶接機器
(イ) 交流アーク溶接機 300A~500A(ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
(ロ) アークエアガウジング機(直流)ホ 溶接電流を測定する電流計
(ハ) サブマージアーク溶接機一式 (ヘ) 溶接補乾燥器
 - 溶接方法
アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGG)エアガウジング(AAG)
 - 溶接姿勢



(4) 塗装
コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体化する設計仕様になっている部分は、塗装をしない。

3. その他



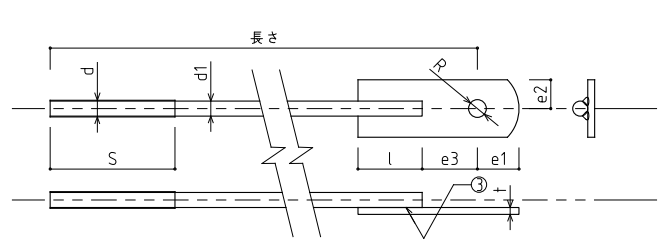
スリ-φ径	補強板
$\phi \leq 0.15D$	補強板不要
$\phi \leq D/4$	Web板厚以上(片面)
$\phi \leq D/3$	Web板厚×1.2倍以上(片面)
$\phi \leq 0.4D$	Web板厚以上(両面)

(2) 建築用ターンバックル筋か (JIS A5540, JIS A5541, JIS A5542) (単位mm)

ねじの呼び d	M12	M14	M16	M18	M20	M22
軸径 d1	最大 10.83	12.66	14.66	16.33	18.33	20.33
	最小 10.59	12.41	14.41	16.07	18.07	20.07
調節ねじの長さ 許容差 +25,-8	S 100	115	125	140	150	165
取付けボルト孔径 許容差 +0,-0.5	R 17.0	17.0	17.0	21.5	21.5	21.5
端あき ⁽²⁾ 許容差 +S,-0	e1 40	40	45	50	50	55
切板製	へりあき ⁽¹⁾ 許容差 +10,-0	e2 28	28	28	34	34
	板厚 t	6	6	6	9	9
平鋼製	へりあき ⁽¹⁾ 許容差 +10,-0	e2 25.0	25.0	25.0	32.5	32.5
	板厚 t	6	6	6	9	9
ボルト端から取付けボルト 穴心のあき(最小)	e3	52	52	59	66	73
溶接長さ 許容差 +10,-0	l	40	50	55	60	75
取付けボルト	種類	JIS B1180 普通ボルト 強度区分 4, 8, 4, 6 溶融亜鉛メッキ高力ボルトを使用する場合は JIS B 1186 高力ボルト F81A ⁽³⁾ に準ずるものを使用する それ以外の場合は JIS B1186 2種高力ボルト F10T を使用する				
	ねじの呼び	M16	M16	M16	M20	M20
	本数	1	1	1	1	1

[注] (1) e1, e2が確保されていれば形状は自由
(2) 羽子板とガセットプレートの場合は表に示す取付けボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする
(3) 高力ボルトの締め付けは一次締め程度とする

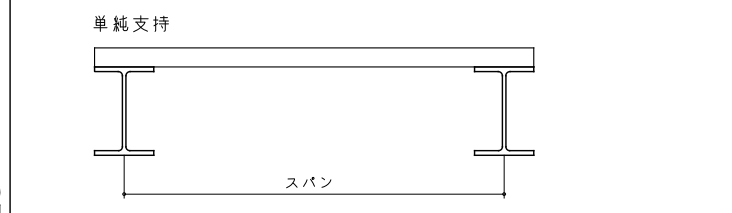
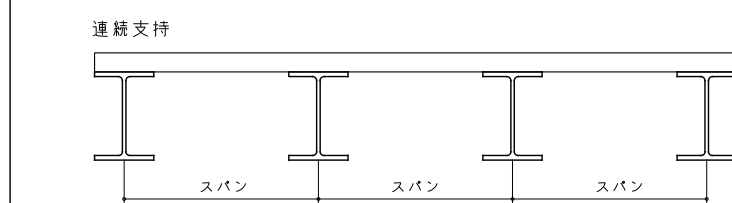
ボルトの呼び径	一次締め付けトルク値
M16	約 100
M20	約 150
M22	約 150



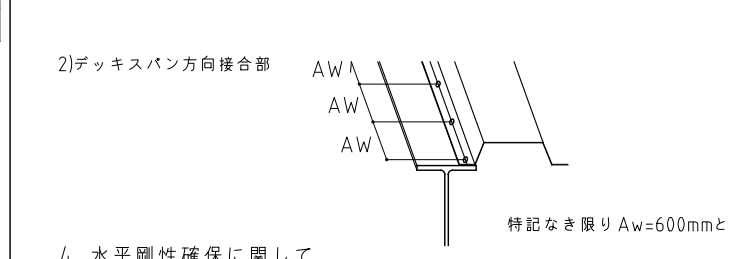
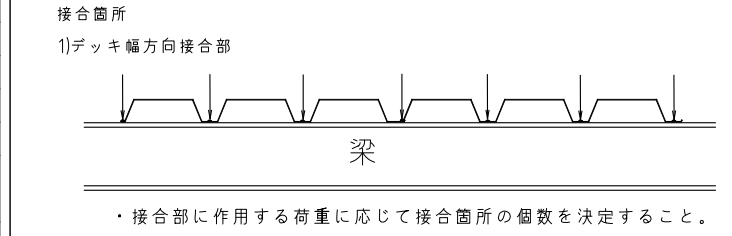
(3) デッキプレート

商品記号	JIS G352	
板厚	<input type="checkbox"/> V50	<input type="checkbox"/> 1.6
亜鉛メッキ	<input type="checkbox"/> Z 12	<input type="checkbox"/> Z 27
材質	<input type="checkbox"/> SDP1TG	<input type="checkbox"/> その他 ()

板厚	支持条件	梁間隔(スパン)
1.2	<input type="checkbox"/> 連続支持	3,000以下
	<input type="checkbox"/> 単純支持	2,600以下
1.6	<input type="checkbox"/> 連続支持	3,000以下
	<input type="checkbox"/> 単純支持	2,600以下



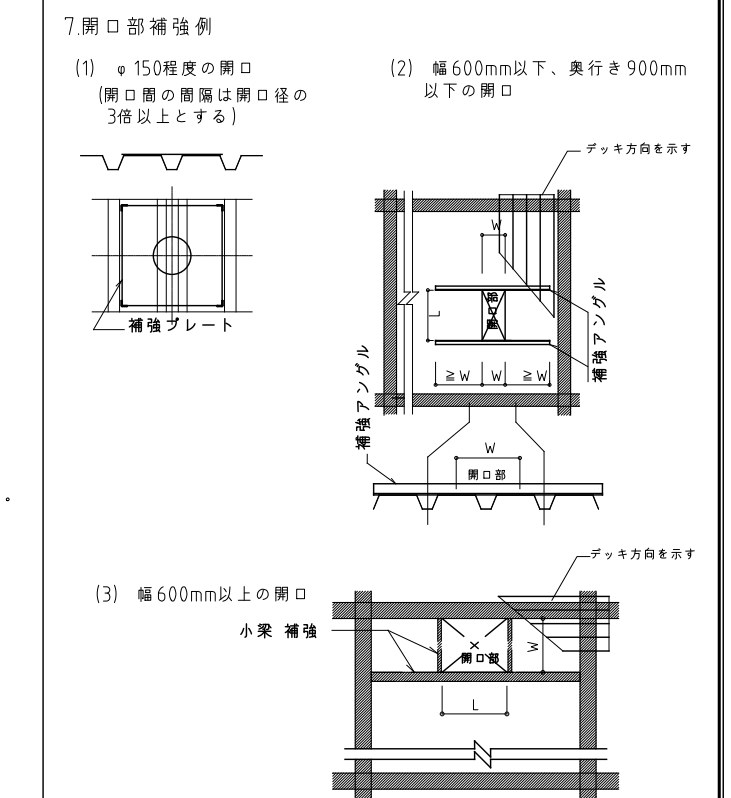
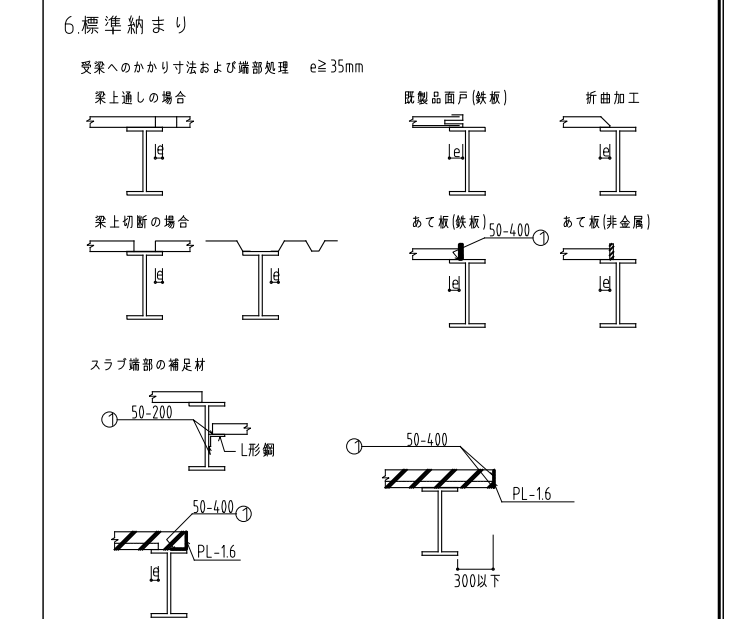
3. 梁との接合
 アークスポット溶接
 タッピングビス(φ6mm以上×20mm以上)
ずれ防止措置
※「デッキプレート床構造設計・施工基準-2018」第三編の規定に準拠
梁フランジが6mm以下の場合は
・デッキの設計かかり代は長手方向で50mm以上、幅方向で30mm以上とする。
※施工管理値としての許容差は設計かかり代のマイナス10mmとする

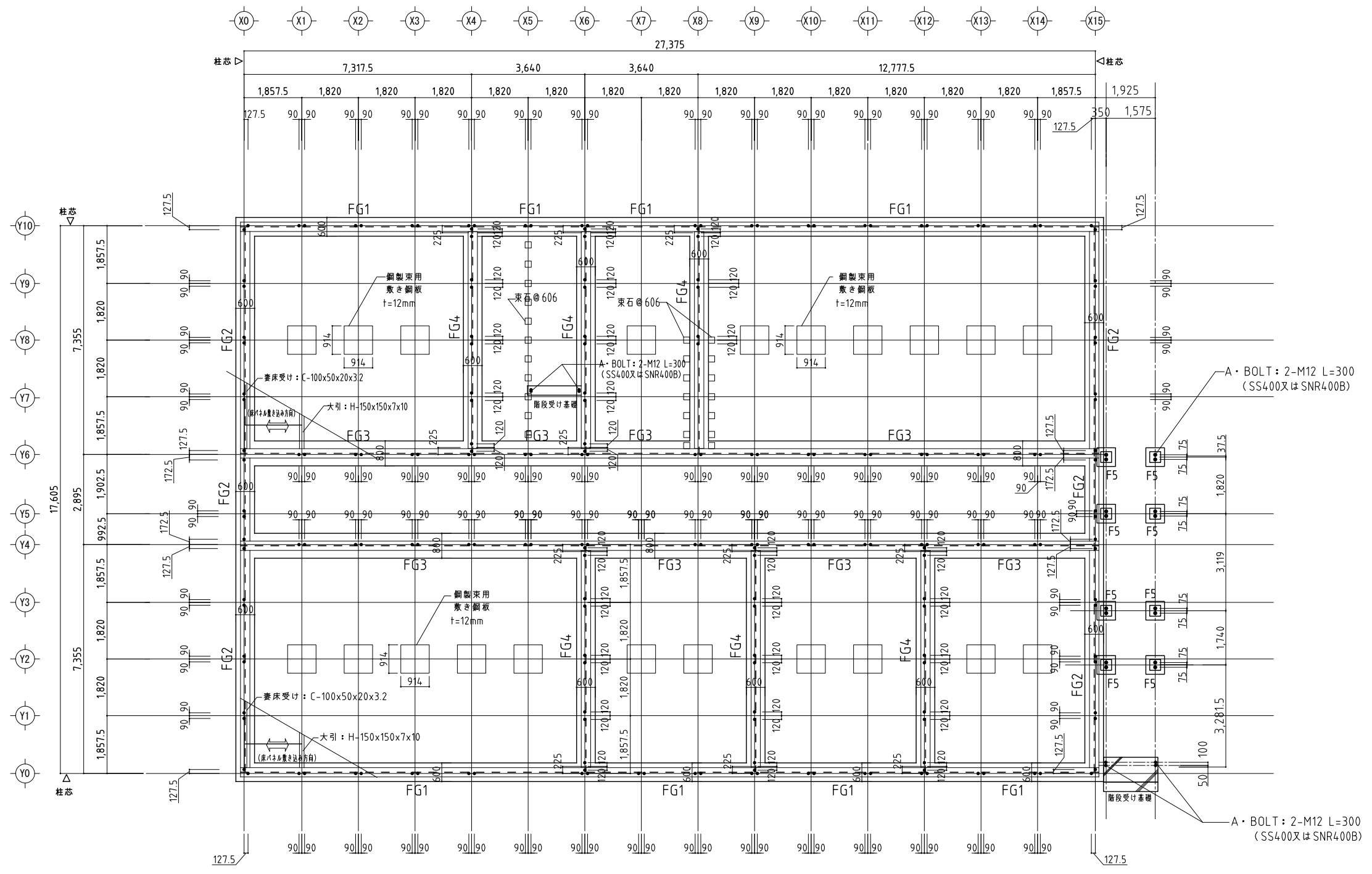


4. 水平剛性確保に関して
平面剛性を確保する上で、簡単な場合を除きデッキプレートだけでは確保出来ない。
必要に応じた水平ブレースを配置すること。

5. 設計に関して (SDP1TG:Fy=205N/mm ²)		単位重量(kg/m ²)
1) V50 t=1.2mm	断面性能 Ix(cm ⁴ /m) 60.5	Zx(cm ³ /m) 16.0(正曲げ) 13.6(Z12) 17.6(負曲げ)
2) V50 t=1.6mm	断面性能 Ix(cm ⁴ /m) 78.5	Zx(cm ³ /m) 21.6(正曲げ) 17.9(Z12) 22.9(負曲げ)

<注意事項>
1) デッキプレート相互の接合は必要に応じてアーク溶接またはねじ止めを行なうこと。
尚デッキ表面を直接床とする場合には踏抜き対策として、最小限900mm以下を接合すること。
2) デッキプレート長さ方向突合せ部等に生じる隙間が問題となる場合は、鋼材又は耐火テープ等により遮熱性を確保する。





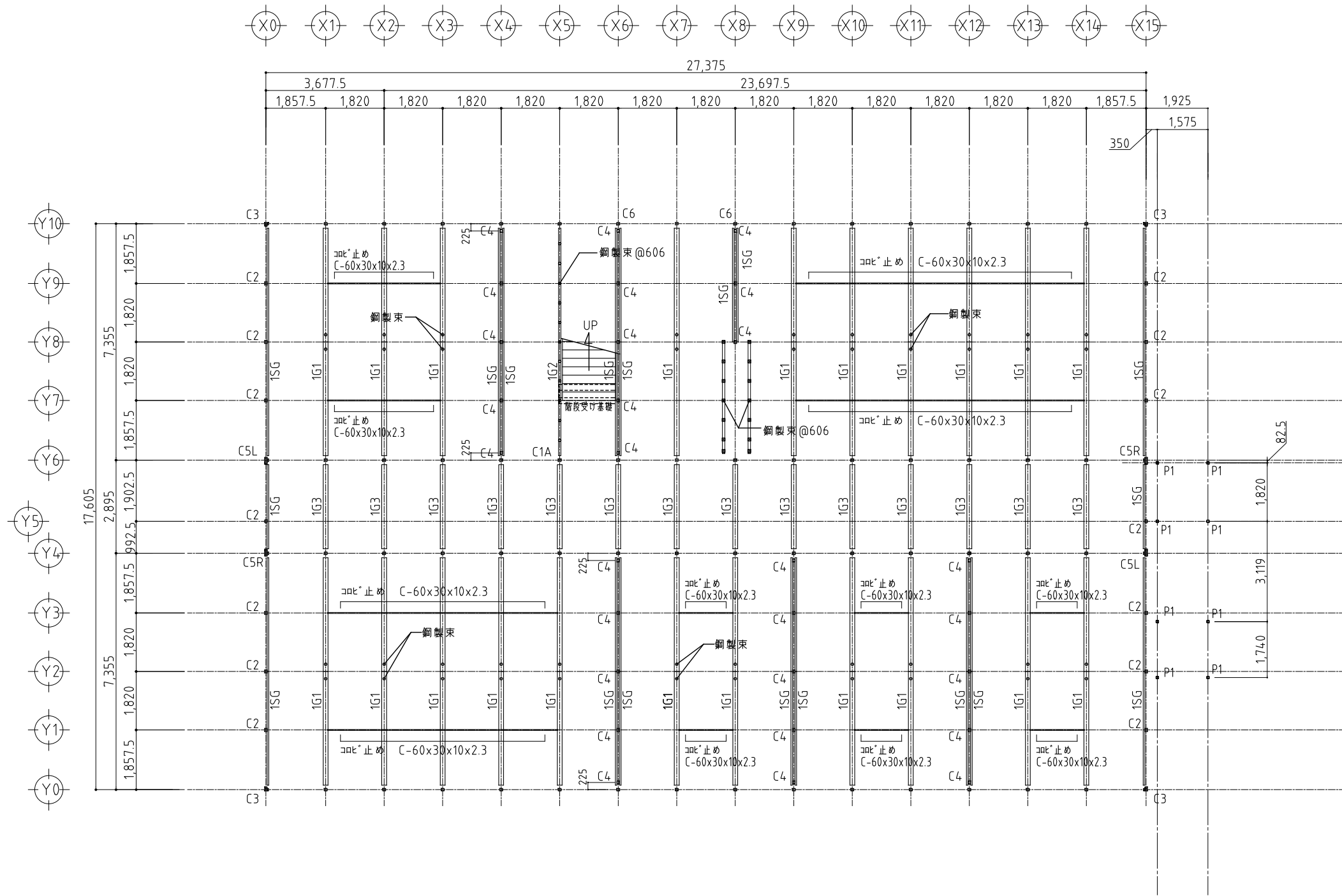
基礎伏図 S=1/150

特記事項
 ・コンクリート $F_c = 21 \text{ N/mm}^2$
 ・鉄筋 SD295A (D16以下) 重ね継手 (JIS G 3112)
 ・設計地耐力 $L_{fe} = 50 \text{ KN/m}^2$

凡例	設計変更年月日
	1回 年 月 日
	2回 年 月 日
	3回 年 月 日

工事名	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺	A1 1:75 A3 1:150
図書名	基礎伏図	設計年月日	

佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図番	S
1級建築士登録 第 号		04



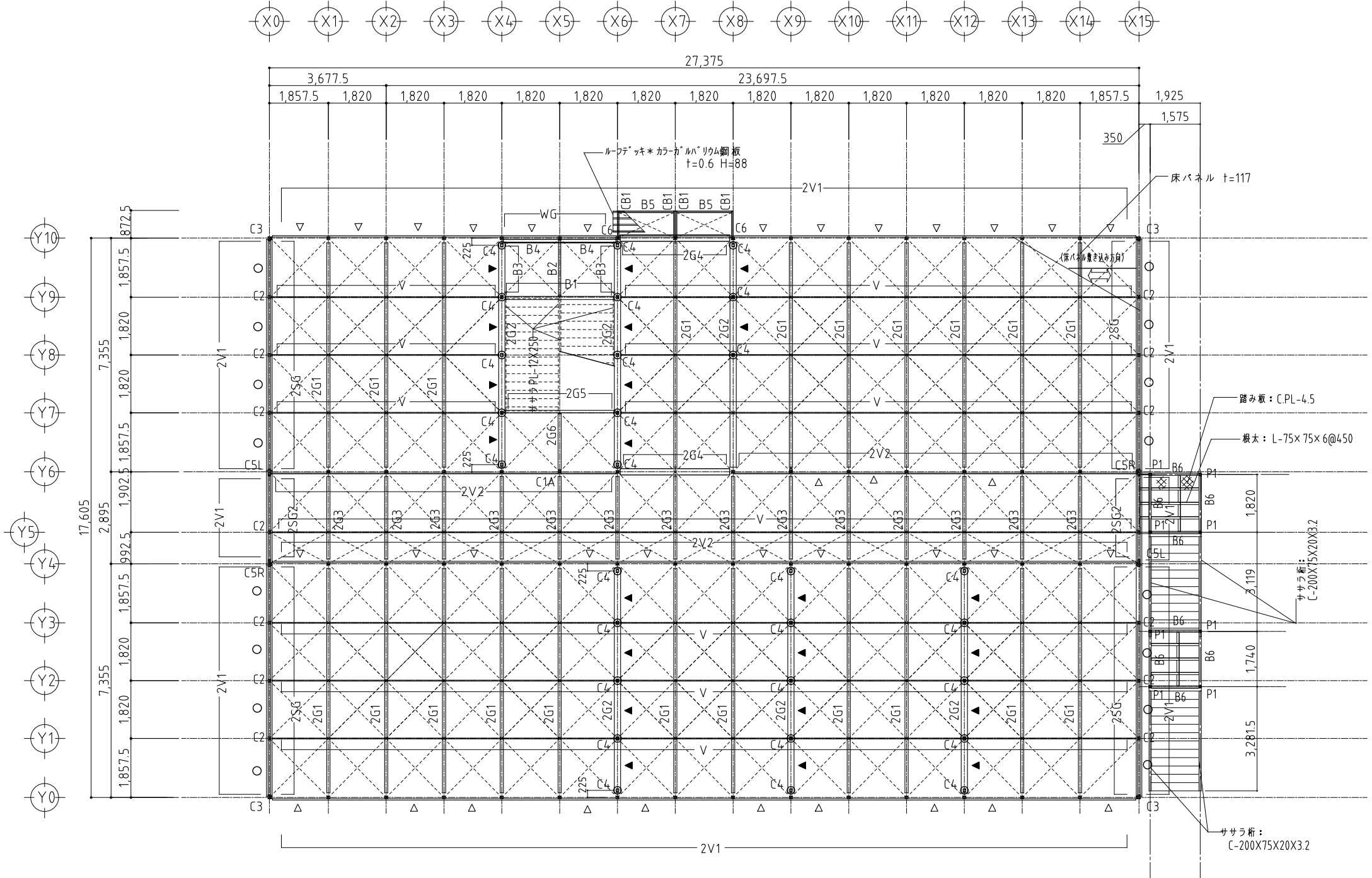
1階梁伏図 S=1/150

特記事項
 ・特記なき柱は、C1を示す。

凡例	設計変更年月日
	1回 年 月 日
	2回 年 月 日
	3回 年 月 日

工事名	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺	A1 1:75 A3 1:150
図書名	1階梁伏図	設計年月日	

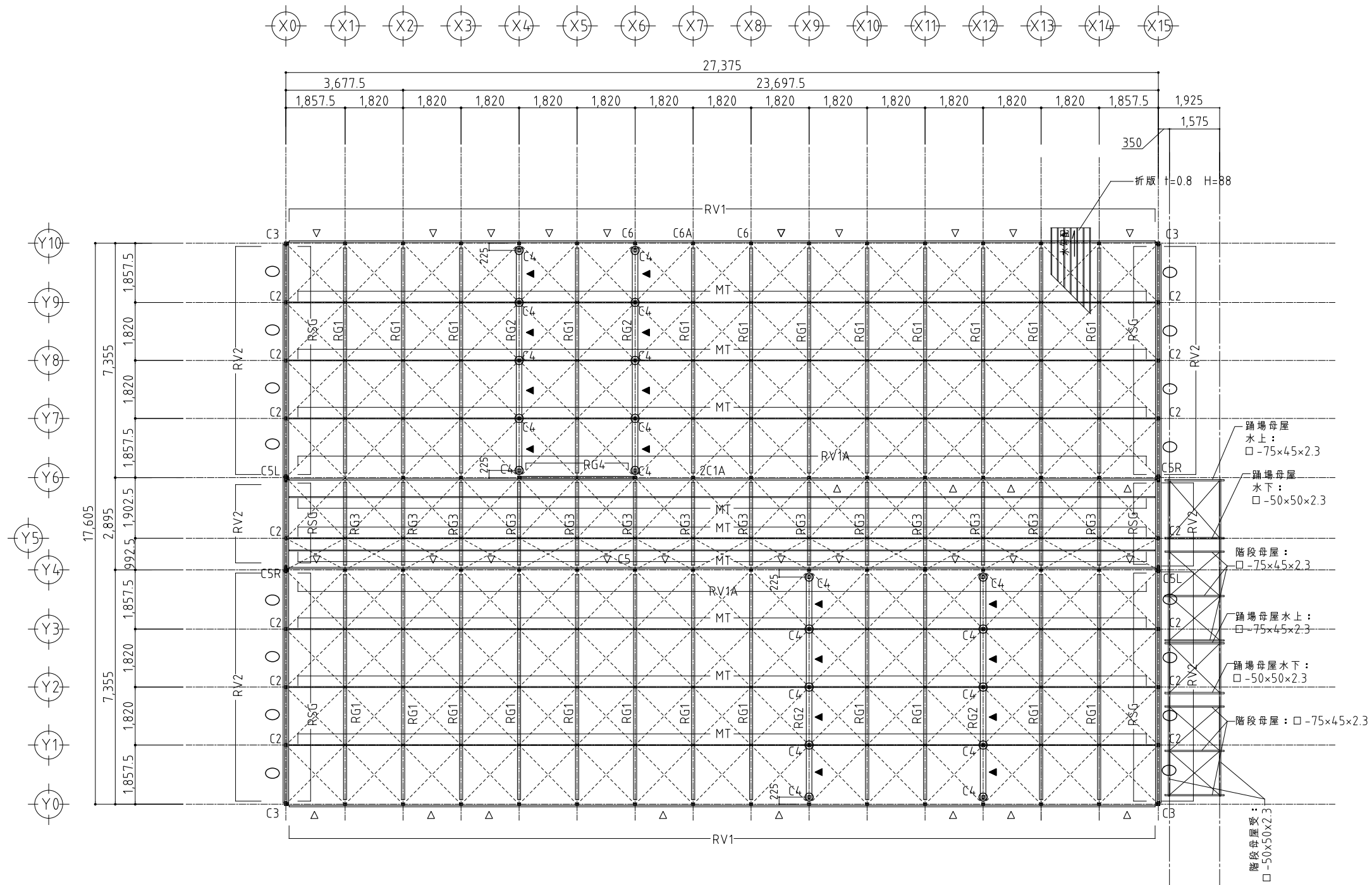
佐賀県教育委員会事務局 教育総務課		図番 S
1級建築士登録 第	号	



2階梁伏図 S=1/150

- 特記事項
- ・特記なき柱は、C1を示す。
 - ・▽印は、鉛直ブレース1WVを示す。
 - ・○印は、鉛直ブレース1WVAを示す。
 - ・▼印は、鉛直ブレース1WVBを示す。
 - ・特記なき水平ブレースは2V(M12)を示す。

凡例	設計変更年月日	工事名 大和特別支援学校校舎賃借	縮尺 A1 1:75 A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図番 S-07	
	1回 年 月 日					1級建築士登録 第 号
	2回 年 月 日					
	3回 年 月 日	図名 2階梁伏図	設計年月日			



小屋伏図 S=1/150

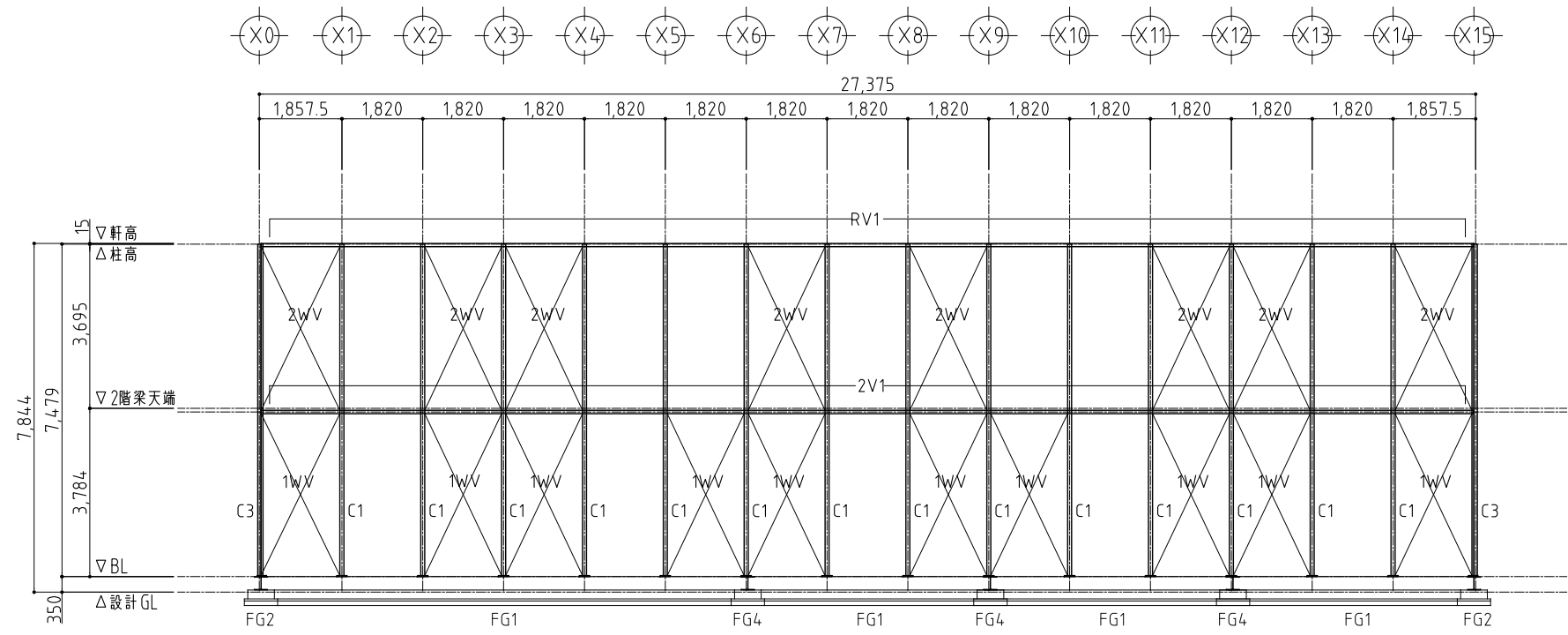
特記事項

- ・特記なき柱は、C1を示す。
- ・▽印は、鉛直ブレース2WVを示す。
- ・○印は、鉛直ブレース2WVAを示す。
- ・▼印は、鉛直ブレース2WVBを示す。
- ・特記なき水平ブレースはRV(M12)を示す。

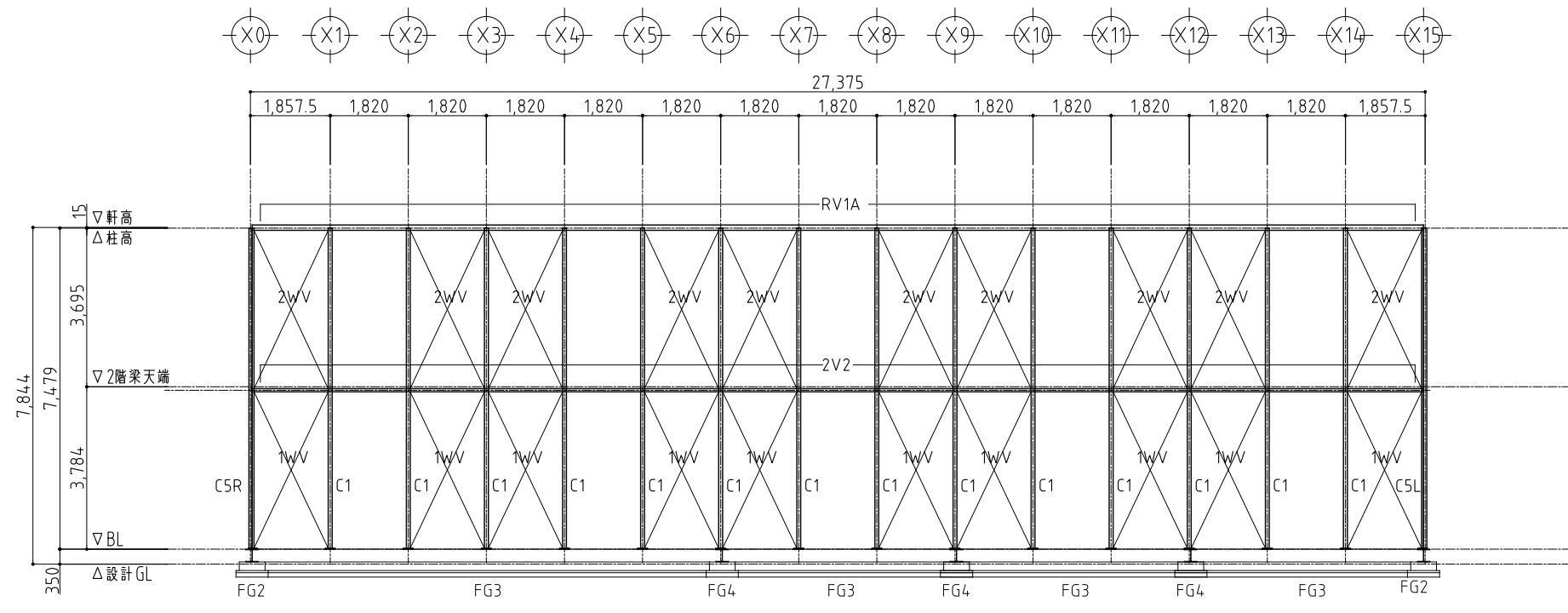
凡例	設計変更年月日
	1回 年 月 日
	2回 年 月 日
	3回 年 月 日

工事名	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺	A1 1:75 A3 1:150
図書名	小屋伏図	設計年月日	

佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図番	S
1級建築士登録 第 号	08	

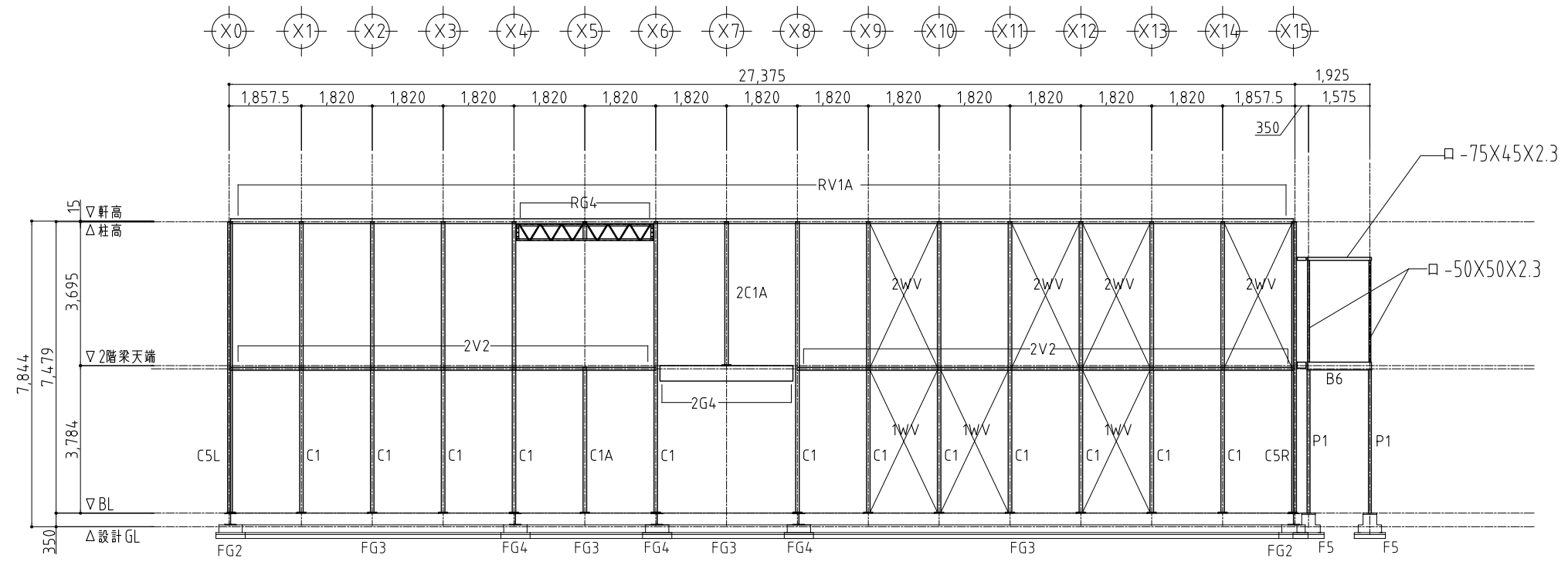


Y0 通軸組図 S=1/150

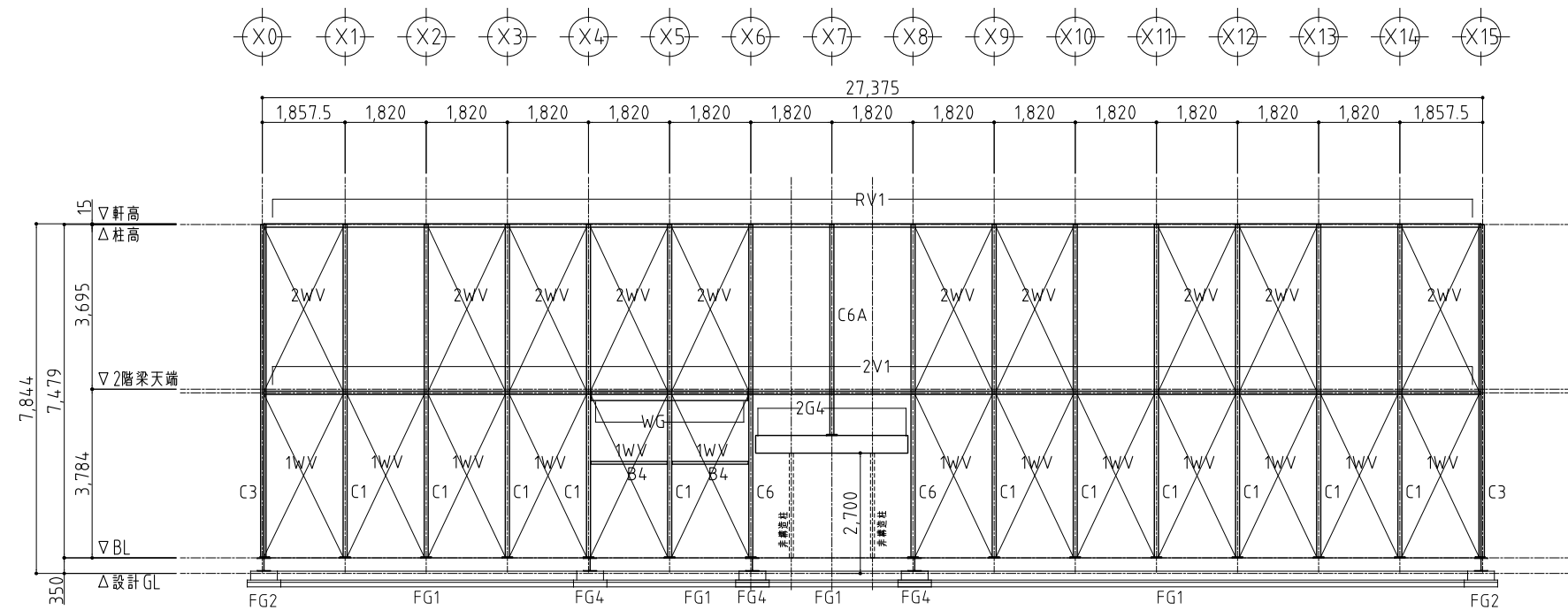


Y4 通軸組図 S=1/150

凡例	設計変更年月日	工事名 大和特別支援学校仮校舎貸借	縮尺 A1 1:75 A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図番 S		
	1回 年 月 日					設計年月日	1級建築士登録 第 号
	2回 年 月 日						
3回 年 月 日							



Y6 通軸組図 S=1/150



Y10 通軸組図 S=1/150

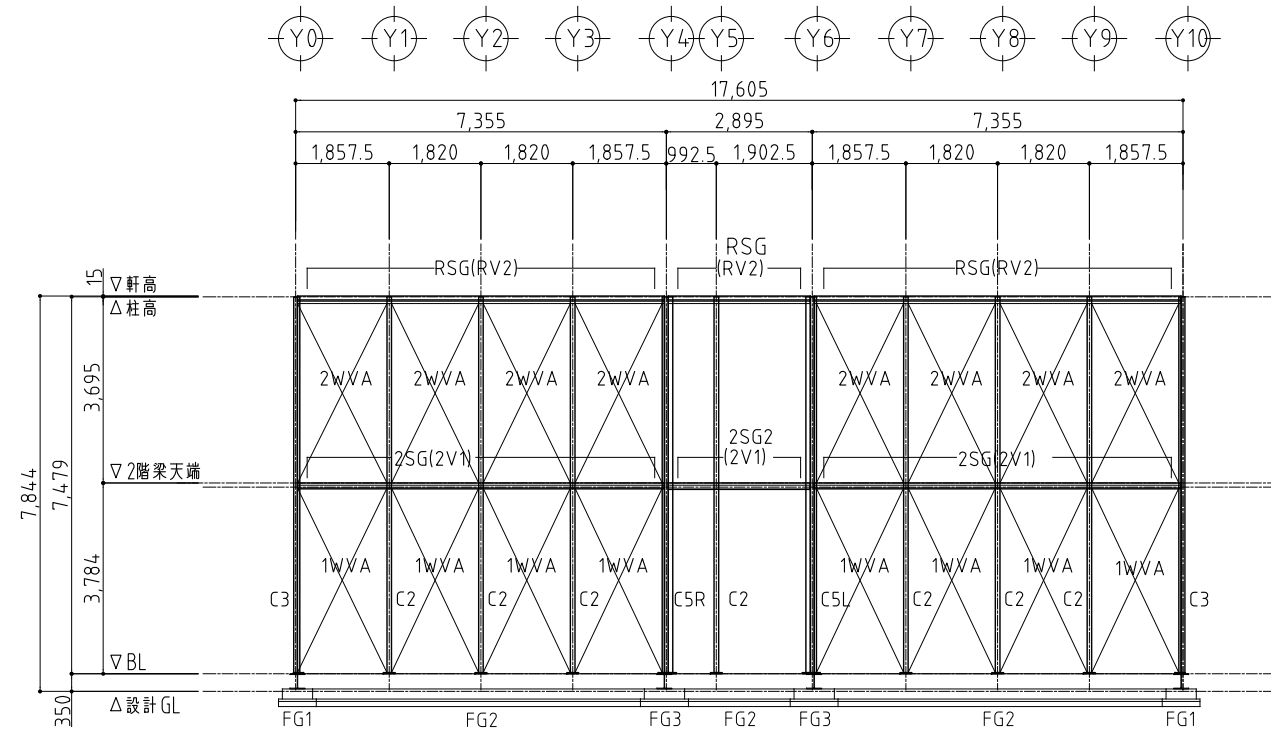
凡例

設計変更年月日
1回 年 月 日
2回 年 月 日
3回 年 月 日

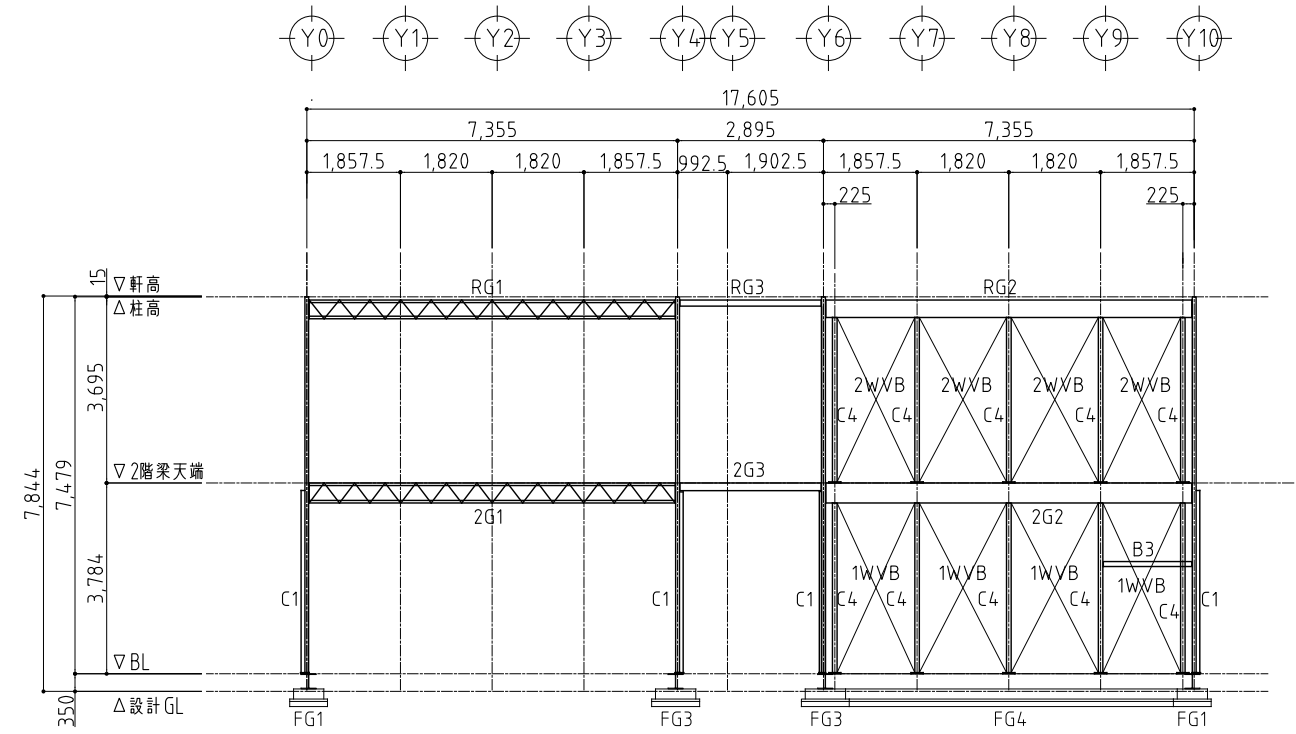
工事名	大和特別支援学校仮校舎貸借
図面名	軸組図-2

縮尺	A1 1:75 A3 1:150
設計年月日	

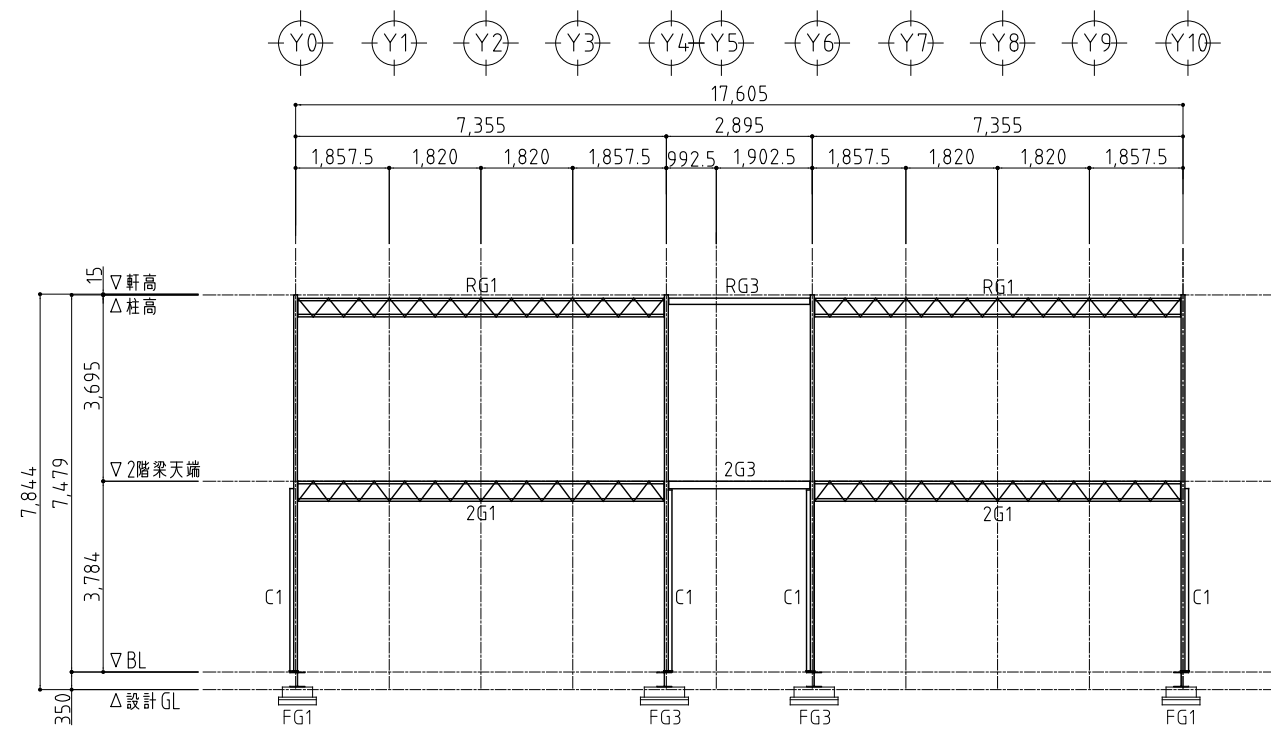
佐賀県教育委員会事務局
教育総務課
1級建築士登録 第 号



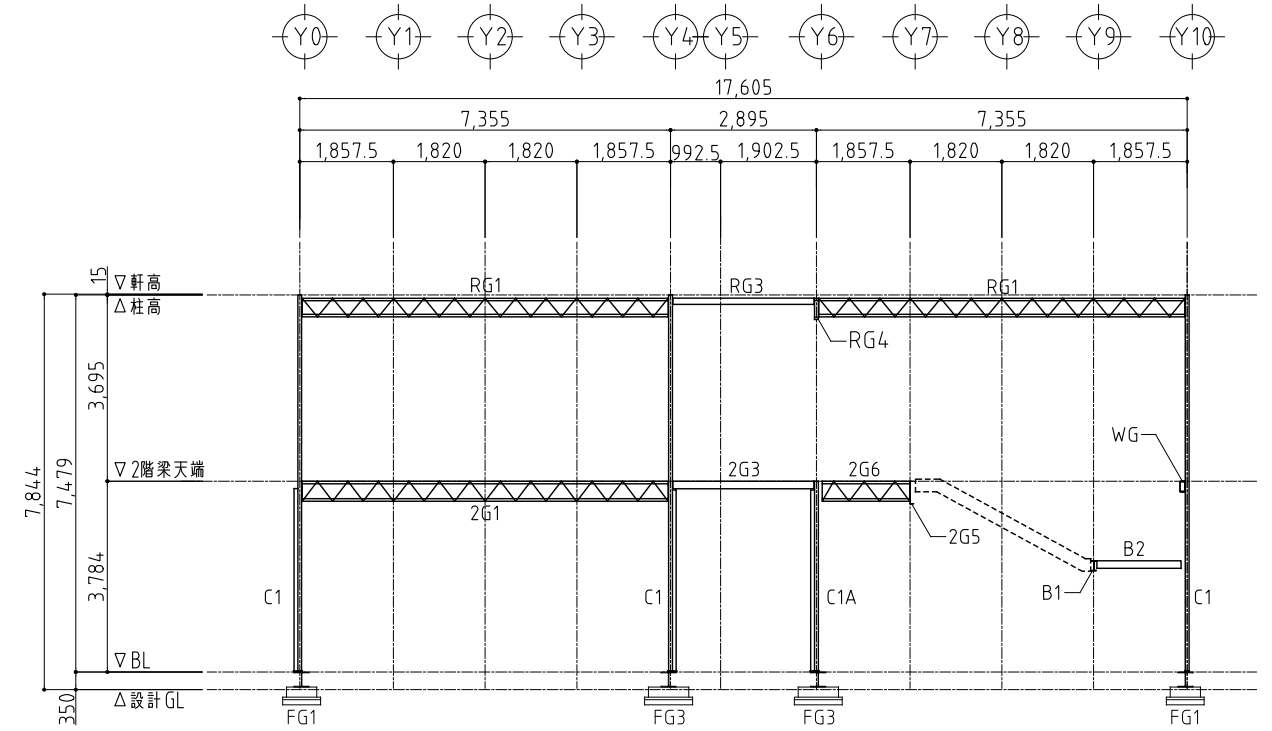
X0 通軸組図 S=1/150



X4 通軸組図 S=1/150



X1・X2・X3・X10・X11・X13・X14 通軸組図 S=1/150



X5 通軸組図 S=1/150

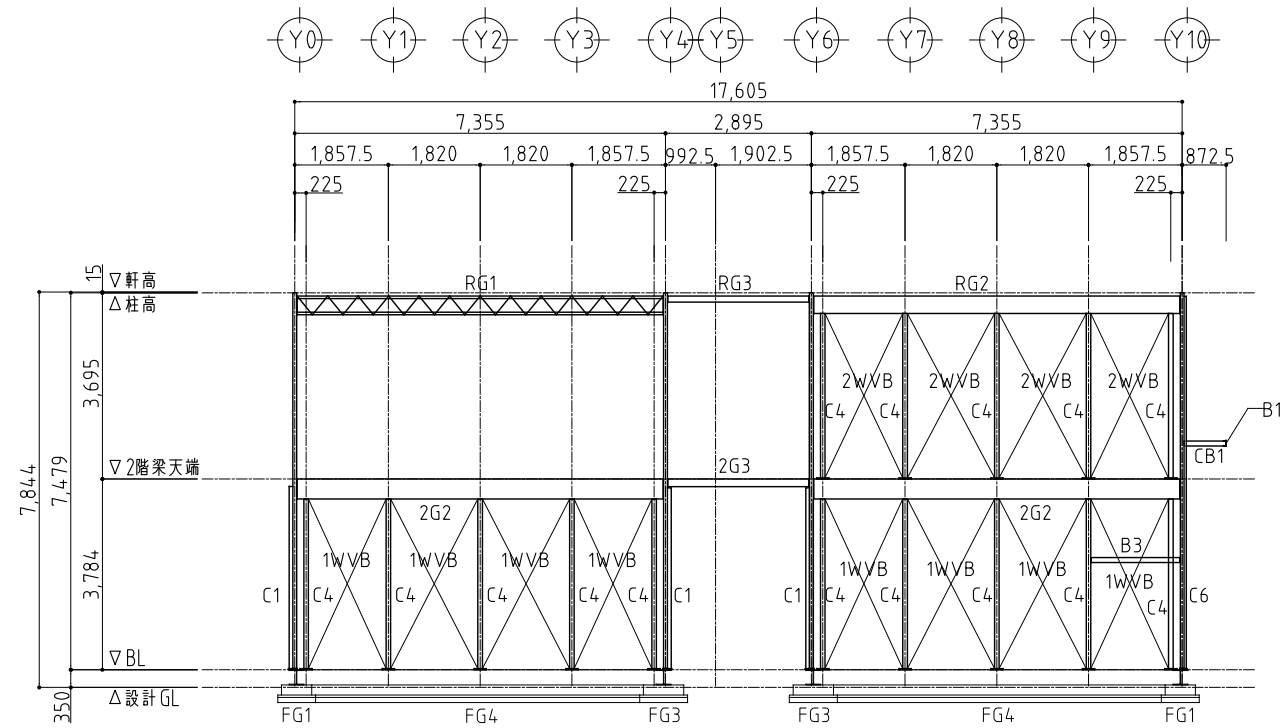
凡例

設計変更年月日
1回 年 月 日
2回 年 月 日
3回 年 月 日

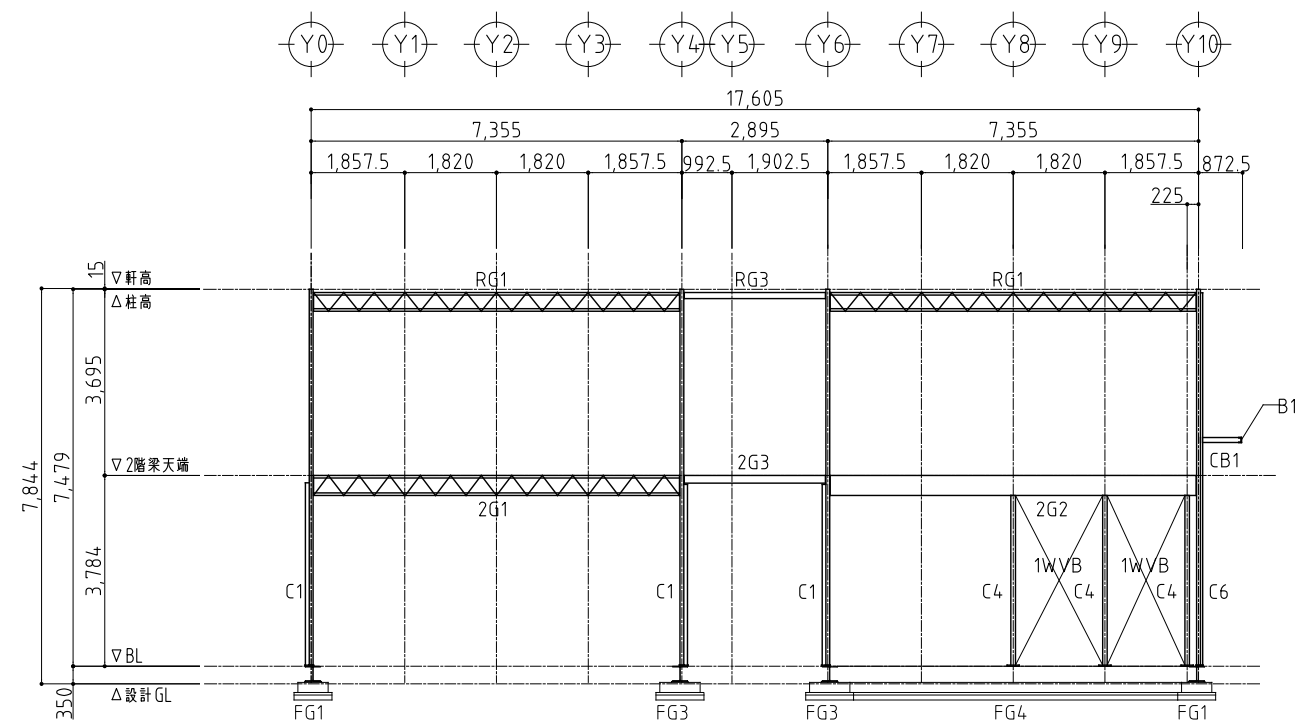
工事名	大和特別支援学校仮校舎貸借
図書名	軸組図-3

縮尺	A1 1:75 A3 1:150
設計年月日	

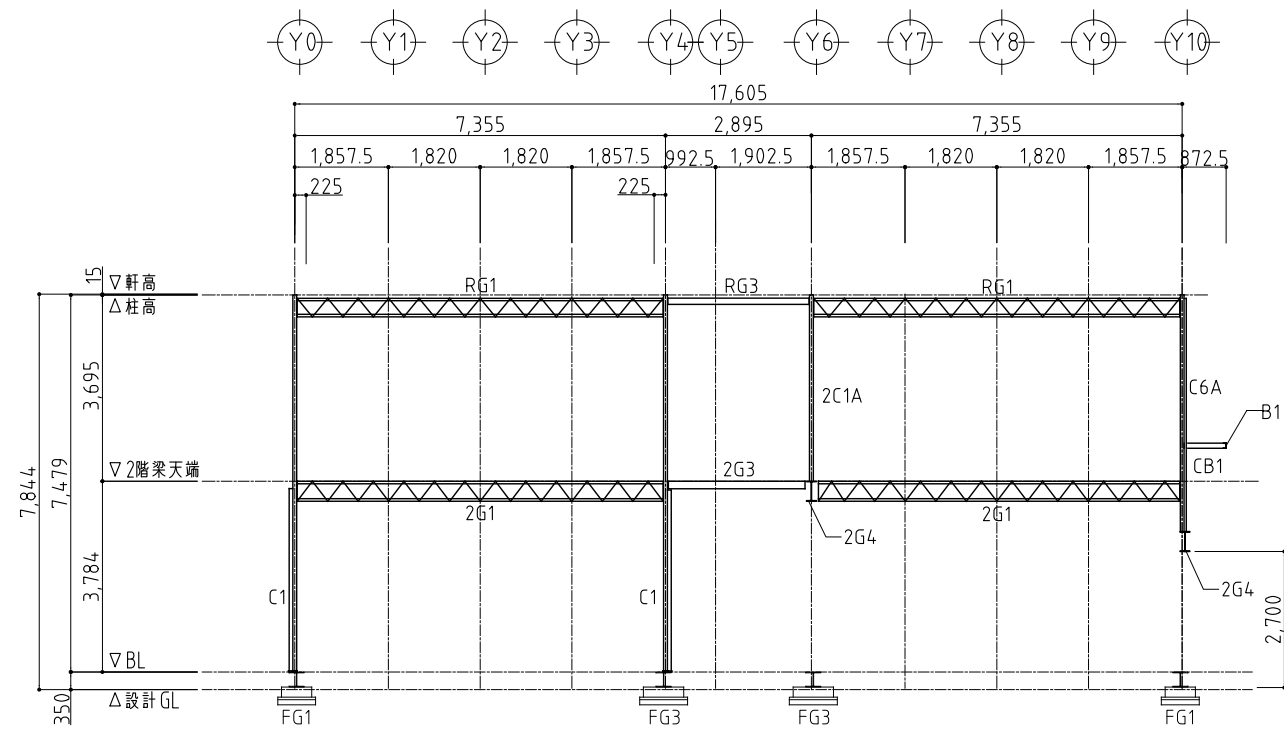
佐賀県教育委員会事務局
教育総務課
1級建築士登録 第 号



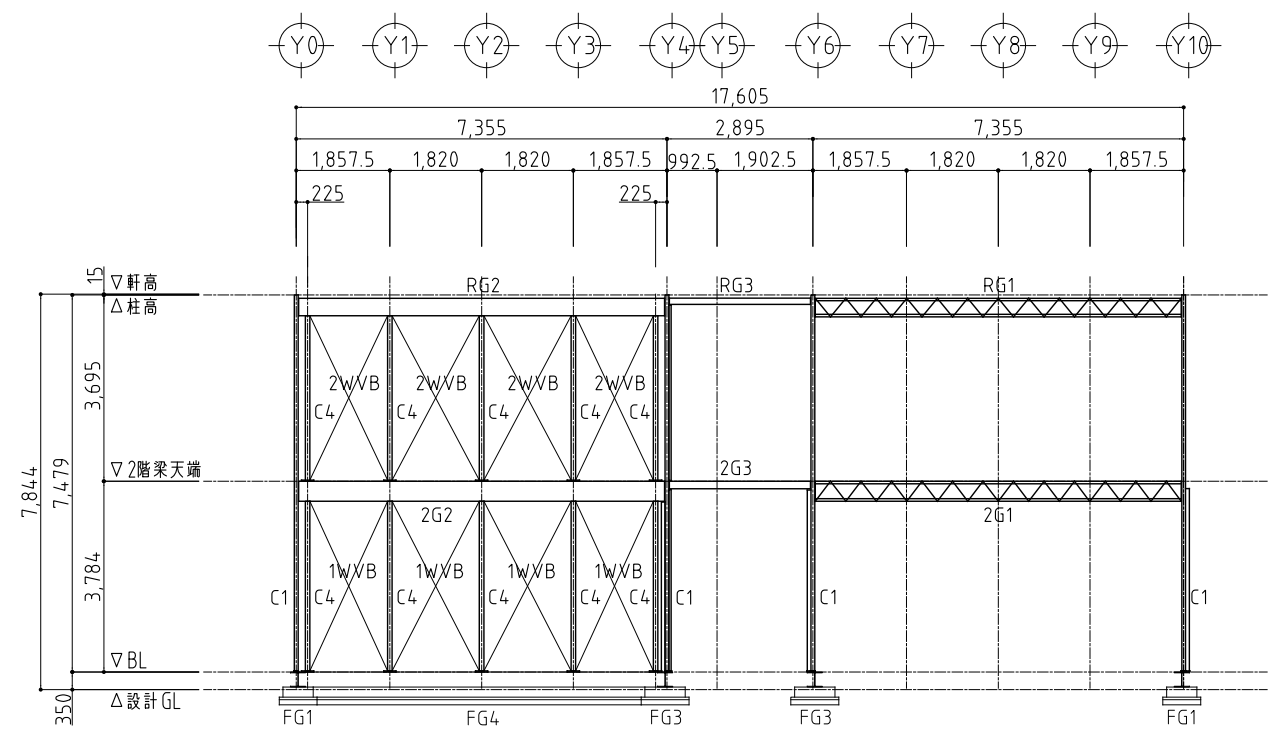
(X6) 通軸組図 S=1/150



(X8) 通軸組図 S=1/150

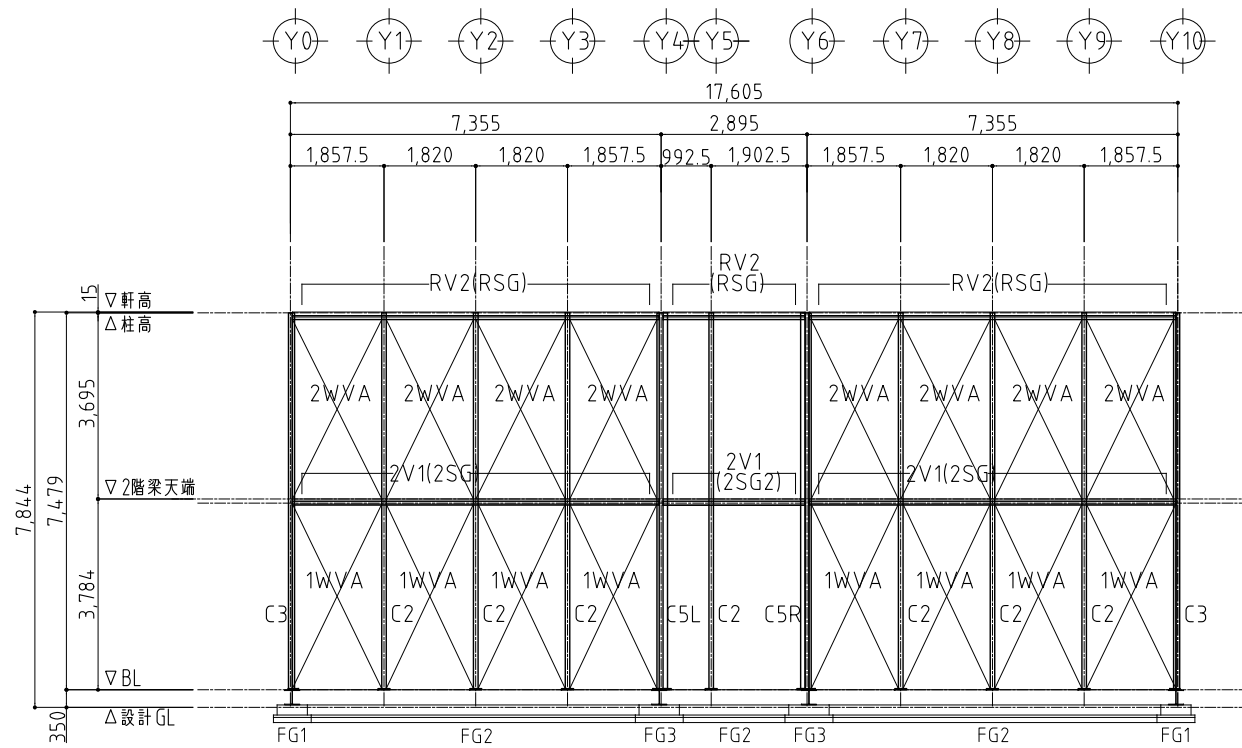


(X7) 通軸組図 S=1/150



(X9)・(X12) 通軸組図 S=1/150

凡例	設計変更年月日	工事名 大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮 A1 1:75 R A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図 番 号		
	1回 年 月 日					設計年月日	1級建築士登録 第 号
	2回 年 月 日						
3回 年 月 日							



(X15) 通 軸組図 S=1/150

凡例	設計変更年月日		工事名 大和特別支援学校仮校舎貸借	縮尺 A1 1:75 A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図番 S
	1回	年月日				
	2回	年月日				
	3回	年月日	図書名 軸組図-5	設計年月日	1級建築士登録 第 号	13

構造符号/部位	RG1: 小屋梁4.0K	RG2: 小屋耐力梁4.0K	RG3: 小屋梁1.5K (中廊下側)	RSG: 妻小屋梁4.0K,1.5K (中廊下側)
断面				
主材・材質	上・下弦材 C-100×50×20×3.2 SSC400 ラチス材 C-60×30×10×2.3 SSC400	H-346X174X6X9 SS400	2C-125×50×20×3.2 (つなぎ材: □-60×60×2.3) (天井下地: C-100×50×20×3.2) SSC400 (+STKR400)	C-75×45×15×2.3 SSC400 C-75×45×15×2.3 SSC400
接合部	G.PL-4.5 3-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)	G.PL-4.5 3-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)	GPL-6 2-M12(強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)	2-M12 (強度区分 4.8又は4.6) ※端部は1-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)
有効細長比 (圧縮材)	上・下弦材 λc=47 ラチス材 λc=44	λc=48	λc=103	λc=113 λc=113
備考	製作用部材記号 品番			

構造符号/部位	RV1: 軒桁	RV2: 妻桁4.0K,1.5K (中廊下側)	RV1A: 軒桁 (中廊下側)	ルーフトレッキ4.0K,1.5K (中廊下側)
断面				
主材・材質	C-75×45×15×2.3 SSC400	C-100×50×2.3 SSC400 C-100×50×2.3 SSC400	C-125×50×20×3.2 SSC400	折板 H=88 t=0.8 JIS規格 (JIS G3322,G3321,G3312)
接合部	2-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用) ※ジョイント部、端部は、1-M12 (強度区分 4.8又は4.6)	2-M12 (強度区分 4.8又は4.6) ※端部は、1-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)	2-M12 (強度区分 4.8又は4.6) ※端部は、1-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)	2-M12 (強度区分 4.8又は4.6) ※端部ジョイント部は1-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)
有効細長比 (圧縮材)	λc=110		λc=100	ボルト M10
備考	製作用部材記号 品番			

構造符号/部位	MT: 母屋 (小屋梁繋ぎ)	1G1: 大引	1G3: 大引 (中廊下側)	1G2: 大引	RG4: 小屋梁受梁
断面					
主材・材質	C-75×45×15×2.3 SSC400	H-150×150×7×10 SS400	C-75×45×15×2.3+ □-150×100×3.2 SSC400 +STKR400	C-75×45×15×2.3 SSC400	上・下弦材 C-75X45X15X2.3 SSC400 ラチス材 [-43X40X3.2 SS400
接合部	PL-4.5 2-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用) ※ジョイント部、PL-4.5 1-M12 (強度区分 4.8又は4.6)	GPL-9 2-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)	PL-4.5 1-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)	GPL-9 2-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)	G.PL-6 3-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)
有効細長比 (圧縮材)	λc=108	λc=97	λc=70	λc=36	上・下弦材 λc=61 ラチス材 λc=43
備考	製作用部材記号 品番				

構造符号/部位	2G1: 2階梁		2G6: 2階梁 1.0K		2G2: 2階耐力梁 4.0K		2G3: 2階梁 1.5K (中廊下)	
断面								
主材・材質	上・下弦材	C-100×50×5×7.5	SS400	上・下弦材	C-100×50×20×2.3	SSC400		
	ラチス材	C-75×45×15×2.3	SSC400	ラチス材	[-58X45X3.2	SS400		
接合部	G.PL-6.0 3-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)			G.PL-6.0 3-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)			G.PL-6.0 2-M12(強度区分 6.8) (スプリングワッシャー使用)	
有効細長比(圧縮材)	上・下弦材 λc=46 ラチス材 λc=25			上・下弦材 λc=47 ラチス材 λc=29			λc=105	
備考	製作用部材記号 品番			製作用部材記号 品番			製作用部材記号 品番	

構造符号/部位	V: 2階梁繋ぎ (中廊下)		2V1: 妻・桁柱繋ぎ (外周)		2V2: 妻・桁柱繋ぎ (中廊下)	
断面						
主材・材質	C-60×30×10×2.3		SSC400	C-75×45×15×2.3		SSC400
接合部	PL-4.5 2-M10 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)			PL-3.2 2-M12 (強度区分 6.8) (スプリングワッシャー使用) ※ジョイント部、端部は1-M12 (強度区分 6.8)		
有効細長比(圧縮材)	λc=170			λc=108		
備考	製作用部材記号 品番			製作用部材記号 品番		

構造符号/部位	2SG: 2階床受		2SG2: 2階床受		V: 2階梁繋ぎ	
断面						
主材・材質	C-100×50×20×3.2		SSC400	C-125×50×20×3.2		SSC400
接合部	2-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用) ※端部、ジョイント部は1-M12 (強度区分 4.8又は4.6)			2-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用) ※端部、ジョイント部は1-M12 (強度区分 4.8又は4.6)		
有効細長比(圧縮材)	λc=97			λc=103		
備考	製作用部材記号 品番			製作用部材記号 品番		

凡例	設計変更年月日
	1回 年 月 日
	2回 年 月 日
	3回 年 月 日

工事名	— 大和特別支援学校仮校舎賃貸借 —	縮尺	A1 1:10 A3 1:20
図番	— 部材/12 —	設計年月日	

佐賀県教育委員会事務局 教育総務課		図番	S
1級建築士登録 第 号		ページ	6

構造符号/部位	2G4: 2階梁受梁		2G5: 階段受梁		B1: 階段受梁	
断面						
主材・材質	H-396x199x7x11		SS400		[-450x75x4.5	SSC400
接合部	GPL-6.0 3-M12 (強度区分 6.8) (スプリングワッシャー使用)		Y10通り GPL-9.0 3-M12 (強度区分 6.8)		GPL-6 3-M16 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)	
有効細長比(圧縮材)	$\lambda c = 40$				$\lambda c = 81$	
備考	製作用部材記号 品番				製作用部材記号 品番	
構造符号/部位	B2		B3		B4	
断面						
主材・材質	H-150x75x5x7	SS400	C-100x50x20x3.2	SSC400	C-60x30x10x2.3	SSC400
接合部	GPL-6 2-M16 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)		GPL-4.5 2-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)		PL-4.5 2-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)	
有効細長比(圧縮材)	$\lambda c = 112$		$\lambda c = 97$		$\lambda c = 170$	
備考	製作用部材記号 品番		製作用部材記号 品番		製作用部材記号 品番	
構造符号/部位	WG					
断面						
主材・材質	□-200x100x4.5		STKR400			
接合部	GPL-6.0 2-M12 (通しボルト) (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)					
有効細長比(圧縮材)	$\lambda c = 43$					
備考	製作用部材記号 品番		製作用部材記号 品番		製作用部材記号 品番	
構造符号/部位	CB1+B5: 庇梁		1SG: 妻・耐力部床受け		床パネル(一般部)	
断面						
主材・材質	[-100x50x3.2 B5: [-100x50x3.2 GPL-4.5 4-M16 (強度区分 4.8) ※CB1とB5の取合いは工場溶接 LipH-75X90X15X3.2 +□-75x45x3.2 (桁柱)		SSC400		ラワン合板 t=12 JAS 2類 F☆☆☆☆ 根木: 30 x 105 木材(米松or米楡)	
接合部	[-100x50x3.2		SSC400		釘打 @300	
有効細長比(圧縮材)	$\lambda c = 97$					
備考	製作用部材記号 品番		製作用部材記号 品番		製作用部材記号 品番	

凡例	設計変更年月日
	1回 年 月 日
	2回 年 月 日
	3回 年 月 日

工事名	一和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺	A1 1:10 A3 1:20
図番名	部材/サ3	設計年月日	

佐賀県教育委員会事務局 教育総務課		図番	S/
1級建築士登録 第 号			17

構造符号/部位		RV：小屋ブレース（M12）				羽子板部詳細 M12	
断面							
	主材・材質	M12（ターンバックル付き） JIS規格（JIS A5540）				丸棒鋼 SNR400B 羽子板 SN400B TB（ハブ式） STKN400W(B)	() 内寸法は平鋼製の場合
接合部	ブレースシート t=6 1-M16（強度区分 4.8又は4.6） （スプリングワッシャー使用）						
有効細長比（圧縮材）							
備考	製作用部材記号 品番						
構造符号/部位		2V：2階ブレース（M12）					
断面							
	主材・材質	M12（ターンバックル付き） JIS規格（JIS A5540）				丸棒鋼 SNR400B 羽子板 SN400B TB（ハブ式） STKN400W(B)	
接合部	ブレースシート t=6 1-M16（強度区分 4.8又は4.6） （スプリングワッシャー使用）						
有効細長比（圧縮材）							
備考	製作用部材記号 品番						

凡例		設計変更年月日	工事名	縮尺	1:10 A1 1:20 A3	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図番
		1回 年 月 日	— 大和特別支援学校仮校舎賃貸借 —			1級建築士登録 第 号	
		2回 年 月 日					
		3回 年 月 日	— 部材/14 —	設計年月日			

構造符号/部位	1WV・2WV：壁ブレース（M16・M12）	1WVA・2WVA：壁ブレース（M20・M12）	1WVB・2WVB：耐力用壁ブレース（M18・M12）		羽子板部詳細	
断面					<p>M12</p> <p>M16</p> <p>M18</p> <p>M20</p>	
	主材・材質	1F：M16 2F：M12 （ターンバックル付き） 丸棒鋼 SNR400B 羽子板 SN400B JIS規格（JIS A5540） TB（ﾊﾞｲﾌﾞ式）STKN400W(B)	1F：M20 2F：M12 （ターンバックル付き） 丸棒鋼 SNR400B 羽子板 SN400B JIS規格（JIS A5540） TB（ﾊﾞｲﾌﾞ式）STKN400W(B)	1F：M18 2F：M12 （ターンバックル付き） 丸棒鋼 SNR400B 羽子板 SN400B JIS規格（JIS A5540） TB（ﾊﾞｲﾌﾞ式）STKN400W(B)		
	接合部（1F部分）	ブレースシート t=9 1-M20（HTB（F8T））	ブレースシート t=9 1-M20（HTB（F8T））	ブレースシート t=9 1-M20（HTB（F8T））		
	接合部（2F部分）	ブレースシート t=6 1-M16（強度区分 4.8又は4.6） （スプリングワッシャー使用）	ブレースシート t=6 1-M16（強度区分 4.8又は4.6） （スプリングワッシャー使用）	ブレースシート t=6 1-M16（強度区分 4.8又は4.6） （スプリングワッシャー使用）		
	1F	製作用部材記号 品番				
2F	製作用部材記号 品番					

凡例	<table border="1"> <tr><td>設計変更年月日</td></tr> <tr><td>1回 年 月 日</td></tr> <tr><td>2回 年 月 日</td></tr> <tr><td>3回 年 月 日</td></tr> </table>	設計変更年月日	1回 年 月 日	2回 年 月 日	3回 年 月 日	<table border="1"> <tr><td>工事名</td><td>大和特別支援学校仮校舎賃借</td></tr> <tr><td>図番</td><td>部材/15</td></tr> <tr><td>設計年月日</td><td></td></tr> </table>	工事名	大和特別支援学校仮校舎賃借	図番	部材/15	設計年月日		<table border="1"> <tr><td>縮尺</td><td>A1 1:10 A3 1:20</td></tr> </table>	縮尺	A1 1:10 A3 1:20	<table border="1"> <tr><td>1級建築士登録 第 号</td></tr> </table>	1級建築士登録 第 号	<table border="1"> <tr><td>佐賀県教育委員会事務局 教育総務課</td></tr> <tr><td>1級建築士登録 第 号</td></tr> </table>	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	1級建築士登録 第 号
設計変更年月日																				
1回 年 月 日																				
2回 年 月 日																				
3回 年 月 日																				
工事名	大和特別支援学校仮校舎賃借																			
図番	部材/15																			
設計年月日																				
縮尺	A1 1:10 A3 1:20																			
1級建築士登録 第 号																				
佐賀県教育委員会事務局 教育総務課																				
1級建築士登録 第 号																				

構造符号/部位	C1: 桁柱	C1A: 桁柱	C2: 妻柱	C3: 隅柱
断面				
主材・材質	2階 LipH-75X90X15X3.2 1階 LipH-75X90X15X3.2 + □-75X45X3.2	1階 LipH-75X90X15X3.2 + □-75X45X3.2	2階 LipH-75X90X15X3.2 1階 LipH-75X90X15X3.2 + C-75X45X15X2.3	2C-75X45X15X2.3+□-75X75X2.3
接合部	B.PL-22(SS400) Bolt 2-M16 (H.T.B F8T) A,BOLT 2-M16 L=400 (SNR490B) ダブルナット締め	B.PL-22(SS400) Bolt 2-M16 (H.T.B F8T) A,BOLT 2-M16 L=400 (SNR490B) ダブルナット締め	B.PL-22(SS400) Bolt 2-M16 (H.T.B F8T) A,BOLT 2-M16 L=400 (SNR490B) ダブルナット締め	B.PL-22(SS400) Bolt 2-M16 (H.T.B F8T) A,BOLT 4-M16 L=400 (SNR490B) ダブルナット締め
有効細長比(圧縮材)	2F: λ c =14.3 1F: λ c =14.0	λ c =14.0	2F: λ c =14.3 1F: λ c =13.6	λ c =11.3
備考	製作用部材記号 品番			

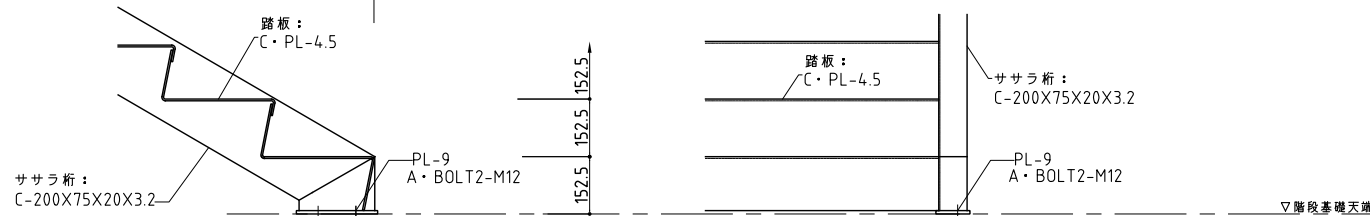
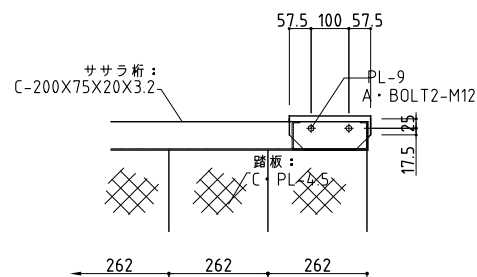
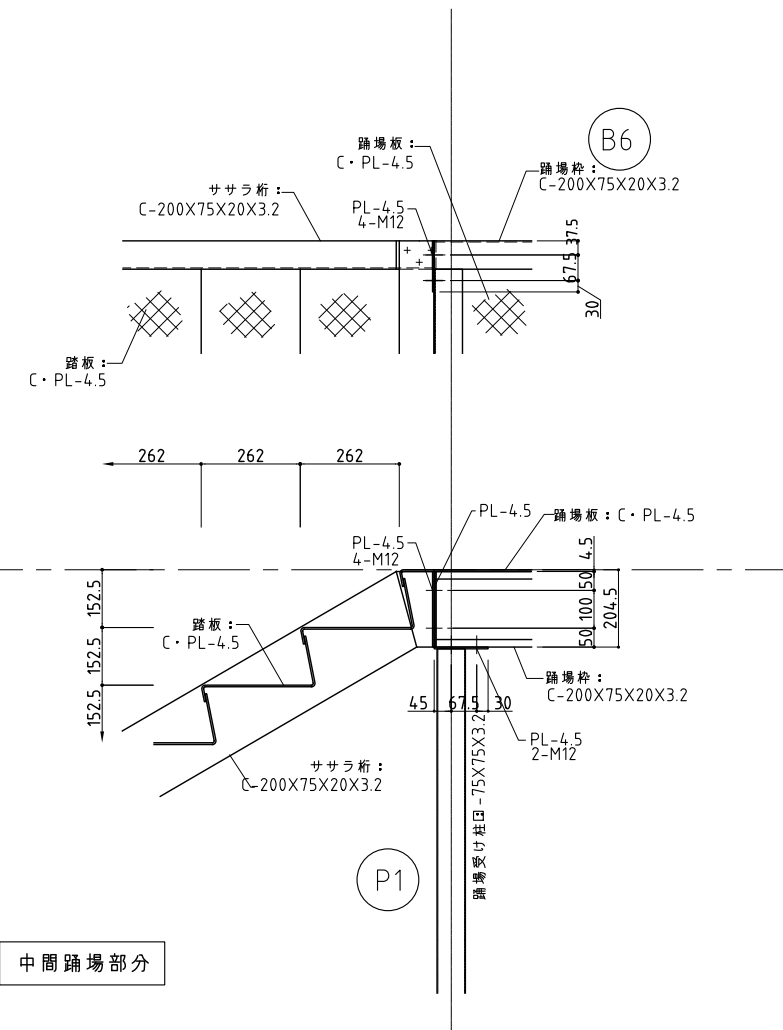
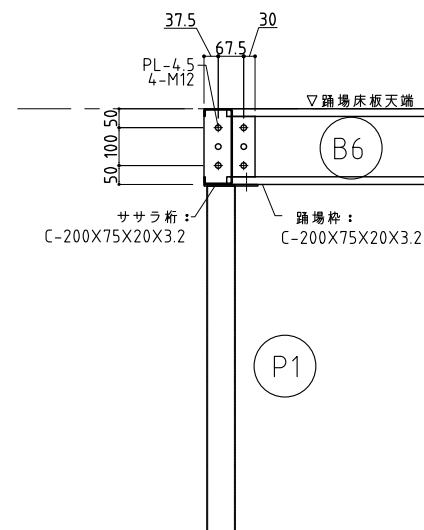
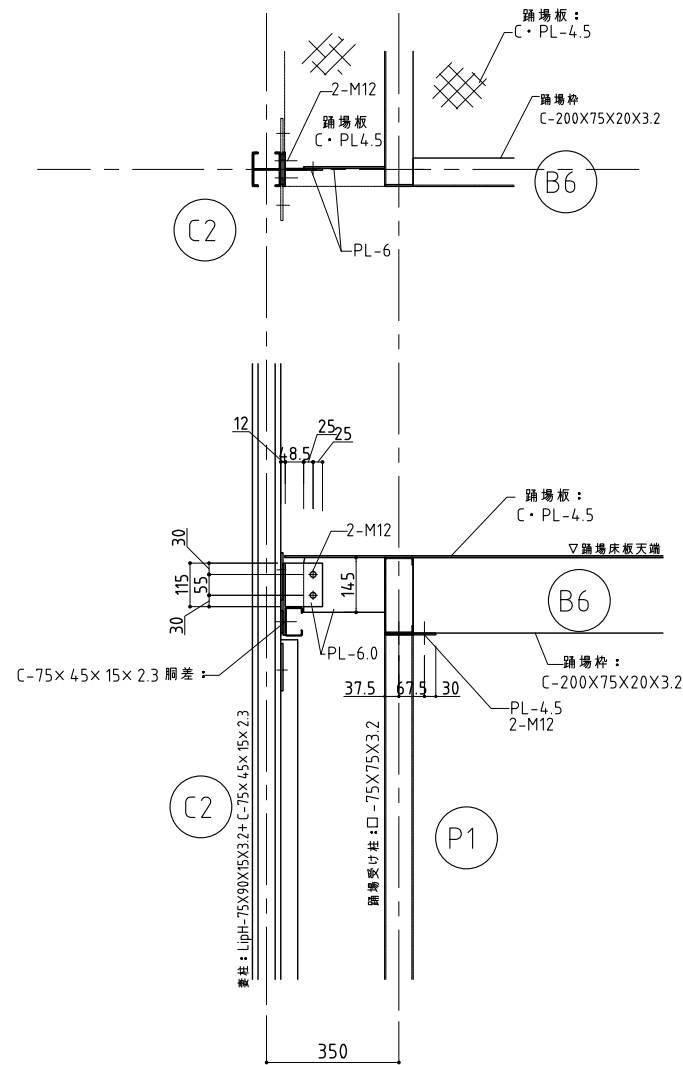
構造符号/部位	C4: 耐力柱	C5R: 中廊下柱	C5L: 中廊下柱
断面			
主材・材質	□-75X75X4.5	2C-75X45X15X2.3+□-75X75X2.3 +LipH-75X90X15X3.2	2C-75X45X15X2.3+□-75X75X2.3 +LipH-75X90X15X3.2
接合部	B.PL-22(SS400) Bolt 2-M16 (H.T.B F8T) A,BOLT 2-M16 L=400 (SNR490B) ダブルナット締め	B.PL-22(SS400) Bolt 2-M16 (H.T.B F8T) A,BOLT 2-M16 L=400 (SNR490B) ダブルナット締め	B.PL-22(SS400) Bolt 2-M16 (H.T.B F8T) A,BOLT 2-M16 L=400 (SNR490B) ダブルナット締め
有効細長比(圧縮材)	λ c =13.0	λ c =10.6	λ c =10.6
備考	製作用部材記号 品番		

※特記なき中ボルトは
スプリングワッシャー使用

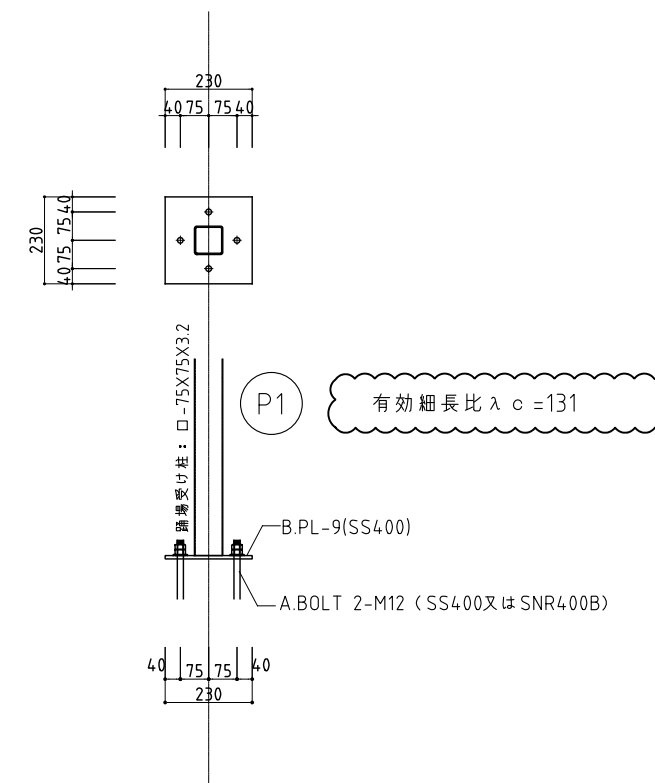
構造符号/部位		C6A: 開口梁上柱		2C1A: 開口梁上柱		内部階段仕口詳細図	
断面							
	主材・材質	2階 LipH-75X90X15X3.2 + □-75x45x3.2	SWH400L +STKR400	LipH-75X90X15X3.2	SWH400L		
	接合部	1階 LipH-75X90X15X3.2 + □-75x45x3.2		PL-12 (SS400またはSN400B) Bolt 2-M16 (強度区分 4.8又は4.6)			
	有効細長比 (圧縮材)	PL-12 (SS400またはSN400B) Bolt 2-M16 (強度区分 4.8又は4.6)		λ c = 14.3			
	備考	製作用部材記号 品番		λ c = 14.1			

構造符号/部位		C6: 桁柱						
断面								
	主材・材質	2階 LipH-75X90X15X3.2 + □-75x45x3.2	SWH400L +STKR400					<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">※特記なき中ボルトは スプリングワッシャー使用</p>
	接合部	1階 LipH-75X90X15X3.2 + □-75x45x3.2		B.PL-22(SS400) Bolt 2-M16 (H.T.B F8T)				
	有効細長比 (圧縮材)	A,BOLT 2-M16 L=400 (SNR490B) タフナット締め		λ c = 14.1				
	備考	製作用部材記号 品番						

外部階段仕口詳細図



※特記なき中ボルトは
スプリングワッシャー使用



凡例	設計変更年月日
	1回 年 月 日
	2回 年 月 日
	3回 年 月 日

工事名	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺	A1 1:10 A3 1:20
図名	部材/1-8	設計年月日	

佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図番	S
1級建築士登録 第 号	号	

構造設計特記仕様

通用は を記入する。

1. 建築物の構造内容

(1) 工事名称 大和特別支援学校仮校舎賃貸借
 建築場所 佐賀市大和町大字久留間3353
 (2) 工事種別 新築 増築 増改築 改築
 (3) 構造種別 鉄骨造 (S)
 (4) 階数 渡り廊下棟 地上 1 階
 棟 地上 - 階
 (5) 主要用途 特別支援学校
 (6) 屋上付属物
 (7) 特別な荷重 エレベータ 人乗(70kg/㎡ 0.7式 油圧式) リフト kN ホイスト kN
 倉庫積載床用 N/㎡2
 (8) 付帯工事
 (9) 増築計画 有 () 無
 (10) 構造計算ルート X方向ルート(1-1) Y方向ルート(1-1)
 X方向ルート(1-2) Y方向ルート(1-2)
 X方向ルート(2) Y方向ルート(2)
 (11) 鉄骨工事は指示のない限り下記による
 建築基準法
 日本建築学会「JASS5」「鉄骨精度検査基準」「鉄骨工事技術指針」
 鋼材倶楽部「建築鉄骨工事施工指針」
 社)日本鋼構造協会「建築鉄骨工事施工指針」
 鉄骨製作管理技術者登録機構「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」

2. 使用構造材料一覧表

適用箇所	種類	設計基準強度 F _c =N/㎡	構造体強度の 補正係数 mSn	スランプ cm	水セメント比の 目標値の上限 %	空気量 の目標値 %	単位水量の目標値 の上限 kg/m ³
柱コンクリート	普通	18	0	18	65	4.5	185
土間コンクリート	普通	21	0	18	65	4.5	185
基礎・基礎梁	普通	21	*1	18	65	4.5	185
柱・梁・床・壁	普通	21	*1	18	65	4.5	185
押えコンクリート	普通						
細骨材の種類	砂	山砂	人工	最大寸法5mm以下			
粗骨材の種類	砂利	砕石	人工	最大寸法25mm以下			
水の区分	水道水	地下水	工業用水				
混和材料の種類	A E 減水剤	高性能 A E 減水剤					

*1 コンクリートの構造体強度補正係数(mSn)は、調査強度を定めるための基準とする材齢(n日)における標準養生供試体の圧縮強度と、構造体コンクリート強度を設計基準強度以上とする材齢(n日)におけるコア圧縮強度との差に関する補正値である。

セメントの種類	m日	n日	コンクリート打込みから材齢28日までの予想平均気温()とmSn の範囲()	mSn(N/mm ²)
普通ポルトランド・混合A種	28	91	8 0 < 8	3 6

[注] 暑中期における構造体強度補正係数 S は 6N/mm²とする。²

(2) 鉄筋	種類	径	使用箇所	継手工法
異形鉄筋	SD295	D16以下	図示による	重ね継手
	SD295B			ガス圧接継手
	SD345			
丸鋼	SR235			特殊継手 ()
	SIM-P	5.0, 6.0		
	SIM-C			
	SIM-R			
溶接金網 (JIS G 3551)	SIM-I	CD5, CD6		

(3) 鉄骨	種類	使用箇所	現場溶接	備考
SS400	形鋼・鋼板・ブレース	梁・板材・ブレース	無	JISG3101
STKR400	角形鋼管	柱	無	JISG3446
S11H400L	リップH形鋼	柱	無	JISG3353
SNR400B	ブレース	ブレース	無	JISG3138
STKN400W又は400B	ブレース	ブレース	無	JISG3475
SSC400	軽量形鋼	梁・柱	無	JISG3350
SN400B	ブレース	ブレース	無	JISG3136
SN490B	ベースプレート	板材	無	JISG3136

(4) ボルト 使用箇所の詳細については別途図示とする。
 高力ボルト(ボルト孔径はボルト軸径+2.0mmとする)
 F8T S10T 認定品 M16 M20
 高力ボルトすべり係数試験 要 否
 高力ボルト導入張力確認試験 要 否
 普通ボルト<強度区分は別図による>(ボルト孔径はボルト軸径+1.0mmとする)
 M10 M12 M16 M20
 アンカーボルト(ボルト孔径はボルト軸径+5.0mmとする)
 SS400又はSNR400B M(12) L=(400mm) ダブルナット
 SNR490B M() L=(mm) ダブルナット
 SNR490B M() L=(mm) ダブルナット
 SNR490B M() L=(mm) ダブルナット

(5) 屋根、床 厚 0.6 0.8
 ALC板 H=88 厚 1.2 1.6 仕上げ 素地 亜鉛めっき
 折版 型式V50 厚 H117 H90
 デッキプレート
 床パネル

3. 地盤

(1) 地盤調査資料と調査計画		有 () 敷地内		無 () 調査計画		有 () 敷地内		無 () 調査計画	
調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目	資料有り	調査計画	調査項目
ボーリング調査			静荷貫入試験			標準貫入試験			○
水平地盤反力係数の測定			土質試験			物理探査			
試験地(支持層の確認)			平板載荷試験			液状化判定			
スローテックサンディング			現場透水試験			PS検層			

注) 上記表中の資料が有るもの、調査計画が有るものに を記入する。
 (2) ボーリング標準貫入値、土質構成(基礎・杭の位置を明記すること)

深度	土質	N値	標準貫入試験						調査地盤
			1.0	2.0	3.0	4.0	5.0	6.0	
									○ 調査地盤
									○ 位置図
									○ 支持地盤、地層及び深さについてのコメント
									○ 孔内水位 GL - m
									○ 近隣データの調査地盤と設計地盤とは約 mの距離がある
									○ 備考

注) 地盤調査及び試験杭の結果により、杭長さ、直接基礎の深さ、形状を変更する場合もある。

4. 地業工事

(1) 直接基礎 ベタ基礎 布基礎 独立基礎 試験堀 有 無
 深さGL-0.25m 支持層
 長期許容支持力度 50 kN/m² 載荷試験 有 無
 (2) 杭基礎 支持層 -

杭種	材 料	施工法	備考
RC	PRC (種 種 種)	<input type="checkbox"/> 打ち込み	
PHC	PHC (A種 B種 C種)	<input type="checkbox"/> 埋込み(セメントミルク工法)	
鋼管	摩擦杭	<input type="checkbox"/> DM工法	認定第 号
SC杭	鋼材 SS400 STKR400	<input type="checkbox"/>	年 月 日

杭仕様 施工計画書承認 杭施工結果報告書
 試験杭 (有 無) (打ち込み 載荷 孔壁測定) 本

杭径 (mm)	設計支持力 (kN)	杭の先端の深さ (m)	本数	特記事項

(3) 地盤改良
 柱状地盤改良杭 L = m (基礎下)
 設計基準強度 F_c = kN/m²
 固化材添加量 kg/m³(六価クロム低減型)
 土間コンクリート下地盤改良 厚さ
 固化材添加量 kg/m³

5. 鉄筋コンクリート工事 (施工方法等計画書)

本構造設計特記仕様書はコンクリートの設計基準強度(F_c)が36N/mm²以下に適用する。

(1) コンクリート
 コンクリートはJIS認定工場の製品とし、施工に関しては、標準図に記載されている事項を除きJASS5(2018年度版)による。
 耐久設計基準強度 短期 標準 長期 超長期
 セメントは、JIS R5210の普通ポルトランドセメントを標準とする。
 調査計画は、工事開始前に工事監理者の承認を得ること。
 寒中、暑中、その他特殊コンクリートの適用を受ける期間に当たる場合は、調査、打ち込み、養生、管理方法など必要事項について、工事監理者の承認を得ること。
 フレッシュコンクリートの塩化物測定は、原則として工事現場で(財)国土開発技術センターの技術評価を受けた測定器を用いて行い、試験結果の記録及び測定器の表示部を-回の測定ごとに撮影した写真(カラー)を保管し承認を得る。
 測定検査の回数は、通常の場合、1日1回以上とし、1回の検査における測定試験は、同一試料から取り分けて3回行い、その平均値を試験値とする。
 構造体コンクリートについて現場の圧縮強度試験方法は、JASS5T-603によることとし、供試体は標準養生とし、採取は打ち込み区ごと、打ち込み日ごととする。
 標準養生供試体の代わりに現場水中養生供試体に、コア供試体の代わりに現場封かん養生供試体によることができる。
 また、打ち込み量が150*をこえる場合は、150*ごとまたは、その端数ごとに1回を標準とする。1回に採取する供試体は、適当な間隔をおいた3台の運搬車からその必要本数を採取する。なお、供試体の数量は、特別指示なき場合は、1回当たり6本以上とし、そのうち4適用に3本を用いる。
 ポンプ打ちコンクリートは、打ち込み位置にできるだけ近づけて垂直に打ち、コンクリートの自由落下高さは、コンクリートが分離しない範囲とする。
 ポンプ圧送に際しては、コンクリート圧送技または同等以上の技能を有する者が従事すること。なお、打ち込み継続中における打継ぎ時間間隔の限度は、外気温が25 未満の場合は150分、25 以上の場合は120分以内とする。

(2) 鉄筋
 鉄筋はJIS G3112の規格品を標準とする。施工は標準図に記載されている事項を除き、JASS5(2018年度版)による。
 鉄筋の加工寸法、形状、かぶり厚さ、鉄筋の継手位置、継手の重ね長さ、定着長さは「鉄筋コンクリート構造配筋標準図」による。
 D19未満は、すべて重ね継手とする。継手(D19以上)をガス圧接とする場合は、(社)日本鉄筋継手協会「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。
 ガス圧接部の抜き取り検査は、同一作業班が同一日に施工した圧接箇所ごと(200箇所程度)に1回行い、1回の試験は5本以上とする。
 外観検査 有 無、引張試験 有 無、超音波探傷試験 有 無
 検査方法
 ・外観検査
 検査対象は、全圧接部とする。
 ・引張試験
 試験片の採取数は1ロットに対して3本とする。
 試験片を採取した箇所は、同種の鉄筋を圧接して継ぎ足す。ただし、D25以下の場合は工事監理者の承認を受けて、重ね継ぎ手とすることができる。
 ・超音波探傷試験
 試験の箇所数は1ロットに対し30箇所とし、ロットから無造作に抜き取る。
 柱の帯筋(HOOP)の加工方法は、H型(タガ型) W型(溶接型) S型(スパイラル型)とする。
 コンクリート及び鉄筋の試験は第三者試験機関で行うこと。
 試験機関名 工事監理者の指示による。
 代行業者名 工事監理者の指示による。
 代行業者名とは、試験、検査に伴う業務を代行する者をいう。

(3) 型枠
 材料 合板厚 12mmを標準とする。
 施工 JASS5による。
 型枠存置期間

コンクリートの圧縮強度	せき板	
	基礎・梁・柱・壁	床・スラブ
15以上	2	3
5-15	3	5
5未満	5	8
コンクリートの圧縮強度	5.0N/mm ²	

注) 上表以外のセメントを使用する場合は工事監理者の指示による。

6. 鉄骨工事 (施工方法等計画書)

(1) 工事監理者の承認を必要とするもの
 製作工場 製作要領書 工作図 施工計画書
 認定または登録工種(大臣認定 グレード) 都登録
 材料規格証明書または試験成績書
 鋼材 高力ボルト
 社内検査表
 (2) 工事監理者が行う検査項目
 (□印以外の項目の検査結果については、工事監理者に報告すること)
 製品検査
 建方検査
 (3) 接合部の溶接は下記によること
 日本建築学会「鉄骨工事技術指針・工事現場施工編」
 日本建築学会「溶接工作基準・同解説」
 東京都ア ク溶接工事管理基準(建築構造設計指針第12章)
 鉄骨造等の建築物の工事に係る東京都取次要綱(建築構造設計指針第12章)
 (4) 接合部の検査
 溶接部の検査(検査結果は後日工事監理者に報告すること)

検査箇所	検査方法	検査率又は検査数			備 考
		社内	第三者	工事監理者	
すみ肉溶接部	外観検査()	100%	0%	0%	平成12年建設省告示第1464号第二号による(目視及び計測)
	外観検査()	%個	%個	%個	
第三者検査機関名	(知事登録 号)				

第三者検査機関名とは、建築主、工事監理者または工事施工者が、受入れ検査を代行させるために自ら契約した検査会社をいう。

注1) 現場溶接部については原則として第三者検査機関による全数検査とし、外観検査、超音波探傷検査を100%行うこと
 注2) 知事が定めた重大な不具合が発生した場合は、是正前に対応策を建築主事等に報告すること
 凍さ試験 示温塗料塗布
 高力ボルトは「JIS B1186の高力ボルト」を標準とする。

(5) 防錆塗装
 錆止め上塗り兼用 合成樹脂調合ペイント(2回塗り) JIS K5674 1種相当

(6) 耐火被覆の材料

7. 設備関係

特記以外の梁貫通孔は原則として設けない、設ける場合は設計者の承認を得ること。
 設備機器の架台及び基礎については工事監理者の承認を得ること。
 床スラブ内に設備配管等を埋込む場合はスラブ厚さの1/3以下とし管の間隔を管径の3倍以上かつ5cm以上を原則とする。
 建築設備(昇降機を除く。)、建築設備の支持構造部及び緊結金物は、腐食又は腐朽のおそれがないものとする。
 屋上から突出する水櫃、煙突、冷却塔その他これに類するものは、支持構造部又は建築物の構造耐力上主要な部分に、支持構造部は、建築物の構造耐力上主要な部分に、緊結すること。
 煙突の屋上突出の高さは、れんが造、石造、コンクリートブロック造又は無筋コンクリート造の場合は鉄製の支枠を設けたものを除き、90cm以下とすること。
 煙突で屋内にある部分は、鉄筋に対するコンクリートかぶり厚さを5cm以上とした鉄筋コンクリート造又は厚さが25cm以上の無筋コンクリート造、れんが造、石造若しくはコンクリートブロック造とすること。
 建築物に設ける給水、排水その他の配管設備は、
 風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
 建築物の部分を通して配管する場合においては、当該貫通部分に配管スリーブを設ける等有効な管の損傷防止のための措置を構ずること。
 管の伸縮その他の変形により当該管に損傷が生ずるおそれがある場合において、伸縮継手又は可とう継手を設ける等有効な損傷防止のための措置を構ずること。
 管を支持し、又は固定する場合においては、つり金物又は防振ゴムを用いる等有効な地震その他の震動及び衝撃の緩和のための措置を構ずること。
 給湯設備にあっては、平成12年建設省告示第1388号第5により、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。
 法第20条第一号から第三号までの建築物に設ける屋上から突出する水櫃、煙突その他これらに類するものについては、建設省告示第1389号により、風圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して構造耐力上安全なものとする。
 構造耐力上主要な部分となる部材に設ける開口部の大きさ及び形状並びに手すり等は、風圧、土圧及び水圧並びに地震その他の震動及び衝撃に対して安全上支障のない構造とすること。

8. その他

諸官庁への届出書類は遅滞なく提出すること。
 各試験の供試体は公的試験機関にて試験を行い工事監理者に報告すること。
 必要に応じて記録写真を取り保管すること。

鉄筋コンクリート構造配筋標準図

1. 一般事項

- (1) 構造図面に記載された事項は、本標準図に優先して適用する。
 (2) 記号
 d...異形棒鋼の呼び名に用いた数値 丸鋼では径 D...部材の成 R...直径
 @...間隔 r...半径 〓...中心線 *o...部材間の内法距離 ho...部材間の内法高さ
 S T...あばら筋 H O O P...帯筋 S. H O O P...補強帯筋 ...直径

2. 鉄筋加工、かぶり

(1) 鉄筋末端部の折曲げの形状

折曲げ角度	180°	135°	90°	折まげ角度90°はスラブ筋・壁筋の末端部またはスラブと同時に打ち込むT形およびL形梁のキャップタイにのみ用いる。 キャップタイ
図				
鉄筋の余長	4d以上	6d以上(4d以上)	8d以上(4d以上)	

折曲げ内法寸法Rは、SR235は3d以上、SD295、SD295B、SD345のD16以下は、3d以上、D19以上は4d以上

片持スラブ上端筋の先端

(2) 鉄筋中間部の折曲げの形状 鉄筋の折曲げ角度90°以下

図	鉄筋の使用箇所による呼称	鉄筋の種類	鉄筋の径による区分	鉄筋の折り曲げ内の寸法(R)
	帯筋 あばら筋 スライル筋	SR235、SD295 SD295B、SD345	16 D16以下 19 D19以上	3d以上 4d以上
	上記以外の鉄筋	SR235、SD295 SD295B、SD345	16 D16以下 19 ~ 25 D19 ~ D25 28 ~ 32 D29 ~ D38	6d以上 8d以上

(3) 鉄筋の定着及び重ね継手の長さ

コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm2)	直線定着の長さL2		7ヶ付き定着の長さL2h	
	SD295 SD295B	SD345	SD295 SD295B	SD345
18	40d	40d	30d	30d
21	35d	35d	25d	25d
24~27	30d	35d	20d	25d

下端筋の定着の長さ

コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm2)	鉄筋の種類	直線定着の長さL3		7ヶ付き定着の長さL3h	
		小梁	スラブ	小梁	スラブ
18~60	SD295 SD295B SD345	20d	10dかつ 150mm以上	SD295 SD295B SD345	10d

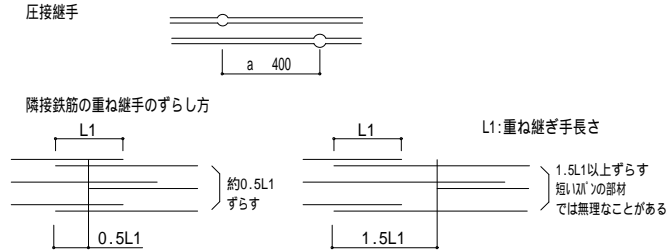
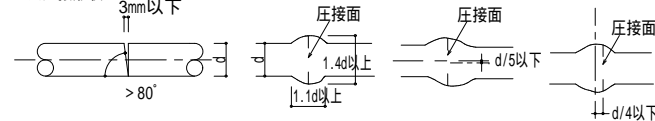
異形鉄筋の重ね継手の長さ

コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm2)	直線定着の長さL1		7ヶ付き定着の長さL1h	
	SD295 SD295B	SD345	SD295 SD295B	SD345
18	45d	50d	35d	35d
21	40d	45d	30d	30d
24~27	35d	40d	25d	30d

継手

1. 末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない
2. 継手位置は、応力の小さい位置に設けることを原則とする
3. 直径の異なる鉄筋の重ね継手長さは、細い方の鉄筋の重ね継手長さとする
4. D29以上の異形鉄筋は、原則として、重ね継手としてはならない
5. 鉄筋径の差が7mmを超える場合は、圧接としてはならない

ガス圧接形状



(4) かぶり厚さ(単位: mm)

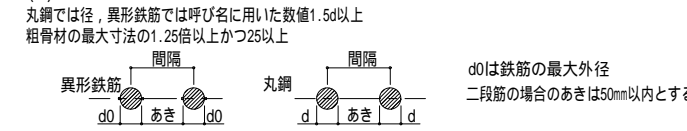
部 位	設計かぶり厚さ (mm)	最小かぶり厚さ (mm)
屋根スラブ 屋内	30	20
床スラブ 非耐力壁 屋内	40 ⁽¹⁾	30(20)
柱 耐力壁 屋内	40	30
柱 耐力壁 屋外	50 ⁽²⁾	40 ⁽¹⁾ (30)
擁壁	50 ⁽³⁾	40 ⁽⁴⁾
柱・はり・床スラブ・耐力壁	50	40 ⁽⁴⁾
土に接する部分	基礎・擁壁 (立上り部は除く)	70 60

[注] (1) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて30mmとすることができる。
 (2) 耐久性上有効な仕上げのある場合、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 (3) コンクリートの品質および施工方法に応じ、工事監理者の承認を受けて40mmとすることができる。
 (4) 軽量コンクリートの場合は、10mm増しの値とする。
 (5) () 内は仕上げがある場合。

検査においては最小かぶり厚さを確認すること。

かぶり厚さ

(5) 鉄筋のあき

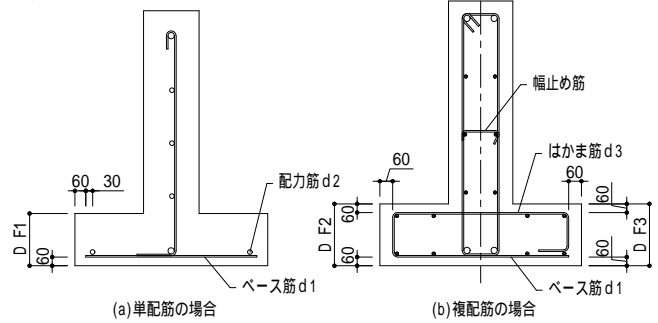


(6) 鉄筋のフック (a-fに示す鉄筋の末端部にはフックをつける)

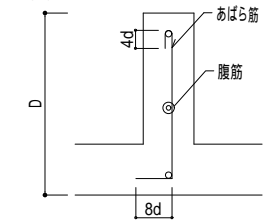
- a. 丸鋼 b. あばら筋、帯筋 c. 煙突の鉄筋
 d. 柱、梁(基礎梁は除く)の出すみ部分の鉄筋
 e. 単純梁の下端筋
 f. その他、本配筋標準に記載する箇所

3. 基礎

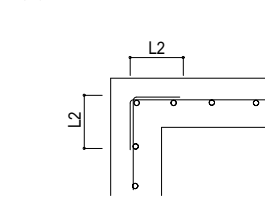
(1) 布基礎の形状及び配筋



(2) あばら筋の型



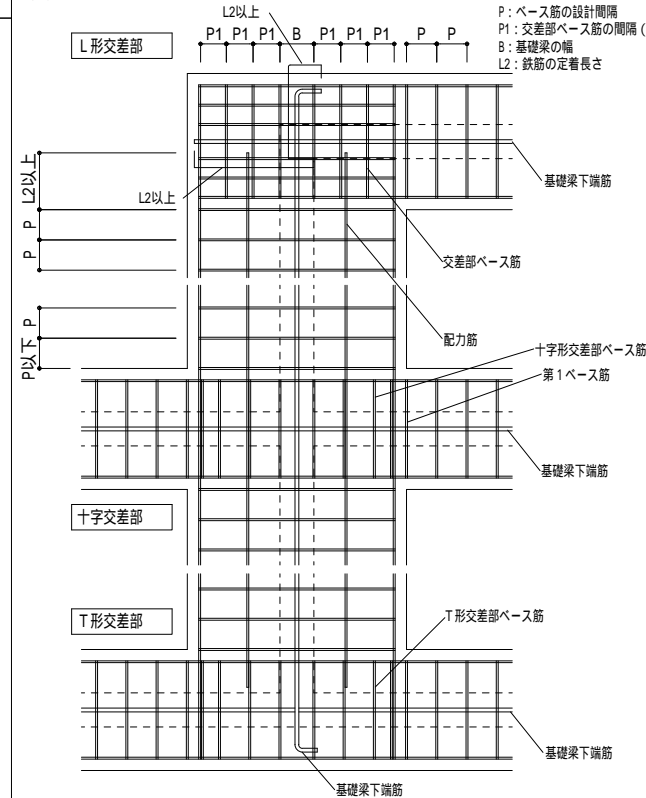
(3) L型交差部の主筋(上端)の定着



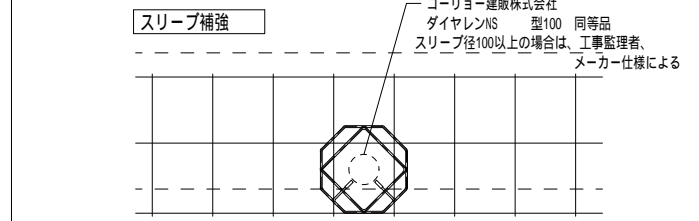
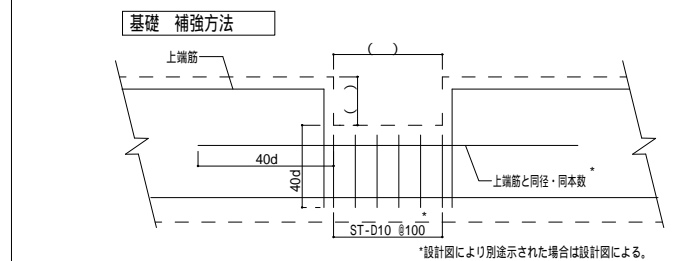
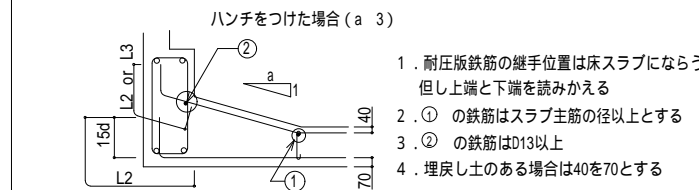
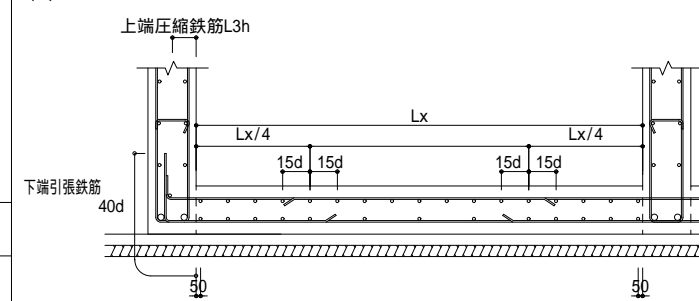
(4) 腹筋の本数

腹筋	D<600	不要
	600 D<900	1-D10 1段
	900 D<1200	2-D10 2段
	1200 D	D10を@300以内

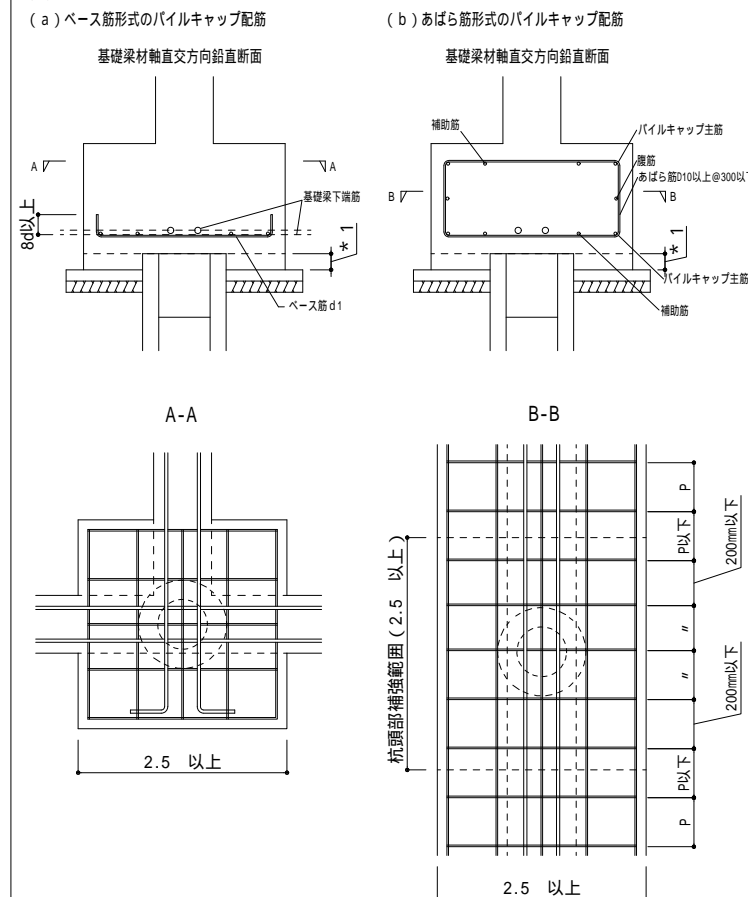
(5) 布基礎交差部の配筋(平面)



(6) べた基礎



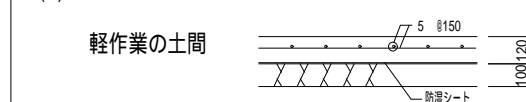
(7) パイルキャップの配筋



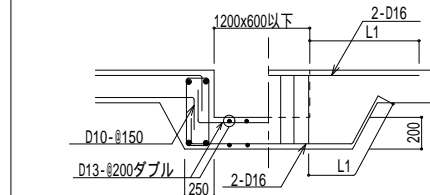
*1 杭のみ径長さは設計図書による
 p: あばら筋の設計間隔(300mm以下)
 : 杭直径

5. 床板

(1) 土間コンクリート



(2) 釜場



凡例	設計変更年月日
	1回 年 月 日
	2回 年 月 日
	3回 年 月 日

工書	大和特別支援学校仮校舎貸借	縮尺	NS	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課
図面	渡り廊下 鉄筋コンクリート構造配筋標準図	設計	年月日	1級建築士登録 第 号

鉄骨構造標準図

1. 一般事項

(1) 材料及び検査

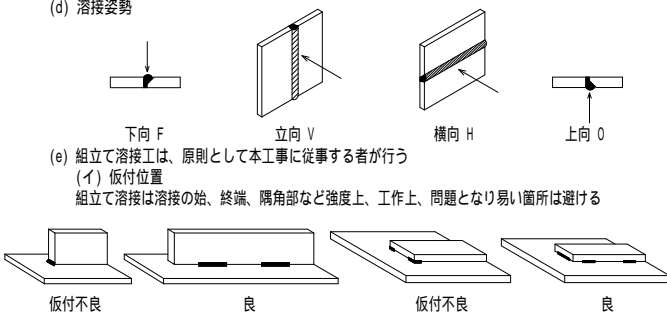
- (a) 構造設計仕様による
- (b) 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが40mm以下のものとする
- (c) 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

(2) 工作一般

- (a) 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事監理者の承認を得る
- (b) 鋼管部材の分岐継ぎ手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による
- (c) 高張力鋼の歪み矯正は、冷間矯正とする

(3) 溶接接合

- (a) 溶接技能者
 - 溶接技能者は施工する溶接に適用するJIS Z3801(手溶接)又はJIS Z3841(半自動溶接)の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする
- (b) 溶接機器
 - (イ) 交流アーク溶接機 300A~500A (ニ) 炭酸ガスアーク半自動溶接機
 - (ロ) アークエアークラウジング機(直流) (ホ) 溶接電流を測定する電流計
 - (ハ) サブマージアーク溶接機一式 (ヘ) 溶接棒乾燥器
- (c) 溶接方法
 - アーク手溶接(MC) ガスシールドアーク半自動溶接(GC)
 - セルフ(ノンガス)シールドアーク半自動溶接(NGC)アークエアークラウジング(AAG)
- (d) 溶接姿勢

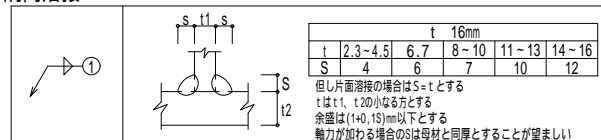


- (e) 組立て溶接は、原則として本工事に従事する者が行う
- (イ) 仮付位置
 - 組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける

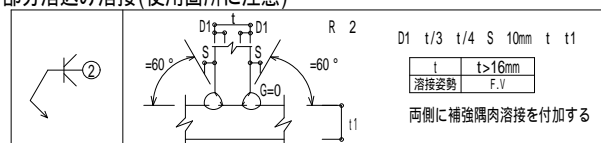
2. 溶接標準図

(注) f: 余盛 G: ルート間隔 R: フェース S: 脚長 (単位mm)

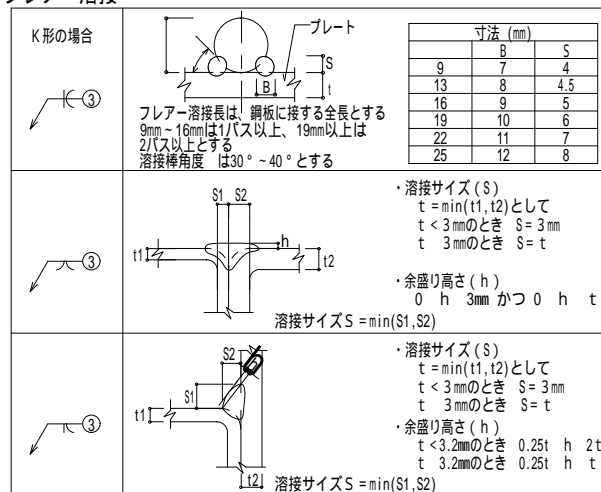
(1) 隅肉溶接



(2) 部分溶込み溶接 (使用箇所にご注意)



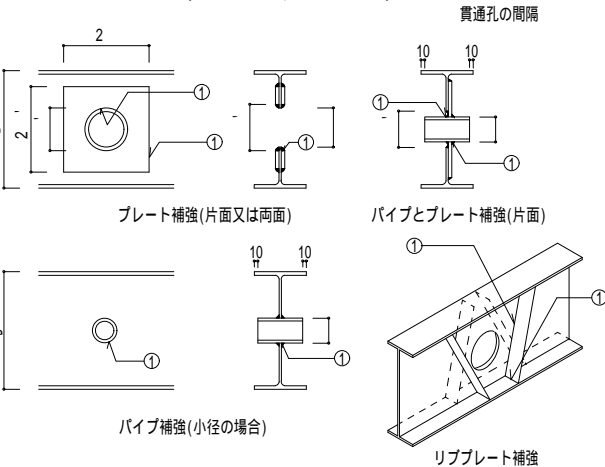
(3) フレア溶接



3. その他

(1) 梁貫通補強

計算で確認された場合は下記の位置、寸法によらずに良い。
梁端部(スパンのL/10以下かつ20以内)は避ける。
0.4D
'は補強板の穴径を示す。(' + 2s, s: 隅肉サイズ)



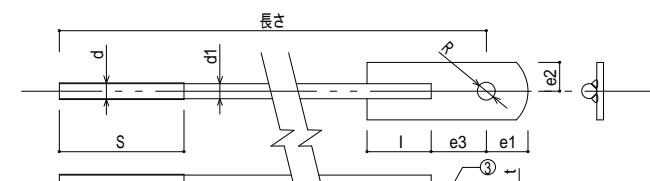
穴径	補強板
0.15D	補強板不要
D/4	Web板厚以上 (片面)
D/3	Web板厚 x 1.2倍以上 (片面)
0.4D	Web板厚以上 (両面)

(2) 建築用ターンバックル筋かい (JIS A5540, JIS A5541, JIS A5542)

ねじの呼び d	M12	M14	M16	M18	M20	M22
軸径 d1	最大 10.83	12.66	14.66	16.33	18.33	20.33
	最小 10.59	12.41	14.41	16.07	18.07	20.07
調節ねじの長さ	S	100	115	125	140	150
許容差 +25, -8	R	17.0	17.0	17.0	21.5	21.5
取付ボルト孔径	R	17.0	17.0	17.0	21.5	21.5
許容差 +0, -0.5	e1	40	40	45	50	55
端あき (2)	e2	28	28	28	34	38
ヘリあき (1)	e2	25.0	25.0	25.0	32.5	37.5
許容差 +10, -0	t	6	6	6	9	9
板厚	e3	52	52	59	66	73
ボルト端から取付ボルト	I	40	50	55	60	75
孔心のあき (最小)	JIS B1180 溶融亜鉛メッキ高力ボルトを使用する場合はJIS B 1186 1種高力ボルト F8TA に準ずるものを使用する。それ以外の場合はJIS B1186 2種高力ボルト F10T を使用する。					
溶接長さ	種類					
許容差 +10, -0	ねじの呼び					
	M16	M16	M16	M20	M20	M22
	1	1	1	1	1	1

- [注] (1) e1, e2が確保されていれば形状は自由でよい
- (2) 羽子板とガセットプレートの場合は表に示す取付ボルトを使用し、一面せん断(支圧)接合とする
- (3) 高力ボルトの締め付けは一次締め程度とする

ボルトの呼び径	一次締め付けトルク値
M16	約 100
M20	約 150
M22	約 150



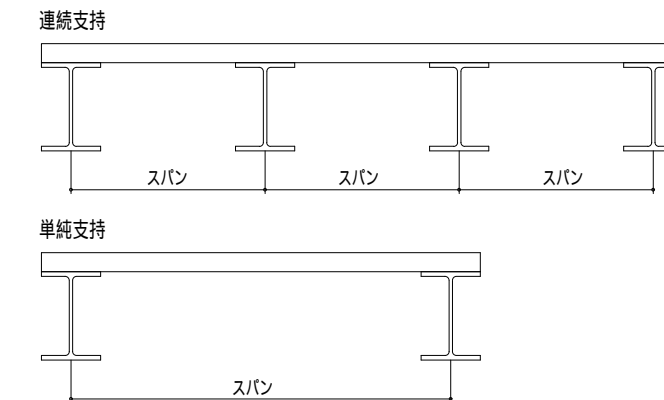
(3) デッキプレート

1. 材料(デッキプレート) JIS G3352

商品記号	<input type="checkbox"/> V50
板厚	<input type="checkbox"/> 1.2 <input type="checkbox"/> 1.6
亜鉛メッキ	<input type="checkbox"/> Z 12 <input type="checkbox"/> Z 27
材質	<input type="checkbox"/> SDP1TG <input type="checkbox"/> その他 ()

2. 梁間隔(スパン)

板厚	支持条件	梁間隔(スパン)
1.2	<input type="checkbox"/> 連続支持	3,000以下
	<input type="checkbox"/> 単純支持	2,600以下
1.6	<input type="checkbox"/> 連続支持	3,000以下
	<input type="checkbox"/> 単純支持	2,600以下



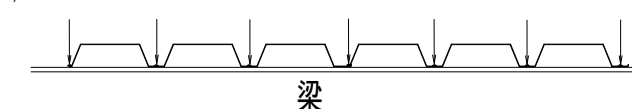
3. 梁との接合

<input type="checkbox"/> アークスポット溶接	ずれ防止措置 「デッキプレート床構造設計・施工基準-2018」 第 編の規定に準拠
<input type="checkbox"/> タッピングビス (6mm以上 x 20mm以上)	梁フランジが6mm以下の場合

- ・デッキの設計かかり代は長手方向で50mm以上、幅方向で30mm以上とする。
- ・施工管理値としての許容差は設計かかり代の7割以上とする

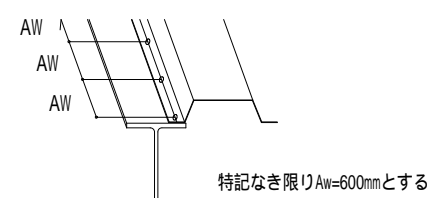
接合箇所

1) デッキ幅方向接合部



- ・接合部に作用する荷重に応じて接合箇所の個数を決定すること。

2) デッキスパン方向接合部



4. 水平剛性確保に関して

- 平面剛性を確保する上で、簡易な場合を除きデッキプレートだけでは確保出来ない。
- 必要に応じた水平プレートを配置すること。

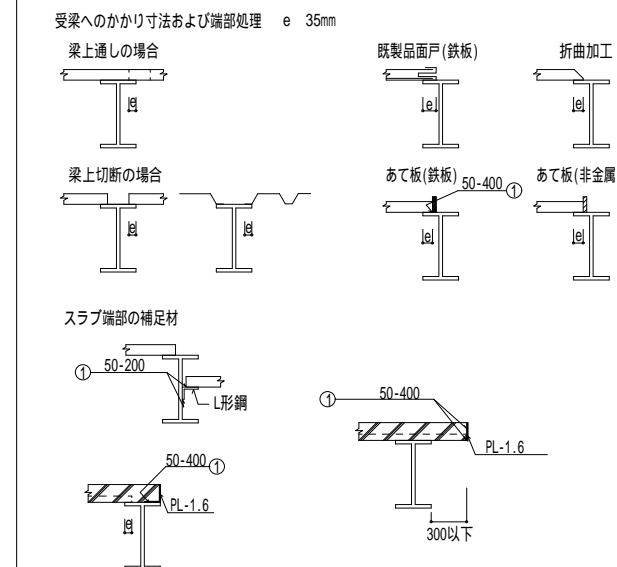
5. 設計に関して (SDP1TG: Fy=205N/mm2)

1) V50 t=1.2mm	断面性能	Ix(cm4/m)	Zx(cm3/m)	単位重量(kg/m2)
		60.5	16.0(正曲げ)	13.6(Z12)
			17.6(負曲げ)	
2) V50 t=1.6mm	断面性能	Ix(cm4/m)	Zx(cm3/m)	単位重量(kg/m2)
		78.5	21.6(正曲げ)	17.9(Z12)
			22.9(負曲げ)	

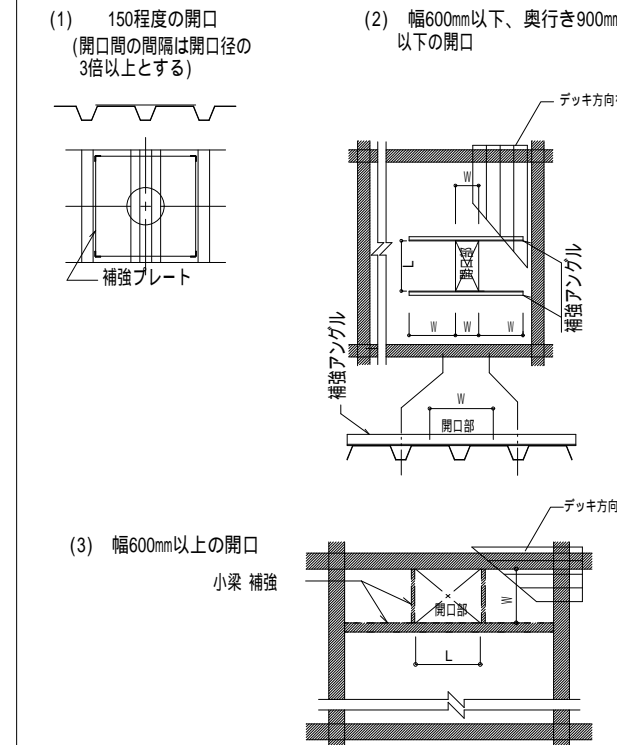
<注意事項>

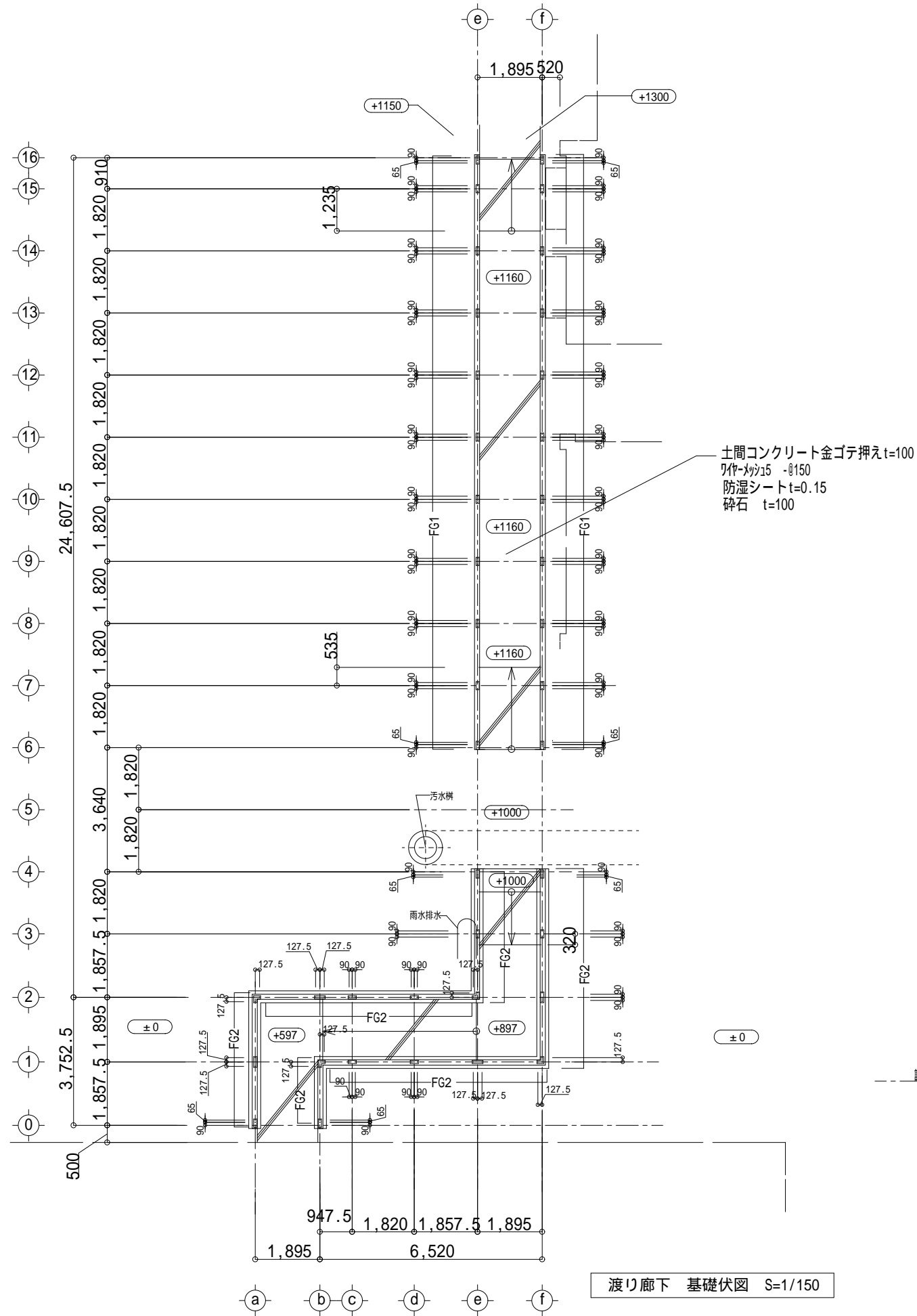
- 1) デッキプレート相互の接合は必要に応じてアーク溶接またはねじ止めを行うこと。尚デッキ表面を直接床とする場合には踏抜き対策として、最小限900mm以下を接合すること。
- 2) デッキプレート長方向突合せ部等に生じる隙間が問題となる場合は、鋼材又は耐火テープ等により遮熱性を確保する。

6. 標準納まり

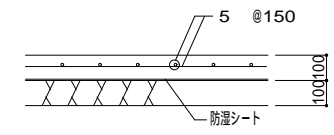
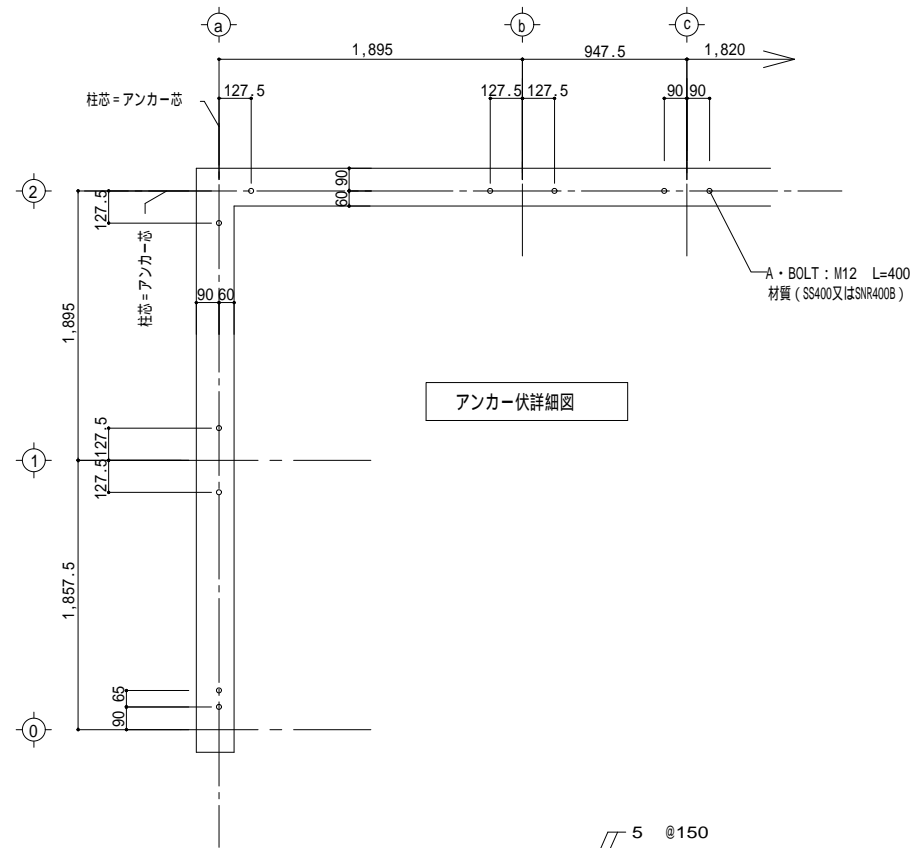


7. 開口部補強例

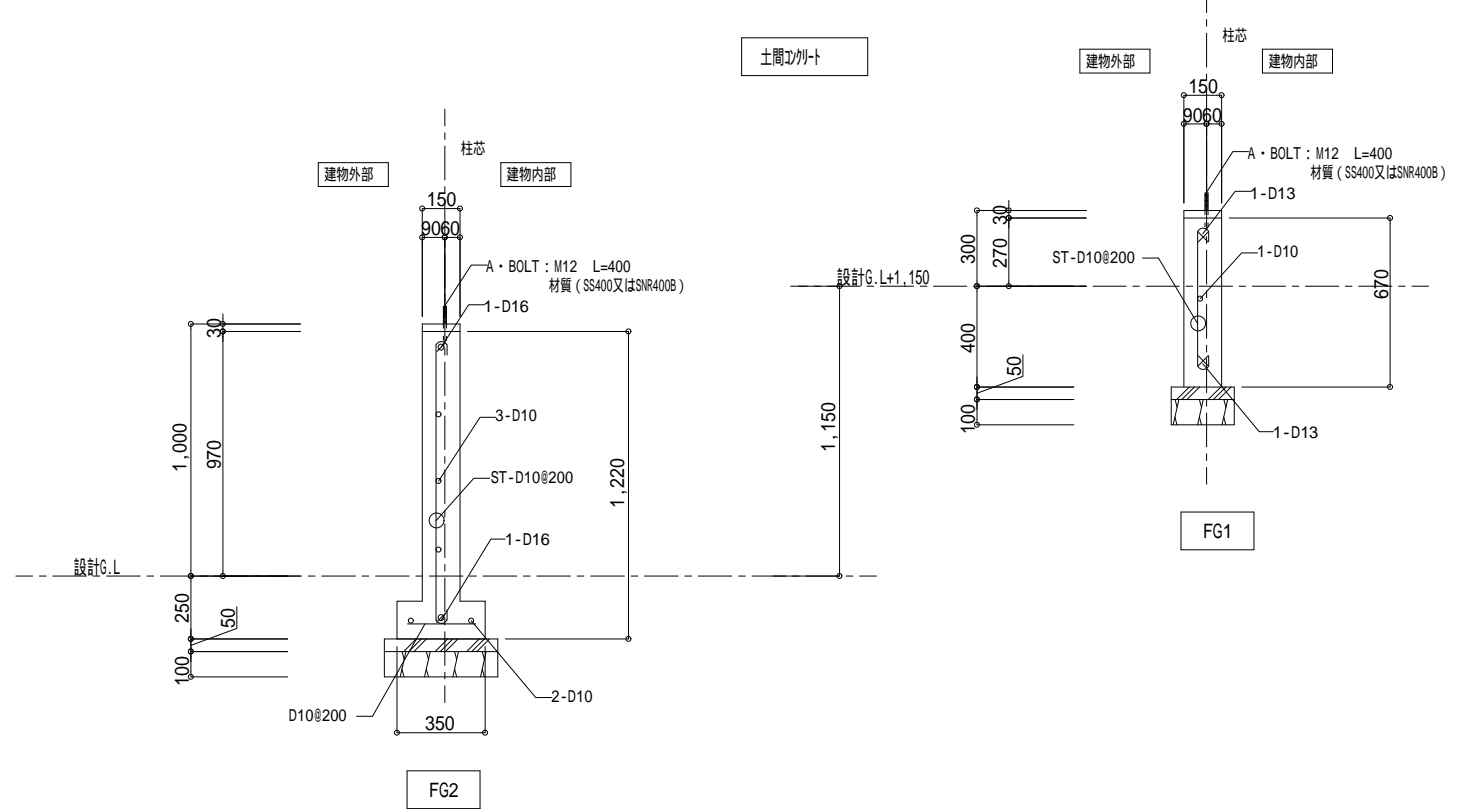




渡り廊下 基礎伏図 S=1/150



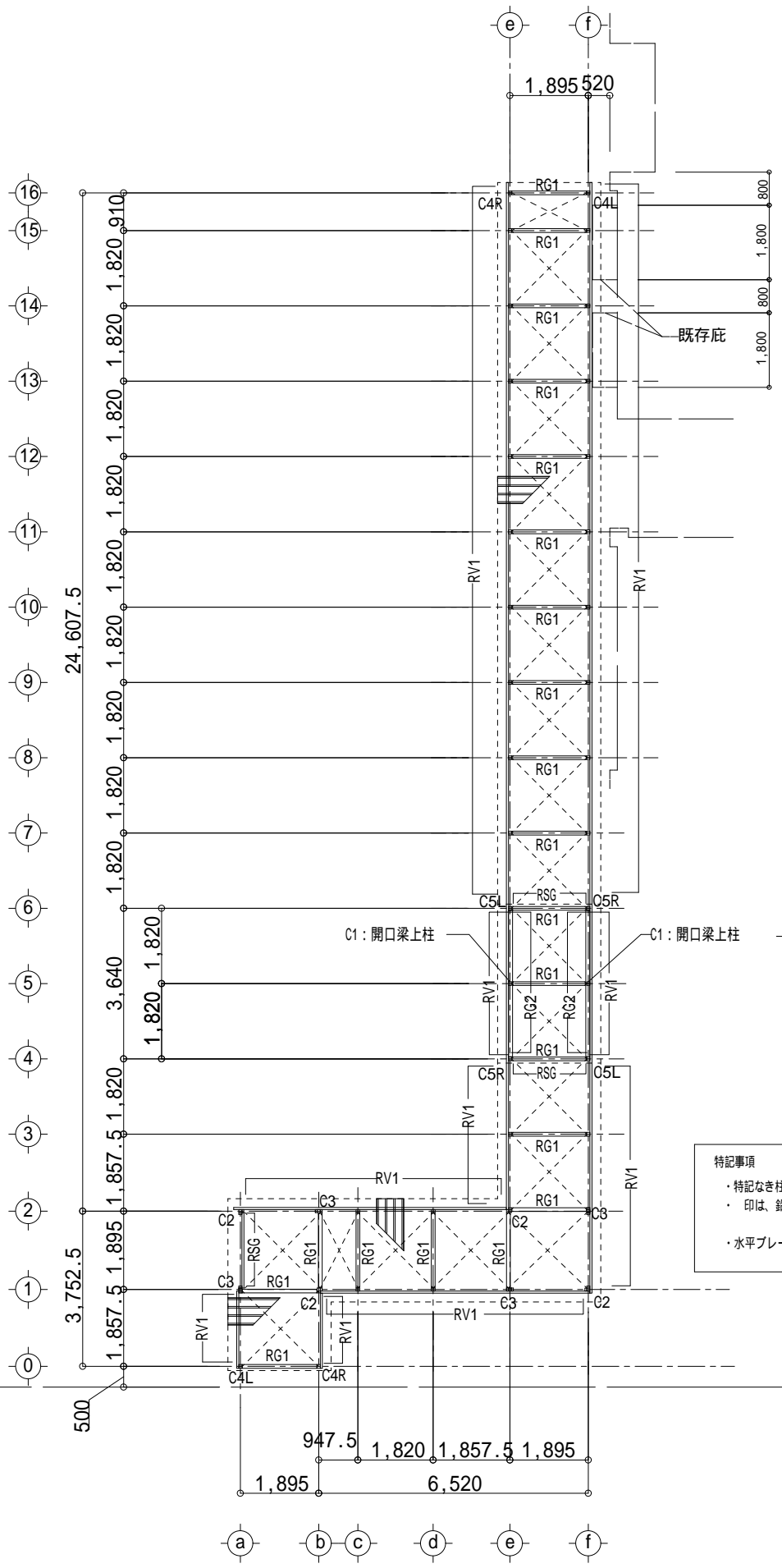
土間コンクリート



凡例	
	設計変更年月日
	1回 年 月 日
	2回 年 月 日
	3回 年 月 日

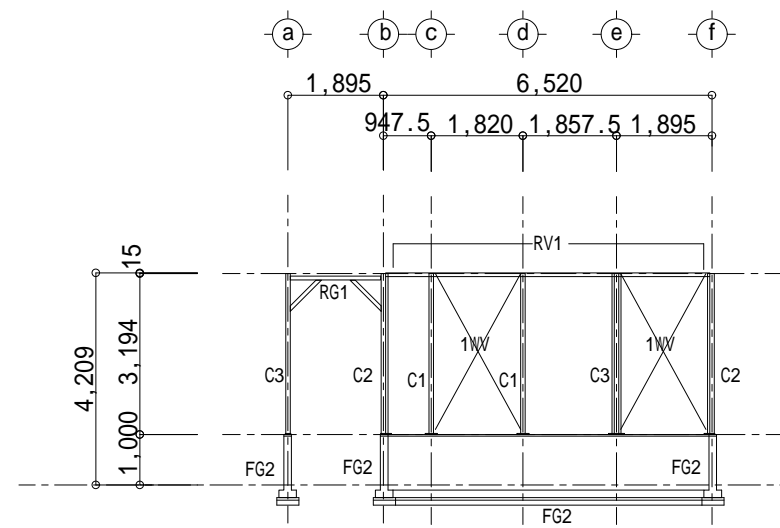
工事	大和特別支援学校仮校舎貸借
縮尺	A1 1:75 A3 1:150
図面	渡り廊下 基礎伏図
	設計 年 月 日

佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	第 号
1級建築士登録	

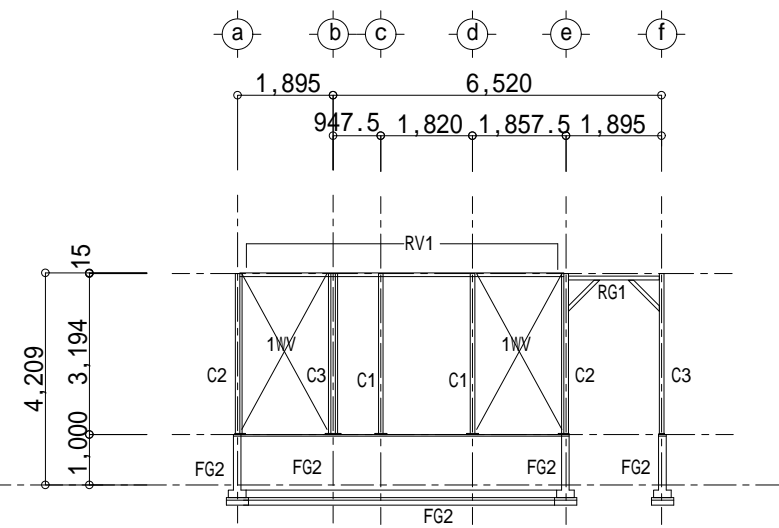


渡り廊下 小屋伏図 S=1/150

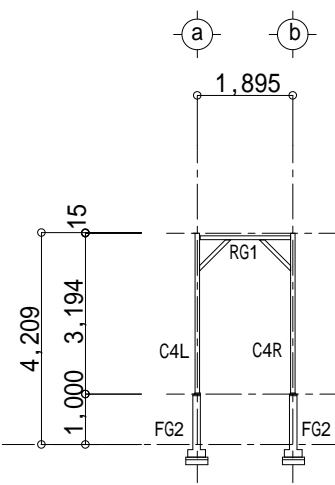
特記事項
 ・特記なき柱は、C1を示す。
 ・印は、鉛直ブレース1W1を示す。
 ・水平ブレースはRV (M12)を示す。



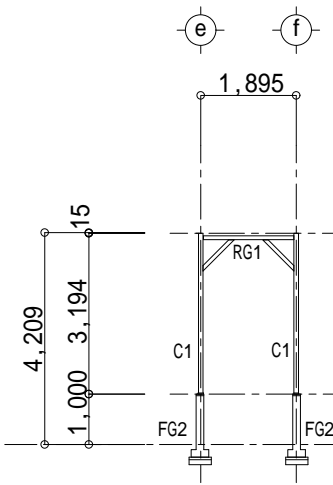
① 通り軸組図 S=1/150



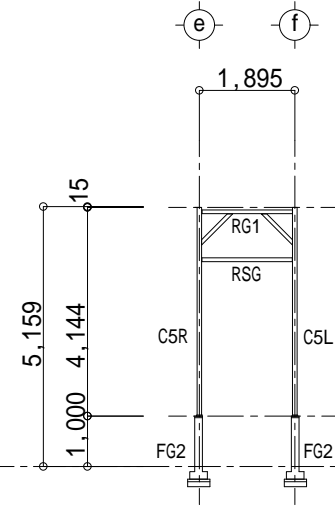
② 通り軸組図 S=1/150



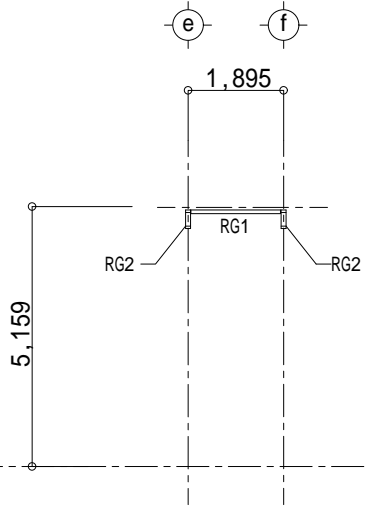
③ 通り軸組図 S=1/150



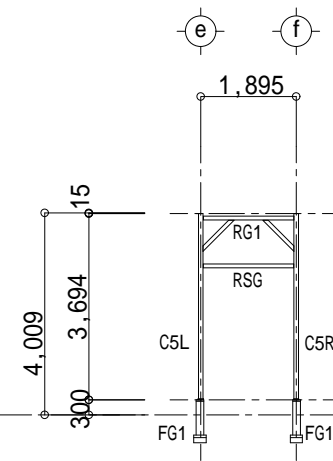
④ 通り軸組図 S=1/150



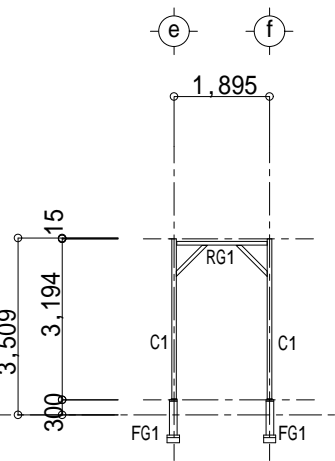
⑤ 通り軸組図 S=1/150



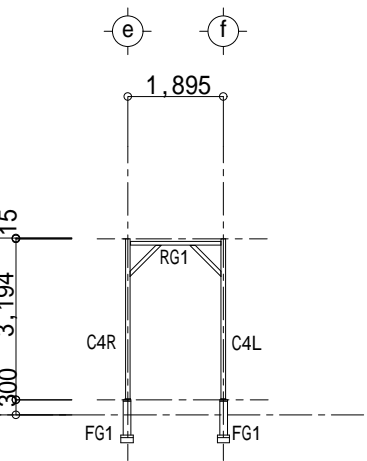
⑥ 通り軸組図 S=1/150



⑦ 通り軸組図 S=1/150



⑧ ~ ⑮ 通り軸組図 S=1/150

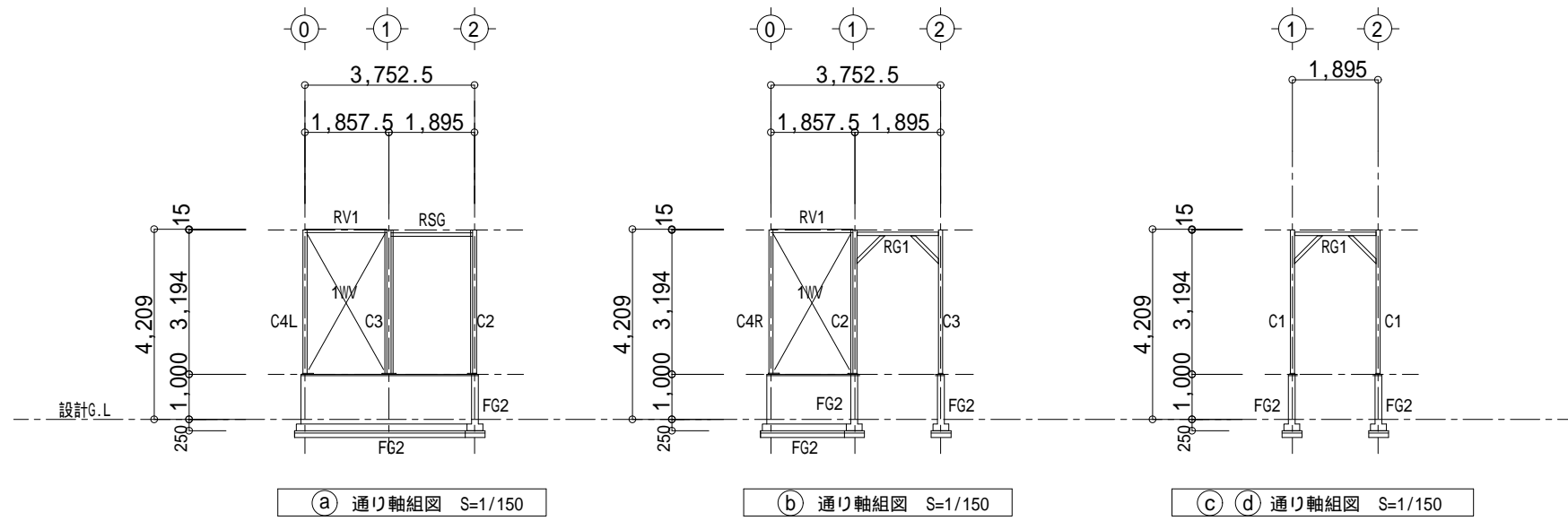


⑨ 通り軸組図 S=1/150

凡例	
設計変更年月日	
1回 年 月 日	
2回 年 月 日	
3回 年 月 日	

工書	大和特別支援学校仮校舎貸借	縮尺	A1 1:75 A3 1:150
図	渡り廊下 小屋伏図、軸組図	設計	年月日

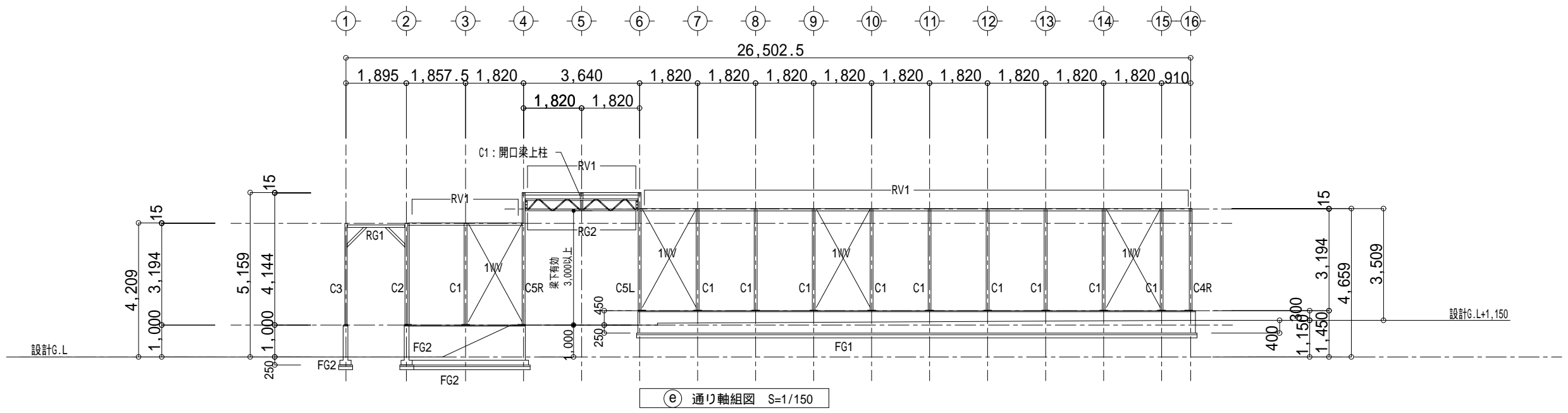
佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	第 号	27
----------------------	-----	----



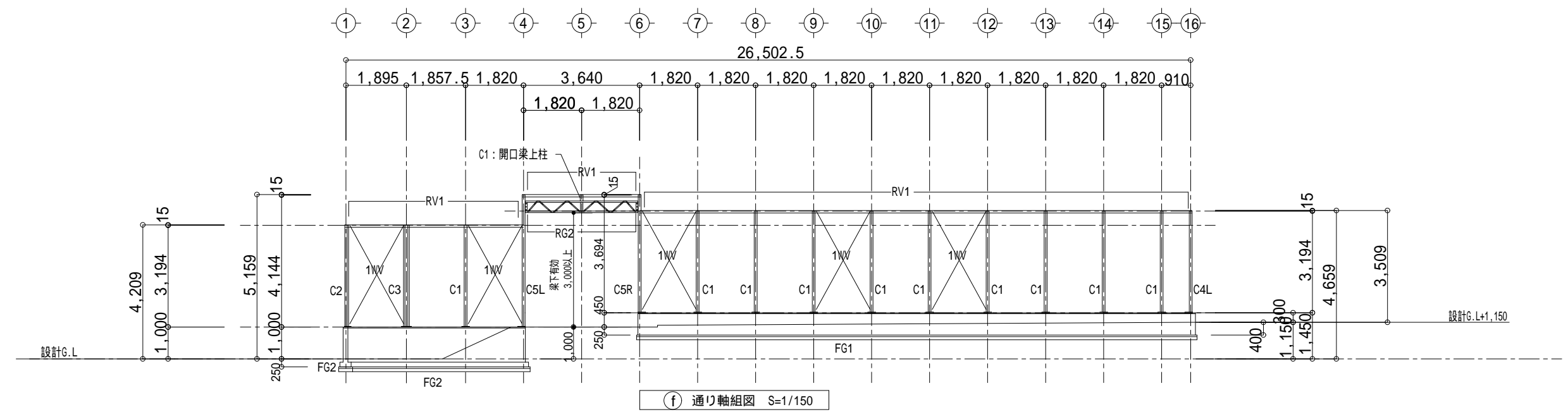
(a) 通り軸組図 S=1/150

(b) 通り軸組図 S=1/150

(c) (d) 通り軸組図 S=1/150



(e) 通り軸組図 S=1/150



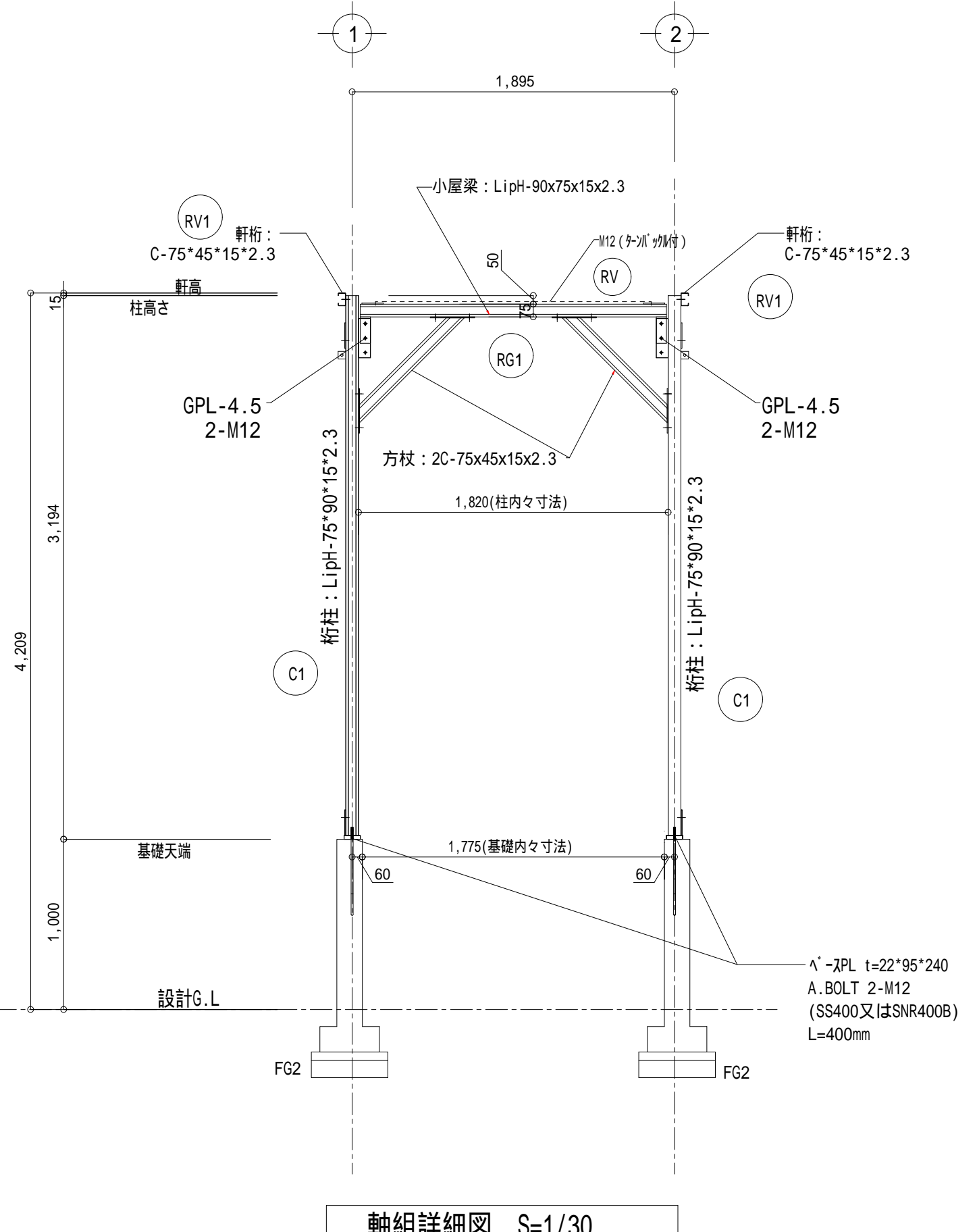
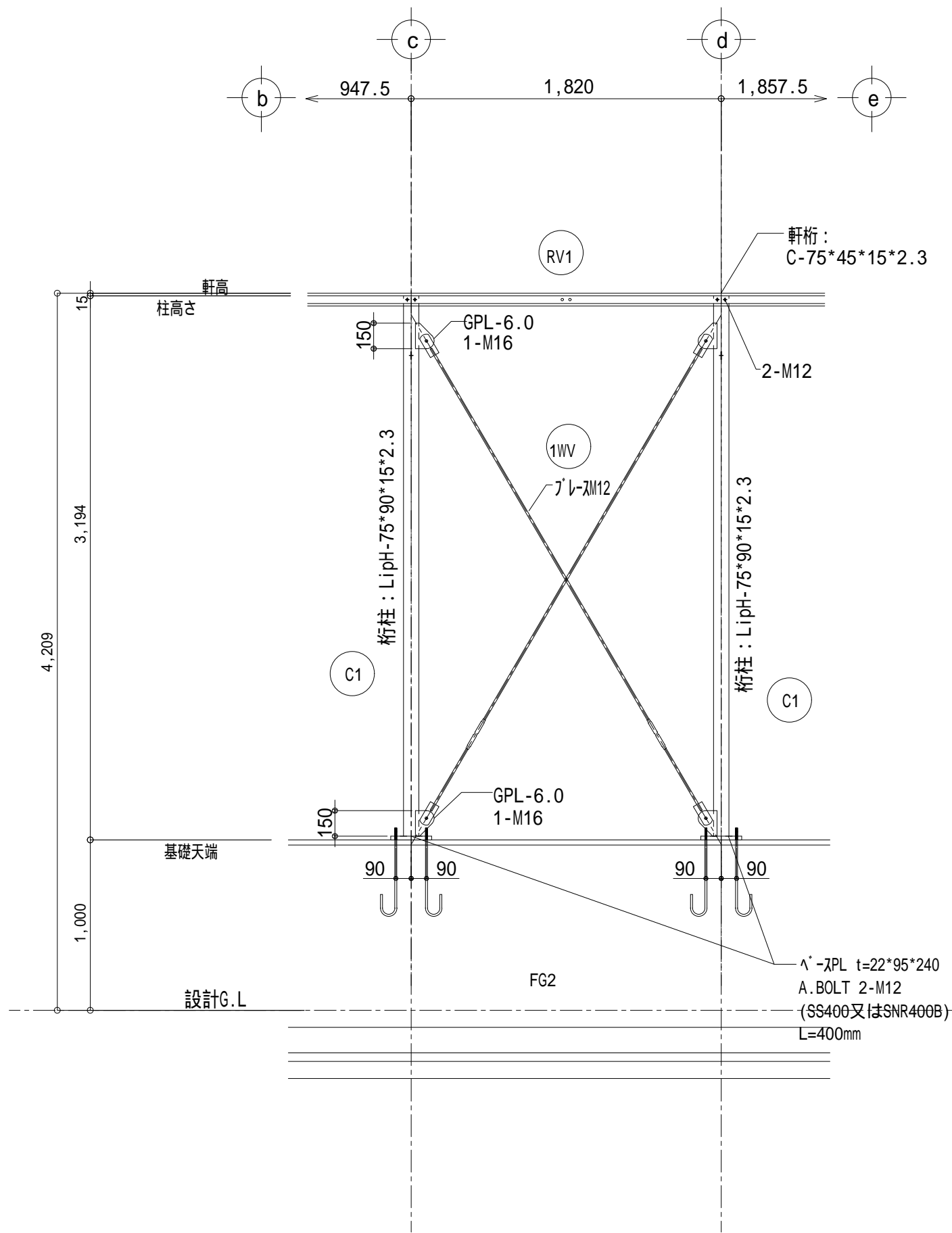
(f) 通り軸組図 S=1/150

凡例	設計変更年月日	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺 A1 1:75 A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	28	
	1回 年 月 日					設計 年 月 日
	2回 年 月 日					
3回 年 月 日	1級建築士登録 第 号					

上層
下層

渡り廊下 軸組図

28



軸組詳細図 S=1/30

《外視図》 1 通り 軸組詳細

凡例	設計変更年月日	工事 大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺 A1 1: 15 A3 1: 30	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	製 S		
	1回 年 月 日					設計 年 月 日	1級建築士登録 第 号
	2回 年 月 日						
	3回 年 月 日				29		

構造符号/部位	RG1：小屋梁	RG2：開口梁	RSG：妻小屋梁
断面			
主材・材質	LipH-75X90X15X2.3 SMH400L	上・下弦材 【-100×50×5×7.5】 SS400	C-75×45×15×2.3 SSC400
接合部	G.PL-4.5 2-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)	ラチス材 C-75×45×15×2.3 (束材 -75×75×4.5) GPL-4.5(梁側) GPL-6(柱側) 3-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)	1-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)
有効細長比 (圧縮材)			
備考	製作用部材記号 品番		

構造符号/部位	RV1：軒桁	RV：小屋ブレース (M12)	1WV：壁ブレース (M12)
断面			
主材・材質	C-75×45×15×2.3 SSC400	M12 (ターンバックル付き) JIS規格 (JIS A5540) 丸棒鋼 SNR400B 羽子板 SN400B TB (バグ式) STKN400W(B)	M12 (ターンバックル付き) JIS規格 (JIS A5540) 丸棒鋼 SNR400B 羽子板 SN400B TB (バグ式) STKN400W(B)
接合部	2-M12 (強度区分 4.8又は4.6) ショ外部、端部は、1-M12 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)	ブレースシート t=6 1-M16 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)	ブレースシート t=6 1-M16 (強度区分 4.8又は4.6) (スプリングワッシャー使用)
有効細長比 (圧縮材)			
備考	製作用部材記号 品番		

構造符号/部位	ルーフデッキ	羽子板部詳細
断面		
主材・材質	折板 H=88 t=0.8 JIS規格 (JIS G3322, G3321, G3312)	M12
接合部		
有効細長比 (圧縮材)		
備考	製作用部材記号 品番	

凡例	設計変更年月日 1回 年 月 日 2回 年 月 日 3回 年 月 日	工事 大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺 A1 1: 10 A3 1: 20	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課 1級建築士登録 第 号	響 s 30
		図面 渡り廊下 部材リスト-1	設計 年 月 日		

構造符号/部位		C1：桁柱		C2：隅柱		C3：桁柱						
断面												
主材・材質	1F	LipH-75X90X15X2.3	SWH400L	2C-75×45×15×2.3+ -75*75*2.3	SSC400 +STKR400	2C-75×45×15×2.3+ -75*75*2.3	SSC400 +STKR400					
接合部	B.PL-22(SS400) A.Bolt 2-M12 (SS400又はSNR400B) 定着L=400(ワカ付) ダブ付け締め			B.PL-22(SS400) A.Bolt 2-M12 (SS400又はSNR400B) 定着L=400(ワカ付) ダブ付け締め		B.PL-22(SS400) A.Bolt 2-M12 (SS400又はSNR400B) 定着L=400(ワカ付) ダブ付け締め						
有効細長比(圧縮材)												
備考	製作用部材記号 品番											
構造符号/部位		C1：開口梁上柱		C4L：桁柱		C4R：桁柱		C5L：桁柱		C5R：桁柱		
断面												
主材・材質	1F	LipH-75X90X15X3.2	SWH400L	LipH-75X90X15X2.3	SWH400L	LipH-75X90X15X2.3	SWH400L	LipH-75X90X15X3.2	SWH400L	LipH-75X90X15X3.2	SWH400L	
接合部	B.PL-22(SS400) A.Bolt 2-M12 (SS400又はSNR400B) 定着L=400(ワカ付) ダブ付け締め			B.PL-22(SS400) A.Bolt 2-M12 (SS400又はSNR400B) 定着L=400(ワカ付) ダブ付け締め		B.PL-22(SS400) A.Bolt 2-M12 (SS400又はSNR400B) 定着L=400(ワカ付) ダブ付け締め		B.PL-22(SS400) A.Bolt 2-M12 (SS400又はSNR400B) 定着L=400(ワカ付) ダブ付け締め		B.PL-22(SS400) A.Bolt 2-M12 (SS400又はSNR400B) 定着L=400(ワカ付) ダブ付け締め		
有効細長比(圧縮材)												
備考	製作用部材記号 品番											
凡例					設計変更年月日 1回 年 月 日 2回 年 月 日 3回 年 月 日	工事 大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺 A1 1: 10 A3 1: 20	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課 1級建築士登録 第 号		響 S	31	
						渡り廊下 部材リスト-2	設計 年 月 日					

照明器具姿図

Table showing lighting fixture specifications with columns for number, type, and model. Includes items like LED lamps (40W, 100W), fluorescent lamps (20W, 800lm, 3200lm), and water-proof lamps.

配線・配管凡例

Table detailing wiring and piping standards. Lists items like power sources (CV5, 5sq-4C), lighting fixtures (WF1, WF2), and communication equipment (AEO, UTP) with their respective specifications.

シンボル凡例

Table of symbols and their corresponding names/specifications. Includes symbols for light switches (L, M, S), air conditioning controls, and various electrical components like outlets and switches.

施工要項

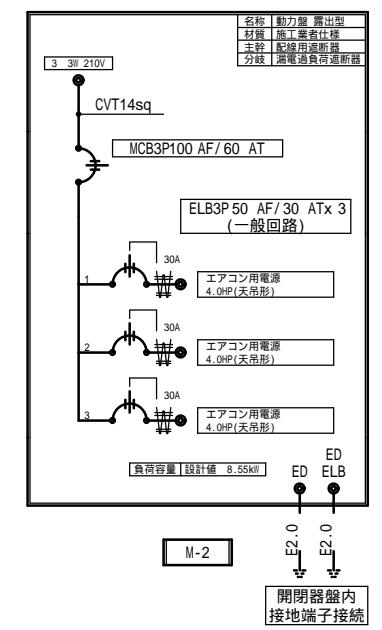
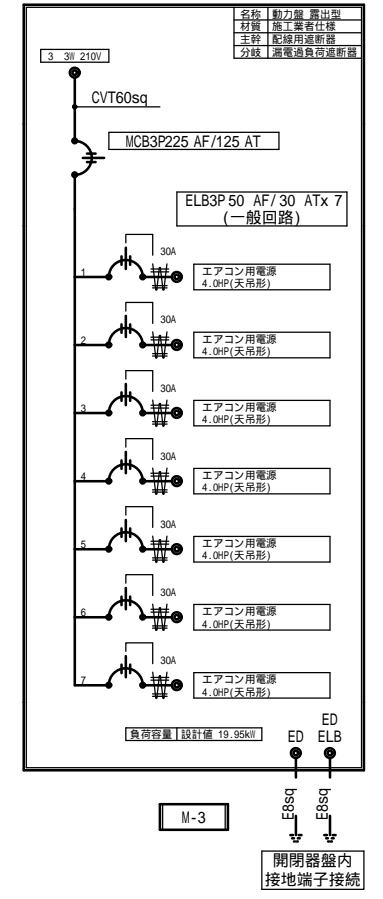
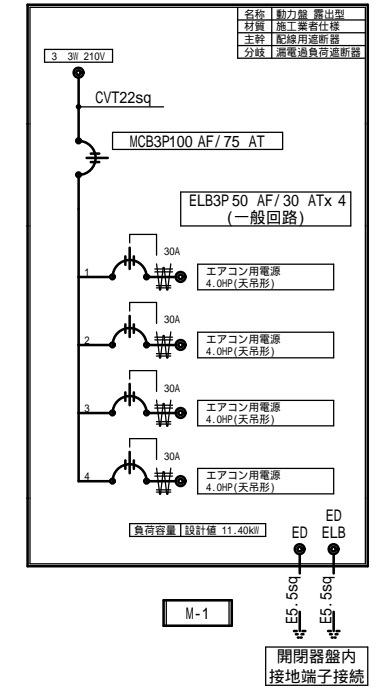
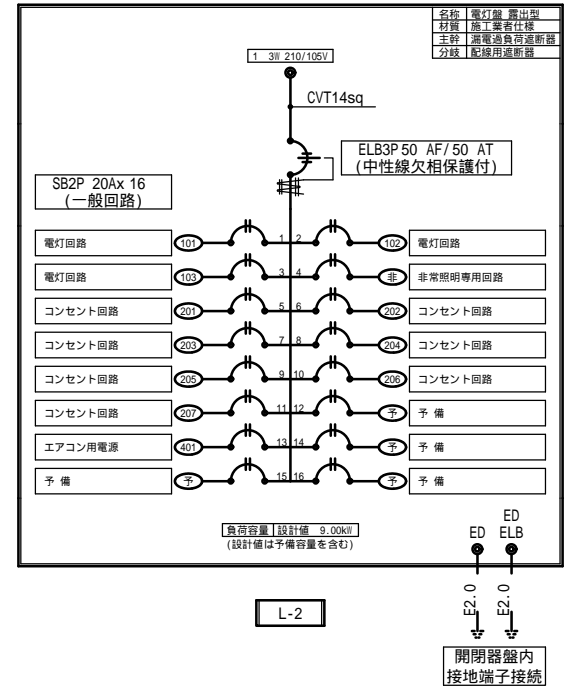
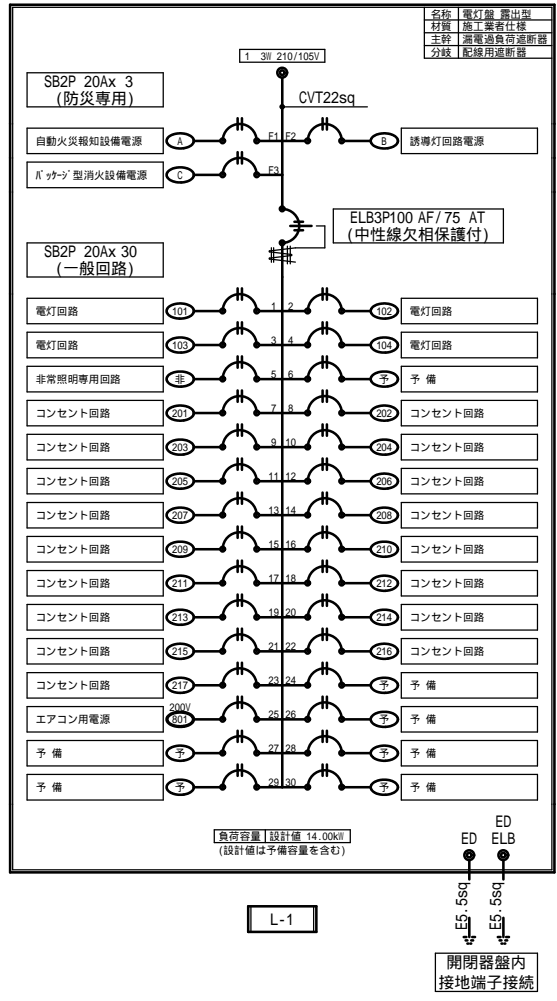
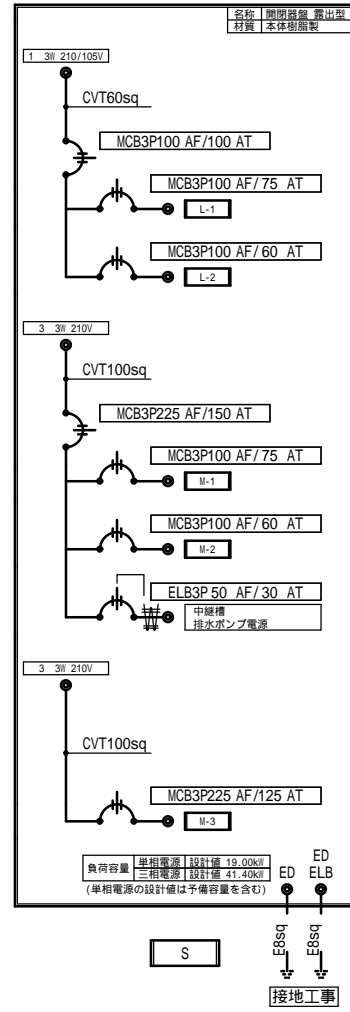
Table of construction requirements. Divided into sections for equipment installation, wiring, and communication equipment, detailing specific rules and standards for each.

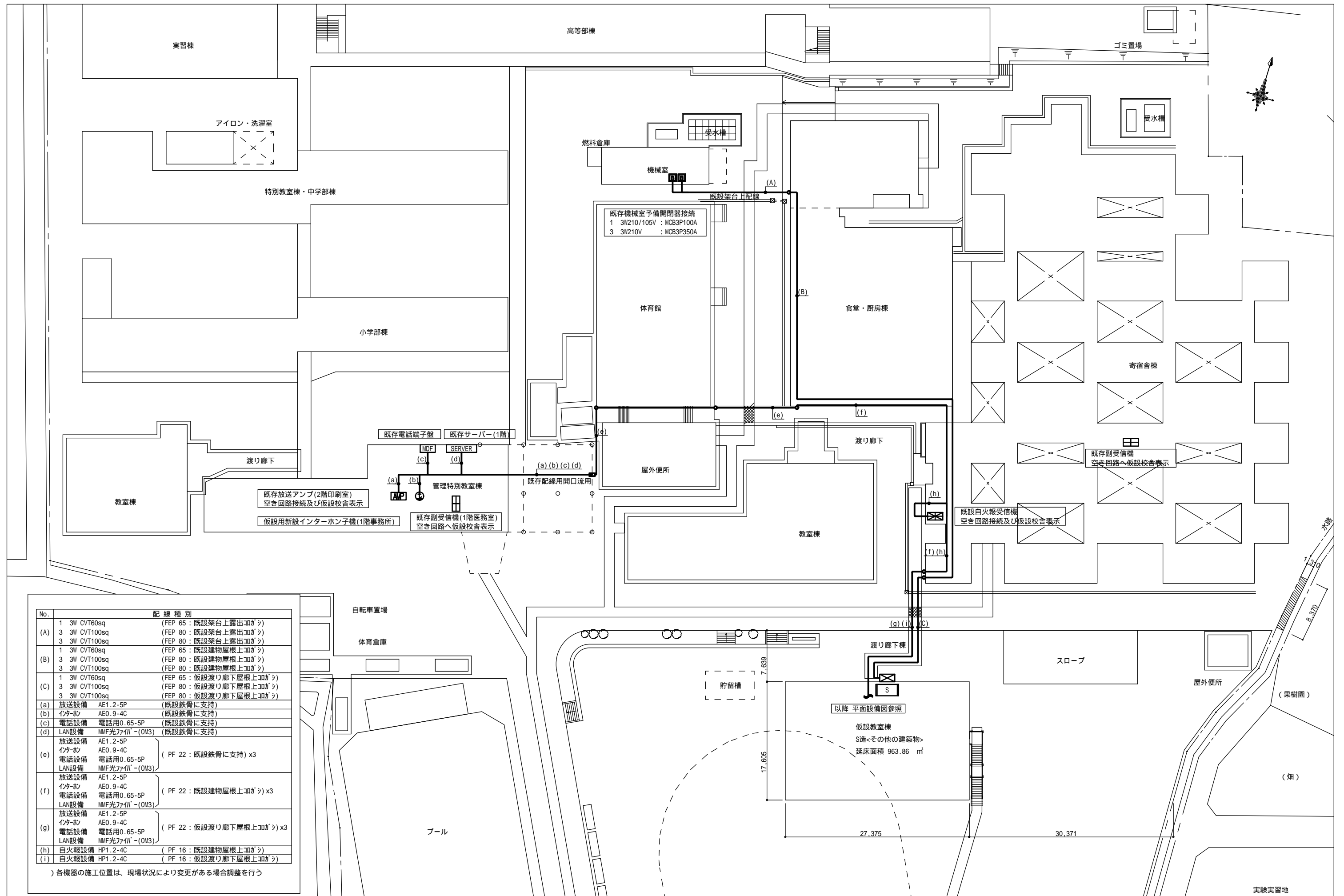
Table of equipment installation requirements. Includes sections for broadcast equipment, toilet call devices, fire zone equipment, and power equipment, with detailed installation instructions and diagrams.

Table with columns for 'Number' (凡例) and 'Design Year' (設計要年月日), containing dates for 1st, 2nd, and 3rd years.

Table with columns for 'Project Name' (工事名), 'Scale' (縮尺), and 'Design Date' (設計年月日). Project name is '大和特別支援学校仮校舎賃貸借'.

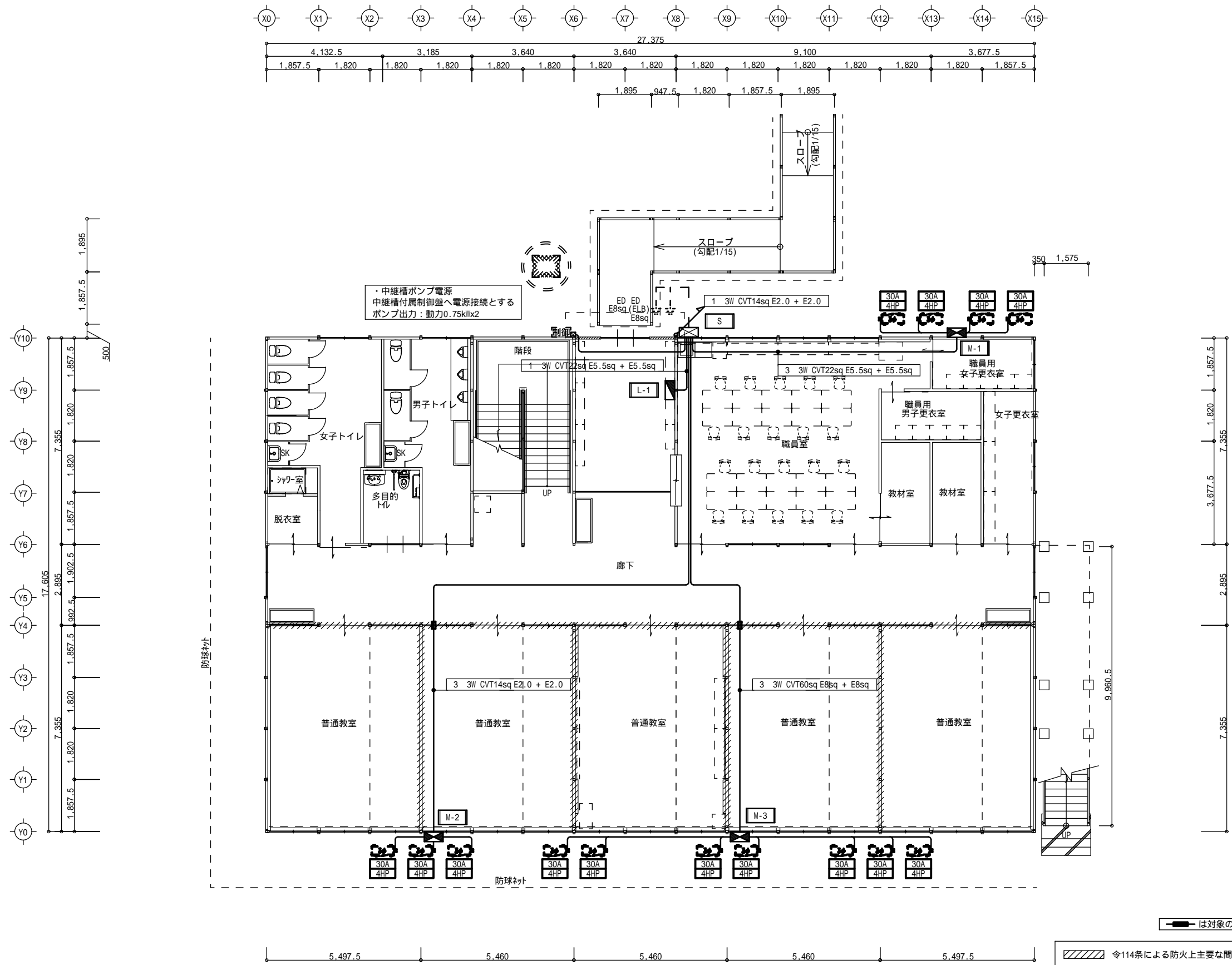
Table with columns for 'Scale' (縮尺), 'Design Date' (設計年月日), 'Project Name' (1級建築士登録 第 号), and 'Page Number' (E 01).





No.	配線種別	
(A)	1 3W CVT60sq	(FEP 65: 既設架台上露出コガシ)
	3 3W CVT100sq	(FEP 80: 既設架台上露出コガシ)
	3 3W CVT100sq	(FEP 80: 既設架台上露出コガシ)
(B)	1 3W CVT60sq	(FEP 65: 既設建物屋根上コガシ)
	3 3W CVT100sq	(FEP 80: 既設建物屋根上コガシ)
	3 3W CVT100sq	(FEP 80: 既設建物屋根上コガシ)
(C)	1 3W CVT60sq	(FEP 65: 仮設渡り廊下屋根上コガシ)
	3 3W CVT100sq	(FEP 80: 仮設渡り廊下屋根上コガシ)
	3 3W CVT100sq	(FEP 80: 仮設渡り廊下屋根上コガシ)
(a)	放送設備 AE1.2-5P	(既設鉄骨に支持)
(b)	インターホン AE0.9-4C	(既設鉄骨に支持)
(c)	電話設備 電話用0.65-5P	(既設鉄骨に支持)
(d)	LAN設備 MMF光ファイバ-(OM3)	(既設鉄骨に支持)
(e)	放送設備 AE1.2-5P	(PF 22: 既設鉄骨に支持) x3
	インターホン AE0.9-4C	
	電話設備 電話用0.65-5P	
	LAN設備 MMF光ファイバ-(OM3)	
(f)	放送設備 AE1.2-5P	(PF 22: 既設建物屋根上コガシ) x3
	インターホン AE0.9-4C	
	電話設備 電話用0.65-5P	
	LAN設備 MMF光ファイバ-(OM3)	
(g)	放送設備 AE1.2-5P	(PF 22: 仮設渡り廊下屋根上コガシ) x3
	インターホン AE0.9-4C	
	電話設備 電話用0.65-5P	
	LAN設備 MMF光ファイバ-(OM3)	
(h)	自火報設備 HP1.2-4C	(PF 16: 既設建物屋根上コガシ)
	自火報設備 HP1.2-4C	(PF 16: 仮設渡り廊下屋根上コガシ)

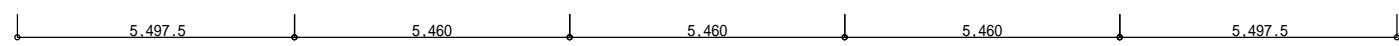
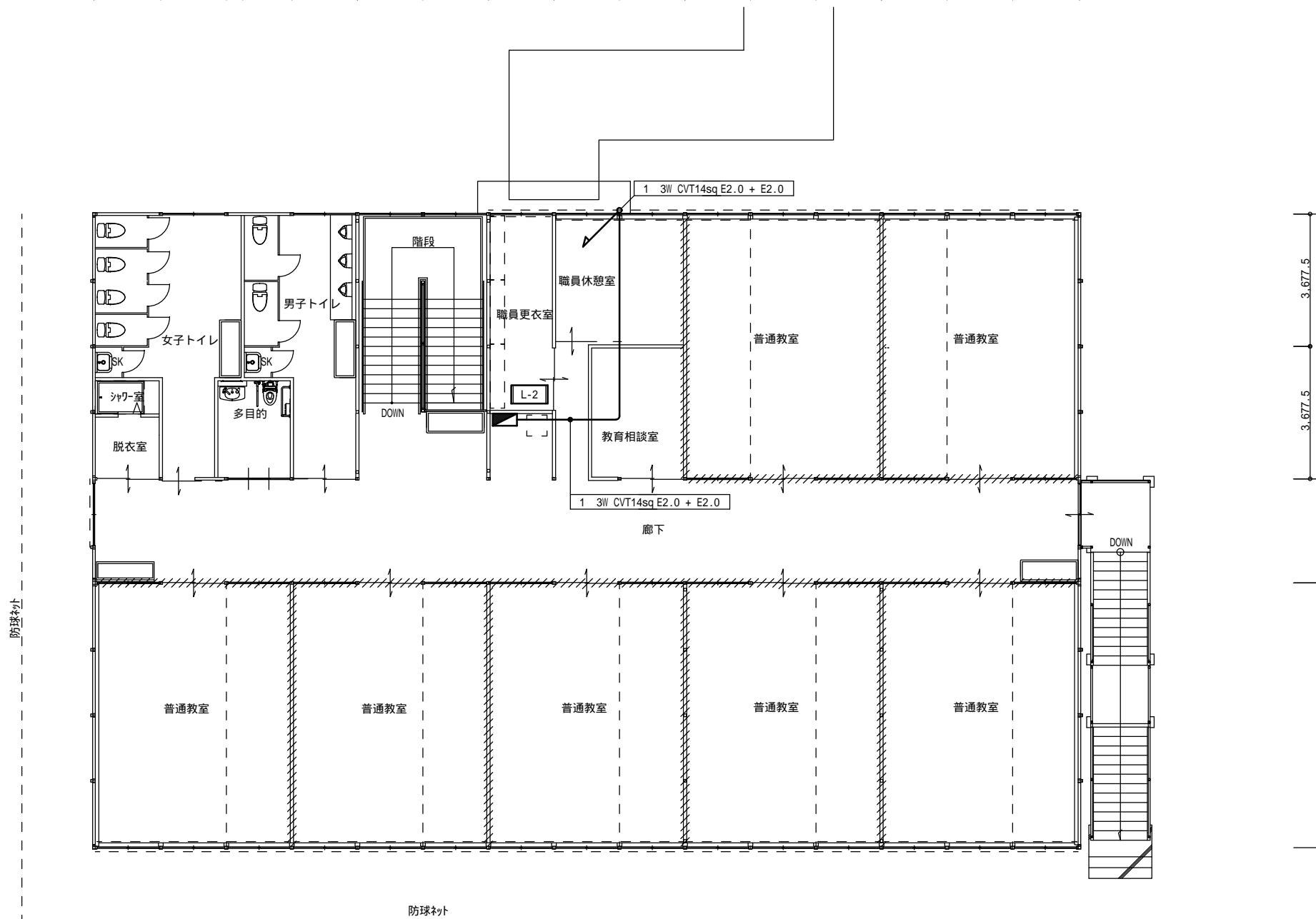
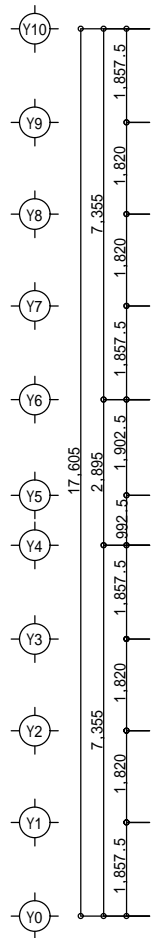
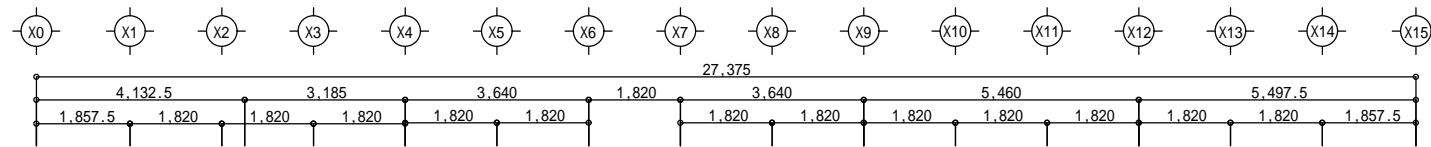
各機器の施工位置は、現場状況により変更がある場合調整を行う



1階平面図 S=1/150

〰〰〰 は対象の防火区画の配線配管貫通を示す
 〰〰〰 令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
 告示1358号第1項1号八(2) () (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む)
 防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
 隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

凡例	設計変更年月日	校名 大和特別支援学校仮校舎賃借	縮尺 A1 1:75 A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図面番号 E	
	1回 年 月 日					設計 年 月 日
	2回 年 月 日					
3回 年 月 日	1級建築士登録 第 号	04				



2階平面図 S=1/150

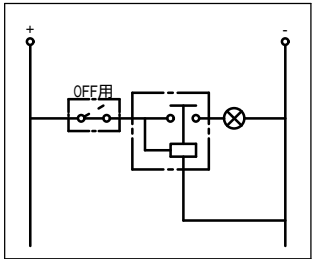
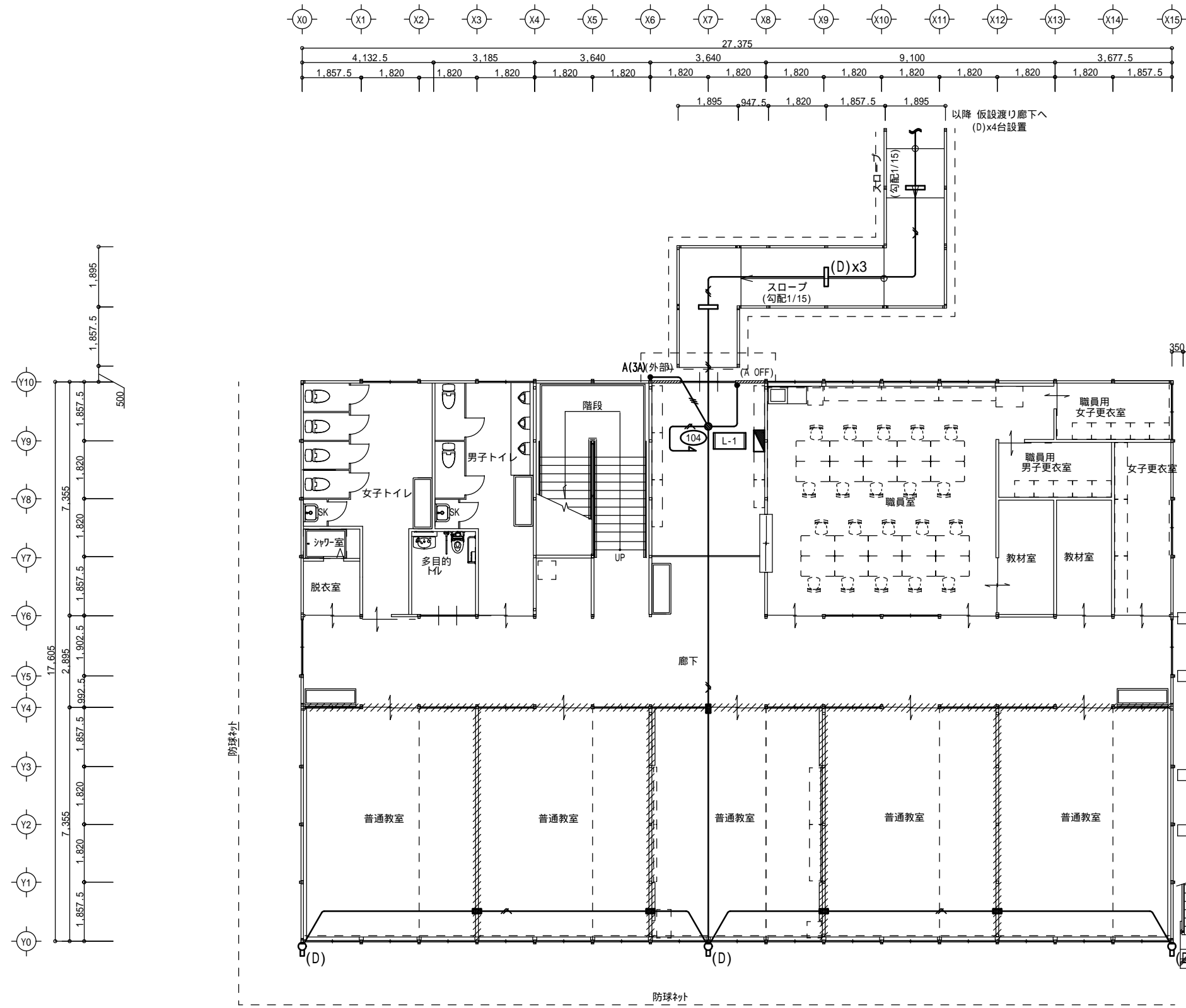
図内設備の配線・配管による防火区画の貫通は無し

令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
 告示1358号第1項1号八(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
 防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
 隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

凡例		設計変更年月日
		1回 年 月 日
		2回 年 月 日
		3回 年 月 日

依頼主	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺	A1 1:75 A3 1:150
図面名	幹線設備 2階平面図	設計	年月日

佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	
1級建築士登録 第	号



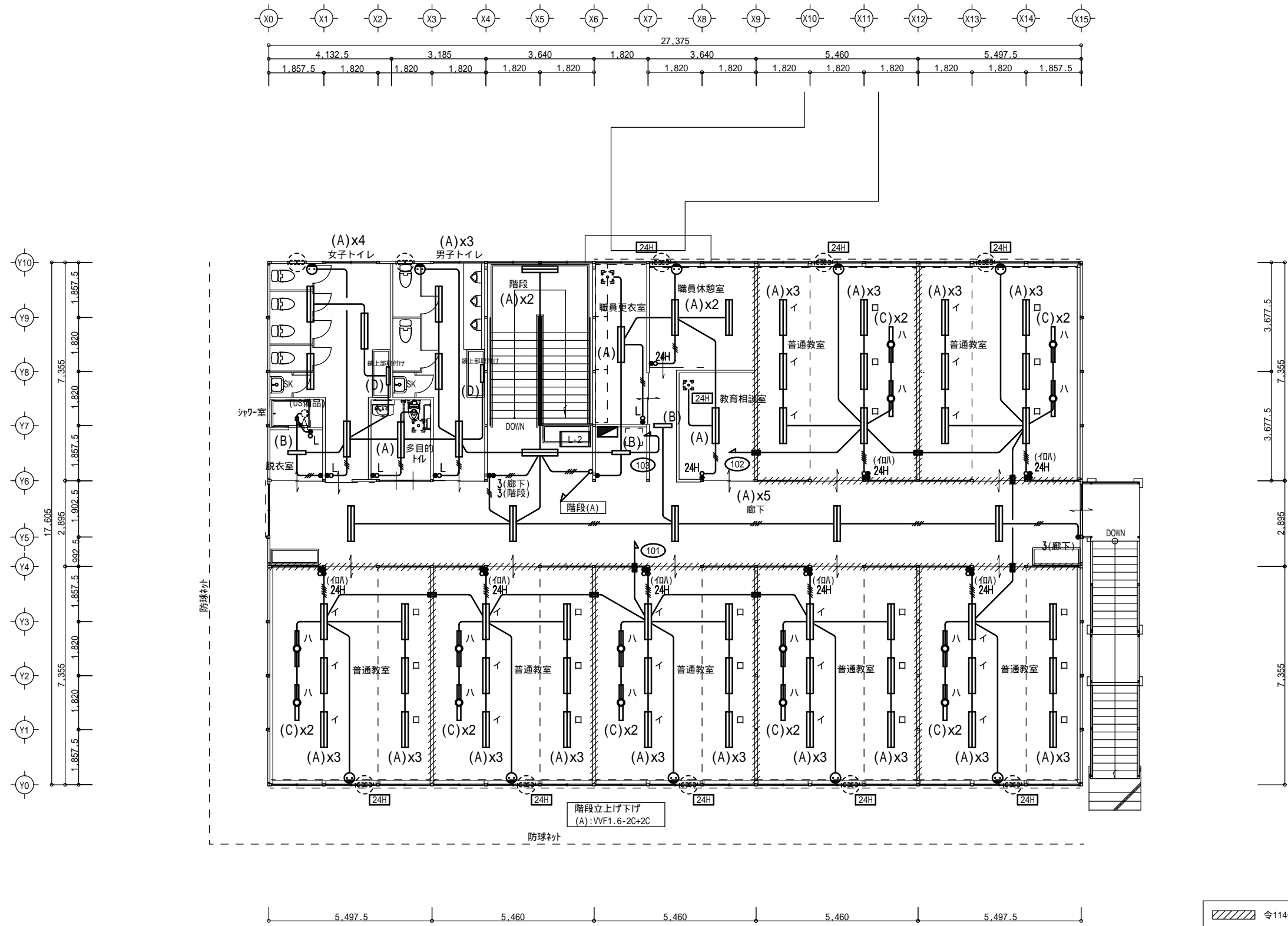
外部の照明器具は自動点滅器にて点滅とする
自動点滅系統の照明を夜間を使用しない場合
OFF用片切りスイッチ(手動)にて消灯とする

— は対象の防火区画の配線配管貫通を示す

/// 令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
告示1358号第1項1号八(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

1階平面図 S=1/150

凡例	設計変更年月日	設計者	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺	A1 1:75	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図面番号	E
	1回 年 月 日				A3 1:150			
	2回 年 月 日				設計年月日			
	3回 年 月 日	校舎図	電灯設備(2) 1階平面図					



2階平面図 S=1/150

— は対象の防火区画の配線配管貫通を示す

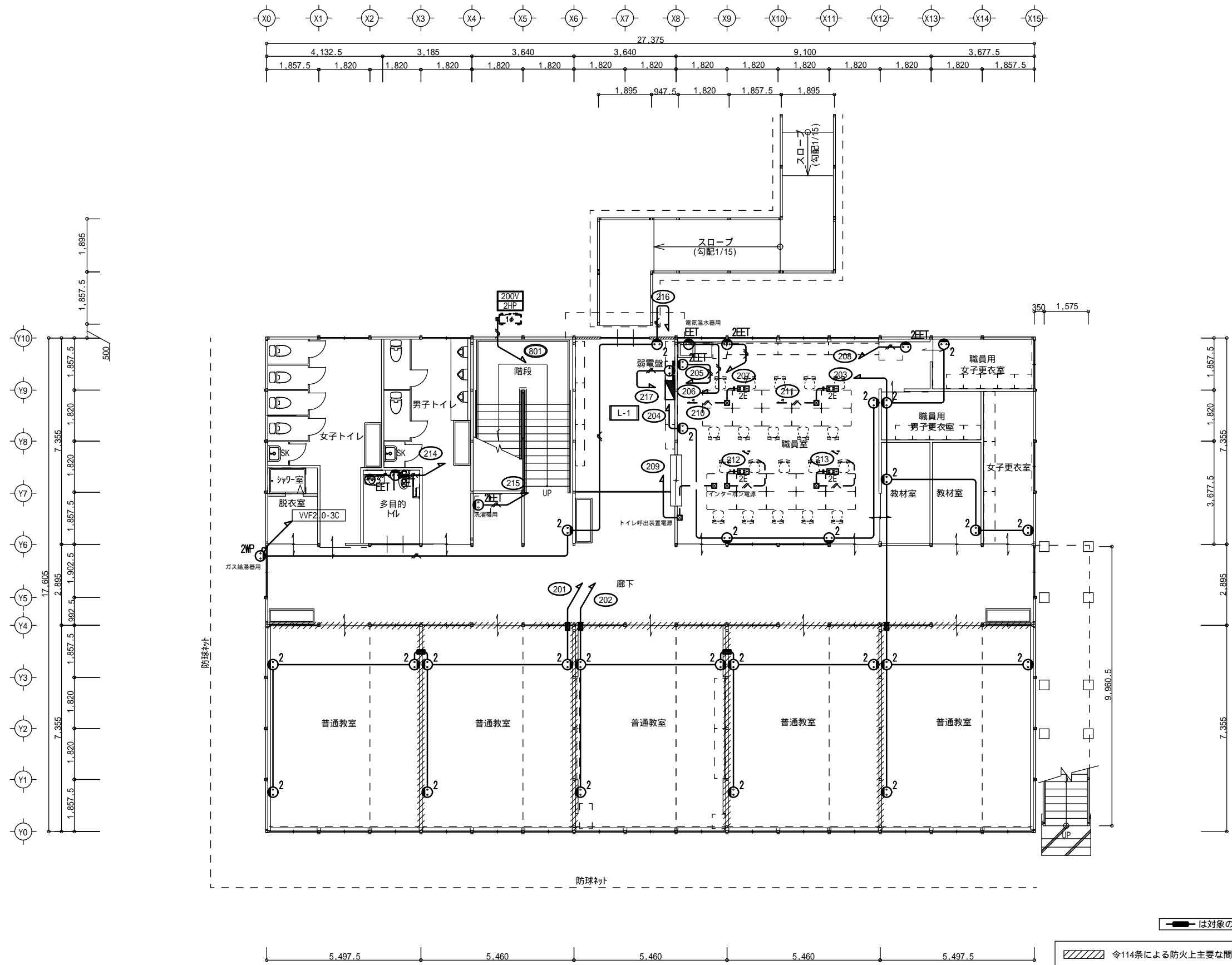
〰 令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
 告示1358号第1項1号ハ(2) () (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
 防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
 隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

凡例		設計変更年月日
		1回 年 月 日
		2回 年 月 日
		3回 年 月 日

設計者	大和特別支援学校仮校舎賃貸借
校舎図	電灯設備 2階平面図

縮尺	A1 1:75 A3 1:150
設計年月日	

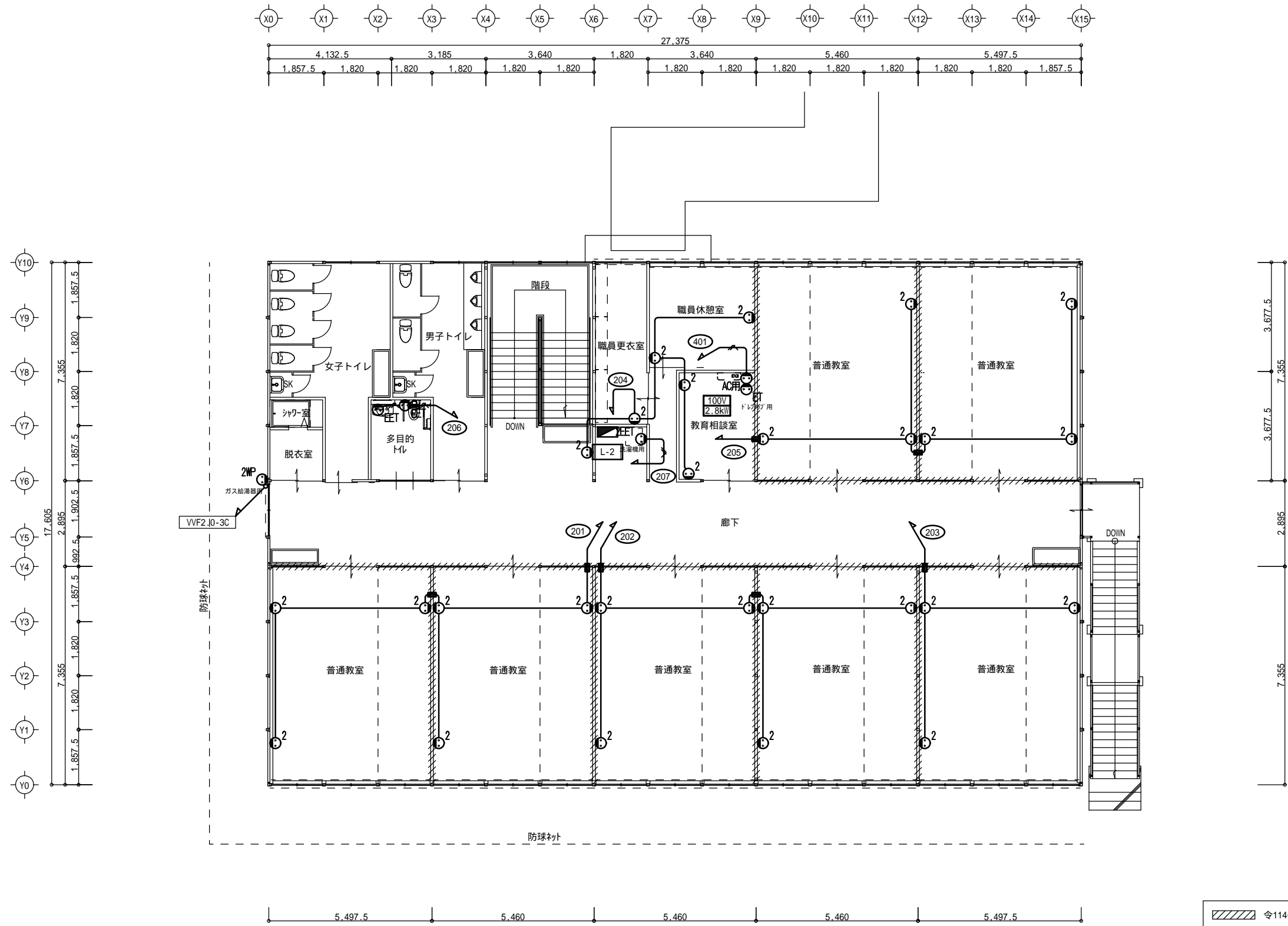
佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	
1級建築士登録 第	号



1階平面図 S=1/150

〰〰〰 対象の防火区画の配線配管貫通を示す
 〰〰〰 令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
 告示1358号第1項1号ハ(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む)
 防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
 隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

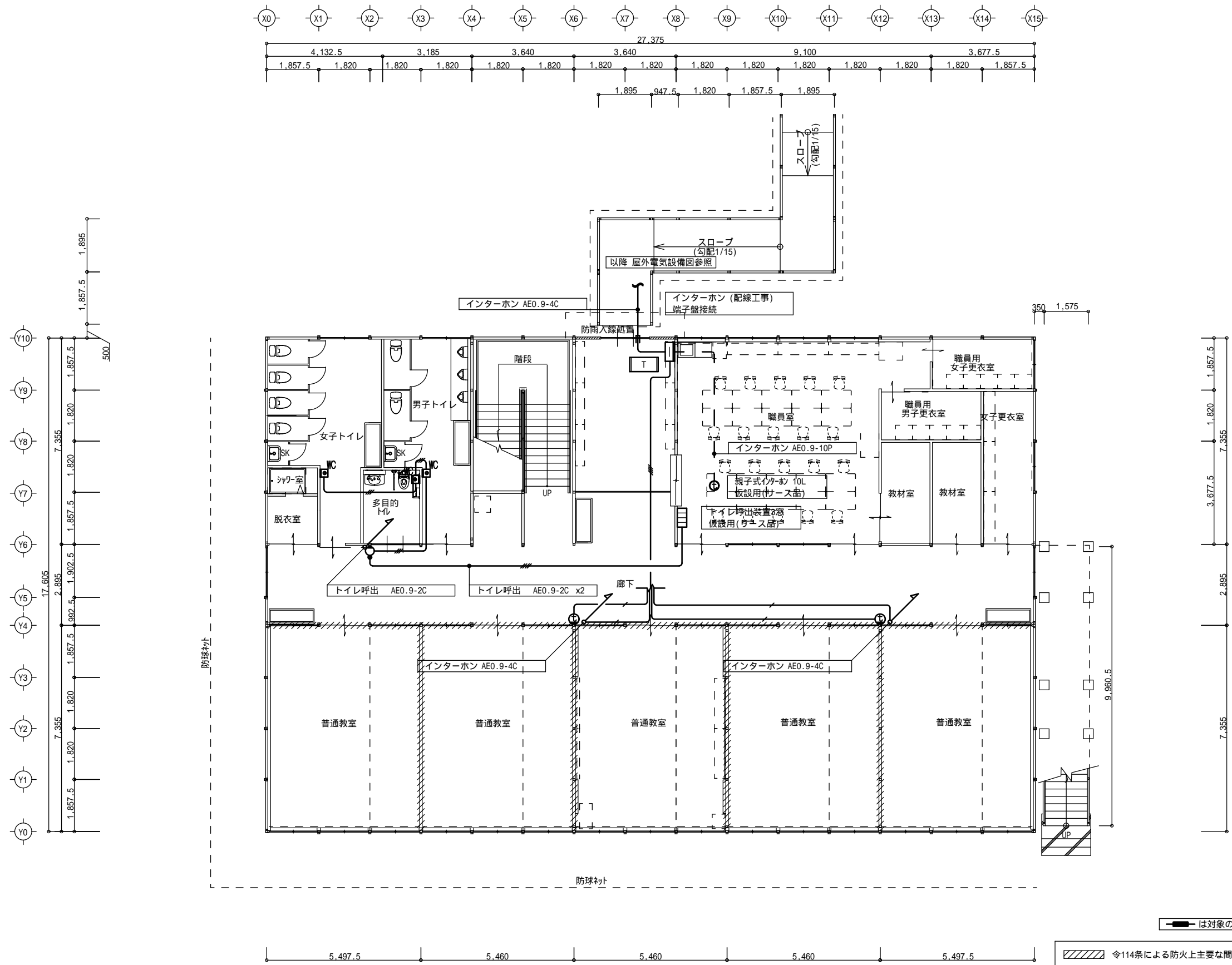
凡例	設計変更年月日	設計者	大和特別支援学校仮校舎賃借	縮尺	A1 1:75	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図面番号	E
	1回 年 月 日				A3 1:150			
	2回 年 月 日				設計 年 月 日			
	3回 年 月 日	校舎図	コンセント設備 1階平面図		1級建築士登録 第 号	09		



2階平面図 S=1/150

〰〰〰 は対象の防火区画の配線配管貫通を示す
 〰〰〰 令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
 告示1358号第1項1号ハ(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
 防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
 隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

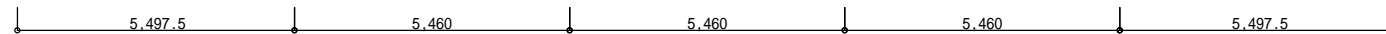
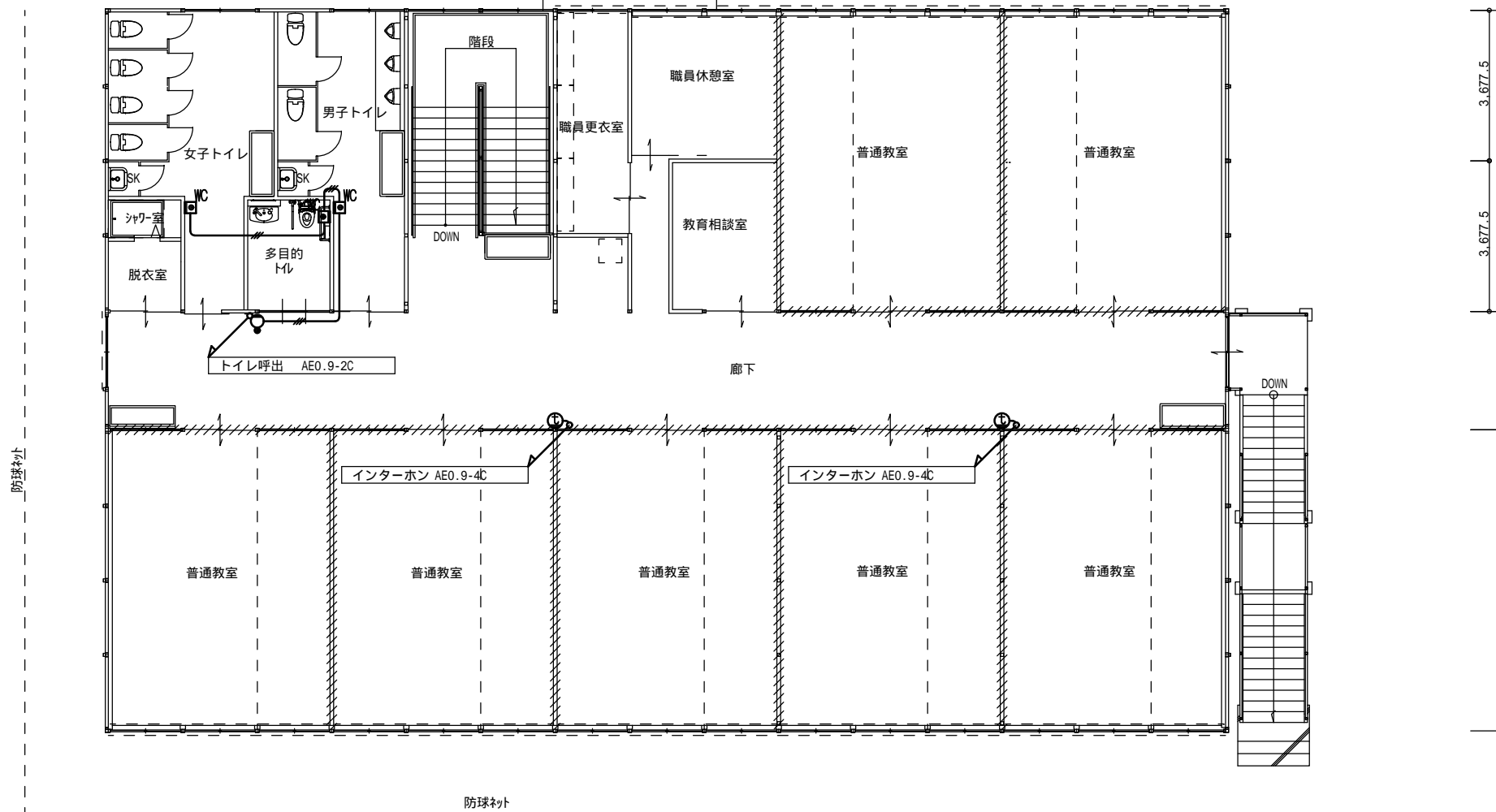
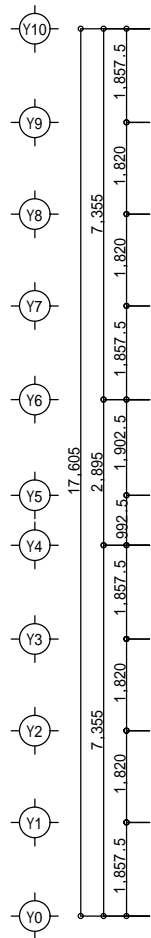
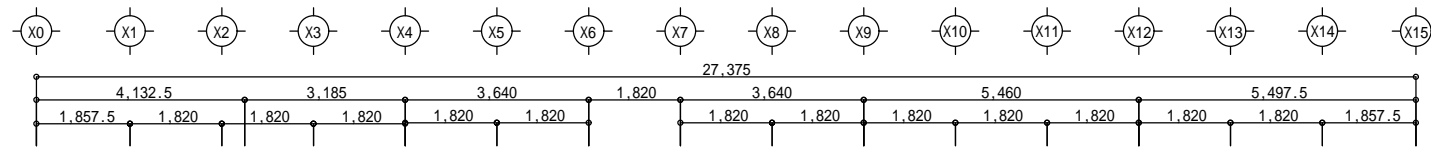
凡例	設計変更年月日	設計者 大和特別支援学校仮校舎賃貸借 1階建築士登録 第 号 1級建築士登録 第 号	縮尺 A1 1:75 A3 1:150 設計年月日	図面番号 E 10
	1回 年 月 日			
	2回 年 月 日			
	3回 年 月 日	図面名 コンセント設備 2階平面図	設計者 佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	



1階平面図 S=1/150

■■■ は対象の防火区画の配線配管貫通を示す
 〰〰〰 令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
 告示1358号第1項1号ハ(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む)
 防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
 隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

凡例	設計変更年月日	大和特別支援学校仮校舎賃貸借 トイレ呼出・インターホン設備 1階平面図	縮尺 A1 1:75 A3 1:150 設計年月日	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課 1級建築士登録 第 号	E
	1回 年 月 日				
	2回 年 月 日				
	3回 年 月 日				



2階平面図 S=1/150

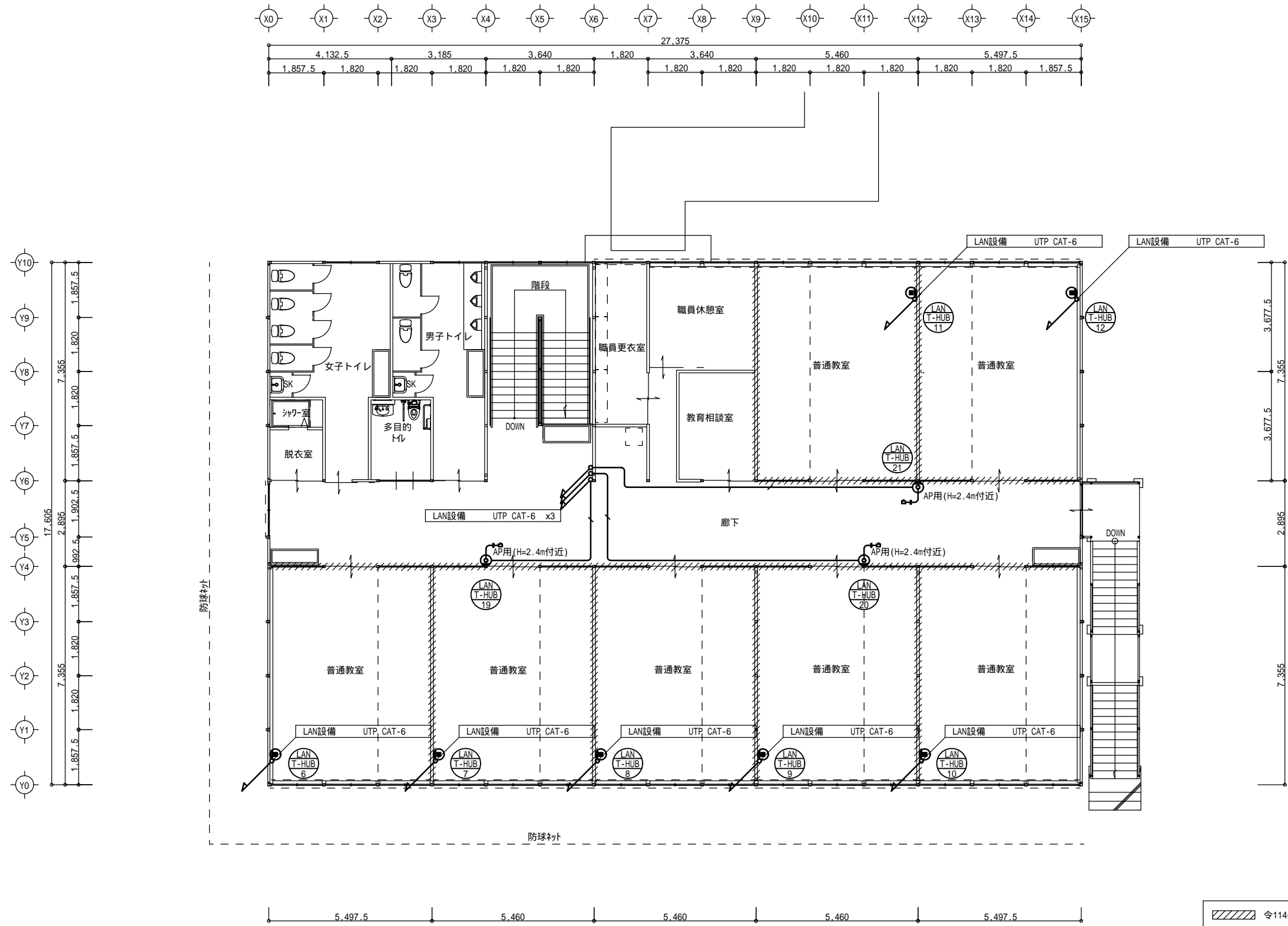
図内設備の配線・配管による防火区画の貫通は無し

令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
 告示1358号第1項1号ハ(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
 防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
 隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

凡例		設計変更年月日
		1回 年 月 日
		2回 年 月 日
		3回 年 月 日

依頼主	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺	A1 1:75 A3 1:150
図面名	トイレ呼出・インターホン設備 2階平面図	設計	年月日

佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	
1級建築士登録 第	号

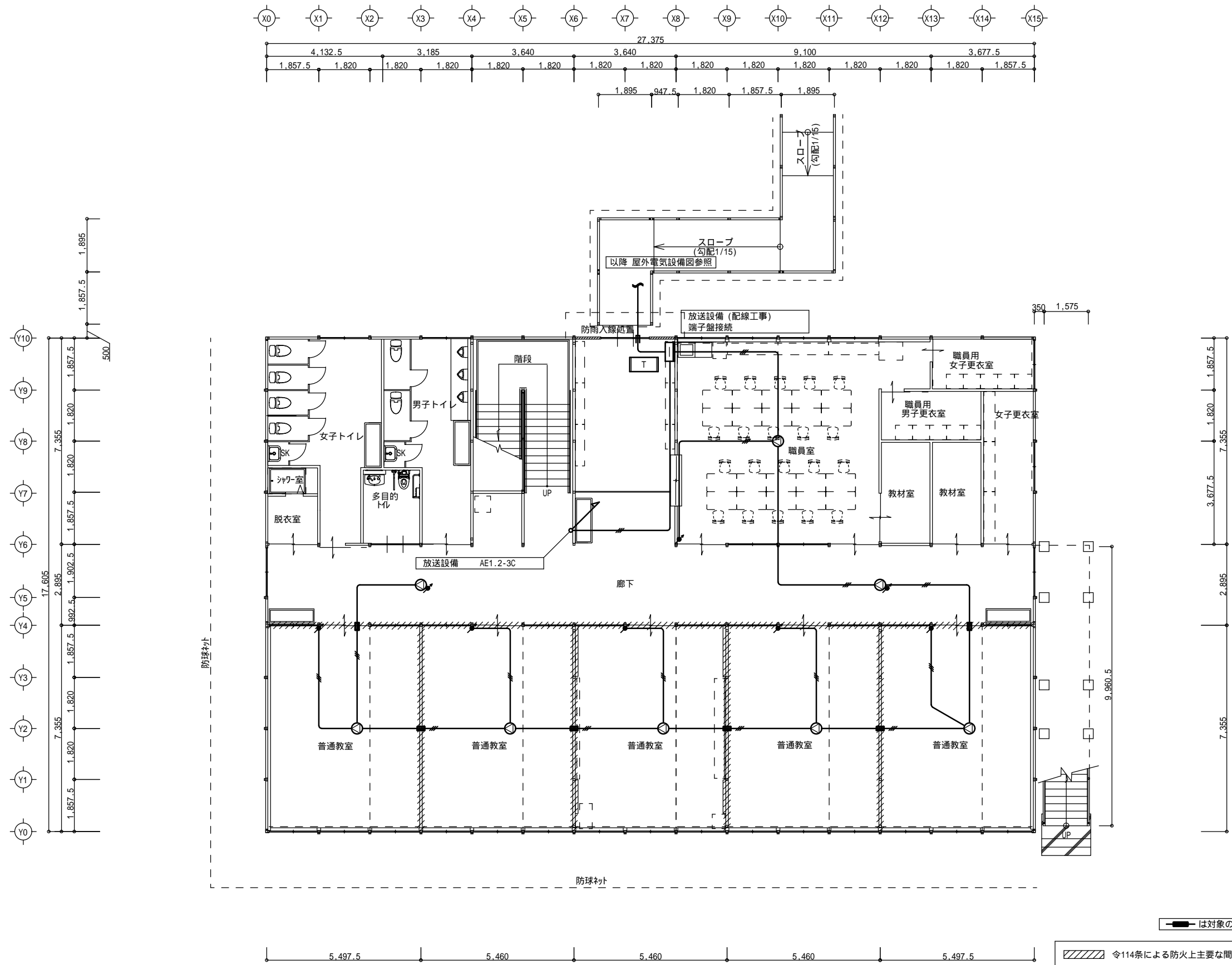


2階平面図 S=1/150

図内設備の配線・配管による防火区画の貫通は無し

令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
 告示1358号第1項1号ハ(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
 防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
 隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

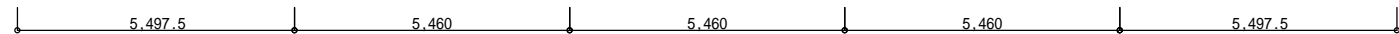
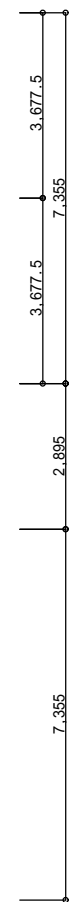
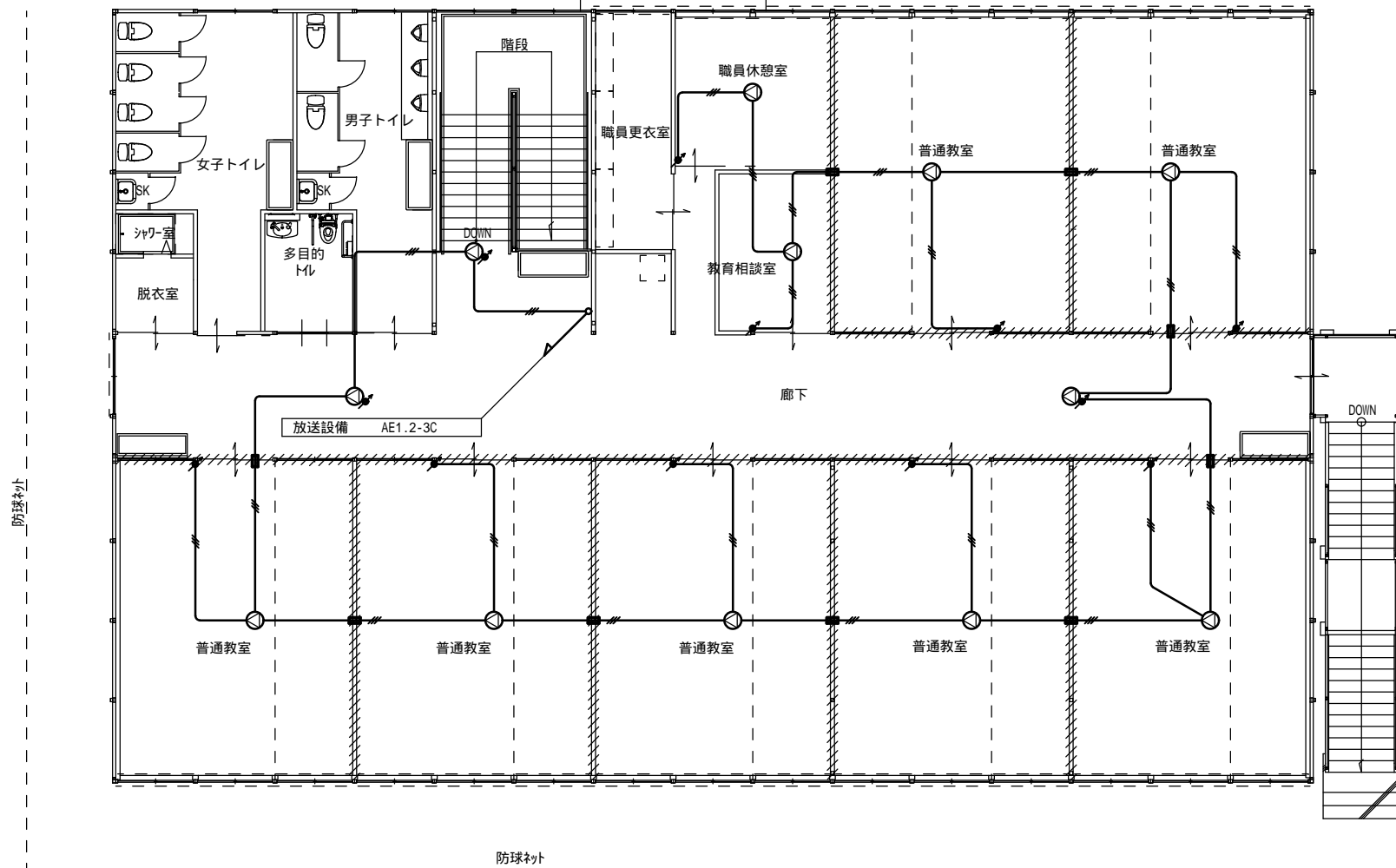
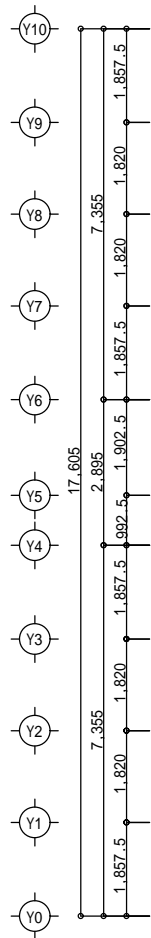
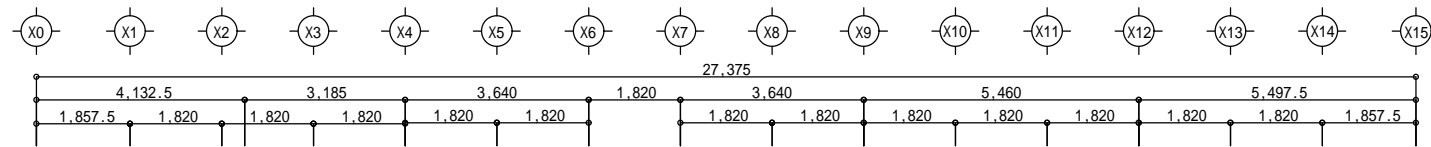
凡例	設計変更年月日	設計者 大和特別支援学校仮校舎賃貸借 情報設備 2階平面図	縮尺 A1 1:75 A3 1:150 設計年月日	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課 1級建築士登録 第 号	図面 E 14
	1回 年 月 日				
	2回 年 月 日				
	3回 年 月 日				



1階平面図 S=1/150

— は対象の防火区画の配線配管貫通を示す
//// 令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
 告示1358号第1項1号八(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
 防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
 隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

凡例	設計変更年月日	設計者	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺	A1 1:75 A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図面番号	E			
	1 年 月 日								放送設備 1階平面図	設計 年 月 日	1級建築士登録 第 号
	2 年 月 日										
3 年 月 日											



2階平面図 S=1/150

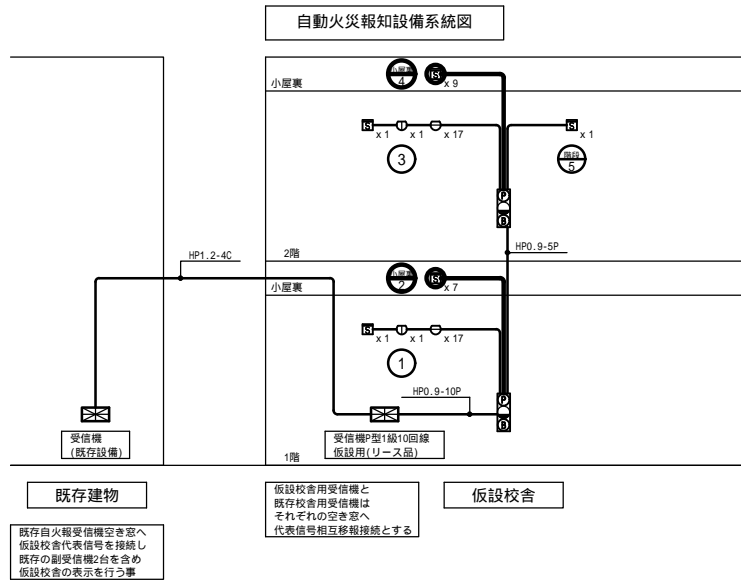
は対象の防火区画の配線配管貫通を示す

令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
 告示1358号第1項1号ハ(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
 防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
 隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

凡例		設計変更年月日
		1回 年 月 日
		2回 年 月 日
		3回 年 月 日

設計者	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺	A1 1:75 A3 1:150
図面名	放送設備 2階平面図	設計年月日	

佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	
1級建築士登録 第	号



防災設備 凡例

記号	名称 / 仕様	数量
受信機	受信機P型1線100回線	1面
受信機	P型1線給合盤 ●音響装置 ●表示灯(赤色) ●P型受信機	2面
差動式	差動式スポット型感知器2種	34個
定温式	定温式スポット型感知器特種防水	2個
IS	光電式煙感知器2種	3個
IS	光電式煙感知器2種 小屋裏(点検口:建築工事)	16個
ハット	ハット型消火設備ボックス ●表示ランプ(赤色/常時点灯) 本体は本工事機械設備とし電気配線は本工事電気工事とする	2面

誘導設備図

番号	(a) 凡例	番号	(b) 凡例	番号	(c) 凡例
種類	避難口誘導灯 C級	種類	避難口誘導灯 B級B形	種類	通路誘導灯 B級B形
ランプ	LED(100V)	ランプ	LED(100V)	ランプ	LED(100V)
備考	片面	備考	方向シンボル付 両面	備考	方向シンボル付 両面

非常照明器具図

番号	(x1) 凡例	番号	(x2) 凡例
種類	露出型非常照明	種類	露出型非常照明
ランプ	LED(小空間/9H相当品)	ランプ	LED(高天/30H相当品)
備考	型式評定番号:LALE-004	備考	型式評定番号:LALE-006

機器仕様		有効範囲参考
本体	亜鉛鍍板(10.8)	
カバー	鋼板(10.7)	
蓄電池	1450mAh	
レンズ	ガラス/透明	
器具内配線	架橋ポリエチレン絶縁電線	
形式	電池内蔵型モニター付	
	自己点検機能付(リモコン対応)	
動作	常時:消灯 非常時:LED点灯	
電源	主開閉器二次側	

器具取付け高さは表内参照

特記)非常照明設備は任意設置とする

非常照明器具 LED(小空間/9H相当品)		参考メーカー:パナソニック電気 NNF890005J									
器具取付高さ	2.3m	2.4m	2.5m	2.6m	2.7m	2.8m	3.0m	5.5m	6.0m	6.5m	7.0m
単体配置	A1	3.9m	4.0m	4.0m	4.0m	3.6m	3.2m	2.8m			
直線配置	A2	9.2m	9.4m	9.6m	9.9m	10.1m	10.3m	10.1m			
四角配置	A4	7.4m	7.6m	7.8m	8.1m	8.3m	8.5m	8.9m			
1.01x E=1.0		4.8m		5.0m				5.8m			

非常照明器具 LED(高天/30H相当品)		参考メーカー:パナソニック電気 NNF893007J									
器具取付高さ	2.3m	2.4m	2.5m	2.6m	2.7m	2.8m	3.0m	5.5m	6.0m	6.5m	7.0m
単体配置	A1	3.7m	3.8m	4.0m	4.1m	4.2m	4.3m	4.5m	6.9m	7.4m	7.8m
直線配置	A2	8.1m	8.3m	8.5m	8.7m	9.0m	9.2m	9.8m	15.3m	16.3m	17.2m
四角配置	A4	6.8m	7.0m	7.2m	7.4m	7.5m	7.7m	8.0m	12.0m	12.8m	13.5m
1.01x E=1.0											14.3m

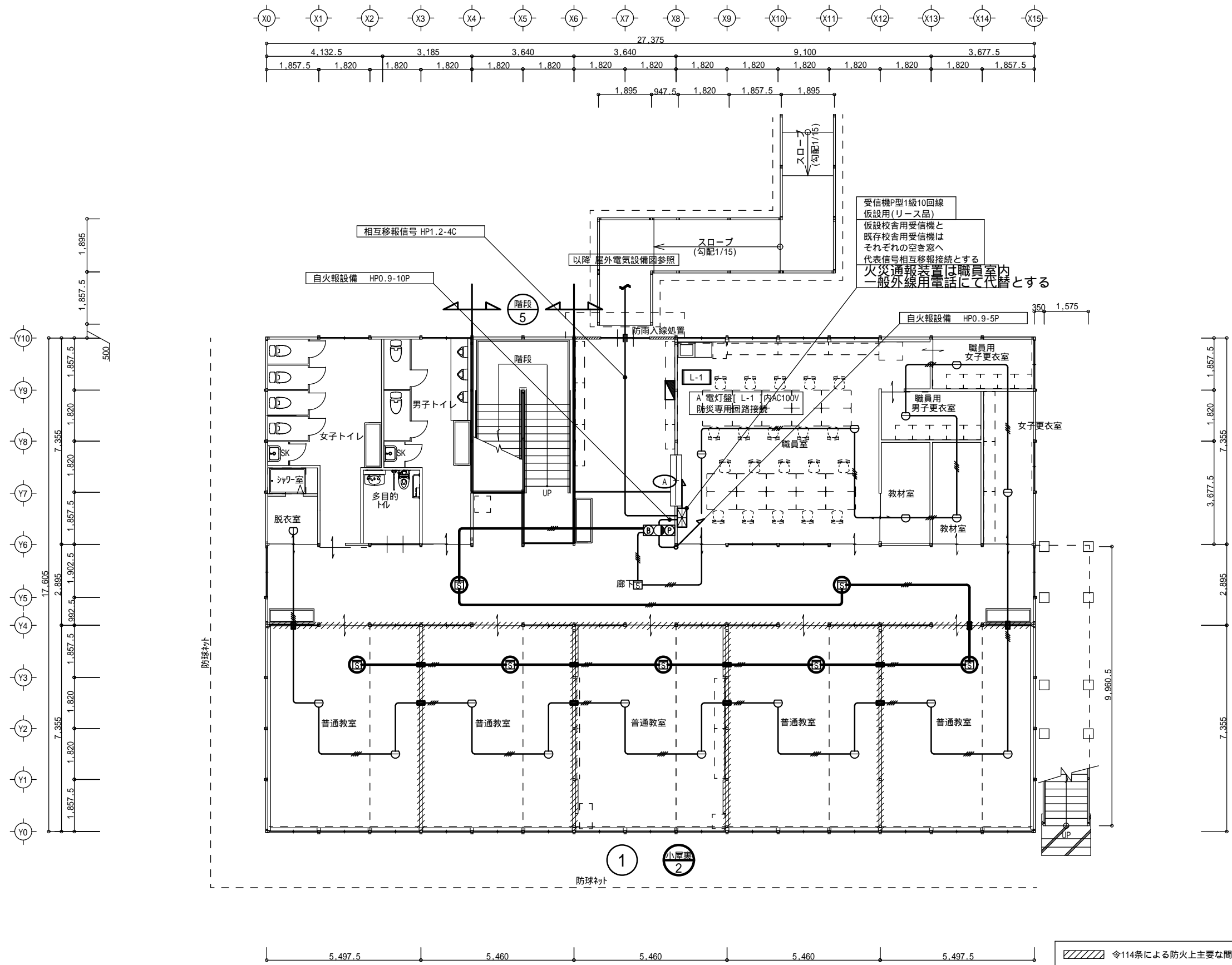
配線・配管凡例

特記なき配線・配管は下記による		
自火報設備	AEO.9-2C 室内警報区域	天井隠蔽
"	AEO.9-2C 小部屋警報区域	床下隠蔽
"	AEO.9-4C 室内警報区域	上げ下げ
"	AEO.9-4C 小部屋警報区域	架空
受信機電源	VVF1.6-3C 防災専用電源	埋設
誘導灯設備	VVF1.6-2C 防災専用電源	
表示灯電源	VVF1.6-2C 防災専用電源	
消火設備表示灯	HP1.2-2C	
非常照明設備	VVF1.6-2C 専用電源	

施工要項

- #### 機器取付(共通)
- 1) 各設備の取付位置は、通行の妨げにならない場所等、使用の利便性を考慮し取付高さ・有効範囲・機器性能は各種法令・設置基準に応じた最適な工法を行うものとする
 - 2) 屋外または水気のある場所の設備は状況に応じ防水または防湿対応とする
 - 3) 既存移設機器や特殊機器がある場合は、入念な打ち合わせを行い決定とする
 - 4) 施工範囲を含む各機器の試験調整・導通試験を行い、問題なく使用出来る事を確認する
 - 5) 結露器・空調機のPE用配線配線など、電気設備以外で配線工事が発生する場合は自機器施工業者にて対応とするが、現場にて施工区分調整を行った場合は電気工事とする
 - 6) 本工事設置機器の形式・材質は、要求される性能を満たす限り、施工業者仕様とする
 - 7) 各設備の取付位置は、現場状況により変更がある場合、関係者協議にて調整を行う
 - 8) 要項は本件の標準材料・標準材質・標準施工内容を示し、特記の場合は図内参照とする
- #### 配線工事要項(共通)
- 1) 配線仕様 被覆材質 ●ケーブル対応無し(一般ケーブル) ●ケーブル
 - 2) 配線保護 屋外埋設 ●樹脂管 金属管 暗渠 屋外露出 ●樹脂管 金属管 露出 配線ダクト 屋内露出 ●樹脂管 金属管 壁内部露出配線 ●小部屋内部露出配線 屋内露出 ●樹脂管 金属管 ●JKT-B ●JKT-E 配線ダクト 配線ダクト
 - 3) 指定なき配管は、樹脂(PF・VE・HIVE・FEP)、金属(G・E・C)を状況により使い分けとする
 - 4) 配管材料の継ぎ手類・ギョウコ、M・類は、接続する配管材料により材質を調整とする
 - 5) 要項は本件の標準材料・標準材質・標準施工内容を示し、特記の場合は図内参照とする
- #### 防災機器取付・機器配線工事要項(共通)
- 1) 各種防災設備は、関係法規ならび各種仕様・規則等を満足すること
 - ただし、消防協議や事前相談により特別申請、特別許可が得られた場合はこの限りではない
 - 2) 設備内容について、所轄消防、建築指導課、監督等による指導により変更があった場合は指導に従い変更を行うこと
- #### 自動火災報知設備取付要項
- 1) 設備概要 機器構成 ●本工事建物専用 本工事建物以外と共用 別系統自火報代表信号移転 ●別系統自火報相互移転 消火栓起動 誘導灯制御 火災通報装置起動(運動停止スワッチ) 非常放送起動 非常放送優先制御 音響設備電源加付 防火戸制御 防犯設備連動 電気錠制御連動
 - 2) 主装置 設置場所 ●本工事建物 本工事建物以外
 - 3) 施工内容 設置機器 ●受信機 ●給合盤 発信機 表示灯 音響装置 ●感知器 副受信機 配線配管 ●配線工事 配管工事 空調配管工事 機器接続 ●監視機 配線用開口 端子付配線巻止め
 - 4) 自警報区域の終端抵抗は総合終端抵抗とし、総合内端子取付とする
 - 5) 感知器へ終端抵抗を取り付ける場合は回路末端の感知器へ終端抵抗 表記とする
 - 6) 感知器区域番号は ● で表示し、室内警報区域以外は図内参照とする
 - 7) 1m以上のEPS空間上部・物入・押入は感知器を設置すること
 - 8) 火災の発生又は延焼のおそれが多く、かつ、火災等の災害による被害を最小限度に止めることができるかと判断される下記部分の感知器の設置は免除とする
 - ・便所、浴室、シャワー室、脱衣所、倉庫内、感知器の機能保持が著しく困難な部分
 - ただし、所轄消防によって設置を指導する場合はこの限りではない
 - 9) 本工事設置の自動火災報知設備と別系統の自動火災報知設備を接続・連動させる場合異なるメーカーを接続した事による動作不良などが起こらないよう考慮する

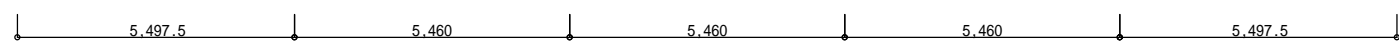
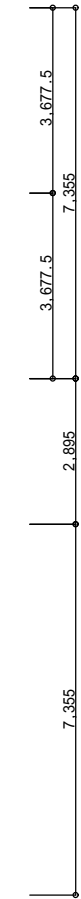
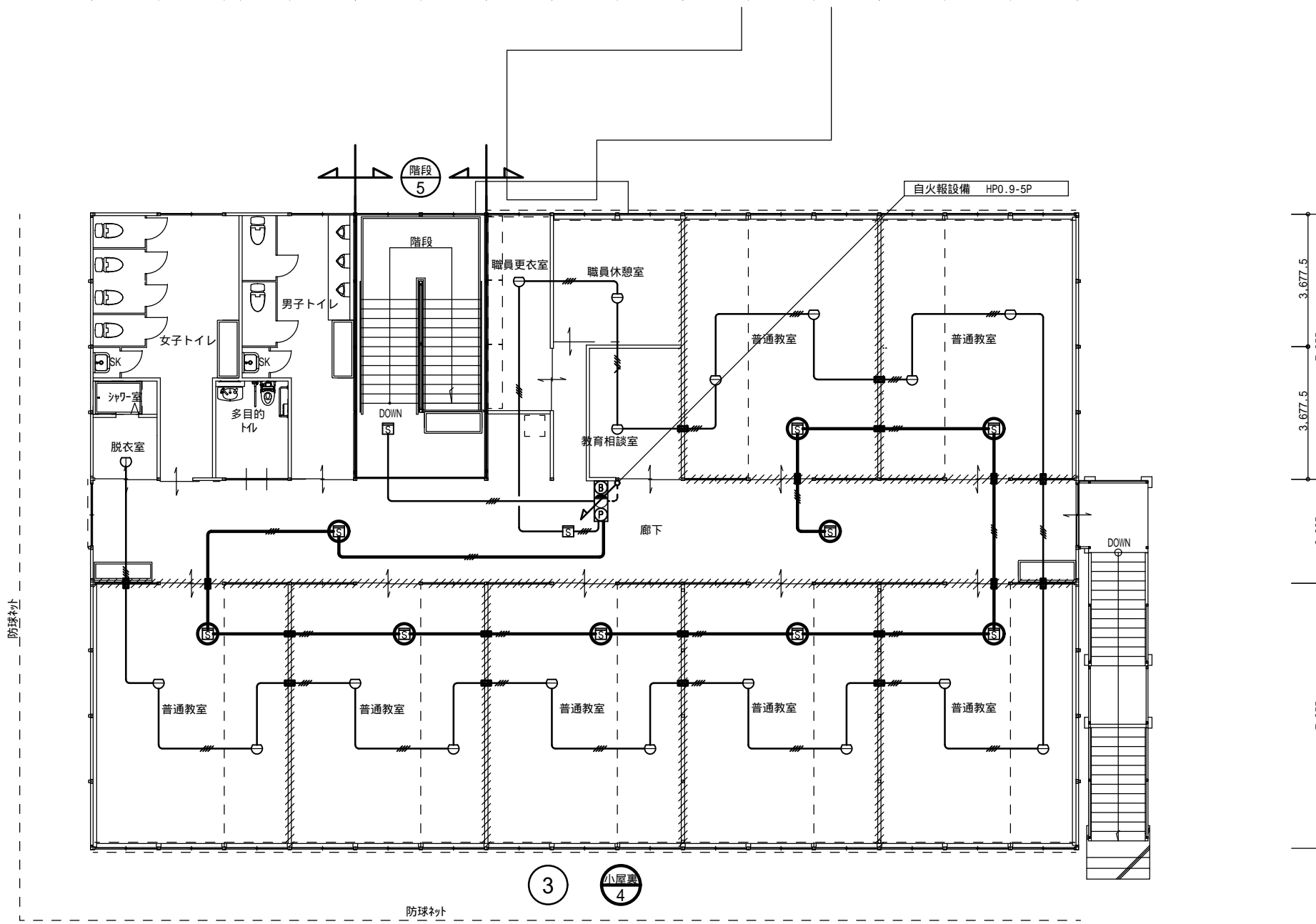
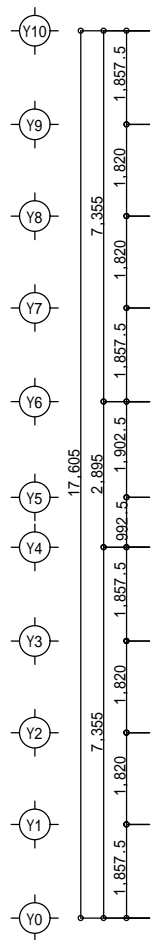
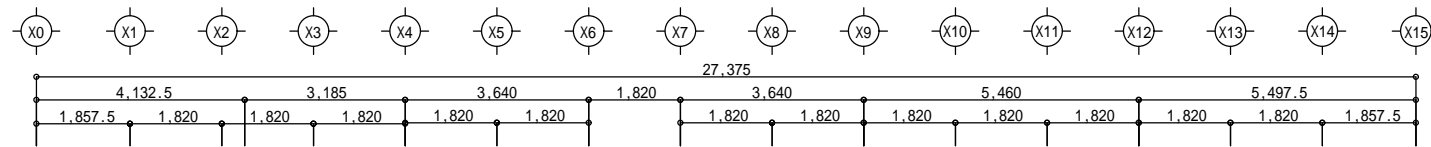
- #### 非常照明取付要項
- 1) 建築基準法施行令第126条の4・防災設備に関する指針により設置箇所を選定とする
 - 2) 平成12年建設省告示第1411号(改正平成30年3月29日国土交通省告示第516号)により令第116条の二第一項第一号に該当する窓その他の開口部を有する居室及びこれに隣する建築物の部分で、下記のいずれかに該当する居室内の非常照明を免除とする
 - 一 イ 避難階で屋外出口に至る歩行距離が30m以下の居室で、かつ、避難上支障がないもの
 - ロ 避難階の直上階または直下階で屋外出口または屋外避難階段に至る歩行距離が20m以下の居室であり、かつ、避難上支障がないもの
 - 二 床面積が30㎡以下の居室(ふすま、障子、その他随時開放することができるもので仕切られた2室は1室とみなす)で、地上への出口を有するものまたは当該居室から地上に通ずる建築物の部分の次のイ又はロに該当するもの
 - イ 令第126条の5に規定する構造の非常用の照明設備を設けた部分
 - ロ 採光上有効に外気に開放された部分
 - 3) 避難時にとって重要でない場所(被照面の隅角部一辺1m以下、柱の突出による影、物陰等)は緩和とする。(非常用照明器具技術基準(JIL5501:2009))
 - 4) 非常照明を同室内に複数台設置する場合、単体配置・直線配置による設置位置及び複数台の合成照度により必要照度を確保できる設置位置へ施工とする
- #### 防火区画貫通要項 施工方法参考
- (ケーブル、配電管その他の管 壁部分)
-
- クイック本体 | ケーブル、または 0.3mm・FEP管、VE管、FEP管
- クイック本体 | ケーブル、または 0.3mm・FEP管、VE管、FEP管
- 1) ケーブル、配電管、その他の管が建築基準法第二條七の二に基づく準耐火構造(建設省告示第1359号)の防火区画を貫通する場合に適用とし、建築基準法施行令第112条第20項、同令第126条の5の4 第11項 第7八に適合する工法とする
 - 2) 貫通部は耐火充填材設置とし、開口径は貫通する配線本数・配管径により調整とする
 - 3) 貫通を行うケーブル、配電管、その他の管の適応種類ならび貫通可能な配線配管サイズの上限、配線配管仕様は製品仕様書参照とする
 - 4) ● は対象の防火区画等を示し、構造詳細は製品仕様書参照とする
 - 5) ● は対象の防火区画の配線配管貫通数、● は対象の防火区画の貫通処置部を示す
 - 6) 2階以上の階の床下配線が下階の区画を貫通する場合、貫通処置は下階に表記とする
 - 7) 貫通処理は有効な限り各設備で共通利用とし、処理位置、必要数量は総合的に調整を行う
 - 8) 貫通部分が明示されていない場合、最寄貫通処理位置を利用するものとする
- 製品情報(参考:未業工業 タイカブラック クイック)
- | 国土交通大臣認定 | 貫通する壁・床の構造 |
|-------------|---------------------|
| PS090L-0917 | 壁 60mm厚以上 床 60mm厚以上 |
| PS090L-0918 | 壁 45mm厚以上 床 60mm厚以上 |
| PS090L-0913 | 床 75mm厚以上 |



1階平面図 S=1/150

〰〰〰 令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
 告示1358号第1項1号八(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
 防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
 隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

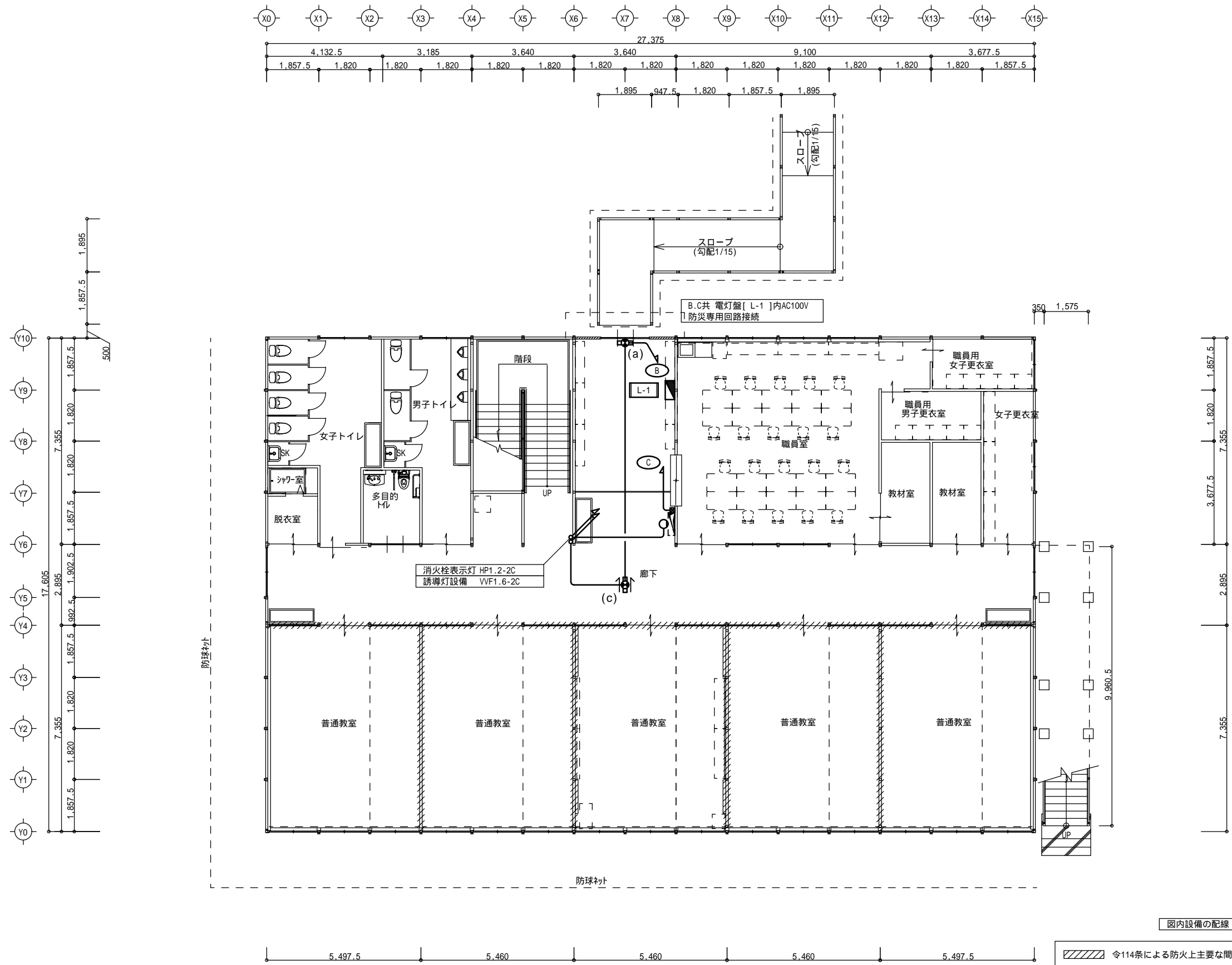
凡例		設計変更年月日	1 年 月 日	2 年 月 日	3 年 月 日	設計者	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺	A1 1:75 A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図面番号	E
						校舎図	自動火災報知設備 1階平面図	設計年月日		1級建築士登録 第 号		18



2階平面図 S=1/150

令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
 告示1358号第1項1号ハ(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
 防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
 隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

凡例	設計変更年月日	大和特別支援学校仮校舎賃貸借 自動火災報知設備 2階平面図	縮尺 A1 1:75 A3 1:150 設計年月日	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課 1級建築士登録 第 号	E 19
	1回 年 月 日				
	2回 年 月 日				

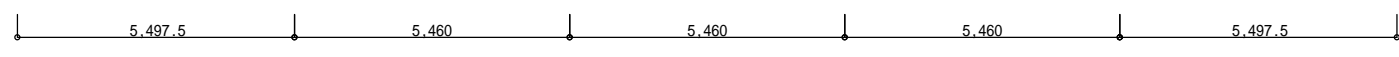
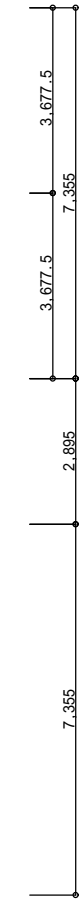
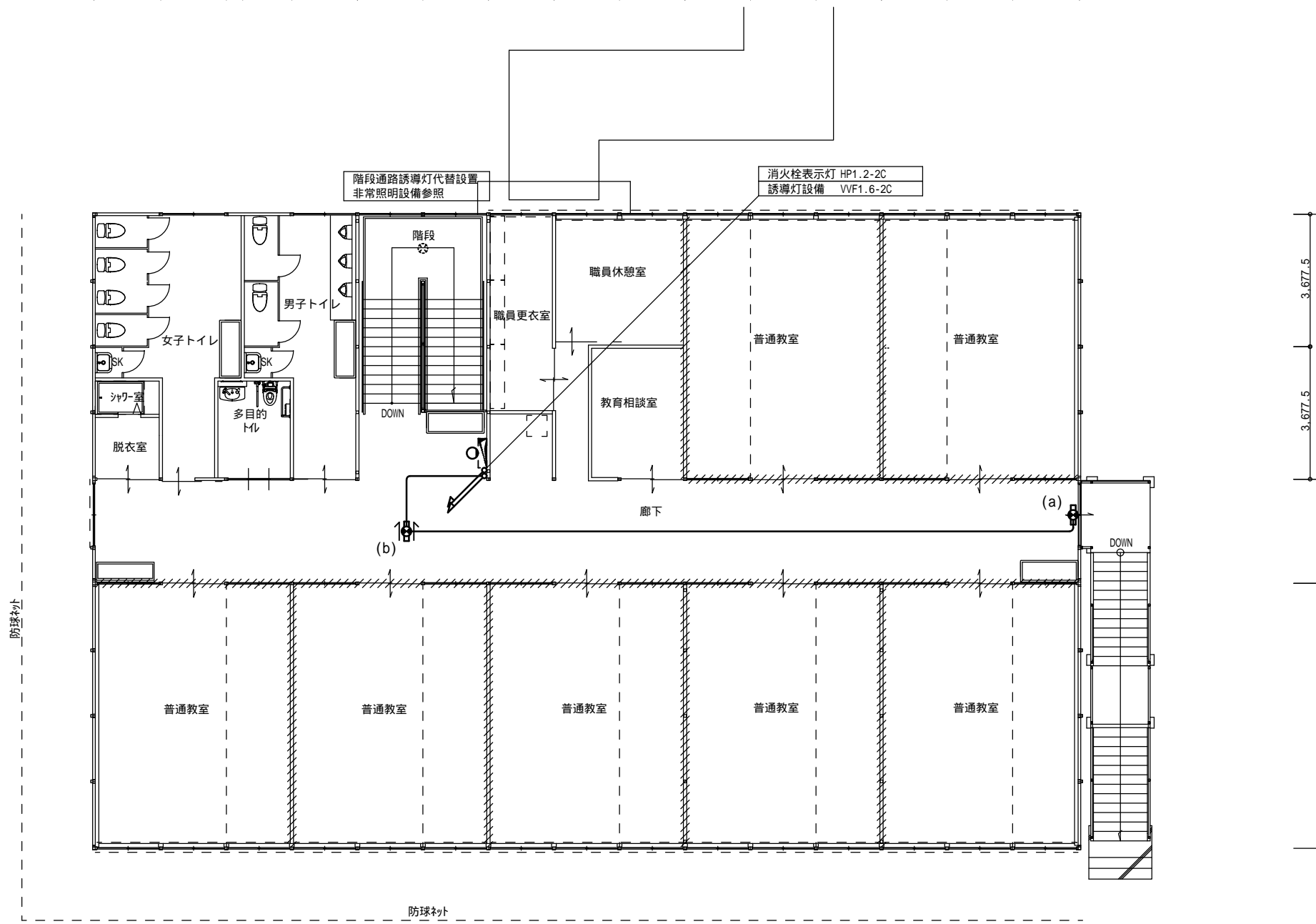
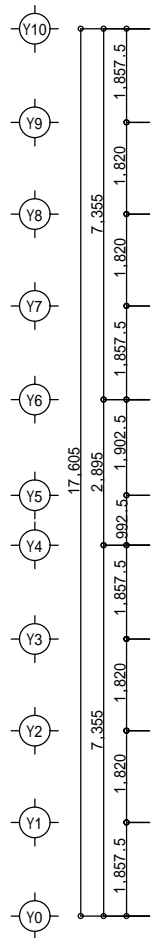
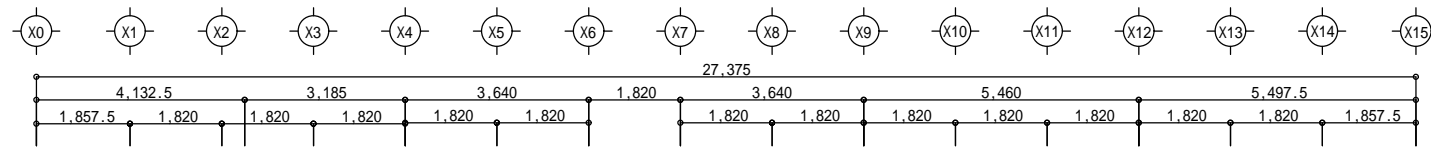


1階平面図 S=1/150

図内設備の配線・配管による防火区画の貫通は無し

//// 令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
告示1358号第1項1号八(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

凡例	設計変更年月日	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺 A1 1:75 A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課		
	1回 年 月 日				防災設備 1階平面図	設計 年 月 日
	2回 年 月 日					
	3回 年 月 日			E		

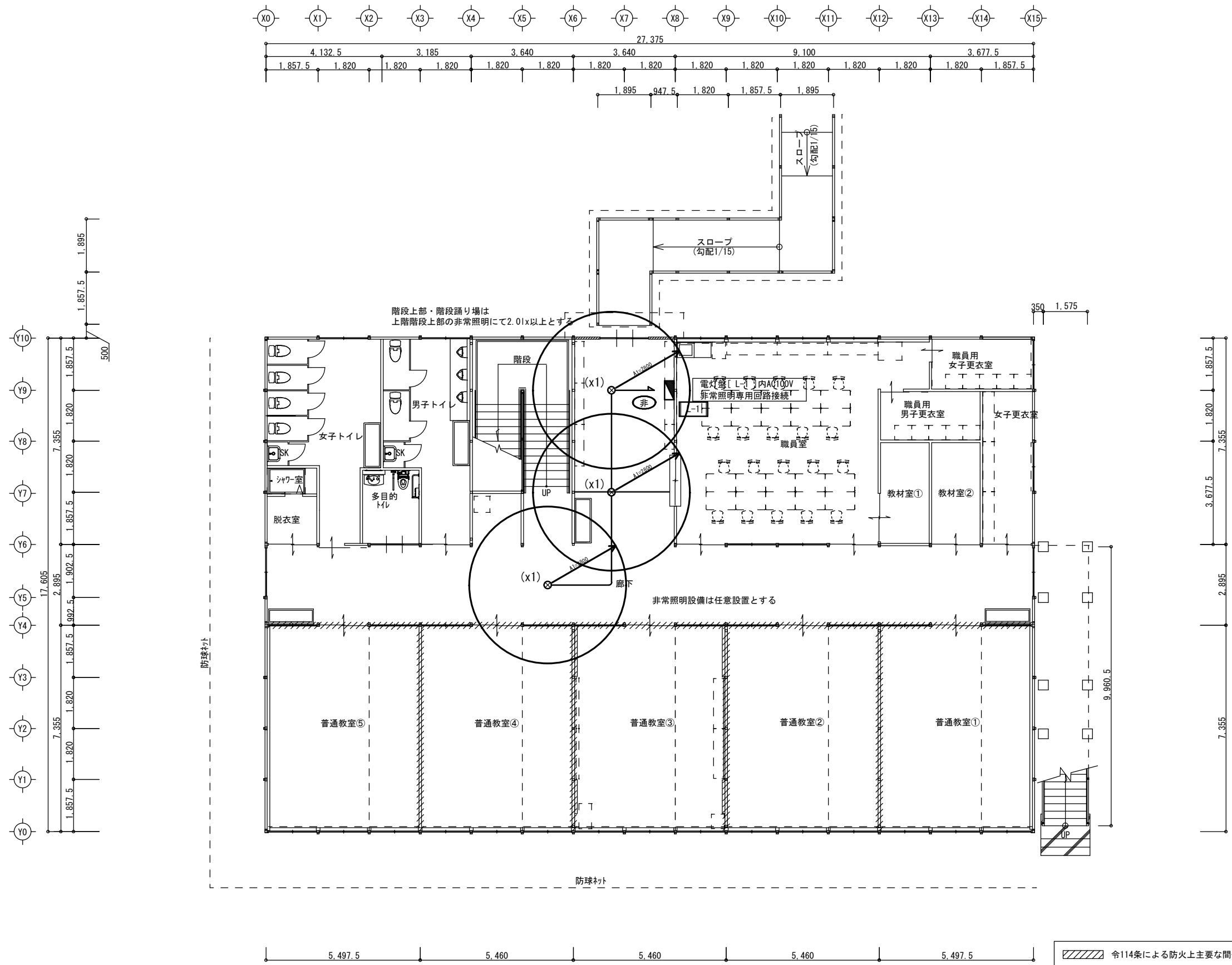


2階平面図 S=1/150

図内設備の配線・配管による防火区画の貫通は無し

令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
 告示1358号第1項1号ハ(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
 防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
 隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

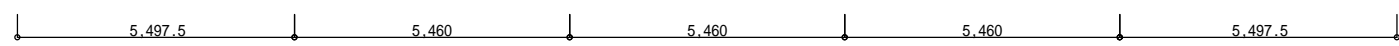
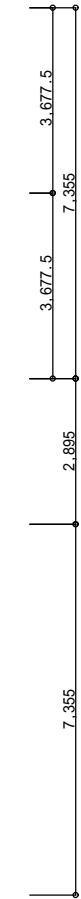
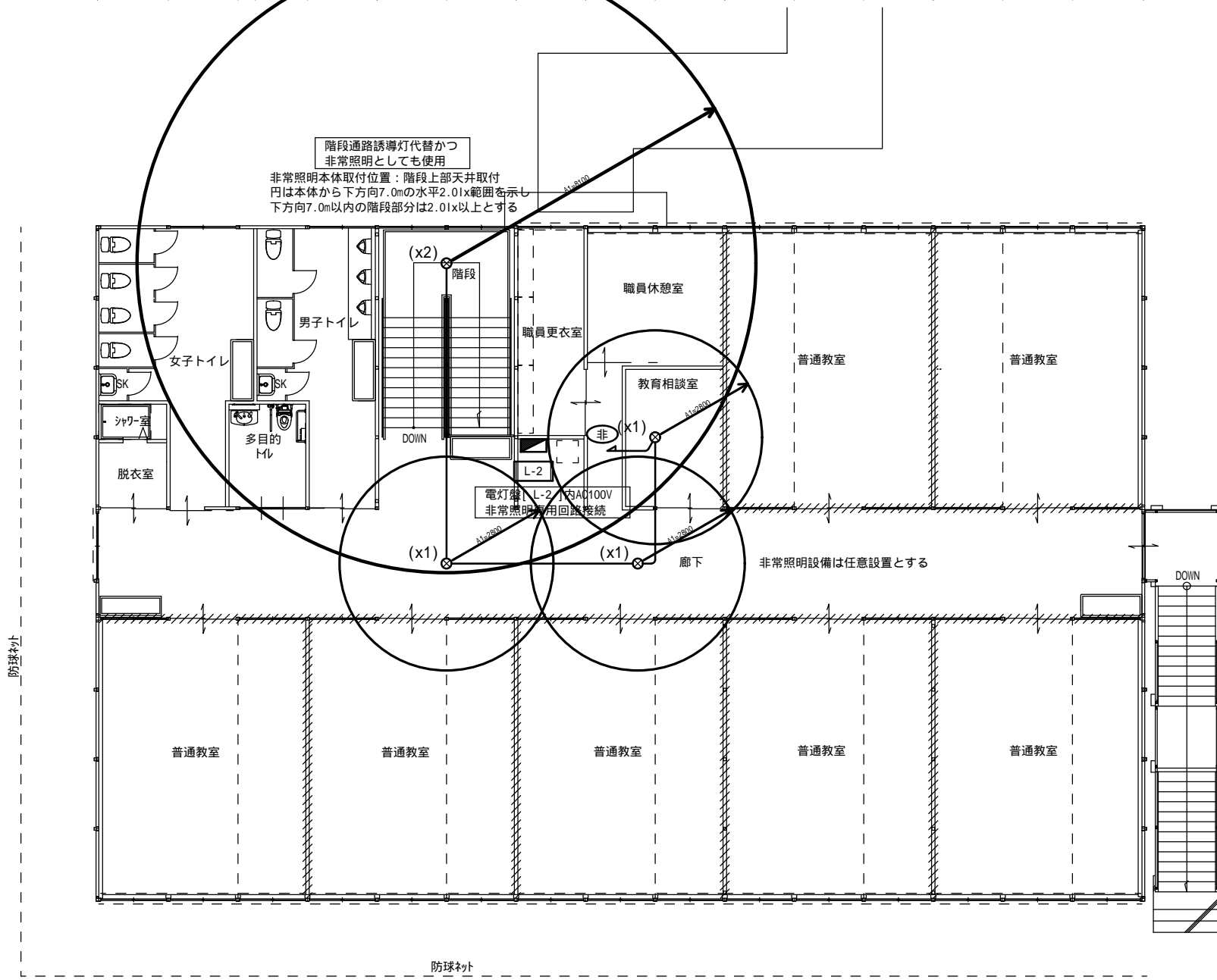
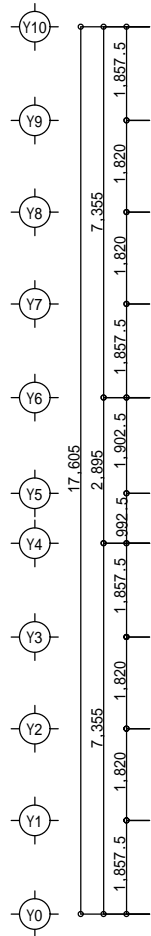
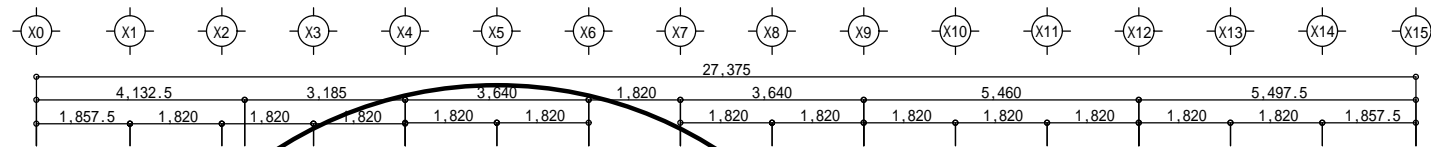
凡例	設計変更年月日	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺 A1 1:75 A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図面 E			
	1回 年 月 日					防災設備 2階平面図	設計 年 月 日	1級建築士登録 第 号
	2回 年 月 日							
	3回 年 月 日							



1階平面図 S=1/150

〰〰〰 令114条による防火上主要な間仕切壁(準耐火構造)床または小屋裏まで立上げる
 告示1358号第1項1号ハ(2)(ii)(下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
 ※防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
 隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

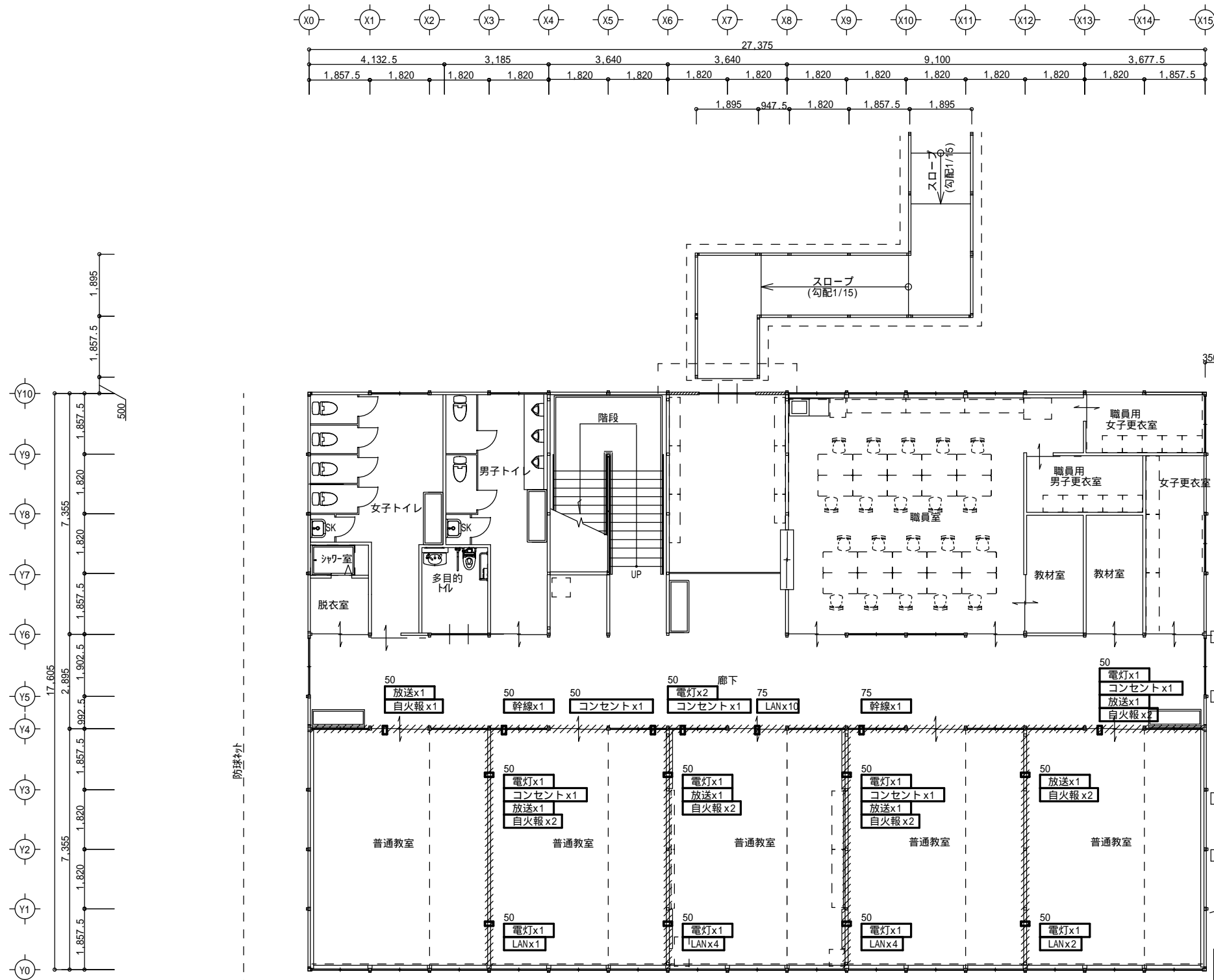
凡例	設計変更年月日	1 2 3	年月日	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺 A1 1:75 A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課
	年月日		設計年月日			
	年月日		設計年月日			
	非常照明設備 1階平面図					1級建築士登録 第 号



2階平面図 S=1/150

令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
 告示1358号第1項1号ハ(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
 防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
 隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

凡例	設計変更年月日	設計者 大和特別支援学校仮校舎賃貸借 1階 非常照明設備 2階平面図	縮尺 A1 1:75 A3 1:150 設計年月日	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課 1級建築士登録 第 号	図面 E 23
	1回 年 月 日				
	2回 年 月 日				
	3回 年 月 日				



施工要項

防火区画貫通要領 施工方法参考
(ケーブル、配電管その他の管 壁部分)

断面図

正面図

- ケーブル、配電管、その他の管が建築基準法第二条七の二に基づく準耐火構造(建設省告示第1358号)の防火区画を貫通する場合に適用とし、建築基準法施行令第112条第20項、同令第129条の2の4 第1項 第7八に適合する工法とする
- 貫通部は耐火充填材処置とし、開口径は貫通する配線本数・配管径により調整とする
- 貫通を行うケーブル、配電管、その他の管の適応種類ならび貫通可能な配管配線サイズの上限、配線配管仕様は製品仕様書参照とする
- は対象の防火区画等を示し、構造詳細は製品仕様書参照とする
- は対象の防火区画の配線配管貫通数、は対象の防火区画の貫通処置部を示す
- 2階以上の階の床下配線が下階の区画を貫通する場合、貫通処置は下階に表記とする
- 貫通処理は有効な限り各設備で共通利用とし、処理位置・必要数量は総合的に調整を行う
- 強電・弱電ケーブルなどの配線図で、配線が引込方向シンボルで表示され貫通部分が図示されていない場合、最寄貫通処理位置を利用するものとする

製品情報(参考: 未来工業 タイカブラック クイック)

国土交通大臣認定	貫通する壁・床の構造		
PS060WL-0917	壁	60mm厚以上	中空壁 60mm厚以上
PS045HL-0918	壁	45	60mm厚以上
PS060FL-0913	床	75mm厚以上	

令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
 告示1358号第1項1号ハ(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
 防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
 隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

1階平面図 S=1/150

換気設備 機器表

記号	名称	機器仕様	数量
① F	壁用換気扇 EX-20SH9 (MITSUBISHI)	形式・型名	スタンダードタイプ
			風圧式シャッター 羽根径20cm
		有効換気量	435m ³ /h x5.4Pa
		開放風量	588m ³ /h (本体能力)
		電気特性	単相100V 0.0165kW (60Hz)
	付属品	プラスチック製ウエザーカバー	
② F	壁用換気扇 EX-25SH9 (MITSUBISHI)	形式・型名	スタンダードタイプ
			風圧式シャッター 羽根径25cm
		有効換気量	715m ³ /h x6.9Pa
		開放風量	888m ³ /h (本体能力)
		電気特性	単相100V 0.0245kW (60Hz)
	付属品	プラスチック製ウエザーカバー	
③ F	パイプ用ファン V-08PPD8 (MITSUBISHI)	形式・型名	角型格子グリルタイプ
			羽根径8.5cm
		有効換気量	102m ³ /h x13.7Pa
		開放風量	120m ³ /h (本体能力)
		電気特性	単相100V 0.0047kW (60Hz)
	付属品	プラスチック製ウエザーカバー	
④ F	ダクト用換気扇 VD-13ZC13 (MITSUBISHI)	形式・型名	天井埋込型 低騒音形
			風圧式シャッター 羽根径13cm
		有効換気量	106m ³ /h x31Pa
		開放風量	130m ³ /h
		電気特性	単相100V 0.0155kW (60Hz)
	付属品	SUS製丸型フード、ダクト100φ	
⑤ F	ダクト用換気扇 VD-18ZC13 (MITSUBISHI)	形式・型名	天井埋込型 低騒音形
			風圧式シャッター 羽根径18cm
		有効換気量	264m ³ /h x26Pa
		開放風量	310m ³ /h
		電気特性	単相100V 0.0295kW (60Hz)
	付属品	SUS製丸型フード、ダクト150φ	
① OG	給排気グリル	形式・型名	薄型デザイングリル
			風量調節形
			フィルター付
		ダクト径	100φ
		開口面積	94cm ²
	付属品	SUS製丸型フード	
② OG	給排気グリル	形式・型名	薄型デザイングリル
			風量調節形
			フィルター付
		ダクト径	200φ
		開口面積	269cm ²
	付属品	SUS製丸型フード	

シンボル凡例

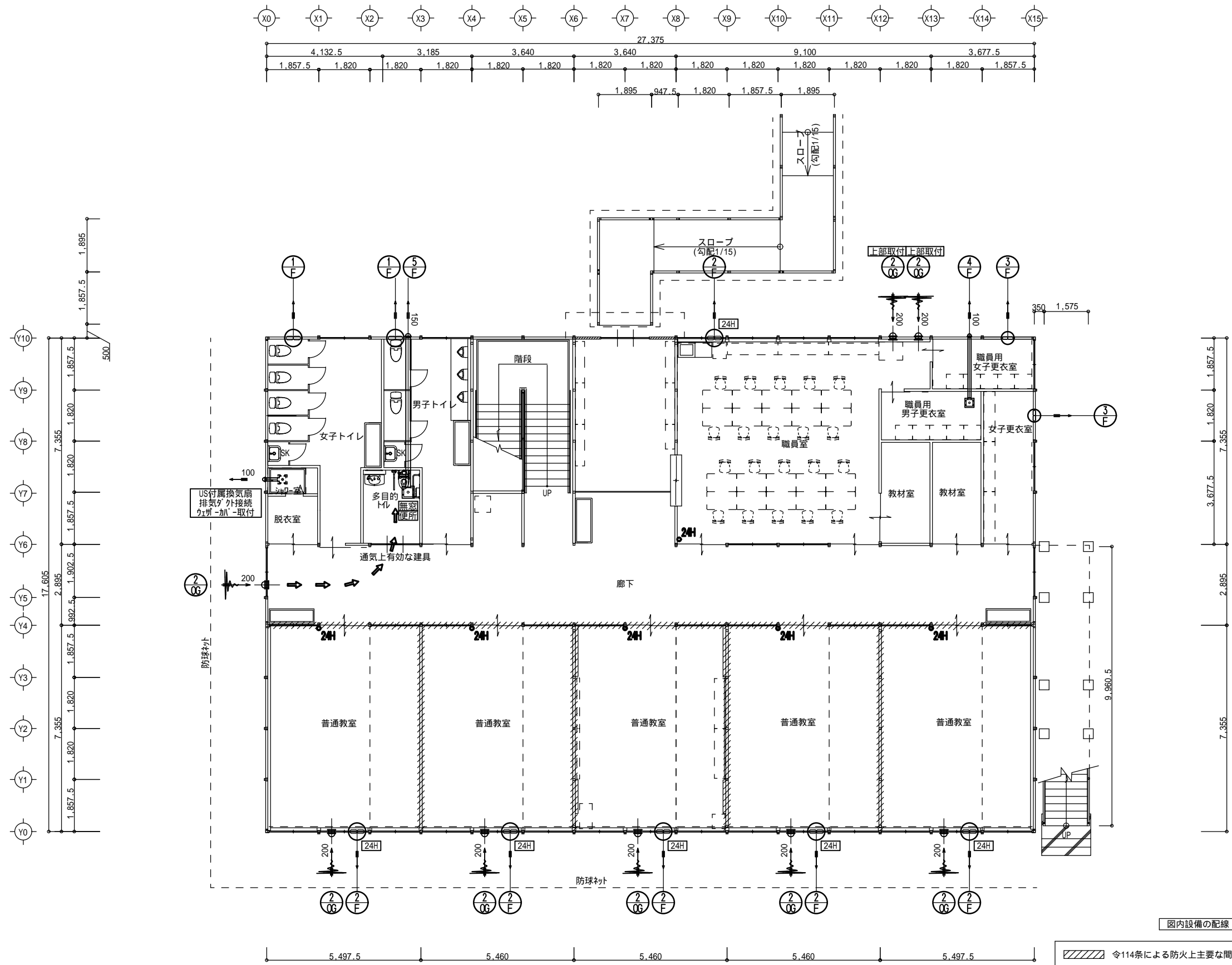
記号	名称 / 仕様
⊕	換気扇 壁用
⊕	換気扇 天井埋込型
24H	24時間換気用スイッチ ※電気工事
↔	給気グリル/給気ガラリ/給気口/外気取入口
➡	空気の流れ方向を示す
換気種別	24H…24時間換気 無窓…無窓居室機械換気 無窓便所…無窓便所機械換気
⊖ 機種	各種機器表示番号

換気ダクト凡例

特記なき換気ダクトは下記による		
一般換気 : フレキシブルダクト	材質 : アルミニウム0.15t	≡≡≡≡≡ フレキシブル
24H換気 : フレキシブルダクト	材質 : アルミニウム0.15t	≡≡≡≡≡ SD スパイラル
天井給気 : フレキシブルダクト	材質 : アルミニウム0.15t	≡≡≡≡≡ RW ロックール
		≡≡≡≡≡ 簡易保温

施工要項

換気設備要項
1) 設備概要 ●24H(シックハウス対策) 火気換気(廃ガス) 油煙排気(調理) FD(ファイアダンパー) ●機械換気(無窓居室) ●機械換気(無窓便所)
2) [24H]はシックハウス対策(24時間運転)を示し、スイッチにその旨を明示する
3) 延焼のおそれのある部分で開口部ダクト径125φ以上は防火ダンパー、100φ以下は防火ダンパーまたは防火覆い、防火区画貫通ダクトは最寄へ防火ダンパーを設置する
4) 高温になる給排気ダクトは、結露対策として必要に応じ保温工事を行う
5) 調理により油煙の発生する排気ダクト(厨房・レンジフード対象)は、遮熱工事を行う
6) 換気扇・給気口は、ショートサーキット対策として1.5m以上離隔をとる
換気扇取付要項
1) 換気扇はシャッター付とし、防雨対策として外部フードを取り付け雨水又はねずみ、虫、ほこりその他衛生上有害なものを防ぐ為の設備を設置する
2) 換気扇のスイッチ取付・電源接続は本工事電気設備としスイッチ取付位置は換気扇付近または部屋の照明器具スイッチと同じ場所に設置とする
3) 給気口の施工位置は建築と協議の上取付位置を決定するものとする
4) ドアアンダーカット、ドアガラリ、給気框は建築工事とする



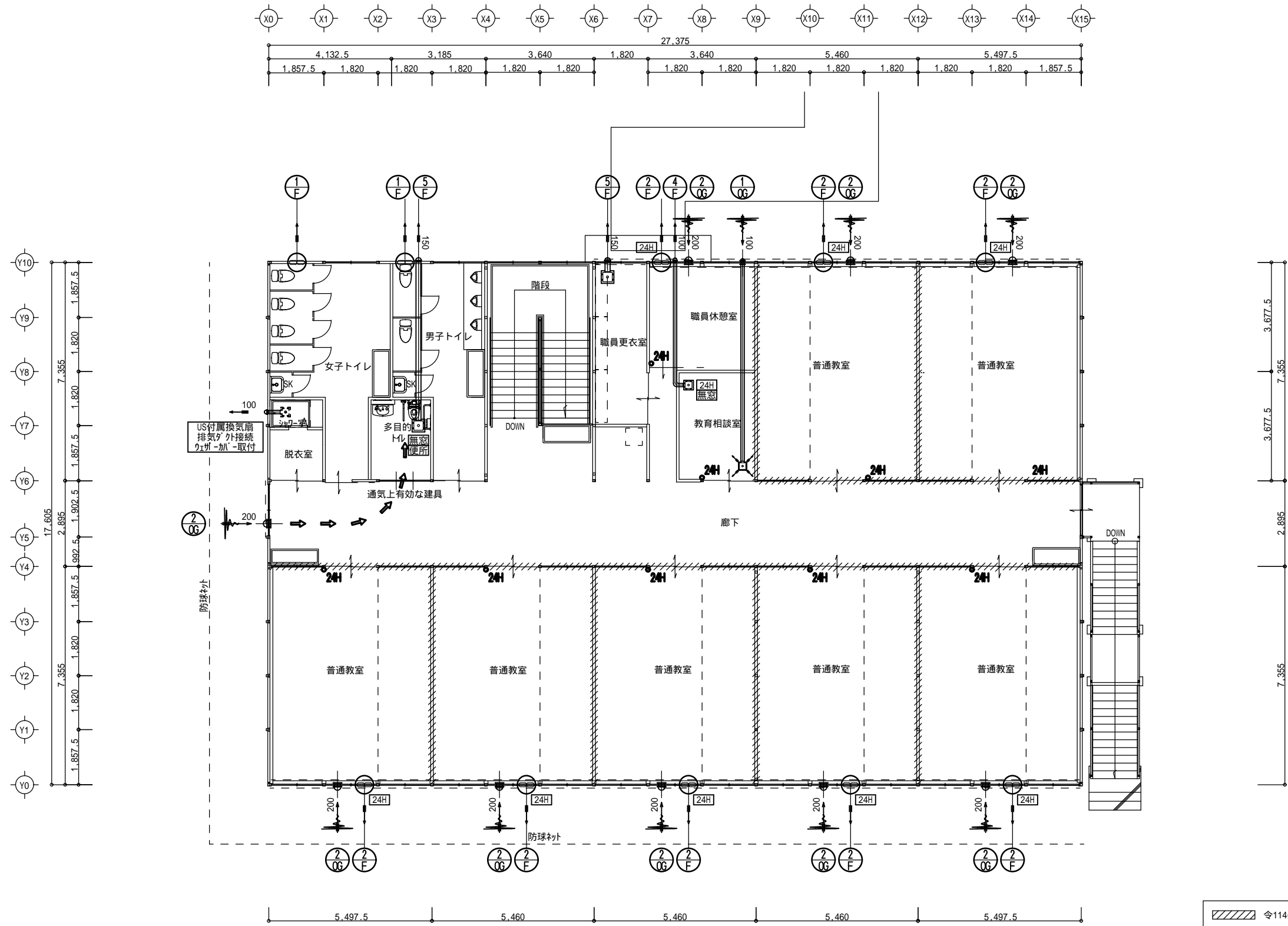
1階平面図 S=1/150

特記無き壁面取付けの給気ガラリは、腰壁取付けとする

図内設備の配線・配管による防火区画の貫通は無し

//// 令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
告示1358号第1項1号ハ(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

凡例	設計変更年月日	設計者 大和特別支援学校仮校舎賃借	縮尺 A1 1:75 A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図面番号 M		
	1 年 月 日					換気設備 1階平面図	設計年月日
	2 年 月 日						
	3 年 月 日				02		



2階平面図 S=1/150 特記無き壁面取付けの給気ガラリは、腰壁取付けとする

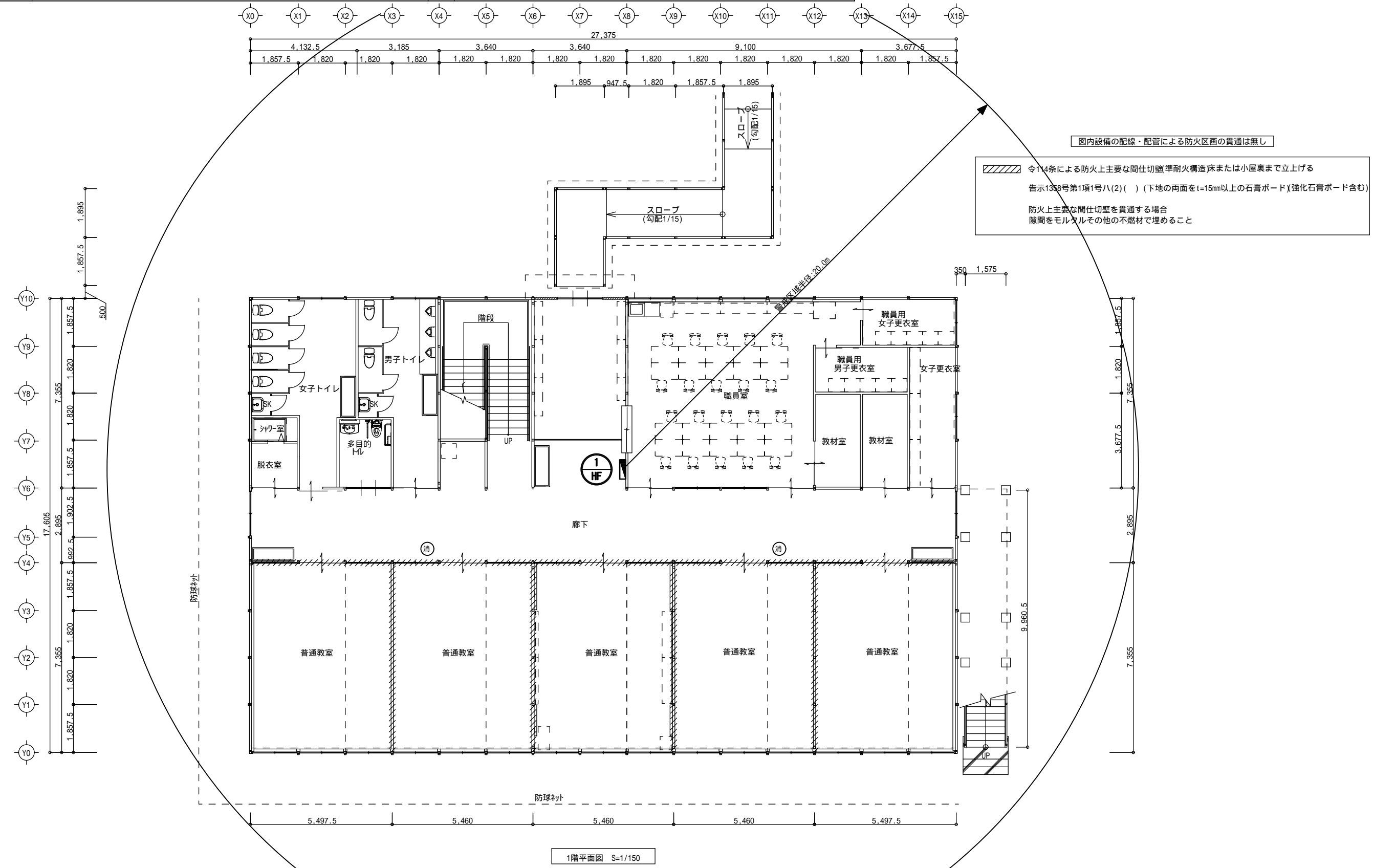
図内設備の配線・配管による防火区画の貫通は無し

令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
 告示1358号第1項1号ハ(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
 防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
 隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

凡例	設計変更年月日	1階 大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺 A1 1:75 A3 1:150	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図面番号 M			
	1回 年 月 日					換気設備 2階平面図	設計 年 月 日	1級建築士登録 第 号
	2回 年 月 日							
3回 年 月 日								

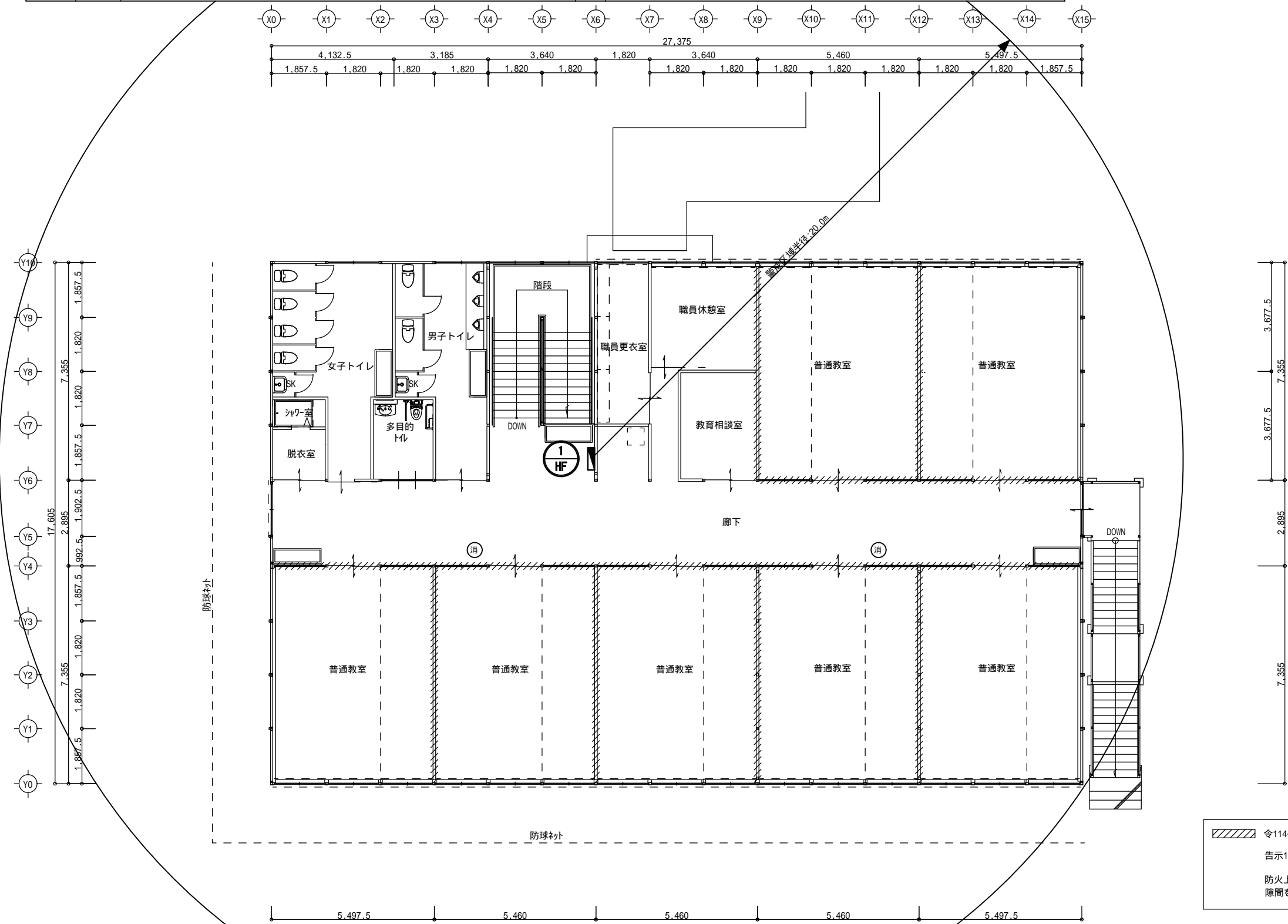
消火設備機器表						
記号	機器名称	仕様 / 附属品		消費電力 (kW)	数量	備考 (施工要項等)
① HF	パッケージ型消火設備	形式	パッケージ型消火設備 型	設置方法	露出据置	施工要項 [パッケージ型消火設備] 1) 計画建物解体までの有効期限を有するものとする。 2) 電気配線・電源工事は、プレハブ電気設備工事とする。(消費電力は設計値とする)
		格納箱	W:700mm×D:250mm×H:1400mm	総質量	約 175 kg	
		放射能力	放射量:20.8 L/min 放射時間:約220秒 放射距離:13~15 m	消火薬剤	第三種浸潤剤等入水 充填量:80.0 L [40.0 L×2 本]	
附属品	棒状放射ノズル, ホース(25.5m), 圧力調整器, 加圧用ガス容器, 安全弁 薬剤タンク, 表示灯, 他標準附属品					

消火設備図記号		
記号	名称	仕様 / 附属品
	パッケージ型消火設備	型(露出)
	各種機器 表示番号	
	粉末式消火器	ABC10型



消火設備機器表						
記号	機器名称	仕様 / 附属品		消費電力 (kW)	数量	備考 (施工要項等)
① HF	パッケージ型消火設備	形式	パッケージ型消火設備 型	設置方法	露出据置	施工要項 [パッケージ型消火設備] 1) 計画建物解体までの有効期限を有するものとする。 2) 電気配線・電源工事は、プレハブ電気設備工事とする。(消費電力は設計値とする)
		格納箱	W:700mm×D:250mm×H:1400mm	総質量	約 175 kg	
		放射能力	放射量:20.8 L/min 放射時間:約220秒 放射距離:13~15 m	消火薬剤	第三種浸潤剤等入水 充填量:80.0 L [40.0 L×2 本]	
附属品	棒状放射ノズル, ホース(25.5m), 圧力調整器, 加圧用ガス容器, 安全弁薬剤タンク, 表示灯, 他標準附属品					

消火設備図示記号		
記号	名称	仕様 / 附属品
	パッケージ型消火設備	型(露出)
	各種機器 表示番号	
	粉末式消火器	ABC10型



図内設備の配線・配管による防火区画の貫通は無し

令114条による防火上主要な間仕切壁準耐火構造床または小屋裏まで立上げる
告示1358号第1項1号ハ(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード(強化石膏ボード含む))
防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

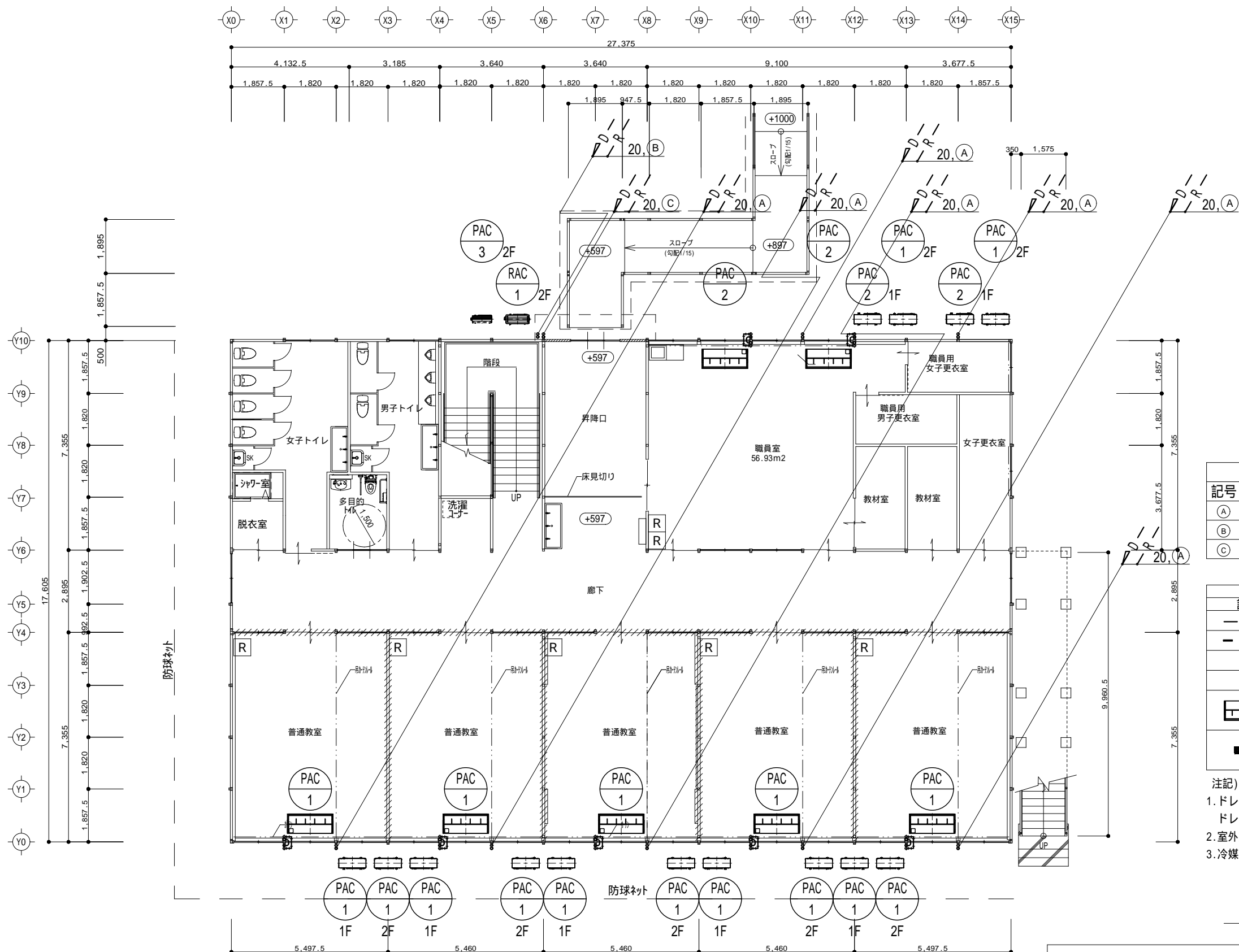
2階平面図 S=1/150

機器表

記号	機器名称	機器仕様	電気容量				台数	設置場所	備考
			V	冷房消費電力(KW)	暖房消費電力(KW)				
PAC-1	パッケージエアコン	天井吊形 4.0HP シングル	3	200	2.72	2.85	(12) 5	1階 普通教室	参考品番:PCZ-ERMP112K4 (レンタル機器)
		冷房能力:10.0kW					7	2階 普通教室	
		防振吊金具、ワイヤードリモコン、他標準付属品一式							
PAC-2	パッケージエアコン	天井吊形 3.0HP シングル	3	200	2.28	2.41	(2) 2	1階 職員室	参考品番:PCZ-ERMP80K4 (レンタル機器)
		冷房能力:7.1kW							
		防振吊金具、ワイヤードリモコン、他標準付属品一式							
PAC-3	パッケージエアコン	壁掛形 2.0HP シングル	1	200	1.33	1.46	(1) 1	2階 職員休憩室	参考品番:PKZ-ERMP50SL4 (レンタル機器)
		冷房能力:4.5kW							
		ワイヤードリモコン、他標準付属品一式							
RAC-1	ルームエアコン	壁掛形 2.8kw	1	100	0.800	0.910	(1) 1	2階 教育相談室	参考品番:MSZ-GV2824-W (レンタル機器)
		冷房能力:2.8kw							
		ワイヤレスリモコン、他標準付属品一式							

注記)
 1. 屋外機には転倒防止措置を施す。
 2. ビル用マルチ・パッケージエアコンの定格冷暖房能力・定格冷暖房消費電力はJIS B 8616で規定された値を示す。
 3. ルームエアコンの定格冷暖房能力・定格冷暖房消費電力はJIS C 9612で規定された値を示す。

凡例		設計変更年月日		工事名	大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺	A1 N.S A3 N.S	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図書号	M
		1回	年 月 日					1級建築士登録 第 号		
		2回	年 月 日	図面名	空調設備 機器表	設計	年月日			06
		3回	年 月 日							



記号	ガス管 ()	液管 ()
(A)	15.9	9.5
(B)	12.7	6.4
(C)	9.5	6.4

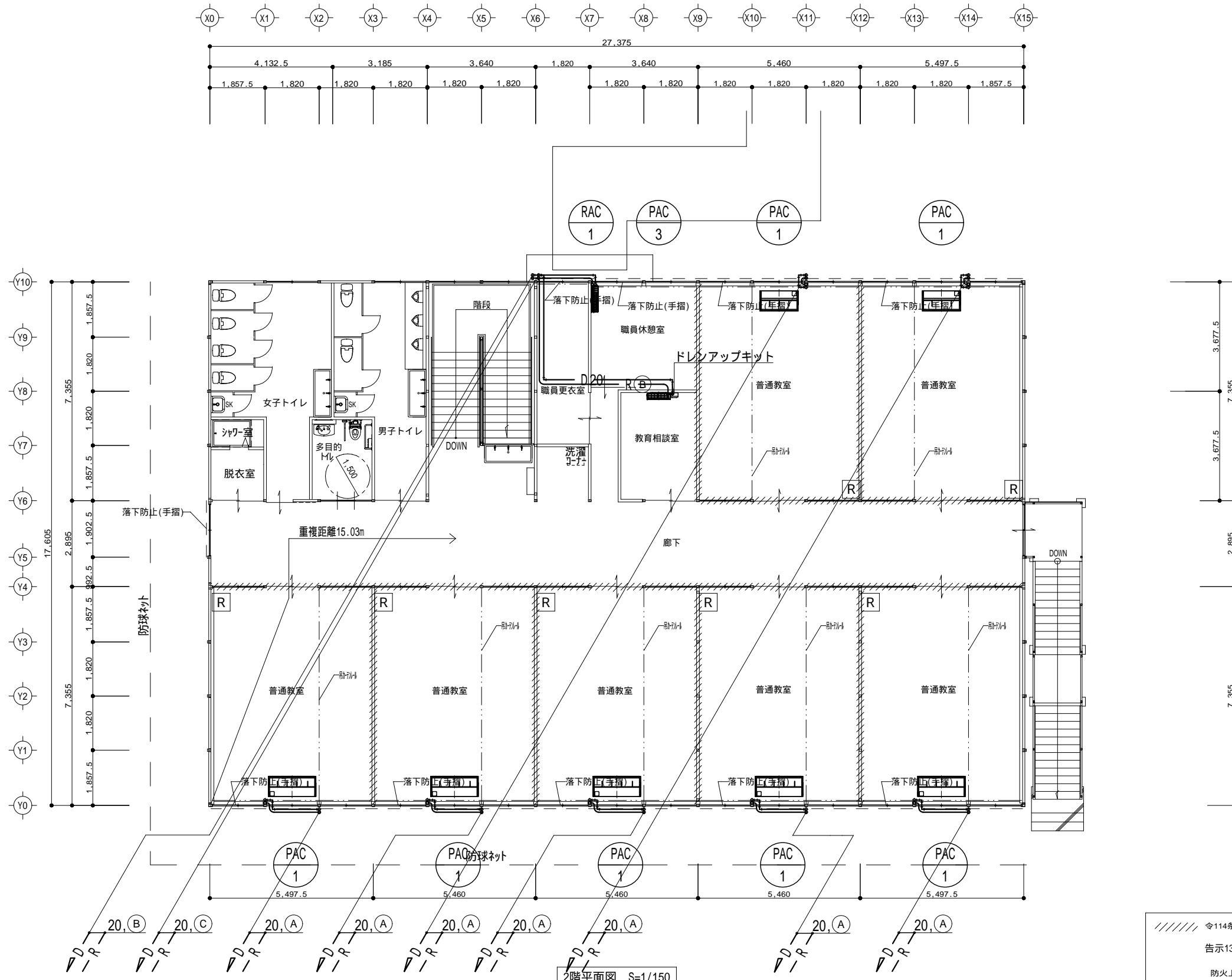
記号	内容
— R —	冷媒用被覆銅管
— D20 —	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
□	空調機用リモコン
□	ドレンアップキット
□	室内機 天井吊形
□	室内機 壁掛型

- 注記)
- ドレン管の勾配は 1/100とする。
ドレン管は自然放流とする。
 - 室外露出配管はテープ巻き仕上げとする。
 - 冷媒管は液管10mm/ガス管10mm保温とする。

////// 令114条による防火上主要な間仕切壁 (準耐火構造) 床または小屋裏まで立上げる
告示1358号第1項1号ハ(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード) (強化石膏ボード含む)
防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること

1階平面図 S=1/150

1階床面積: 17.605 × 27.375 = 481.936875 (481.93m²)



2階床面積: 17.605 × 27.375 = 481.936875 (481.93m²)

記号	ガス管 ()	液管 ()
Ⓐ	15.9	9.5
Ⓑ	12.7	6.4
Ⓒ	9.5	6.4

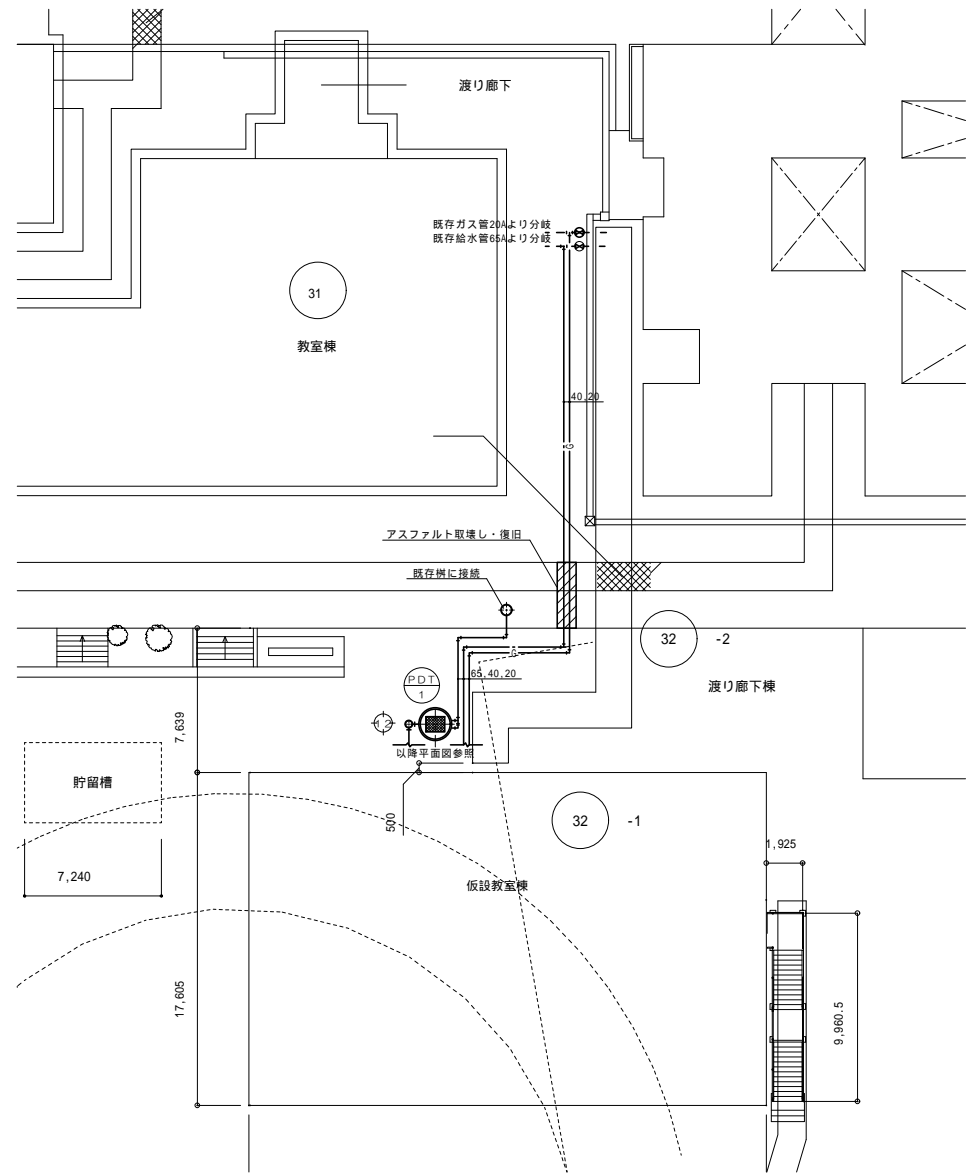
記号	内容
— R —	冷媒用被覆銅管
— D20 —	硬質ポリ塩化ビニル管 (VP)
Ⓜ	空調機用リモコン
Ⓚ	ドレンアップキット
	室内機 天井吊形
	室内機 壁掛型

- 注記)
- ドレン管の勾配は 1/100とする。
ドレン管は自然放流とする。
 - 室外露出配管はテープ巻き仕上げとする。
 - 冷媒管は液管10mm/ガス管10mm保温とする。

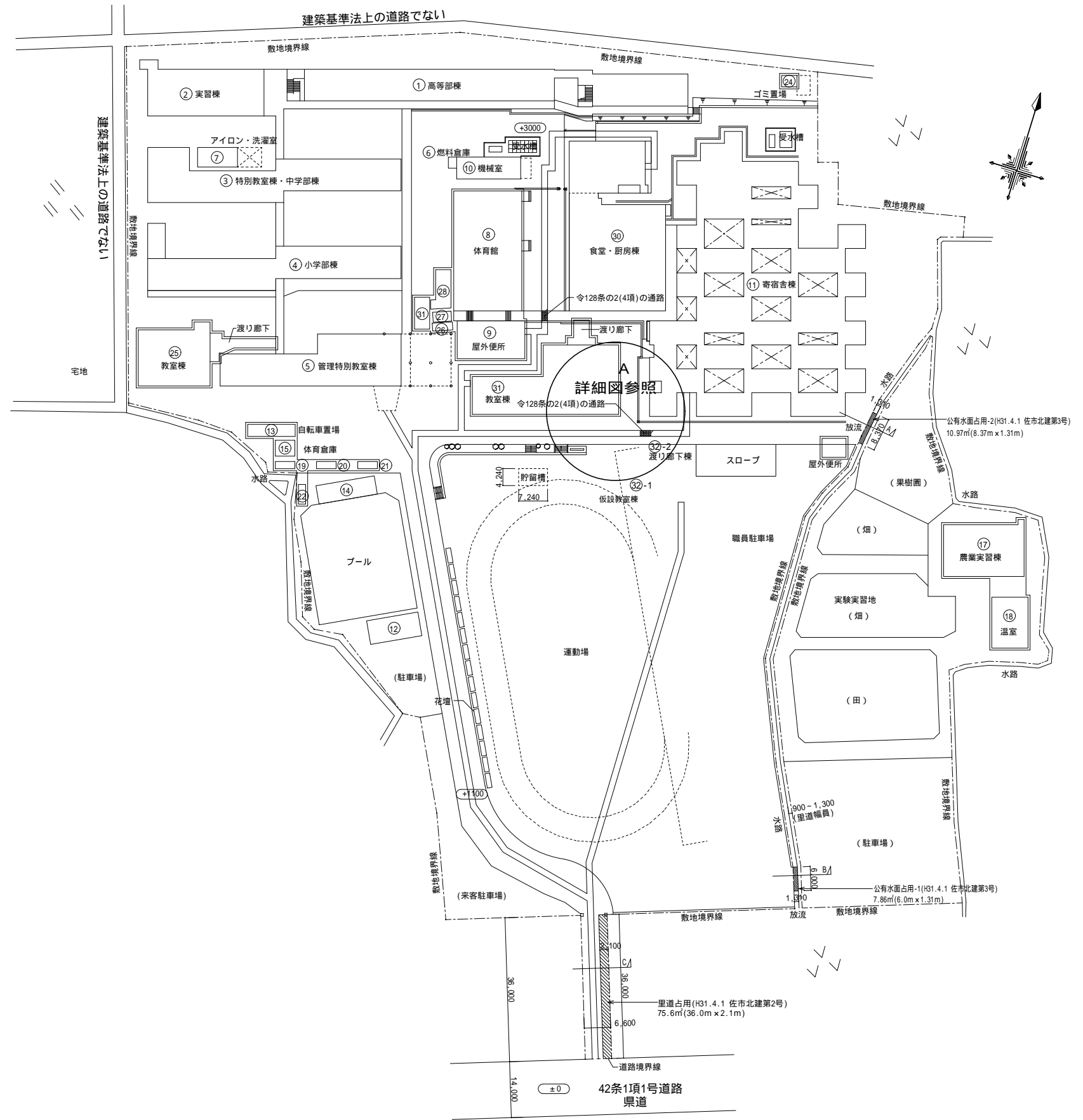
----- :カーテンを示す

////// 令114条による防火上主要な間仕切壁 (準耐火構造) 床または小屋裏まで立上げる
告示1358号第1項1号ハ(2)() (下地の両面をt=15mm以上の石膏ボード) (強化石膏ボード含む)

防火上主要な間仕切壁を貫通する場合
隙間をモルタルその他の不燃材で埋めること



A部詳細図 S=1:200



配置図 S=1:600

凡例	設計変更年月日	工事内容 大和特別支援学校仮校舎貸借	縮尺 A1 1:50 A3 1:200	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図号 M			
	1回 年 月 日					配置図	設計 年 月 日	1級建築士登録 第 号
	2回 年 月 日							
	3回 年 月 日							

凡例

記号	名称	施行区分	仕様	備考
———	給水管	屋内一般	被覆ポリブテン管（PB）	
	//	屋外露出	硬質塩ビライニング鋼管（VB-K）	
	//	屋外埋設	耐衝撃性硬質塩化ビニル管（HI）	
——→	汚水管	屋内一般	硬質塩化ビニル管（VP）	
———	雑排水管	屋内一般	硬質塩化ビニル管（VP）	
———	排水管	屋外埋設	硬質塩化ビニル管（VU）	
-----	通気管	屋内一般	硬質塩化ビニル管（VP）	
——G——	ガス管	屋内一般	外面被覆鋼管（VI）	
	//	屋外埋設	配管用炭素鋼鋼管（白）	

機器表

記号	名称	仕様	電気	台数	備考
WHE-12	電気温水器	先止め式 据置きタイプ 12L 排水ホッパー 耐震用脚 ストレート形止水栓	1Φ-200V-1.5KW	1	
WHG-16	ガス給湯器	屋外壁掛形 給湯専用 16号（31.0KW） 配管カバー 台所リモコン ケーブル10m共	1Φ-100V-37W	2	
PDT-1	中継ポンプ槽	FRP製 2000L マンホール 制御盤 汚水ポンプ 交互並列運転 チャッキ弁 着脱装置 他附属共	3Φ-200V-0.75KW ×2	1	

柵リスト

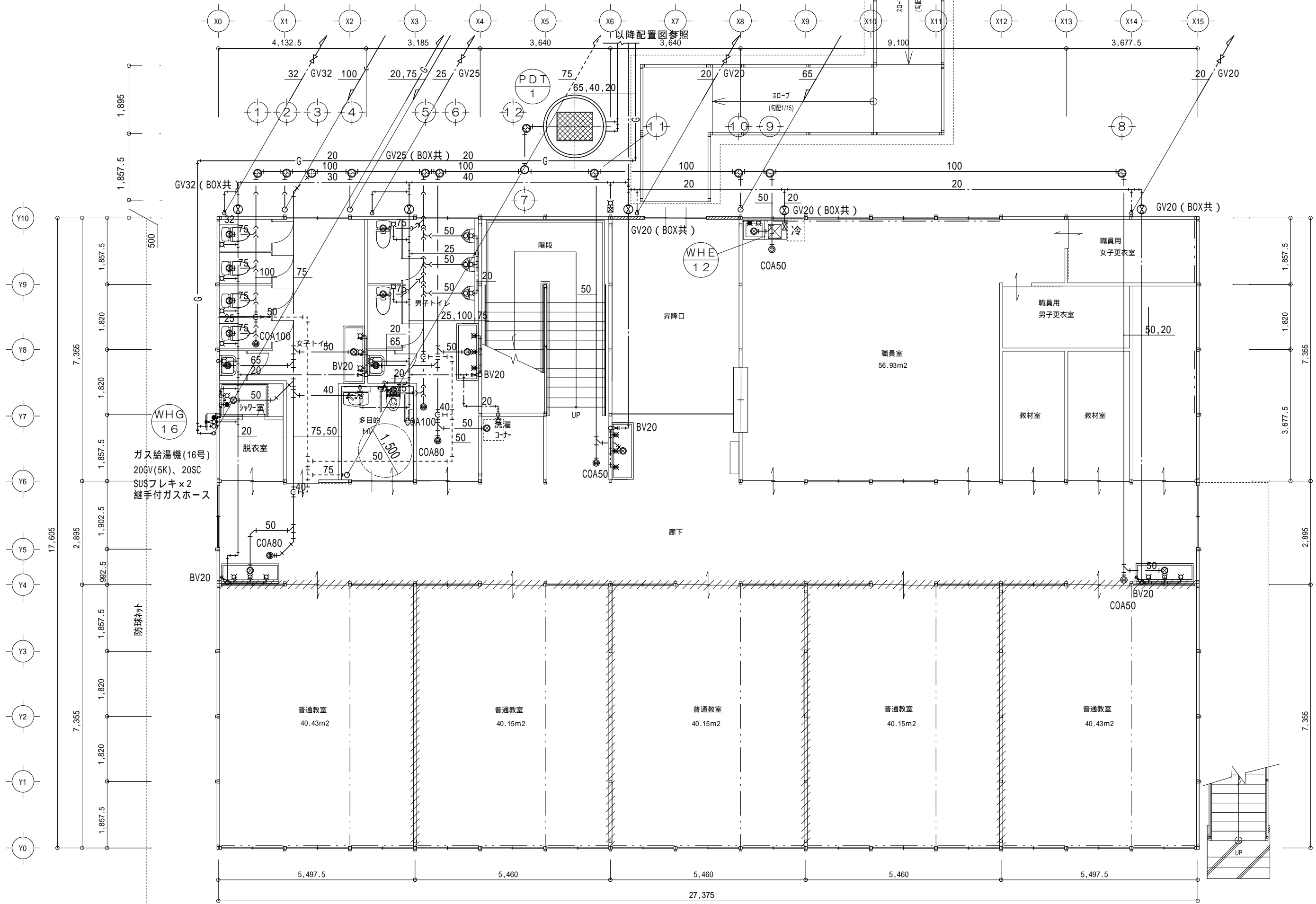
番号	名称	規格	寸法	深さ（H）	蓋	備考
1	90° 曲り柵	90° Lインパート	100-200	-400	化成蓋Φ200	【T-2】
2	90° 合流柵	90° Yインパート	100-200	-420	化成蓋Φ200	【T-2】
3	45° 合流柵	45° Yインパート	100-200	-430	化成蓋Φ200	【T-2】
4	90° 合流柵	90° Yインパート	100-200	-450	化成蓋Φ200	【T-2】
5	90° 合流柵	90° Yインパート	100-200	-470	化成蓋Φ200	【T-2】
6	90° 合流柵	90° Yインパート	100-200	-480	化成蓋Φ200	【T-2】
7	段差付左右合流柵	WLSインパート	100-200	-510	化成蓋Φ200	【T-2】
8	90° 曲り柵	90° Lインパート	100-200	-340	化成蓋Φ200	【T-2】
9	90° 合流柵	90° Yインパート	100-200	-440	化成蓋Φ200	【T-2】
10	90° 合流柵	90° Yインパート	100-200	-450	化成蓋Φ200	【T-2】
11	90° 合流柵	90° Yインパート	100-200	-490	化成蓋Φ200	【T-2】
12	90° 曲り柵	90° Lインパート	100-200	-550	化成蓋Φ200	【T-2】

※深さ（H）は設計GLからとし参考とする。

衛生器具表

名 称	規 格 ・ 仕 様 品	参 考 品 番	1 階							2 階							合 計
			男子 トイレ	女子 トイレ	多 目 的 ト イ レ	職 員 室	廊 下	昇 降 口	洗 濯 コ ー ナ ー	シ ャ ワ ー 室	男子 トイレ	女子 トイレ	多 目 的 ト イ レ	廊 下	洗 濯 コ ー ナ ー	シ ャ ワ ー 室	
腰掛大便器	床排水 防露式タンク【手洗なし】 棚付二連紙巻器 普通便座 他付属品共	CS232B SH232BA YH600FMR	2	4							2	4					12
車いす対応便器	床排水 防露式タンク【手洗なし】 棚付二連紙巻器 他付属品共	CS20AB SH30BA YH600FM			1							1					2
温水洗浄便座	オート洗浄 ウォシュレットF2A 便蓋なし 金属ベースプレート 他附属共	TCF4723AMPR			1							1					2
小便器	壁掛形 FV 他付属品共	UFH500 TG600PN	3								3						6
カウンター 一体型洗面器	台付自動水栓 壁給水 床排水 水石入れ 他附属品共	L270CM TEN87G1 TS126AR			1							1					2
掃除流し	S210 Sトラップ 給水栓 給水ホース 他付属品共	SK22A T37SEP T23AE20 TN114X	1	1							1	1					4
シャワーユニット	800×1200 収納棚2段 バリアフリー折戸 換気扇 サーモスタットシャワー 鏡 タオル掛け 手すり 他附属品共	JSV0812ULW3CK								1					1		2
パブリック用手摺	樹脂被覆 L型 700×700 固定金具共	T112CL9			1							1					2
可動式手摺	樹脂被覆 はね上げタイプ 700L 固定金具共	T112H7			1							1					2
洗濯機パン	640×640 縦引トラップ(樹脂製)共	PWP640N2W							1				1				2
電気温水器	据置型 先止め式12L 耐震用脚 排水ホッパー 他附属共	RES12				1											1
化粧鏡	耐食鏡 450×600 取付金具共	YM4560F			1							1					2
化粧鏡	耐食鏡 350×450 取付金具共	YM3545F	3	3			6	3			3	3		6			27
混合水栓	シングルレバー 壁付	TKS05311J				1											1
洗濯機用横水栓	緊急止水付	TW11R							1				1				2
横水栓	キー式 樹脂製水栓柱共	T200CSNR13													1		1

※TOTO品番を参考とする。



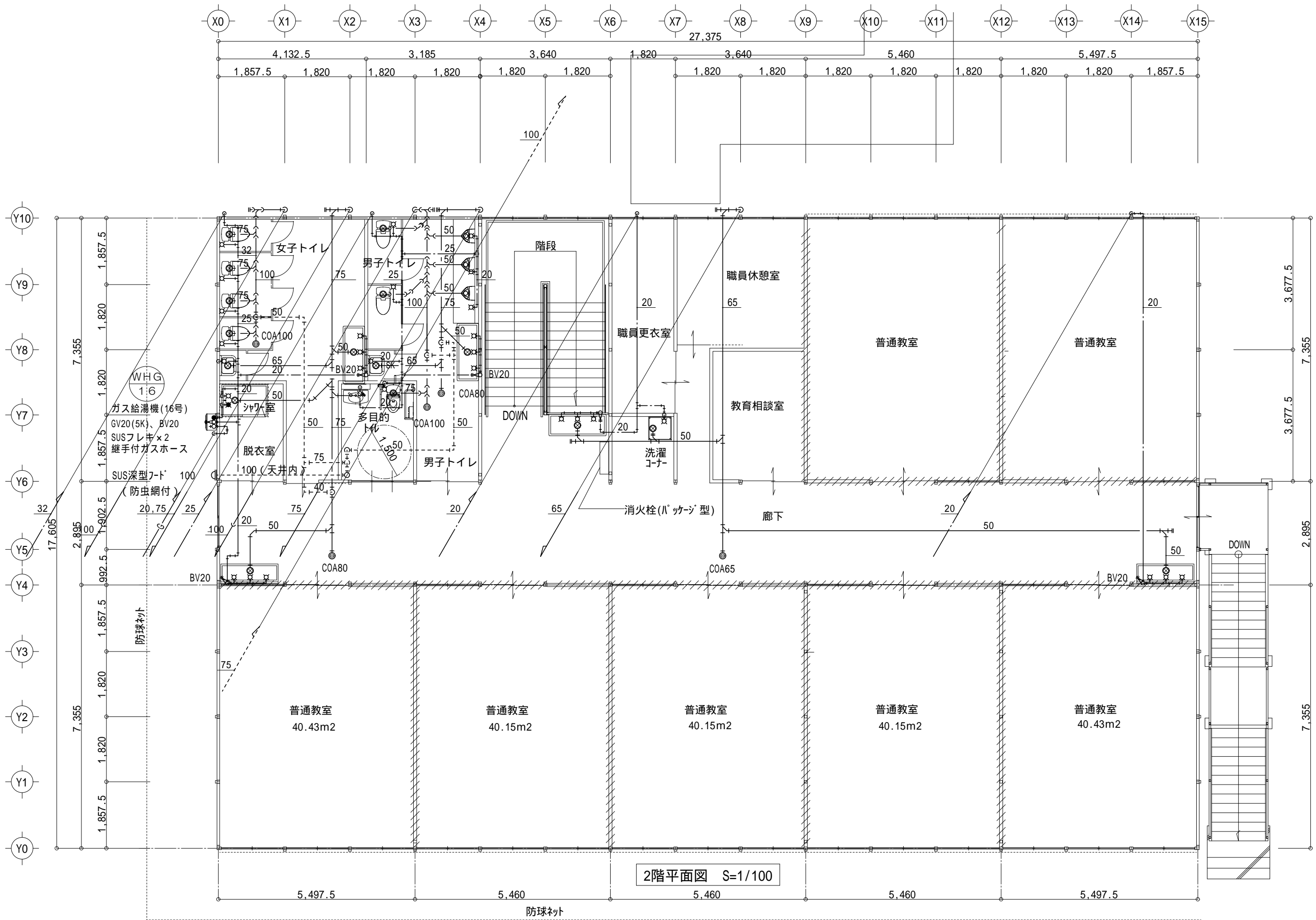
1階平面図 S=1/100

凡例	設計変更年月日
	1回 年 月 日
	2回 年 月 日
	3回 年 月 日

工事名	大和特別支援学校仮校舎貸借
図面名	1階衛生設備平面図

縮尺	A1 1:50 A3 1:200
設計年月日	

佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図面番号 M
1級建築士登録 第 号	12



2階平面図 S=1/100

凡例	設計変更年月日	工事名 大和特別支援学校仮校舎賃貸借	縮尺 A1 1:50 A3 1:200	佐賀県教育委員会事務局 教育総務課	図名 2階衛生設備平面図	設計年月日	1級建築士登録 第 号	M
	1回 年 月 日							
	2回 年 月 日							
	3回 年 月 日							